KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

bizhub PRESS 1250/1052

ユーザーズガイド　プリンター編



もくじ

1 はじめに

1.1 ご挨拶 ... 1-2
1.1.1 マニュアル体系について ... 1-2
1.1.2 ユーザーズガイドについて ... 1-3
1.2 ページの見かた ... 1-4
1.2.1 本文中の記号について ... 1-4
安全にお使いいただくために ... 1-4
手順文について ... 1-4
キー記号について ... 1-5
1.2.2 原稿と用紙の表示について ... 1-5
用紙の大きさ ... 1-5
用紙の表示 ... 1-5

2 プリンター機能の概要

2.1 イメージコントローラーとは ... 2-2
2.1.1 イメージコントローラーの役割 ... 2-2
2.1.2 印刷の流れ ... 2-3
2.1.3 操作パネル ... 2-4
2.2 動作環境 ... 2-6
2.2.1 プリントできるコンピューターと OS ... 2-6
Windows ... 2-6
Macintosh ... 2-6
2.2.2 接続に使用するインターフェイス ... 2-7
イーサネット ... 2-7
USB インターフェイス ... 2-7
接続図 ... 2-7
2.3 セットアップの流れ ... 2-8
2.3.1 ネットワーク接続の場合 ... 2-8
2.3.2 ローカル接続の場合 ... 2-9

3 プリンタードライバーのインストールをする前に

3.1 はじめに ... 3-2
3.2 各 OS にインストールできるプリンタードライバー ... 3-3
3.3 各 OS で選択可能な接続方法 ... 3-5
3.3.1 Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 ... 3-5
3.3.2 Windows XP/Server 2003 ... 3-6
3.3.3 Mac OS X 10.3/10.4/10.5/10.6 ... 3-7
3.3.4 NetWare について ... 3-7

4 Windows プリンタードライバーのインストール

4.1 インストーラーについて ... 4-2
4.1.1 インストーラーの動作環境 ... 4-2
4.2 インストーラーによる簡単インストール手順 ... 4-3
4.2.1 本機の設定 ... 4-3
本機の TCP/IP 設定 ... 4-3
本機の RAW ポート番号 /IPP 設定 ... 4-3
4.2.2 プリンタードライバーをインストール（PCL ドライバー） ... 4-4
4.2.3 プリンタードライバーをインストール（PS Plug-in ドライバー） ... 4-7

5 プリンターの追加ウィザードによる手動インストール

5.1 Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 5-2
5.1.1 ネットワーク接続（LPR/Port 9100/SMB）の場合 5-2
本機の設定 5-2
プリンターの追加でプリンターを検索してプリンタードライバーをインストール 5-2
プリンターの追加でポートを作成してプリンタードライバーをインストール 5-5
5.1.2 ネットワーク接続（IPP/IPPS）の場合 5-7
本機の設定 5-7
プリンターの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール 5-7
5.1.3 ネットワーク接続（Web サービスプリント）の場合 5-9
本機の設定 5-9
ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる 5-10
プリンターの追加で IP アドレスを指定してプリンタードライバーをインストール 5-11
5.1.4 ローカル接続の場合 5-13
インストール済みのプリンタードライバーを認識させる 5-13
接続時にプリンタードライバーをインストールする 5-13
接続後にドライバーを更新する 5-15
5.2 Windows XP/Server 2003 5-16
5.2.1 ネットワーク接続（LPR/Port 9100）の場合 5-16
本機の設定 5-16
プリンターの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール 5-16
5.2.2 ネットワーク接続（SMB）の場合 5-19
本機の設定 5-19
プリンターの追加ウィザードでプリンターを指定してプリンタードライバーをインストール 5-19
5.2.3 ネットワーク接続（IPP/IPPS）の場合 5-21
本機の設定 5-21
プリンターの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール 5-22
5.2.4 ローカル接続の場合 5-23

6 Macintosh のインストール

6.1 Mac OS X 用プリンタードライバーについて 6-2
6.1.1 PS Plug-in ドライバーのインストール 6-2
6.1.2 PS PPD ドライバーのインストール 6-4
6.1.3 プリンターの選択と接続 6-5
Bonjour を設定する 6-5
プリンターの追加 6-5
AppleTalk を設定する 6-7
コンピューターの AppleTalk 設定 6-7
プリンターの追加 6-7
LPR を設定する 6-9
コンピューターの TCP/IP 設定 6-9
プリンターの追加 6-9
IPP を設定する 6-11
コンピューターの TCP/IP 設定 6-11
プリンターの追加 6-11
6.1.4 プリンターの選択と接続（OS X 10.3） 6-13
Rendezvous を設定する 6-13
プリンターの追加 6-13
AppleTalk を設定する 6-13
コンピューターの AppleTalk 設定 6-13
プリンターの追加 6-14
LPR を設定する 6-14
コンピューターの TCP/IP 設定 6-14
プリンターの追加 6-14
IPP を設定する 6-15
コンピューターの TCP/IP 設定 6-15
プリンターの追加 6-15

7 NetWare を使用する場合のインストール

7.1 NetWare 7-2
7.1.1 ネットワーク設定 7-2
7.1.2 Windows クライアント設定 7-2

8 プリンタードライバーの削除

8.1 Windows 8-2
8.1.1 インストーラーによるアンインストール（PCL ドライバー） 8-2
8.1.2 アンインストールプログラムによるアンインストール（PCL ドライバー） 8-3
8.1.3 手動アンインストール（PS Plug-in ドライバー /PPD ドライバー /PCL ドライバー） 8-4
8.2 Macintosh 8-6
8.2.1 手動によるアンインストール（PS Plug-in ドライバー） 8-6
8.2.2 手動によるアンインストール（PS PPD ドライバー） 8-8

9 基本的な印刷方法とプリンターの機能

9.1 印刷操作 9-2
基本的な印刷方法（Windows） 9-2
基本的な印刷方法（Mac OS X） 9-3
9.2 プリンターの機能 9-4
9.2.1 用紙に関する設定をするには 9-4
印刷方向を設定するには 9-4
出力用紙の用紙サイズを設定するには 9-4
用紙の種類を設定するには 9-4
紙色を設定するには 9-5
パンチ穴のあいた用紙を設定するには 9-5
数値で指定して拡大 / 縮小するには 9-5
9.2.2 用紙トレイを設定するには 9-6
給紙ユニットを設定するには 9-6
給紙トレイを設定するには 9-6
排紙ユニットを設定するには 9-7
排紙トレイを設定するには 9-7
大容量スタッカーを設定するには 9-8
9.2.3 複数の部数を印刷するには 9-9
印刷部数を設定するには 9-9
1 部ずつまとめて印刷するには（ソート） 9-9
1 ページずつまとめて印刷するには 9-9
単位ごとにずらして排紙するには（オフセット） 9-10
9.2.4 複数のページを印刷するには 9-11
両面印刷を設定するには 9-11
1 ページに複数ページ分を印刷するには（ページ割付 / レイアウト） 9-11
2 枚分を倍の大きさの用紙 1 枚に印刷するには（1 枚集約） 9-12
2 つ折りの冊子用に印刷するには（小冊子） 9-12
指定したページを表面にするには（章分け） 9-12
ページを上向きで排紙するには（フェイスアップ） 9-13
9.2.5 表紙、裏表紙、挿入紙、カバーを設定するには 9-14
表カバーを設定するには 9-14
裏カバーを設定するには 9-14
インデックス紙を挿入するには 9-14
カバーを設定するには 9-15
9.2.6 仕上げの設定をするには 9-16
ステープル止めを設定するには 9-16
パンチユニットを設定するには 9-16
穴あけを設定するには 9-16
用紙内での印刷位置を調整するには（画像シフト） 9-17
用紙内での印刷位置を調整するには（とじしろ） 9-17
綴じ、折りを設定するには 9-17
くるみ製本を設定するには 9-18
9.2.7 透かしを設定するには 9-19
透かし模様を作成するには（オーバーレイ） 9-19
日付 / 時刻を印刷するには 9-19

ページ番号を印刷するには ... 9-19
ナンバリングして印刷するには ... 9-19
9.2.8 画像や濃淡を設定するには ... 9-20
曲線部分をなめらかに印刷するには ... 9-20
印刷時の解像度を指定するには ... 9-20
9.2.9 ジョブを保存、再印刷するには ... 9-21
ジョブを保存、印刷するには（保存、印刷 / 保存） ... 9-21
パスワードで保護して印刷するには（セキュリティープリント） ... 9-21

10 Windows 用 PCL ドライバーの印刷機能

10.1 プリンタードライバーの初期設定 ... 10-2
10.1.1 プロパティ画面の表示方法 ... 10-2
10.1.2 ［装置情報］タブ ... 10-3
10.1.3 ［初期設定］タブ ... 10-4
10.1.4 OS が提供するタブ ... 10-5
10.1.5 デフォルト設定の登録 ... 10-6
10.2 共通項目 ... 10-7
10.3 設定項目詳細 ... 10-9
10.3.1 My タブ ... 10-9
［My タブ］の編集 ... 10-10
10.3.2 ［基本設定］タブ ... 10-11
10.3.3 ［レイアウト］タブ ... 10-15
ページ割付詳細 ... 10-17
とじしろ設定 ... 10-18
画像シフト設定 ... 10-19
10.3.4 ［仕上げ］タブ ... 10-20
くるみ製本設定 ... 10-22
くるみ製本のモード ... 10-23
10.3.5 ［カバーシート / 挿入紙］タブ ... 10-24
ページ単位設定（リスト編集） ... 10-25
10.3.6 ［スタンプ / ページ印字］タブ ... 10-26
ウォーターマークの編集 ... 10-27
オーバーレイの編集 ... 10-28
日付／時刻／ページ番号の編集 ... 10-29
ナンバリングの編集 ... 10-29
10.3.7 ［画像品質］タブ ... 10-30
画質調整 ... 10-31
フォント設定 ... 10-31
10.3.8 ［その他］タブ ... 10-32

11 PS Plug-in ドライバーの印刷機能

11.1 プリンタードライバーの初期設定 ... 11-2
11.1.1 オプション画面の表示方法 ... 11-2
Windows の場合 ... 11-2
Mac OS X の場合 ... 11-3
11.2 共通項目 ... 11-4
11.3 設定項目詳細 ... 11-5
11.3.1 ［簡易設定］タブ ... 11-5
11.3.2 ［レイアウト］タブ ... 11-7
11.3.3 ［仕上げ］タブ ... 11-9
11.3.4 ［排紙］タブ ... 11-11
11.3.5 ［用紙］タブ ... 11-12
トレイ設定 ... 11-12
用紙名称 ... 11-13
用紙サイズ ... 11-13
11.3.6 ［表紙］タブ ... 11-14
くるみ製本のモード ... 11-15

11.3.7 ［ページ設定］タブ ... 11-16
11.3.8 ［見出し挿入］タブ ... 11-17
11.3.9 ［見出し設定］タブ ... 11-18
11.3.10 ［イメージング］タブ ... 11-20
11.3.11 ［フォーム］タブ ... 11-22
11.3.12 ［画像位置］タブ ... 11-23
11.3.13 ［スタンプ］タブ ... 11-24
11.3.14 ［ワークフロー］タブ ... 11-25
11.3.15 ［認証］タブ ... 11-27
11.3.16 ［オプション］タブ ... 11-28
［装置オプション］タブ ... 11-28
［ドライバーオプション］タブ ... 11-29
［SNMP］タブ ... 11-29
11.3.17 ［バージョン］タブ ... 11-30
11.3.18 ［詳細設定］タブ ... 11-31

12 Windows 用 PPD ドライバーの印刷機能

12.1 プリンタードライバーの初期設定 ... 12-2
12.1.1 プロパティ画面の表示方法 ... 12-2
12.1.2 ［デバイスの設定］タブ ... 12-3
12.1.3 OS が提供するタブ ... 12-3
12.1.4 デフォルト設定の登録 ... 12-4
12.2 共通項目 ... 12-5
12.3 設定項目詳細 ... 12-6
12.3.1 ［レイアウト］タブ ... 12-6
12.3.2 ［用紙 / 品質］タブ ... 12-7
12.3.3 ［詳細オプション］画面 ... 12-8
くるみ製本のモード ... 12-13

13 Mac OS X 用 PPD ドライバー

13.1 プリンタードライバーの初期設定 ... 13-2
13.1.1 オプション設定 ... 13-2
13.1.2 デフォルト設定の登録 ... 13-3
13.2 共通項目 ... 13-4
13.3 カスタムサイズの追加方法 ... 13-5
13.4 設定項目詳細 ... 13-6
13.4.1 ［ページ属性］ ... 13-6
13.4.2 ［印刷部数と印刷ページ］ ... 13-7
13.4.3 ［出力設定］ ... 13-8
13.4.4 ［画像 / レイアウト］ ... 13-10
13.4.5 ［セットアップ］ ... 13-11
くるみ製本のモード ... 13-12
13.4.6 ［セキュリティー］ ... 13-13

14 機能詳細説明

14.1 セキュリティープリント ... 14-2
14.1.1 プリンタードライバーの設定（PCL ドライバー /PS Plug-in ドライバー /PPD ドライバー（Mac OS X)）... 14-2
PCL ドライバーの場合 ... 14-2
PS Plug-in ドライバーの場合 ... 14-4
PPD ドライバーの場合 (Mac OS X) ... 14-5
14.1.2 操作パネルからのジョブの呼び出し ... 14-6
機密フォルダーからの出力 ... 14-6
14.2 ボックス保存 ... 14-7
14.2.1 プリンタードライバーの設定（PCL ドライバー /PS Plug-in ドライバー /PPD ドライバー (Mac

OS X)) 14-7
PCL ドライバーの場合 14-7
PS Plug-in ドライバーの場合 14-9
PPD ドライバーの場合 (Mac OS X) 14-9
14.2.2 ジョブ呼び出し 14-10
［読出し］タブからジョブを出力する 14-10
14.3 確認プリント / 一時停止 / 保留プリント 14-12
14.3.1 プリンタードライバーの設定（PCL ドライバー /PS Plug-in ドライバー /PPD ドライバー (Mac OS X)) 14-12
PCL ドライバーの場合 14-12
PS Plug-in ドライバーの場合 14-13
PPD ドライバーの場合（Windows） 14-14
PPD ドライバーの場合 (Mac OS X) 14-15
14.3.2 ジョブ呼び出し 14-16
確認プリント / 確認プリント / 一時停止のジョブ呼び出し 14-16
［読出し］タブからジョブを出力する 14-16
保留プリントのジョブ呼び出し 14-17
［ジョブリスト］タブからジョブを出力する 14-17
14.4 ユーザー認証を設定している本機で印刷する 14-18
ユーザー認証の設定（PCL ドライバー） 14-18
ユーザー認証の設定（PS Plug-in ドライバー） 14-20
14.5 部門管理機能を使用している本機で印刷する 14-21
部門管理設定（PCL ドライバー） 14-21
部門管理設定（PS Plug-in ドライバー） 14-22

15 操作パネルでの各種設定

15.1 コントローラー設定 15-2
15.1.1 コントローラー設定画面を表示させるには 15-2
15.1.2 コントローラー設定画面 15-3
レポートタイプ 15-4
ダイレクトプリント設定 15-5
ダイレクトプリント設定 − 基本設定 15-5
ダイレクトプリント設定 − PCL 設定 15-7
ダイレクトプリント設定 − PS 設定 15-8
ダイレクトプリント設定 − TIFF 設定 15-8
ポート別出力設定 15-9
スプール設定 15-9
I/F タイムアウト (sec) 15-10
Plug-in Form Password 15-10
スキャン設定 15-11
管理者設定 15-12
15.2 設定メニュー画面の基本操作 15-13
15.2.1 設定メニュー画面を表示させるには 15-13
15.2.2 機能設定 15-14
15.3 管理者設定の基本操作 15-15
15.3.1 管理者設定画面を表示させるには 15-15
15.3.2 管理者設定画面 15-16
15.4 コントローラー NIC 設定メニュー 15-17
15.4.1 コントローラー NIC 設定メニューを表示させるには 15-17

16 PageScope Web Connection

16.1 PageScope Web Connection の使い方 16-2
16.1.1 動作環境 16-2
16.1.2 アクセス方法 16-2
16.1.3 Web ブラウザーのキャッシュ機能について 16-3
Internet Explorer の場合 16-3
Mozilla Firefox の場合 16-3
16.1.4 オンラインヘルプ機能について 16-3
16.2 ログインとログアウト 16-4

16.2.1 ログインとログアウトの流れ ... 16-4
ユーザー認証、部門管理を行っていない場合 ... 16-4
ユーザー認証、部門管理を行っている場合 ... 16-5
16.2.2 ログアウト ... 16-7
16.2.3 ログイン ... 16-8
ログイン時の選択項目 ... 16-8
パブリックユーザーとしてログイン ... 16-8
登録ユーザーとしてログイン ... 16-9
管理者モードへログイン ... 16-10
16.3 画面の構成 ... 16-11
16.4 ユーザーモードの概要 ... 16-13
16.4.1 情報表示 ... 16-13
16.4.2 ジョブ確認 ... 16-14
16.4.3 ボックス ... 16-15
16.4.4 ダイレクトプリント ... 16-16
16.5 管理者モードの概要 ... 16-17
16.5.1 メンテナンス ... 16-17
16.5.2 セキュリティー ... 16-18
16.5.3 ボックス ... 16-18
16.5.4 プリンター設定 ... 16-19
16.5.5 スキャナー ... 16-20
16.5.6 ネットワーク ... 16-21

17 ユーティリティーツール

17.1 Font Management Utility について ... 17-2

18 トラブルが生じたら

18.1 印刷できない ... 18-2
18.2 設定できない / 設定したとおりに印刷できない ... 18-4
18.2.1 プリンタードライバーの設定が機能しない ... 18-4
18.2.2 その他 ... 18-5
18.2.3 エラーメッセージ ... 18-5

19 製品仕様 / レポート

19.1 製品仕様 ... 19-2
19.2 レポート出力 ... 19-5
19.2.1 設定情報リスト ... 19-5
19.2.2 PCL デモページ ... 19-11
19.2.3 PS デモページ ... 19-12
19.2.4 PCL フォントリスト ... 19-13
19.2.5 PS フォントリスト ... 19-16

20 付録

20.1 PPD ドライバー（Linux 用、アプリケーション用） ... 20-2
20.1.1 PPD ドライバーの種類 ... 20-2
20.1.2 Linux 用 PPD ドライバーについて ... 20-2
Linux 用 PPD の登録 ... 20-2
Linux 用 PPD の設定 ... 20-2
OpenOffice 用 PPD の登録 ... 20-2
OpenOffice での印刷方法 ... 20-3
20.1.3 アプリケーション用 PPD ドライバーについて ... 20-3
印刷方法 ... 20-3
20.2 用語集 ... 20-4

21 索引

21.1 項目別索引 21-2
21.2 キー索引..... 21-4

1 はじめに

1 はじめに

1.1 ご挨拶

このたびは弊社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、本機の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処理方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

1.1.1 マニュアル体系について

印刷物のマニュアル	概要
［ユーザーズガイド セキュリティー編］	セキュリティー機能について記載しています。 セキュリティー強化機能の使い方、セキュリティー強化機能使用時の機械の操作について知りたい場合は、このユーザーズガイドをお読みください。
［オペレーションクイックガイド］	使用頻度の高い機能について、操作手順を中心に記載しています。本機の特長を理解したい場合は、このガイドをお読みください。
［安全にお使いいただくために］	本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい注意事項とお願いとを記載しています。 製品のご使用前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
［ユーザーズガイド コピー編］	機械の概要やコピー機能について記載しています。 ・ 本体、オプションの概要および仕様 ・ 電源の入れ方、切り方 ・ 使用する用紙の仕様 ・ 基本コピーのとり方および設定方法 ・ 補給、廃棄部材の処理 ・ 応用設定、出力設定、ジョブリスト ・ トラブルの対処方法
［ユーザーズガイド POD 管理者編］	日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズしたり、機械を管理したりする方法について記載しています。 ・ トレイ設定 ・ 表裏調整 ・ コントローラー設定 ・ 調整、設定メニュー画面 ・ ネットワーク設定 ・ PageScope Web Connection 設定 ・ Web Utilities 設定
［ユーザーズガイド プリンター編］	プリンタードライバーおよびユーティリティーツールの設定について記載しています。 ・ PCL ドライバー ・ PS Plug-in ドライバー ・ PS PPD ドライバー ・ PageScope Web Connection 設定
［ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編］	ネットワークスキャナー機能の操作について記載しています。 ・ 本体用ハードディスクに保存／出力 ・ メールで送信 ・ コントローラー用ハードディスクに保存 ・ FTP サーバーに送信 ・ SMB サーバーに送信 ・ グループに送信
［商標／ライセンス］	商標およびライセンスについて記載しています。 製品のご使用前に必ずごらんください。

1.1.2 ユーザーズガイドについて

このユーザーズガイドは、本機をはじめてご利用になるお客様から本機を管理する管理者までを対象としています。

本機の基本的な操作方法、より便利にお使いいただくための機能、メンテナンス方法、簡単なトラブルの対処方法、その他本機のさまざまな設定方法について説明しております。

なお、メンテナンスやトラブルの対処には、製品についての基本的な技術知識が必要です。メンテナンスやトラブルの対処は、本書で説明している範囲内で行ってください。

お困りの際には、サービス実施店にご連絡ください。

1.2 ページの見かた

1.2.1 本文中の記号について

本書では、さまざまな情報を記号で記載しています。

ここでは、製品を正しく安全にお使いいただくために、本書で使用している記号について説明します。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

重要

本体や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。
物的損害を避けるために指示に従ってください。

手順文について

✔ このチェック記号は、手順文の前提条件や、手順を実行する前にあらかじめ知っておいたほうが良い情報を示しています。

1 このスタイルの 1 は、最初の手順を表します。

2 このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。

➔ この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

手順の動作を
イラストで
表しています。

➔ この記号は、目的のメニューにアクセスする操作パネルの遷移を表します。



目的の画面を表示しています。

参照
参照先を表しています。

必要に応じてごらんください。

キー記号について

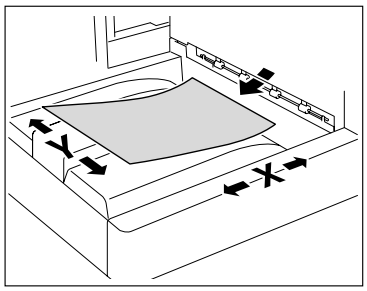
[ ]
タッチパネル上のキー名称、コンピューター画面上のキー名称、ユーザーズガイド名称などを表します。

文中の太字
操作パネル上のキー名称、部品名称、製品名、オプション名などを表します。

1.2.2 原稿と用紙の表示について

用紙の大きさ

本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。
原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を高さと呼びます。

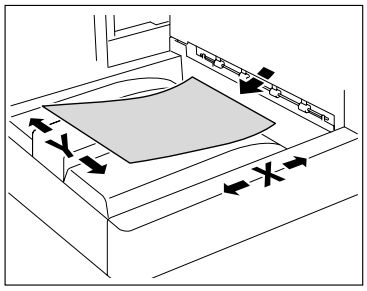


注意

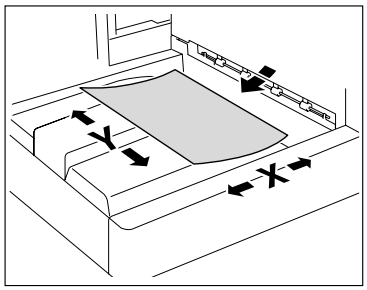
- 「ユーザーズガイド コピー編」では、X 辺を長さと呼んでいます。

用紙の表示

幅（Y）よりも高さ（X）のほうが大きいものを ▭ と表示します。



幅（Y）よりも高さ（X）のほうが小さいものを ▯ と表示します。



2 プリンター機能の概要

2 プリンター機能の概要

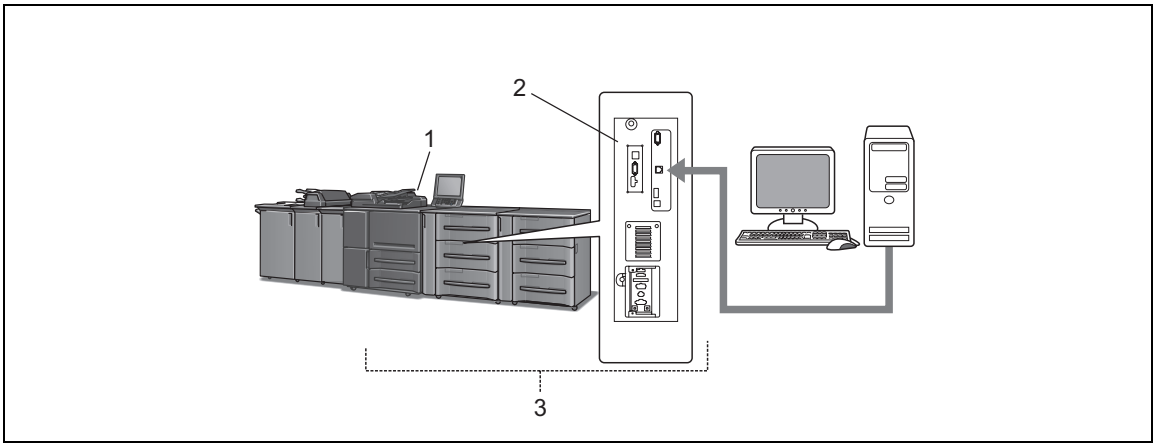
本機のプリンター機能を実現するイメージコントローラーの概要と接続環境を説明します。

2.1 イメージコントローラーとは

イメージコントローラーは、本機で印刷機能、ネットワーク印刷機能を実現するための装置です。

2.1.1 イメージコントローラーの役割

イメージコントローラーを内蔵することで、本機がプリンティングシステムとなり、プリンティングシステムとつながっているコンピューター上のアプリケーションから印刷ができます。本機をネットワークプリンターとして使用するときも、コンピューター上のアプリケーションから印刷ができます。



1. 本機
2. イメージコントローラー
3. プリンティングシステム

イメージコントローラーは、以下の機能を持っています。

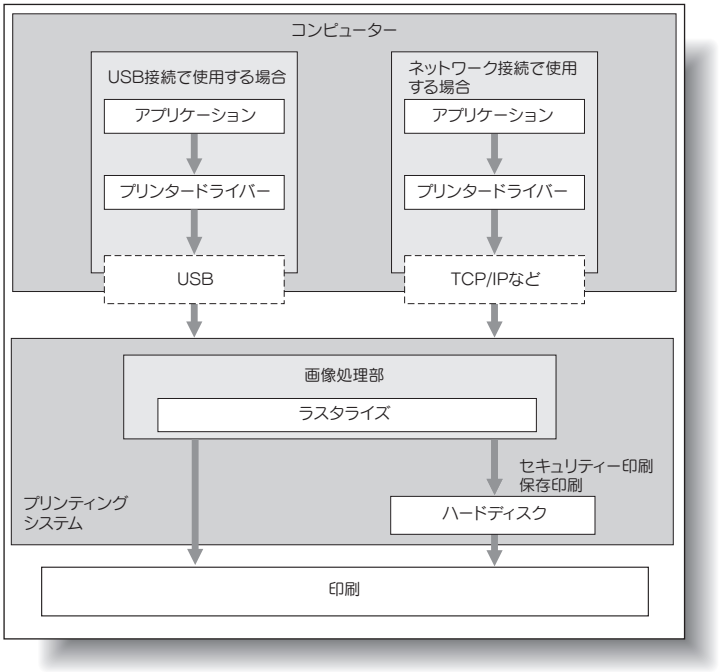
- コンピューター上のプリンタードライバーから送られたデータを印刷する機能
- TCP/IP（IPv4/IPv6）、IPX/SPX、AppleTalk などのネットワークプロトコルをサポート
- Web サービス印刷（Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7）、SMB 印刷（Windows 印刷）、LPR 印刷、IPP 印刷などを利用した、ネットワーク経由による印刷機能
- ネットワーク経由での、クライアント PC からの本機 / イメージコントローラーの設定（Web ブラウザー使用）
- 印刷枚数の管理（ユーザー認証、部門管理機能）

2.1.2 印刷の流れ

プリンターとして本プリンティングシステムを使用するときの大まかな処理の流れは以下のとおりです。

アプリケーションから送られた印刷データは、プリンタードライバーが受取ります。

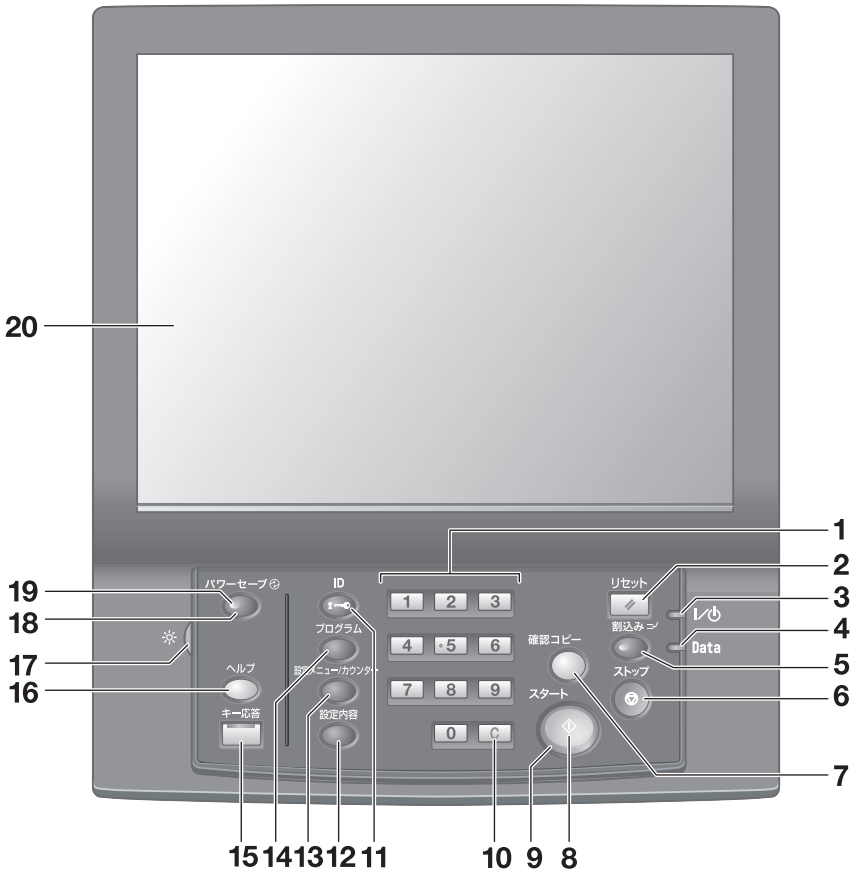
USB 接続で使用するときは USB インターフェイス、ネットワーク接続で使用するときはイーサネット（TCP/IP など）を通じてデータがイメージコントローラーに送られ、イメージコントローラーから本機に渡されます。イメージコントローラーでは画像のラスタライズ（出力する文字や画像をビットマップデータに展開する）処理が行われます。このデータが本機から印刷されます。



プリンターとして機能している途中で、コピー機能やネットワークスキャン機能の原稿読取りができます。コピー機能を使用するときは、タッチパネルの［コピー］を押すと、コピーができるようになります。

コピー中に印刷ジョブを受信したときは、データが本機のメモリーに蓄積されます。コピーが終了すると自動的に出力を開始します。

2.1.3 操作パネル



番号	名称	説明
1	テンキー	数値などを入力するときに押します。
2	リセット	コピー条件を初期状態にもどすときに押します。
3	電源ランプ	**主電源スイッチ**を入れると赤色に点灯し、**副電源スイッチ**を入れると緑色に変わります。
4	データランプ	プリントデータの受信中に点滅します。
5	割込み	コピー、プリンター、スキャナー作業中、他のコピー条件でコピーしたいときに押します。
6	ストップ	出力を一時停止したり、機械の動作を中断したりするときに押します。
7	確認コピー	設定したコピー条件を確認するため、1部をプリント、または先頭1ページをプリントするときに押します。
8	スタート	各機能を開始するときに押します。
9	スタートランプ	動作を開始できるとき、青色になります。 動作を開始できないときはオレンジ色になります。
10	C（枚数クリア）	入力した数値を変更するときに押します。
11	ID	ユーザー認証／部門管理が設定されている場合、認証を得て機械を使用した後、次のユーザーが再び認証を得てから機械を使用できるようにするときに押します。
12	設定内容	現在設定されているコピー条件を確認するため、設定確認画面を表示するときに押します。

番号	名称	説明
13	**設定メニュー／カウンター**	設定メニュー画面や各種カウンターを表示するときに押します。
14	**プログラム**	任意のコピー条件を登録したり、登録したコピー条件や直前のコピー条件を呼出したりするときに押します。
15	**キー応答**	**タッチパネル**のボタンや**操作パネル**のキーを押したときの応答時間を調整するときに押します。
16	**ヘルプ**	現在**タッチパネル**に表示されている画面の操作方法を説明するヘルプ画面を表示するときに押します。機械状態画面を表示しているときに押すと、各種補給方法や廃棄方法を表示します。
17	**輝度調整つまみ**	**タッチパネル**の輝度を調整するときに回します。
18	**パワーセーブ**	**パワーセーブランプ**が点灯して、パワーセーブの状態にある機械を使用するときに押します。また、手動でパワーセーブにするときに押します。
19	**パワーセーブランプ**	機械がシャットオフ／ローパワーなどのパワーセーブの状態にあるときや、ウィークリータイマーが働いて OFF の状態にあるときに点灯します。
20	**タッチパネル**	機能を設定するための各種画面を表示します。

⚠ 注意

操作パネルの**タッチパネル**に、硬いものや先の尖ったものをあてないでください！

- 傷がついたり割れたりしてけがをすることがあります。**タッチパネル**は、指を使って操作してください。

⚠ 注意

サービスコール画面が表示され、コピーできなくなった場合は、ただちに操作を中止してください！

- 思わぬ事故になるおそれがあります。メッセージ 2 行目のレポートコードを書留めてから、**副電源スイッチ**、**主電源スイッチ**の順に OFF にして、本体の電源プラグを抜きます。その後、サービス実施店に連絡して、書留めたレポートコードをお知らせください。

重要

主電源スイッチは、通常 ON の状態を維持します。普段は、主電源を OFF/ON しないでください。

副電源スイッチを OFF にする前に、**主電源スイッチ**を OFF にしないでください。

副電源スイッチを OFF にした後、下記のメッセージが表示されている間は、**主電源スイッチ**を OFF にしないでください。

[冷却中です　冷却後に自動的に電源が切れます]

[電源 OFF 処理中です　主電源を切らないで下さい]

これらのメッセージが表示されているときに**主電源スイッチ**を OFF にすると、機械の中でトナー固着などの致命的なトラブルが発生するおそれがあります。

参照

電源の切り方については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

2.2 動作環境

本プリンティングシステムを使うために必要なシステムと、接続に使用するインターフェイスについて説明します。

2.2.1 プリントできるコンピューターと OS

接続するコンピューターが、以下の条件を満たしていることを確認してください。

Windows

OS	プリンタードライバーの種類により、対応する OS が異なります。詳しくは、3-3 ページをごらんください。
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリー	OS が推奨するメモリー容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリーリソースが十分であること。
ドライブ	CD-ROM ドライブ

Macintosh

OS	Mac OS X（10.3、10.4、10.5、10.6）
CPU	PowerPC、Intel プロセッサー
メモリー	OS が推奨するメモリー容量
ドライブ	CD-ROM ドライブ

2.2.2 接続に使用するインターフェイス

本プリンティングシステムとコンピューターを接続するには、以下の種類のインターフェイスが使用できます。

イーサネット

本プリンティングシステムをネットワーク接続で使用するときに利用します。
1000Base-T、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP（LPD/LPR、IPP、SMB）、Web サービス、IPX/SPX（NetWare）、AppleTalk（EtherTalk）などに対応しています。

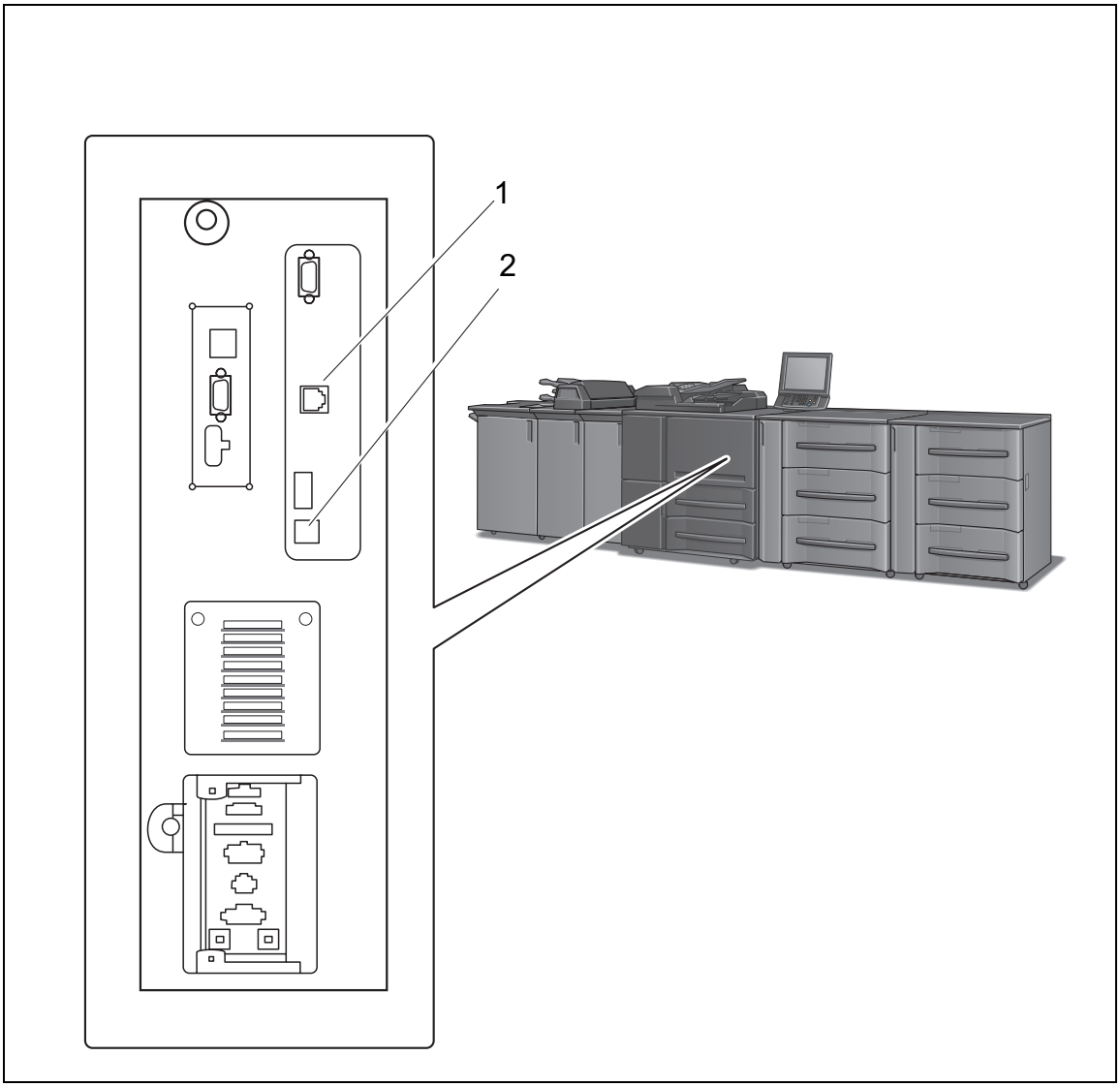
USB インターフェイス

本プリンティングシステムを USB 接続で使用するときに利用します。Windows コンピューターで接続できます。接続には USB ケーブルが必要です。USB ケーブルは A タイプ（4 ピンオス）-B タイプ（4 ピンオス）のものを使用してください。USB ケーブルは 3 m 以下をおすすめいたします。

接続図

プリンターケーブルは、イメージコントローラーの各ポートに接続します。

本機背面



1. イーサネットポート（1000Base-T/100Base-TX/10Base-T）
2. USB ポート

2.3 セットアップの流れ

本プリンティングシステムをご使用いただくためには、セットアップを行う必要があります。

セットアップとは、プリンティングシステムとコンピューターを接続し、プリンタードライバーをコンピューターへインストールする一連の準備をいいます。

セットアップする場合は、以下の流れとなります。

2.3.1 ネットワーク接続の場合

1 プリンティングシステムとコンピューターを接続します。

2 使用するコンピューターがネットワークに接続されていることを確認します。

3 本機の IP アドレスを設定し、ネットワークに接続します。

4 接続方法やプロトコルに応じて、プリンティングシステムのネットワーク設定を変更します。

- ➔ LPR：[LPD 設定] で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。
- ➔ Port 9100：[TCP/IP 設定] で RAW ポート番号（初期設定では [9100]）を使用可能にしておきます。
- ➔ SMB：[SMB 設定] の [プリント設定] を設定しておきます。
- ➔ IPP/IPPS：[IPP 設定] で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。IPPS 印刷の場合は、本機に証明書をインストールしておきます。
- ➔ Web サービス印刷：[Web サービス設定] でプリント機能を使用可能にしておきます。
- ➔ Bonjour：[Bonjour 設定] で Bonjour を使用可能に設定しておきます。
- ➔ AppleTalk：[AppleTalk 設定] で AppleTalk を使用可能に設定しておきます。

5 プリンタードライバーをインストールします。

- ➔ 接続方法やプロトコルに応じてプリンタードライバーのネットワークポートを設定します。

6 スクリーンフォントをインストールします。

- ➔ スクリーンフォントは Driver CD-ROM の「Screen Font」または、「Screen Fonts」フォルダーにあります。
- ➔ インストールについては、OS 標準のフォントの追加から行います。詳しくは、OS のヘルプをごらんください。
- ➔ Macintosh のフォントの場合は、フォントが圧縮されていますので、解凍後、インストールをしてください。

参考

- プリンタードライバーのインストール後は、印刷テストを行い、接続に問題がないことを確認してください。

参照
接続できるインターフェイスについては、2-7 ページをごらんください。

ネットワークの設定については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

プリンタードライバーのインストールは、本機との接続方法やご使用になるコンピューターの OS、プリンタードライバーの種類によって、手順が異なります。詳しくは、3-2 ページをごらんください。

既存のプリンタードライバーをアップデートする場合は、先に既存のプリンタードライバーを削除してください。詳しくは、8-2 ページをごらんください。

2.3.2 ローカル接続の場合

1 プリンティングシステムとコンピューターを接続します。

2 プリンタードライバーをインストールします。

3 スクリーンフォントをインストールします。

➔ プリンタードライバーの CD-ROM には、欧文の TrueType フォントが「スクリーンフォント」として添付されています。スクリーンフォントは CD-ROM の「ScreenFont」または、「Screen Fonts」フォルダーにあります。

➔ インストールについては、OS 標準のフォントの追加から行います。詳しくは、OS のヘルプをごらんください。

3 プリンタードライバーのインストールをする前に

3 プリンタードライバーのインストールをする前に

プリンタードライバーを選択するために必要な情報を説明します。

3.1 はじめに

本章では、プリンタードライバーをインストールする前に、知っておきたいことを説明しています。

プリンタードライバーのインストール方法は、ご使用になるコンピューターと本機の接続方法やコンピューターの OS、プリンタードライバーの種類によって、手順が異なります。

はじめに、お使いのコンピューターの OS や接続環境を確認し、インストールするプリンタードライバーと接続方法を決定してください。

インストール方法は、プリンタードライバーと接続方法によって選択してください。

3.2 各 OS にインストールできるプリンタードライバー

本プリンティングシステムを使用するためには、プリンタードライバーのインストールが必要です。

付属の CD に含まれるプリンタードライバーと、対応しているコンピューターの OS は以下のとおりです。必要なプリンタードライバーを選択してください。

プリンタードライバー	ページ記述言語	対応 OS
PCL ドライバー	PCL	Windows XP Home Edition（SP3）* Windows XP Professional（SP3）* Windows XP Professional ×64 Edition（SP2） Windows Server 2003, Standard Edition（SP2）* Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP2）* Windows Vista Business（SP2）* Windows Vista Enterprise（SP2）* Windows Vista Home Basic（SP2）* Windows Vista Home Premium（SP2）* Windows Vista Ultimate（SP2）* Windows Server 2008 Standard（SP2）* Windows Server 2008 Enterprise（SP2）* Windows Server 2008 R2 Standard（SP1） Windows Server 2008 R2 Enterprise（SP1） Windows 7 Home Basic（SP1） Windows 7 Home Premium（SP1）* Windows 7 Professional（SP1）* Windows 7 Enterprise（SP1）* Windows 7 Ultimate（SP1）* * 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。
PS Plug-in ドライバー	PostScript 3 Emulation	Windows XP Home Edition（SP3）* Windows XP Professional（SP3）* Windows XP Professional ×64 Edition（SP2） Windows Server 2003, Standard Edition（SP2）* Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP2）* Windows Vista Business（SP2）* Windows Vista Enterprise（SP2）* Windows Vista Home Basic（SP2）* Windows Vista Home Premium（SP2）* Windows Vista Ultimate（SP2）* Windows Server 2008 Standard（SP2）* Windows Server 2008 Enterprise（SP2）* Windows Server 2008 R2 Standard（SP1） Windows Server 2008 R2 Enterprise（SP1） Windows 7 Home Basic（SP1） Windows 7 Home Premium（SP1）* Windows 7 Professional（SP1）* Windows 7 Enterprise（SP1）* Windows 7 Ultimate（SP1）* * 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。
		Mac OS X 10.4/10.5/10.6

プリンタードライバー	ページ記述言語	対応 OS
PostScript PPD ドライバー (PS-PPD)	PostScript 3 Emulation	Windows XP Home Edition（SP3）* Windows XP Professional（SP3）* Windows XP Professional ×64 Edition（SP2） Windows Server 2003, Standard Edition（SP2）* Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP2）* Windows Vista Business（SP2）* Windows Vista Enterprise（SP2）* Windows Vista Home Basic（SP2）* Windows Vista Home Premium（SP2）* Windows Vista Ultimate（SP2）* Windows Server 2008 Standard（SP2）* Windows Server 2008 Enterprise（SP2）* Windows Server 2008 R2 Standard（SP1） Windows Server 2008 R2 Enterprise（SP1） Windows 7 Home Basic（SP1） Windows 7 Home Premium（SP1）* Windows 7 Professional（SP1）* Windows 7 Enterprise（SP1）* Windows 7 Ultimate（SP1）* * 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。
		Mac OS X 10.3/10.4/10.5/10.6

参考

- ページ記述言語は、印刷に使用するアプリケーションに応じて選択してください。
- Windows用のPS Plug-inドライバーおよびPCLドライバーはインストーラーでもプリンターの追加ウィザードでもインストールできます。

3.3 各 OS で選択可能な接続方法

本機の接続方法はコンピューターの OS によって異なります。また、接続方法によってプリンタードライバーのインストール方法も異なります。接続方法には、ネットワーク接続と USB インターフェイスでの接続があります。ネットワーク接続は、さらに使用するプロトコルによりプリンタードライバーのインストール方法が異なります。

ネットワーク接続（イーサネット）：
ネットワークプリンターとして使用する接続方法です。
本プリンティングシステムは、1000Base-T、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。
また、プロトコルは TCP/IP（LPD/LPR、IPP、SMB）、IPX/SPX（NetWare）、AppleTalk（EtherTalk）などに対応しています。
利用できるプロトコルはコンピューターの OS によって異なります。

USB インターフェイス：
ローカルプリンターとして使用する接続方法です。Windows コンピューターで接続できます。
本書では、USB 接続のセットアップ方法として、プラグアンドプレイの方法を説明しています。

3.3.1 Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	Port 9100	Port 9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	p. 4-2 ・ 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100 、USB の場合は ［標準印刷］、IPP の場合は［インターネット印刷］を選択してください。
	IPP	IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP（HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。	
	USB	USB ポートによる接続です。	
プリンターの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	LPR	LPR （ ラインプリンターリモート）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに LPR を使用します。	p. 5-2
	Port 9100	Port 9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	
	SMB	Windows でファイル共有やプリンター共有を実現する SMB（ServerMessage Block）を利用したネットワーク接続です。TCP/IP のプロトコルに対応しています。	
	IPP/IPPS	IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP（HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	
	Web サービスプリント	Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 の Web サービス機能に対応した接続で、ネットワーク上のプリンターを自動的に検出して接続します。	
	USB	USB ポートによる接続です。	

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法	USB	USB ポートによる接続です。	p. 5-13

参考

- Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。

参照

ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

インストーラーを使って IPPS 接続（セキュリティー印刷）のセットアップを行うことはできません。IPPS 接続にする場合は、プリンターの追加ウィザードでセットアップしてください。詳しくは、5-7 ページ をごらんください。

3.3.2 Windows XP/Server 2003

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
インストーラーでセットアップが可能な接続方法	Port 9100	Port 9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	p. 4-2 ・ 接続方法はインストールの途中で選択します。接続方法が Port 9100 、USB の場合は ［標準印刷］、IPP の場合は［インターネット印刷］、IPPS の場合は［セキュリティ印刷］を選択してください。
	IPP/IPPS	IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP（HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	
	USB	USB ポートによる接続です。	
プリンターの追加ウィザードでセットアップが可能な接続方法	LPR	LPR （ ラインプリンターリモート）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに LPR を使用します。	Windows XP/ Server 2003：p. 5-16
	Port 9100	Port 9100 プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルを使用し、印刷ポートに RAW を使用します。	
	SMB	Windows でファイル共有やプリンター共有を実現する SMB（ServerMessage Block）を利用したネットワーク接続です。TCP/IP のプロトコルに対応しています。	
	IPP/IPPS	IPP （Internet Printing Protocol）プリントサービスによるネットワーク接続です。TCP/IP プロトコルの HTTP（HyperText Transfer Protocol）を利用し、インターネット経由で印刷できます。IPPS は、SSL による暗号化通信を行う IPP です。	
	USB	USB ポートによる接続です。	
プラグアンドプレイでセットアップが可能な接続方法	USB	USB ポートによる接続です。	Windows XP/ Server 2003：p. 5-23

参考

- Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタードライバーをインストールしてください。
- インストーラーでは、Windows XP/Server 2003 の IPv6 環境でのインストールは対応していません。

参照

ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

3.3.3 Mac OS X 10.3/10.4/10.5/10.6

セットアップ方法	接続方法		参照ページ
セットアップが可能な接続方法	Bonjour	Bonjour によるネットワーク接続です。	p. 6-2 ・ インストーラーでインストールし、接続方法は、インストール後にプリンターの選択で指定します。
	AppleTalk	AppleTalk によるネットワーク接続です。	
	LPR	LPR プリントサービスによるネットワーク接続です。	
	IPP	IPP プリントサービスによるネットワーク接続です。	

参考

- AppleTalk による接続は、Mac OS X 10.3/10.4/10.5 までの対応になります。

参照

ネットワーク環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

3.3.4 NetWare について

NetWare バージョン	使用するプロトコル	接続方法
NetWare 4.x	IPX	Bindery Pserver Nprinter/Rprinter
NetWare 5.x	IPX	NDS Pserver Nprinter/Rprinter
	TCP/IP	NDPS
NetWare 6.x	IPX	NDS Pserver
	TCP/IP	NDPS

参照

NetWare の機能について、詳しくは、NetWare の操作説明書をごらんください。
NetWare 環境で利用するには、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

4 Windows プリンタードライバーのインストール

4 Windows プリンタードライバーのインストール

インストーラーを利用して Windows プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

4.1 インストーラーについて

このインストーラーを利用すると、コンピューターと同じ TCP/IP ネットワーク上の本機や、USB で接続されている本機が自動的に検出され、必要なプリンタードライバーがインストールされます。また、接続先を手動で指定してインストールすることもできます。

重要
インストーラーでインストールできるプリンタードライバーは、PS Plug-in ドライバーと PCL ドライバーです。

4.1.1 インストーラーの動作環境

OS	Windows XP Home Edition（SP3）*1 Windows XP Professional（SP3）*1 Windows XP Professional ×64 Edition（SP2） Windows Server 2003, Standard Edition（SP2） Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP2） Windows Vista Business（SP2）*2 Windows Vista Enterprise（SP2）*2 Windows Vista Home Basic（SP2）*2 Windows Vista Home Premium（SP2）*2 Windows Vista Ultimate（SP2）*2 Windows Server 2008 Standard（SP2）*2 Windows Server 2008 Enterprise（SP2）*2 Windows Server 2008 R2 Standard（SP1） Windows Server 2008 R2 Enterprise（SP1） Windows 7 Home Basic（SP1） Windows 7 Home Premium（SP1）*2 Windows 7 Professional（SP1）*2 Windows 7 Enterprise（SP1）*2 Windows 7 Ultimate（SP1）*2 *1 プリンタードライバーの動作条件は SP1 以降。 *2 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリー	OS が推奨するメモリー容量 OS および使用するアプリケーションにおいて、メモリーリソースが十分であること。

参考

- Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 にインストールするときは、管理者権限が必要です。
- USB で接続していて、新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックしてください。
- インストーラーはWindows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7の場合のみIPv4/IPv6環境の両方に対応しています。ただし、Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 での［セキュリティ印刷］（IPPS）および IPv6 環境での［インターネット印刷］（IPP）には対応していません。

4.2 インストーラーによる簡単インストール手順

4.2.1 本機の設定

ネットワーク接続の場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

参照

本機のネットワーク設定は、[設定メニュー / ユーティリティ] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [コントローラー NIC 設定] を押して表示される画面で設定します。

詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。



本機の TCP/IP 設定

本機の [TCP/IP 設定] で IP アドレスを設定しておきます。

参照

ネットワーク接続の場合は、本機を自動的に検出するため、あらかじめ本機に IP アドレスを設定しておく必要があります。詳しくは、[ユーザーズガイド POD 管理者編] をごらんください。

本機の RAW ポート番号 /IPP 設定

接続方法やプロトコルに応じて、本機のネットワーク設定を変更します。

- Port 9100 : [TCP/IP 設定] で RAW ポート番号（初期設定では [9100]）を使用可能にしておきます。
- IPP/IPPS : [HTTP サーバー設定] で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機の TCP/IP 設定、IPP 設定については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。本機では、あらかじめインストールされている自己証明書を利用できます。詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

4.2.2 プリンタードライバーをインストール（PCLドライバー）

1 PCL 用の Driver CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［許可］または［続行］をクリックします。

➔ CD メニューが表示されるのを確認し、手順 2 へ進みます。

➔ CD メニューが表示されない場合は、CD-ROM 内にある［Autorun.exe］をダブルクリックし、手順 2 へ進みます。

2 画面に従い、必要なプリンタードライバーを選択します。

プリンタードライバーのインストーラーが起動します。

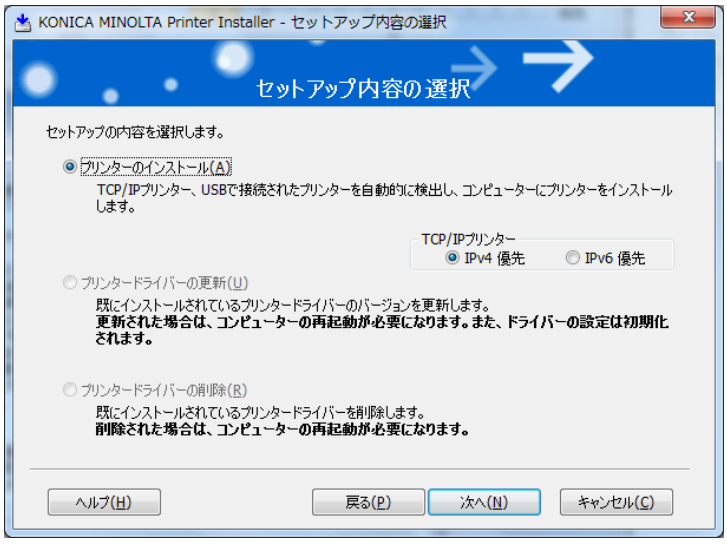
3 ［同意します］をクリックします。



➔ 同意していただけない場合は、インストールできません。

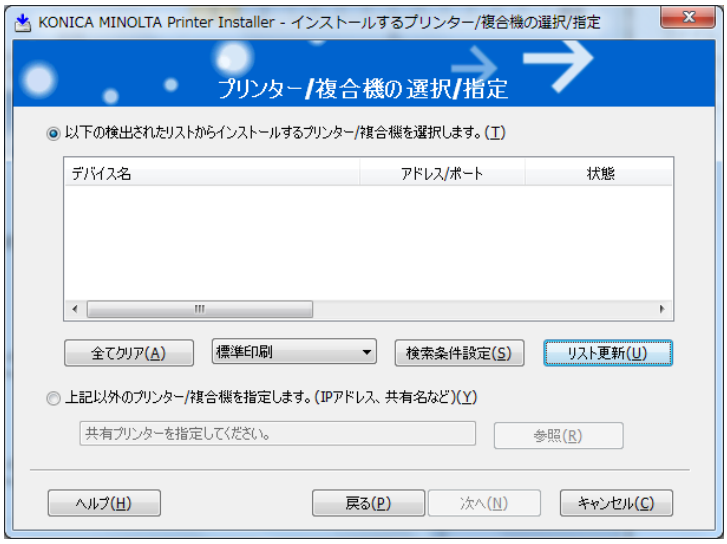
➔ 言語が表示されているボックスでインストーラーの表示言語を変更できます。

4 ［プリンターのインストール］を選択し、［次へ］をクリックします。



➔ 検出するプリンター・複合機が IPv4 と IPv6 の両方で検出したとき、優先するアドレスとして、［IPv4 優先］または［IPv6 優先］のいずれかを指定できます。

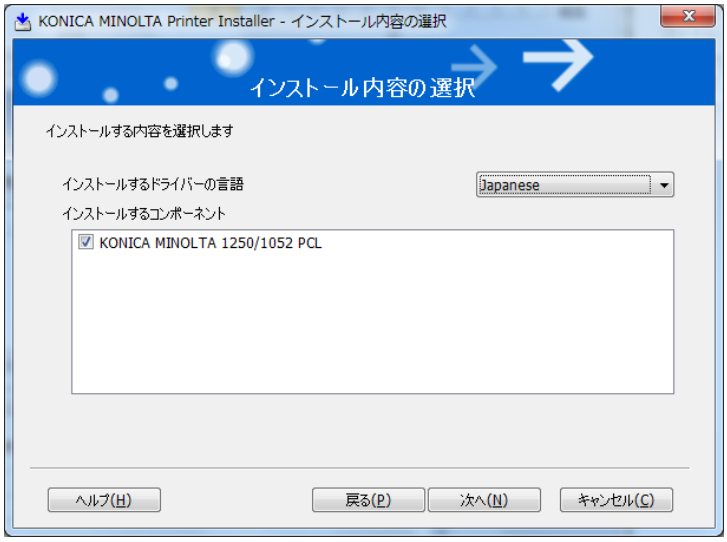
5 本機を選択して［次へ］をクリックします。



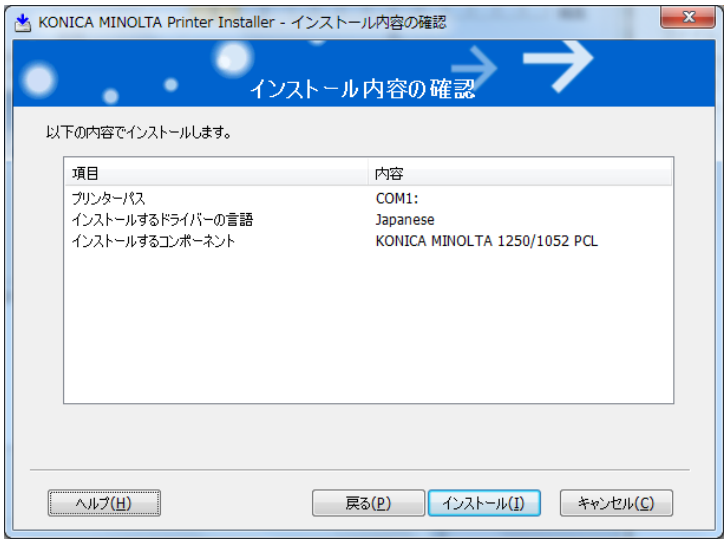
➔ 接続されているプリンター・複合機のうち、プリンタードライバーに対応した機種のみがリストに表示されます。複数台の対象機種が表示される場合は、IP アドレスで確認してください。

➔ 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、画面下部の［上記以外のプリンター / 複合機を指定します。(IP アドレス、共有名など)］を選択し、手動で指定してください。

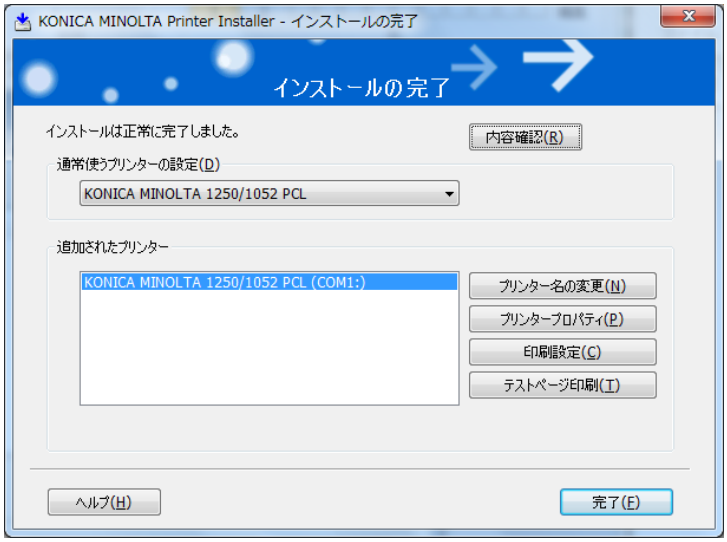
6 インストールするコンポーネントを選択し、［次へ］をクリックします。



7 インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。



8 ［完了］をクリックします。



インストールが完了します。

➔［インストール完了］画面では、インストール項目の確認や設定内容を変更できます。

［内容確認］	インストール内容を確認します。
［プリンター名の変更］	プリンター名を変更します。
［プリンタープロパティ］	プリンターのプロパティ設定を行います。詳しくは、10-2 ページをごらんください。
［印刷設定］	プリンタードライバーの［印刷設定］画面を表示し、各種機能を設定します。詳しくは、10-9 ページをごらんください。
［テストページ印刷］	テスト印刷を行います。

4.2.3 プリンタードライバーをインストール（PS Plug-in ドライバー）

1 PS Plug-in ドライバー用の Driver CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 にインストールする場合、[ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[許可] または [続行] をクリックします。

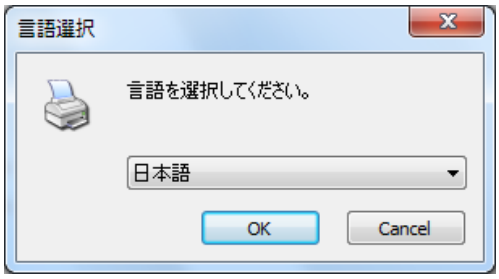
➔ CD メニューが表示されるのを確認し、手順 2 へ進みます。

➔ CD メニューが表示されない場合は、CD-ROM 内にある [Autorun.exe] をダブルクリックし、手順 2 へ進みます。

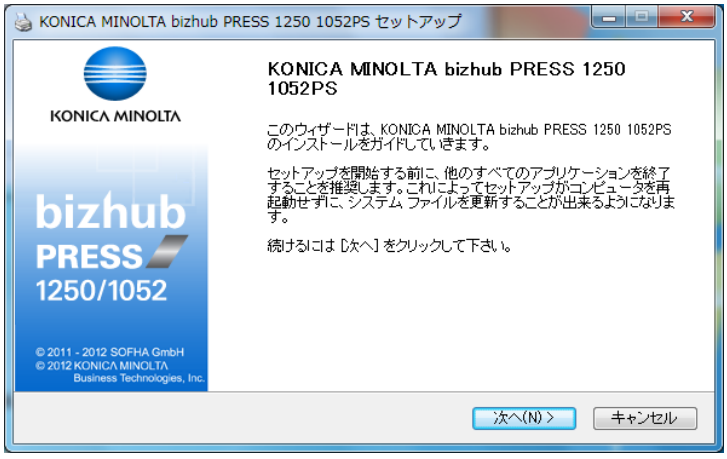
2 画面に従い、必要なプリンタードライバーを選択します。

プリンタードライバーのインストーラーが起動します。

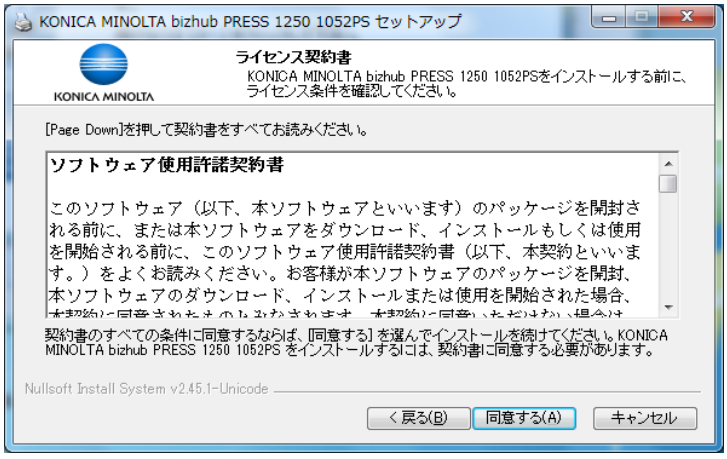
3 言語選択画面で [日本語] を選択し、[OK] をクリックします。



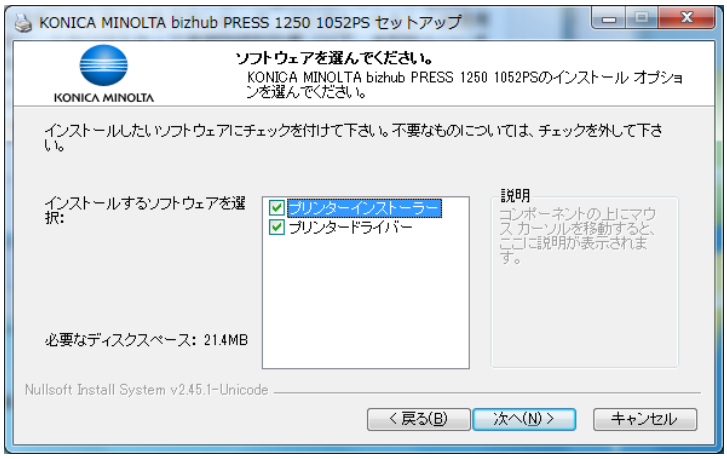
4 [次へ] をクリックします。



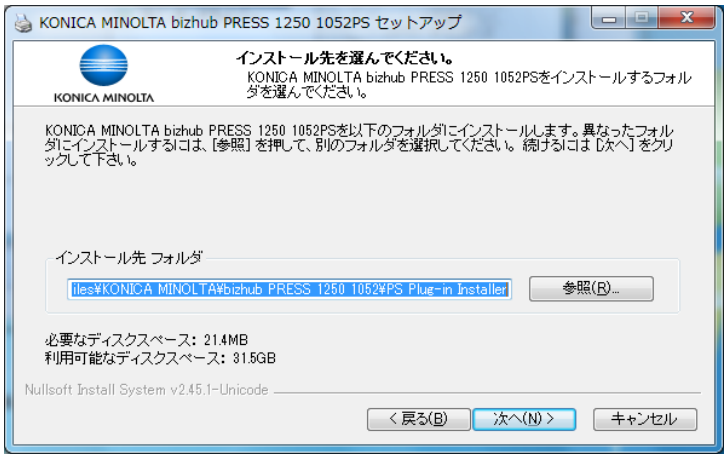
5 [同意する] をクリックします。



6 インストールしたいソフトウェアを選択し、［次へ］をクリックします。



7 インストール先を指定して［次へ］をクリックします。



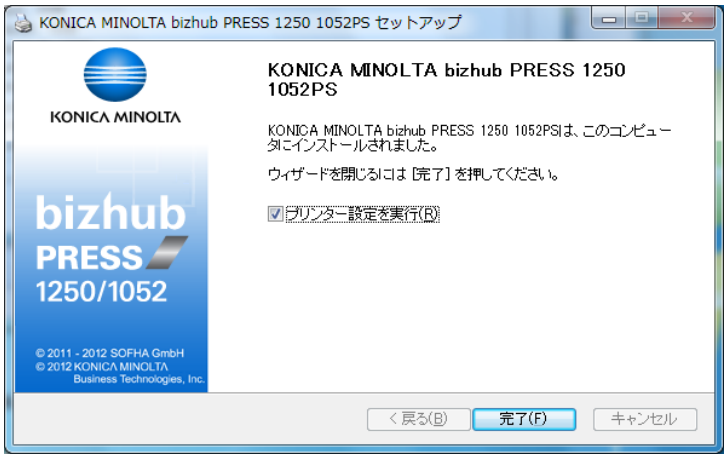
➔ 初期設定では、以下のフォルダに保存されます。
C:￥Program Files￥KONICA MINOLTA￥bizhub PRESS 1250 1052￥PS Plug-in Installer

➔ インストール先を変更するには、［参照］をクリックしてインストール先を指定します。

8 スタートメニューフォルダを選択し、［インストール］をクリックします。



9 ［完了］をクリックします。



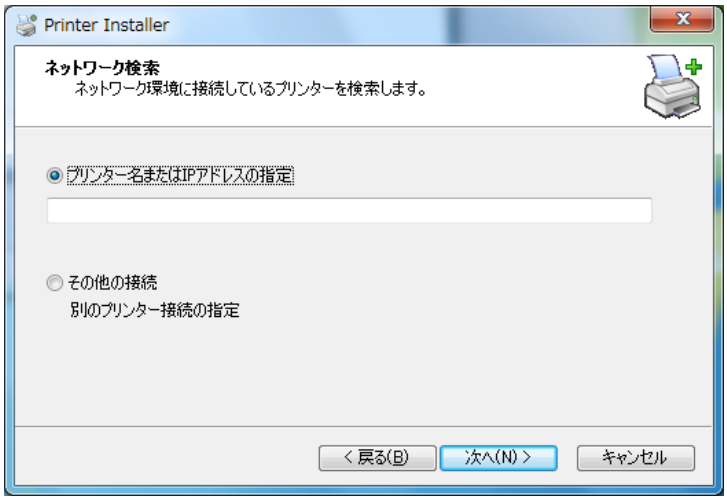
➔ プリンターのインストールを続行するには、［プリンター設定を実行］チェックボックスをオンにして［完了］をクリックします。

➔ ［プリンター設定を実行］チェックボックスをオフにして［完了］をクリックすると、プリンターのインストーラーだけがインストールされて、操作が完了します。

10 ［次へ］をクリックします。



11 プリンター名または IP アドレスを入力して［次へ］をクリックします。

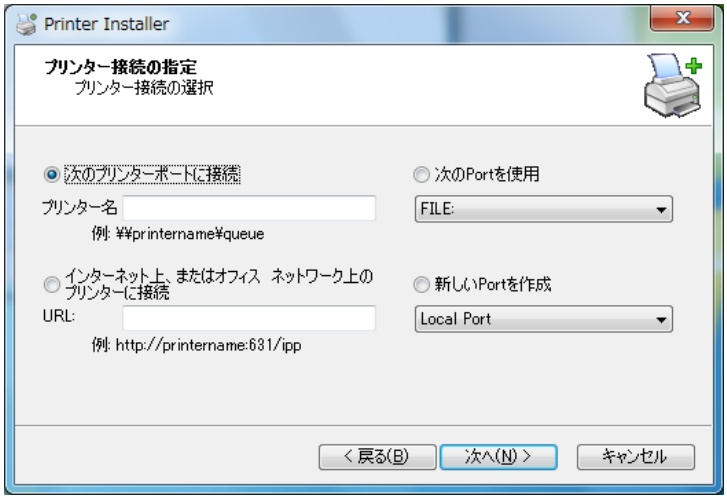


➔ 別のプリンター接続を行う場合は［その他の接続］を選択し、［次へ］をクリックします。

➔ [プリンター名または IP アドレスの指定]：
本体が Windows プリンターとして設定されます。
プリンターは、lpr ポートを使って作成されます。（例：myprinter:print.）

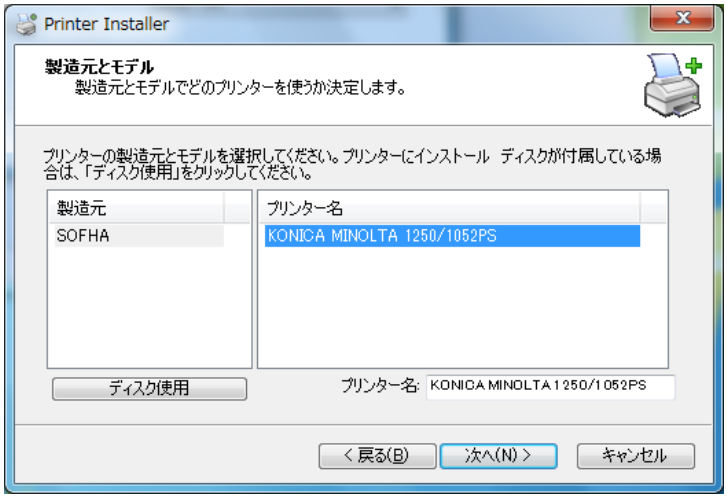
➔ [その他の接続]：
別のプリンター接続（NetBIOS または port9100）を指定します。

12 [その他の接続] を選択した場合は、プリンター接続を指定して [次へ] をクリックします。



➔ ネットワークで DNS を使用している場合には、本機に割当てられているネットワーク名が DNS に保存されているネットワーク名と一致するか管理者が確認する必要があります。

13 プリンター名を選択して [次へ] をクリックします。



➔ インストール可能なプリンターが表示されます。インストールしたいプリンター名が表示されない場合は、[ディスク使用] をクリックして、[Setup.inf] ファイルを選択してください。

14 [完了]をクリックします。



インストールが完了します。

➔ プリンターのインストールが完了したら、アプリケーションの印刷画面からプリンターを選択できます。

5 プリンターの追加ウィザードによる手動インストール

5 プリンターの追加ウィザードによる手動インストール

インストーラーを利用しないで、Windows 標準のプリンター追加機能で Windows プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

5.1 Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7

5.1.1 ネットワーク接続（LPR/Port 9100/SMB）の場合

Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 では、ネットワーク上のプリンターを検索してインストールすることも、プリンターポートを作成してインストールすることもできます。

本機の設定

Port 9100 印刷、LPR 印刷、SMB 印刷を利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。
RAW ポート番号	Port 9100 印刷を利用する場合： 本機の［TCP/IP 設定］で RAW ポート番号（初期設定では［9100］）を使用可能に設定しておきます。
LPD 設定	LPR 印刷を利用する場合： 本機の［LPD 設定］で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。
SMB 設定	SMB 印刷を利用する場合： 本機の［SMB 設定］の［プリント設定］で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。

参照

本機のネットワーク設定については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

IPv6 環境で SMB 印刷を利用するには、本機の［Direct Hosting 設定］を有効にしておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

プリンターの追加でプリンターを検索してプリンタードライバーをインストール

✔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

1 Driver CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［デバイスとプリンター］をクリックします。

→ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

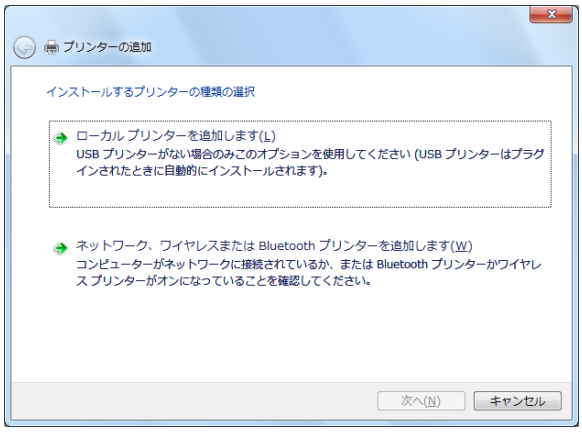
3 ツールバーの［プリンターの追加］を選択します。



➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、ツールバーの［プリンタのインストール］をクリックします。

［プリンターの追加］ウィザードが表示されます。

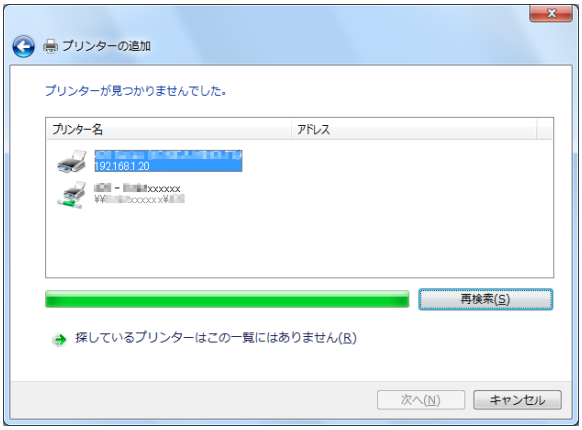
4 ［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します］をクリックします。



接続されているプリンターが検出されます。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF したあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

5 一覧から本機を選択して、［次へ］をクリックします。



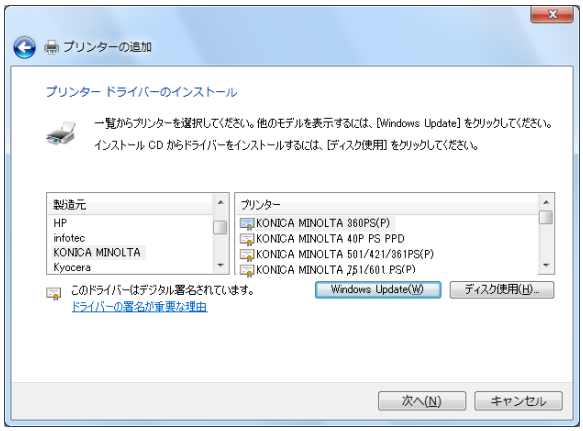
➔ LPR/Port 9100 接続の場合は、IP アドレスのプリンターを選択します。

➔ SMB 接続の場合は、「\\NetBIOS 名 \ プリントサービス名」のプリンターを選択します。
NetBIOS 名、プリントサービス名は、本機の［管理者設定］の［コントローラー設定］-［コントローラー NIC 設定メニュー］－［SMB 設定］－［プリント設定］で確認できます。初期設定では NetBIOS 名の末尾 6 文字が MAC アドレスの後半 3 バイトに対応した値になっています。
MAC アドレスは、［設定情報リスト］で確認できます。［設定情報リスト］の出力方法について詳しくは、15-4 ページをごらんください。

➔ SMB 接続の場合は、[次へ] をクリックしたあとに表示される [プリンタの接続] 画面で、さらに [OK] をクリックします。

➔ すべてのプリンターを検索するまでに時間がかかることがあります。

6 [ディスク使用 ...] をクリックします。



7 [参照 ...] をクリックします。

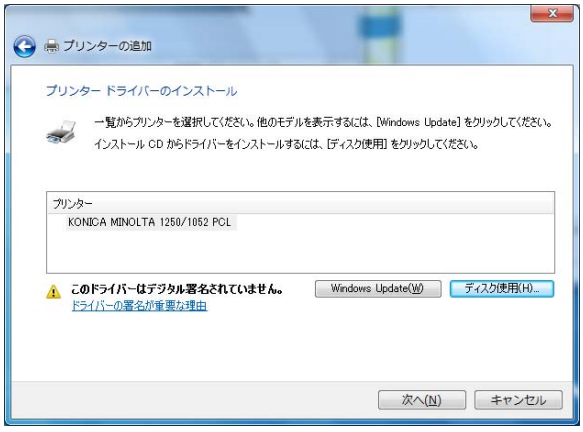
8 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：PS Plug-in ドライバー、PPD ドライバー、PCL ドライバー

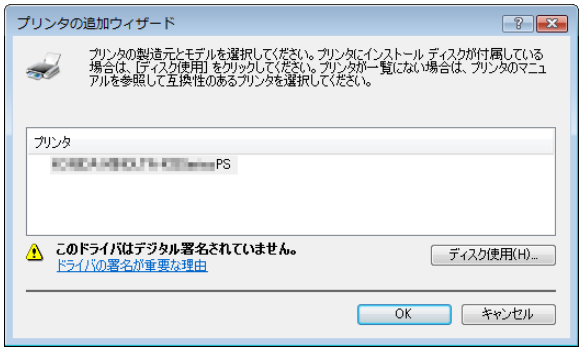
9 [OK] をクリックします。

[プリンタ] リストが表示されます。

10 [次へ] をクリックします。



➔ SMB 接続の場合は、[OK] をクリックします。



11 画面の指示に従って操作します。

➔ [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。

➔ [Windows セキュリティ] の発行元検証に関する画面が表示されるときは、[このドライバ ソフトウェアをインストールします] をクリックします。

12 [完了] をクリックします。

13 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが [デバイスとプリンター] ウィンドウまたは [プリンタ] ウィンドウに表示されていることを確認します。

14 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了します。

プリンターの追加でポートを作成してプリンタードライバーをインストール

✔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

✔ インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にしてください。

1 Driver CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 [スタート] をクリックして、[デバイスとプリンター] をクリックします。

➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、[コントロールパネル] ー [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。[コントロール パネル] がクラシック表示になっている場合は、[プリンタ] をダブルクリックします。

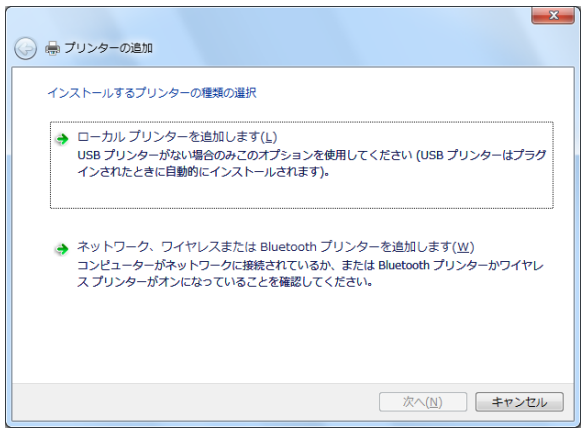
3 ツールバーの [プリンターの追加] を選択します。



➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、ツールバーの [プリンタのインストール] をクリックします。

[プリンターの追加] ウィザードが表示されます。

4 [ローカル プリンターを追加します] をクリックします。



5 [新しいポートの作成] をクリックし、ポートの種類を選択します。

➔ LPR/Port 9100 接続の場合は、[Standard TCP/IP Port] を選択します。
➔ SMB 接続の場合は、[Local Port] を選択します。

6 [次へ] をクリックします。

7 IP アドレスやポートを設定します。

➔ LPR/Port 9100 接続の場合は、[TCP/IP デバイス] を選択し、IP アドレスを入力します。
➔ SMB 接続の場合は、[ポート名] ボックスに「\\NetBIOS 名 \ プリントサービス名」を入力します。
➔ NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の [SMB 設定] の [プリント設定] と同じ名前を入力してください。

8 [次へ] をクリックします。

➔ [ポート情報がさらに必要です] または [追加のポート情報が必要です] 画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
➔ [プリンタ ドライバのインストール] ダイアログボックスが表示される場合は、手順 13 へ進みます。

9 [カスタム] をチェックし、[設定 ...] をクリックします。

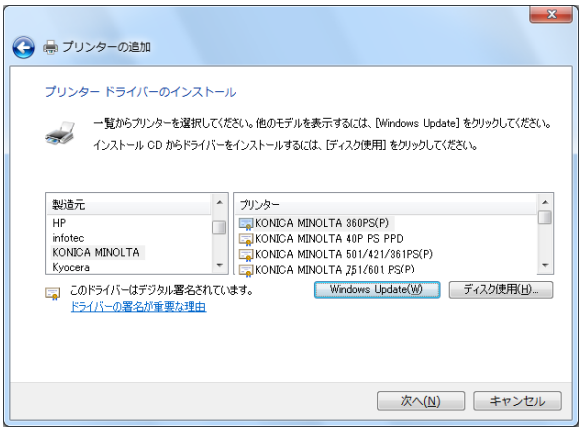
10 ポートにあわせて設定を変更し、[OK] をクリックします。

➔ LPR 接続の場合は、[LPR] をチェックし、[キュー名 :] ボックスに「Print」と入力します。
➔ 大文字、小文字も正確に入力する必要があります。
➔ Port 9100 の場合は、[Raw] をチェックし、[ポート番号 :] ボックスに RAW ポート番号（初期設定では [9100]）を入力します。
➔ 本機で LPR と Port 9100 の両方が有効に設定されている場合、プリンタードライバーと本機は LPR で接続されます。

11 [次へ] をクリックします。

[プリンタ ドライバのインストール] ダイアログボックスが表示されます。

12 [ディスク使用 ...] をクリックします。



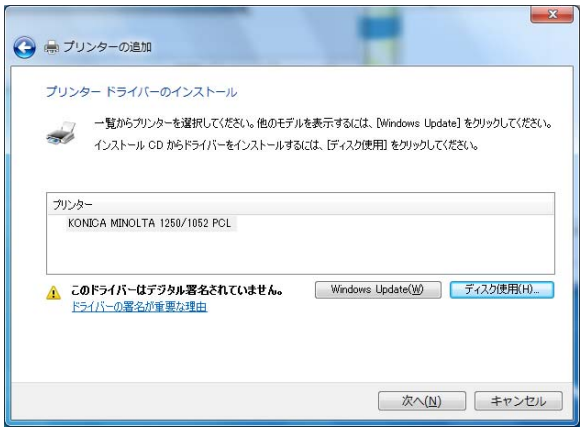
13 [参照 ...] をクリックします。

14 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PS Plug-in ドライバー、PPD ドライバー、PCL ドライバー

15 [OK] をクリックします。

16 [次へ] をクリックします。



17 画面の指示に従って操作します。

➔ [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。

➔ [Windows セキュリティ] の発行元検証に関する画面が表示されるときは、[このドライバ ソフトウェアをインストールします] をクリックします。

18 [完了] をクリックします。

19 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが [デバイスとプリンター] ウィンドウまたは [プリンタ] ウィンドウに表示されていることを確認します。

20 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了します。

5.1.2 ネットワーク接続（IPP/IPPS）の場合

本機の設定

IPP 印刷の場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の [TCP/IP 設定] で IP アドレスを設定しておきます。
IPP 設定	本機の [HTTP サーバー設定] で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機のネットワーク設定については、[ユーザーズガイド POD 管理者編] をごらんください。

IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。本機には自己証明書があらかじめインストールされており、利用できます。詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

プリンターの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

✔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Driver CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 [スタート] をクリックして、[デバイスとプリンター] をクリックします。

➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、[コントロールパネル] – [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。[コントロール パネル] がクラシック表示になっている場合は、[プリンタ] をダブルクリックします。

3 ツールバーの [プリンターの追加] を選択します。



➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、ツールバーの [プリンタのインストール] をクリックします。

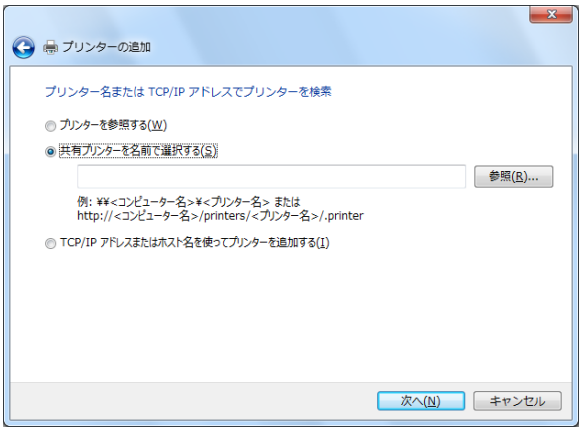
[プリンターの追加] ウィザードが表示されます。

4 [ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します] をクリックします。

接続されているプリンターが検索されます。

5 検索された画面で、[探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックします。

6 [共有プリンターを名前で選択する] ボックスに、以下の形式で、本機の URL を入力し、[次へ] をクリックします。



➔ http:// <本機の IP アドレス> /ipp
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合 http://192.168.1.20/ipp

➔ IPPS 印刷に設定するときは「https:// <ホスト名> . <ドメイン名> /ipp」を入力してください。<ホスト名>. <ドメイン名>は、お使いの DNS サーバーに登録されているものを指定してください。

➔ 本機の証明書が証明機関により発行されたものでない場合は、Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 でコンピューターアカウント用の信頼されたルート証明機関の証明書として本機の証明書を登録しておく必要があります。

➔ 本機に証明書を登録する際、<ホスト名> . <ドメイン名>が証明書のコモンネームに表示されていることを確認してください。

7 [ディスク使用 ...] をクリックします。

8 [参照 ...] をクリックします。

9 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PS Plug-in ドライバー、PPD ドライバー、PCL ドライバー

10 ［OK］をクリックします。

11 ［OK］をクリックします。

12 画面の指示にしたがって操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

➔ ［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバー ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

13 ［完了］をクリックします。

14 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［デバイスとプリンター］ウィンドウまたは［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

15 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了します。

設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。

5.1.3 ネットワーク接続（Web サービスプリント）の場合

Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 では、ネットワーク上にある Web サービスプリント機能に対応したプリンターを検索してインストールできます。

注意

- Windows Server 2008 R2 にて WebService を利用するときは、「印刷とドキュメントサービス」を有効にする必要があります。

参照
プリンタードライバーをインストールしたあとに、異なる種類のプリンタードライバーをインストールする場合は、先に既存のプリンタードライバーをパッケージごとアンインストールしてください。詳しくは、8-4 ページをごらんください。

本機の設定

Web サービスプリントを利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。
Web サービス設定	本機の［Web サービス設定］でプリント機能を使用可能にしておきます。

参照
本機のネットワーク設定については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる

Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 で Web サービスプリントを利用する場合は、プリンタードライバーを先にインストールしてからプラグアンドプレイでプリンタードライバーを認識させます。

✔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 本機のプリンタードライバーをインストールします。

➔ インストーラーまたはプリンターの追加ウィザードでプリンタードライバーをインストールします。
インストールするポートはどのポートでも構いません。
詳しくは、4-7 ページまたは 5-2 ページをごらんください。

2 本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にします。
プリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態にしてください。

3 Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの［ネットワークと共有センター］の［共有の詳細設定の変更］で［ネットワーク探索］が有効になっていることを確認します。

4 ［ネットワーク］ウィンドウを開きます。

➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、［スタート］をクリックして、［ネットワーク］をクリックします。

➔ Windows 7 の場合は、［コンピューター］を開いて、［ネットワーク］をクリックします。
［コンピューター］に［ネットワーク］が表示されないときは、［コントロールパネル］の［ネットワークとインターネット］カテゴリをクリックし、［ネットワークのコンピューターとデバイスの表示］をクリックします。

接続されているコンピューターとデバイスが検索されます。

5 対象のデバイス名を右クリックし、［インストール］を選択します。

➔ デバイス名は、本機の［管理者設定］の［ネットワーク設定］－［コントローラー NIC 設定］－［Web サービス設定］－［プリント設定］で確認できます。初期設定では［プリンター名］の末尾 6 文字が MAC アドレスの後半 3 バイトに対応した値になっています。
MAC アドレスは、［設定情報リスト］で確認できます。［設定情報リスト］の出力方法について
詳しくは、15-4 ページをごらんください。

本機のプリンタードライバーが検索され、印刷の準備が完了します。

6 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［デバイスとプリンター］ウィンドウまたは［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

参考

- プリンタードライバーが正しくインストールされない場合は、［ドライバーの更新 ...］が必要です。
詳しくは、5-15 ページをごらんください。
- Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、先にプリンタードライバーをインストールしていない状態でも、引続きプリンタードライバーのインストールディスクを指定してインストールできます。［新しいハードウェアが見つかりました］画面が表示されたら、画面の指示に従って操作します。詳しくは、次項目の手順 11 ～ 20 をごらんください。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定できません。あらかじめプリンタードライバーをインストールしてください（手順 1）。

プリンターの追加で IP アドレスを指定してプリンタードライバーをインストール

Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、本機を接続してからプリンターの追加機能で Web サービスデバイスを追加できます。

参考

- Windows 7 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定する画面が表示されません。あらかじめプリンタードライバーをインストールし、「ネットワークウィンドウからプリンタードライバーを認識させる」方法で接続してください。

✔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 本機をネットワークに接続した状態で電源を ON にします。
インストール途中でプリンターを検索するため、本機をネットワークに接続した状態にしてください。

2 Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの［ネットワークと共有センター］で［ネットワーク探索］が有効になっていることを確認します。

3 Driver CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

4 ［スタート］をクリックして、［コントロールパネル］をクリックします。

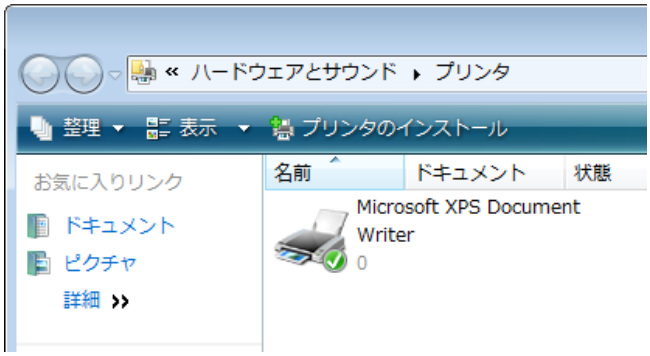
➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、［コントロールパネル］ー［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

5 ［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。

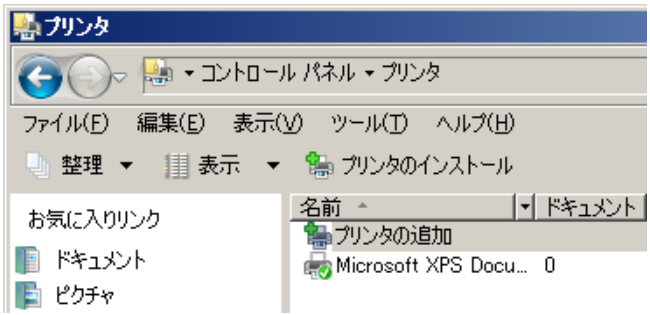
➔ ［コントロールパネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

6 ツールバーの［プリンタのインストール］をクリックします。

➔ Windows Vista の場合：

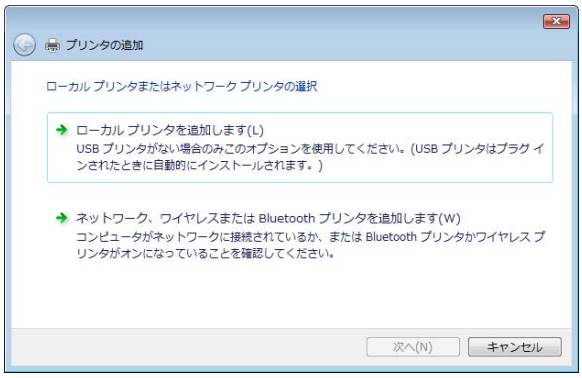


➔ Windows Server 2008/Server 2008 R2 の場合：



［プリンターの追加］ウィザードが表示されます。

7 ［ローカル プリンタを追加します］をクリックします。

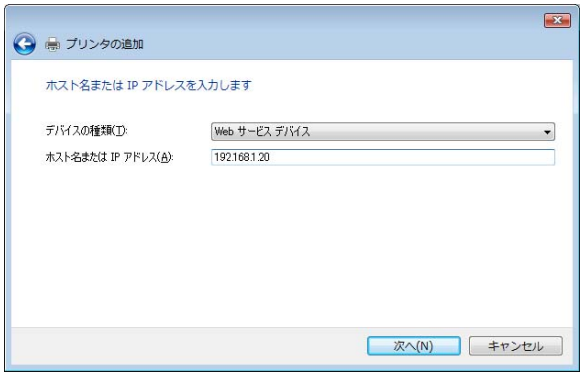


8 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、ポートの種類を選択します。

➔ ［Standard TCP/IP Port］を選択します。

9 ［次へ］をクリックします。

10 ［Web サービスデバイス］を選択し、IP アドレスを入力して［次へ］をクリックします。



入力した IP アドレスの Web サービスプリント機能に対応したプリンターが検索され、［新しいハードウェアが見つかりました］ダイアログボックスが表示されます。

11 ［ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします（推奨）］をクリックします。

12 オンラインで検索するかどうかを確認する画面が表示されるときは、［オンラインで検索しません］をクリックします。

13 ［コンピューターを参照してドライバ ソフトウェアを検索します（上級）］をクリックします。

14 ［参照 ...］をクリックします。

15 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PS Plug-in ドライバー、PPD ドライバー、PCL ドライバー

16 ［次へ］をクリックします。

17 画面の指示に従って操作します。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］をクリックします。
➔ ［Windows セキュリティ］の発行元検証に関する画面が表示されるときは、［このドライバ ソフトウェアをインストールします］をクリックします。

18 ［閉じる］をクリックします。

19 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタ］ウィンドウに表示されていることを確認します。

20 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了します。

5.1.4 ローカル接続の場合

インストール済みのプリンタードライバーを認識させる

Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 で USB ポートに接続する場合は、プリンタードライバーを先にインストールしてからプラグアンドプレイでプリンタードライバーを認識させます。

1 本機のプリンタードライバーをインストールします。

➔ インストーラーまたはプリンターの追加ウィザードでプリンタードライバーをインストールします。
プリンターの追加ウィザードを利用する場合は、[プリンタ ポートの選択] で接続する USB ポートを選択してください。
詳しくは、4-7 ページまたは 5-5 ページをごらんください。

2 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続します。

3 本機の主電源を入れます。

本機のプリンタードライバーが検索され、印刷の準備が完了します。

➔ プリンタードライバーが検索されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

4 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが [デバイスとプリンター] ウィンドウまたは [プリンタ] ウィンドウに表示されていることを確認します。

参考

- プリンタードライバーが正しくインストールされない場合は、[ドライバーの更新 ...] が必要です。
詳しくは、5-15 ページをごらんください。

接続時にプリンタードライバーをインストールする

Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、本機を接続してからプリンタードライバーをインストールできます。

参考

- Windows 7 の場合は、接続したあとにインストールディスクを指定する画面が表示されません。あらかじめプリンタードライバーをインストールし、「インストール済みのプリンタードライバーを認識させる」方法で接続してください。

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

重要
コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

2 本機の主電源を入れます。

[新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログが表示されます。

➔ [新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

3 [ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします（推奨）] をクリックします。

ディスク（CD-ROM）を要求するダイアログが表示されます。

➔ ディスク（CD-ROM）がない場合は、[ディスクはありません 他の方法を試します] をクリックします。次の画面で [コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します（上級）] を選択して目的のプリンタードライバーフォルダーを指定してください。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

4 Driver CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

ディスク内の情報が検索され、本機に対応するソフトウェアの一覧が表示されます。

5 目的のプリンタードライバー名を指定し、[次へ] をクリックします。

➔ 選択できるプリンタードライバー：
PS Plug-in ドライバー、PPD ドライバー、PCL ドライバー

6 画面の指示に従って操作します。

➔ [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。

7 インストールが終了したら [閉じる] をクリックします。

8 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示されていることを確認します。

➔ [Windows セキュリティ] の発行元検証に関する画面が表示されるときは、[このドライバ ソフトウェアをインストールします] をクリックします。

9 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了します。

接続後にドライバーを更新する

Windows 7 でプリンタードライバーを先にインストールせずに本機を接続した場合、プリンタードライバーが正しく認識されません。この場合は、[ドライバーの更新 ...] が必要です。

1 [スタート] をクリックして、[デバイスとプリンター] クリックします。

2 [未指定] カテゴリに表示されている本機のデバイス名を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

➔ 本機のデバイス名ではなく [不明なデバイス（Unknown Device)] と表示されているときは、右クリックでデバイスを削除してから、プリンタードライバーをインストールしてください。本機との接続は、「プリンタードライバーを認識させる」方法で接続してください。詳しくは、5-10 ページまたは 5-13 ページをごらんください。

3 [ハードウェア] タブの [プロパティ] をクリックします。

4 [全般] タブの [設定の変更] をクリックします。

5 [ドライバー] タブの [ドライバーの更新 ...] をクリックします。

6 ドライバーソフトウェアの検索方法を選択する画面で [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します] をクリックします。

7 [参照 ...] をクリックします。

8 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[OK] をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PS Plug-in ドライバー、PPD ドライバー、PCL ドライバー

9 [次へ] をクリックします。

10 画面の指示に従って操作します。

➔ [Windows セキュリティ] の発行元検証に関する画面が表示されるときは、[このドライバー ソフトウェアをインストールします] をクリックします。

11 [閉じる] をクリックします。

12 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが [デバイスとプリンター] ウィンドウに表示されていることを確認します。

13 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取出します。
これで、プリンタードライバーの更新が完了します。

参考

- Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 でも、[ドライバの更新 ...] を利用できます。Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、[デバイスマネージャ] で [ほかのデバイス] に表示されている本機の [プロパティ] を開くと、[ドライバの更新 ...] が指定できます。[デバイスマネージャ] は、[コンピュータ] を右クリックして [プロパティ] をクリックし、表示される [タスク] で選択できます。

5.2 Windows XP/Server 2003

5.2.1 ネットワーク接続（LPR/Port 9100）の場合

LPR/Port 9100 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

本機の設定

Port 9100 印刷、LPR 印刷を利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。
RAW ポート番号	Port 9100 印刷を利用する場合： 本機の［TCP/IP 設定］で RAW ポート番号（初期設定では［9100］）を使用可能に設定しておきます。
LPD 設定	LPR 印刷を利用する場合： 本機の［LPD 設定］で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照
本機のネットワーク設定については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

プリンターの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

✔ Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Driver CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［プリンタと FAX］をクリックします。

➔ ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］を選び、さらに［プリンタと FAX］を選びます。

3 Windows XP の場合は、［プリンタのタスク］メニューから［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

Windows XP の場合：



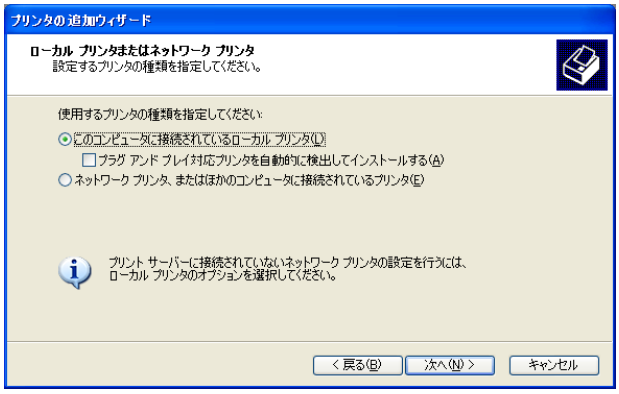
Windows Server 2003 の場合：



［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

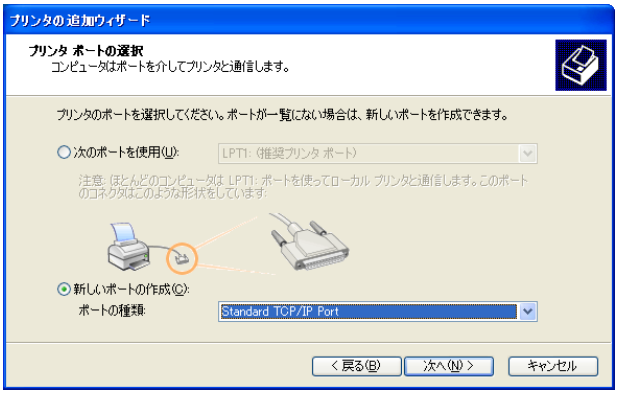
4 ［次へ >］をクリックします。

5 ［このコンピュータに接続されているローカル プリンタ］を選択し、［次へ >］をクリックします。



➔ ［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外しておきます。

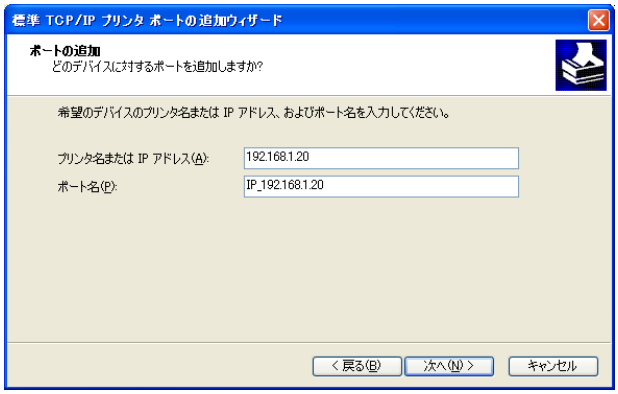
6 ［新しいポートの作成 :］を選択し、［ポートの種類 :］で［Standard TCP/IP Port］を選択します。



7 ［次へ >］をクリックします。

8 ［次へ >］をクリックします。

9 ［プリンタ名または IP アドレス :］ボックスに本機の IP アドレスを入力し、［次へ >］をクリックします。



➔ ［ポート情報がさらに必要です］画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
➔ ［完了］画面が表示される場合は、手順 13 へ進みます。

10 ［カスタム］をチェックし、［設定 :］をクリックします。

11 ポートにあわせて設定を変更し、［OK］をクリックします。

➔ LPR 接続の場合は、［LPR］をチェックし、［キュー名 :］ボックスに「Print」と入力します。
➔ 大文字、小文字も正確に入力する必要があります。

➔ Port 9100 の場合は、[Raw] をチェックし、[ポート番号 :] ボックスに RAW ポート番号（初期設定では [9100]）を入力します。

12 [次へ >] をクリックします。

13 [完了] をクリックします。

14 [ディスク使用 ...] をクリックします。

15 [参照 ...] をクリックします。

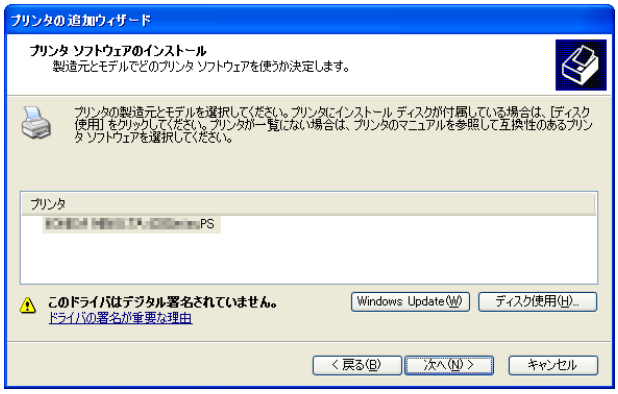
16 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS Plug-in ドライバー、PPD ドライバー

17 [OK] をクリックします。

[プリンタ] リストが表示されます。

18 [次へ >] をクリックします。



19 画面の指示に従って操作します。

➔ ネットワーク接続の場合は、ネットワーク設定完了後にテスト印刷を行ってください。

20 [完了] をクリックします。

➔ 「Windows ロゴ テスト」、[デジタル署名] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。

21 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタと FAX] ウィンドウに表示されていることを確認します。

22 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了します。

5.2.2 ネットワーク接続（SMB）の場合

SMB 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でプリンターを指定してポートを設定します。プリンターはネットワークを検索して選択することも、直接プリンター名を入力することもできます。

本機の設定

SMB 印刷を利用する場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の［TCP/IP 設定］で IP アドレスを設定しておきます。
SMB 設定	SMB 印刷を利用する場合： 本機の［SMB 設定］の［プリント設定］で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。

参照

本機のネットワーク設定については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

IPv6 環境で SMB 印刷を利用するには、本機の［DirectHosting 設定］を有効にしておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

プリンターの追加ウィザードでプリンターを指定してプリンタードライバーをインストール

✔ Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Driver CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［プリンタと FAX］をクリックします。

➔ ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］を選び、さらに［プリンタと FAX］を選びます。

3 Windows XP の場合は、［プリンタのタスク］メニューから［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

Windows XP の場合：



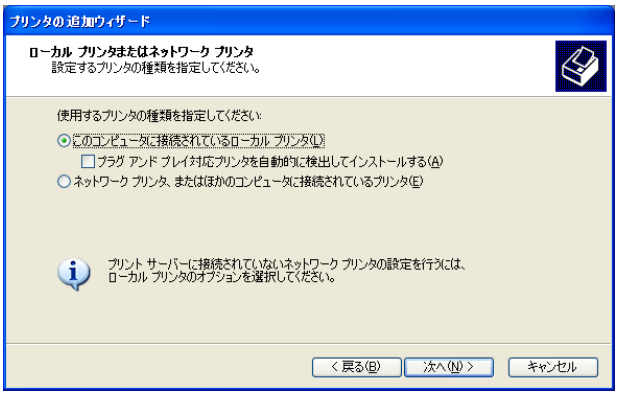
Windows Server 2003 の場合：



［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

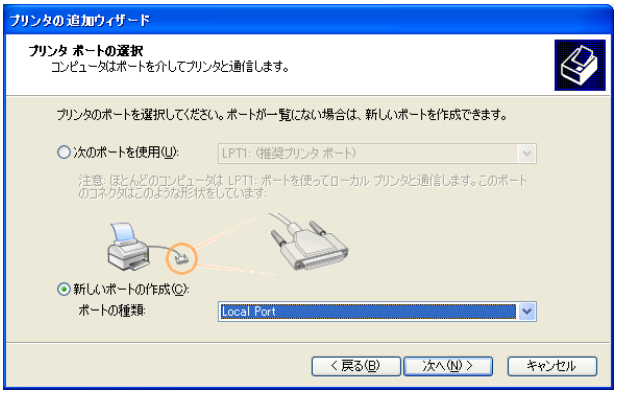
4 ［次へ >］をクリックします。

5 ［このコンピュータに接続されているローカル プリンタ］を選択し、［次へ >］をクリックします。



➔ ［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外しておきます。

6 ［新しいポートの作成 :］をクリックし、［ポートの種類 :］で［Local Port］を選択して［次へ >］をクリックします。



7 ［ポート名］ボックスに「\\NetBIOS 名 \ プリントサービス名」入力します。

➔ NetBIOS 名とプリントサービス名は、本機の［SMB 設定］の［プリント設定］と同じ名前を入力してください。

8 ［OK］をクリックします。

9 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

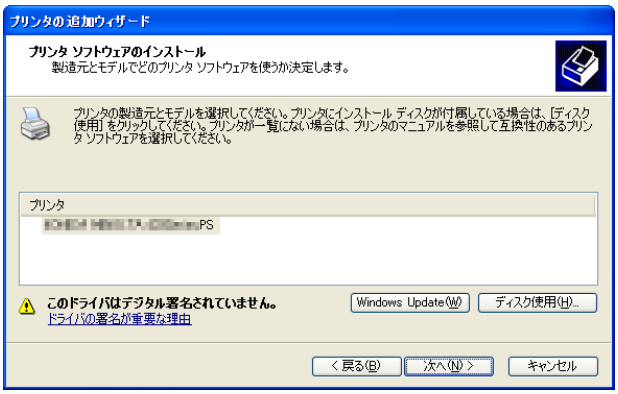
10 ［参照 ...］をクリックします。

11 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー :
PCL ドライバー、PS Plug-in ドライバー、PPD ドライバー

12 ［OK］をクリックします。

13 [次へ >] をクリックします。



14 画面の指示に従って操作します。

➔ ネットワーク接続の場合は、ネットワーク設定完了後にテスト印刷を行ってください。

15 [完了] をクリックします。

➔ 「Windows ロゴ テスト」、[デジタル署名] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。

16 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタと FAX] ウィンドウに表示されていることを確認します。

17 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了します。

5.2.3 ネットワーク接続（IPP/IPPS）の場合

IPP 印刷の場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

本機の設定

IPP 印刷の場合は、あらかじめ本機のネットワーク設定が必要です。

設定する項目	説明
IP アドレス	本機の [TCP/IP 設定] で IP アドレスを設定しておきます。
IPP 設定	本機の [HTTP サーバー設定] で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機のネットワーク設定については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

IPPS 印刷を利用する場合は、本機に証明書を登録しておく必要があります。本機では、あらかじめインストールされている自己証明書を利用できます。詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

プリンターの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

✔ Windows XP/Server 2003 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Driver CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［プリンタと FAX］をクリックします。

➔ ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］を選び、さらに［プリンタと FAX］を選びます。

3 Windows XP の場合は、［プリンタのタスク］メニューから［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

4 ［次へ >］をクリックします。

5 ［ローカル プリンタまたはネットワーク プリンタ］画面で、［ネットワーク プリンタまたはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ >］をクリックします。

6 ［プリンタの指定］画面で、［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択します。

7 ［URL:］フィールドに、以下の形式で、本機の URL を入力し、［次へ >］をクリックします。

➔ http:// <本機の IP アドレス> /ipp
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合 http://192.168.1.20/ipp

➔ IPPS 印刷に設定するときは「https:// <本機の IP アドレス> /ipp」を入力してください。

➔ ［次へ >］をクリックしたあとに、確認のダイアログが表示される場合は、［OK］をクリックします。

8 ［ディスク使用 ...］をクリックします。

9 ［参照 ...］をクリックします。

10 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［開く］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
PCL ドライバー、PS Plug-in ドライバー、PPD ドライバー

11 ［OK］をクリックします。

［プリンタ］リストが表示されます。

12 ［OK］をクリックします。

13 画面の指示に従って操作します。

14 ［完了］をクリックします。

➔ 「Windows ロゴ テスト」、［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

15 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタと FAX］ウィンドウに表示されていることを確認します。

16 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了します。

設定が完了したプリンターは、通常のローカルプリンターと同様に使用できます。

5.2.4 ローカル接続の場合

USB ポートで接続する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールできます。

参考

- USB 接続の場合、プラグアンドプレイが簡単ですが、プリンターの追加ウィザードでもプリンタードライバーをインストールできます。プリンターの追加ウィザードを利用する場合は、［プリンタポートの選択］で接続する USB ポートを選択してください。

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

重要
コンピューターの起動中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。

2 Driver CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

3 本機の主電源を入れます。

［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログが表示されます。

➔ ［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログが表示されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

➔ 「Windows アップデートに接続する」画面が表示された場合は、［いいえ、今回は接続しません］を選択します。

4 ［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択し、［次へ >］をクリックします。

5 ［次の場所で最適のドライバを検索する］から［次の場所を含める :］を選択し、［参照］をクリックします。

6 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定し、［OK］をクリックします。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー :
PCL ドライバー、PS Plug-in ドライバー、PPD ドライバー

7 ［次へ >］をクリックし、画面の指示に従って操作します。

8 ［完了］をクリックします。

➔ 「Windows ロゴ テスト」、［デジタル署名］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

9 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが［プリンタと FAX］ウィンドウに表示されていることを確認します。

10 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了します。

6 Macintosh のインストール

6 Macintosh のインストール

Macintosh を使用する場合に必要な設定と Macintosh 用プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

6.1 Mac OS X 用プリンタードライバーについて

Mac OS X では、以下の 2 種類プリンタードライバーが用意されています。

- PS Plug-in ドライバー（Mac OS 10.4/105/10.6）
- PS PPD ドライバー（Mac OS 10.3/10.4/10.5/10.6）

6.1.1 PS Plug-in ドライバーのインストール

✔ 既にプリンタードライバーがインストールされている場合は、必ずプリンタードライバーを削除してからインストールを行ってください。プリンタードライバーを削除する方法について詳しくは、8-6 ページをご覧ください。

1 Macintosh を起動します。

2 Driver CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

➔ アプリケーションソフトが起動しているときは、すべて終了しておきます。

3 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを開きます。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

4 [bizhub PRESS 1250 1052PS.pkg] をデスクトップにコピーします。

5 デスクトップにコピーしたファイルをダブルクリックします。

インストーラーが起動します。

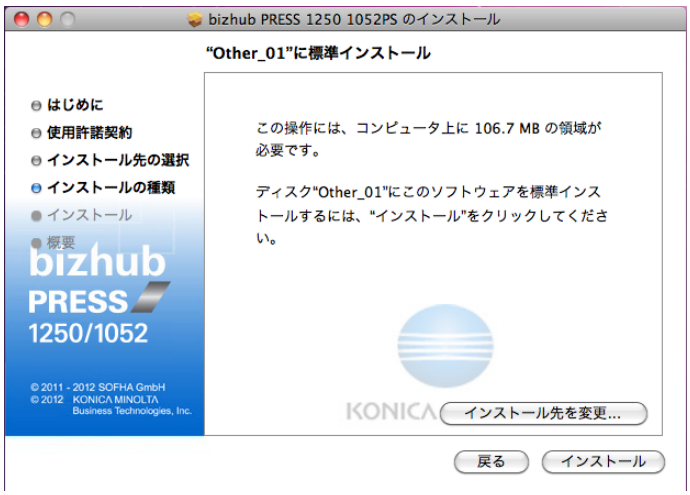
➔ [キャンセル] を押すと、インストーラーは終了します。

6 [インストール] 画面が表示されるまで、画面の指示にしたがって [続ける] をクリックします。

➔ 途中で、名前とパスワードが要求された場合、コンピューターの管理者名とパスワードを入力してください。

7 [インストール] 画面で、[インストール] をクリックします。

プリンタードライバーがコンピューターにインストールされます。インストールが終了すると、メッセージが表示されます。



➔ OS X 10.4 の場合、2 回目以降のインストールでは、[インストール] ボタンが [アップグレード] に変わることがあります。

➔ 複数のハードディスクがある場合は、[インストール] 画面で [インストール先を変更] というボタンが表示されますが、ここでは使用しません。

8 [閉じる] をクリックします。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了します。

続いて、プリンターの選択と接続を行います。(6-5 ページを参照)

6.1.2 PS PPD ドライバーのインストール

✔ 既にプリンタードライバーがインストールされている場合は、必ずプリンタードライバーを削除してからインストールを行ってください。プリンタードライバーを削除する方法について詳しくは、8-6 ページをご覧ください。

1 Macintosh を起動します。

2 Driver CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

➔ アプリケーションソフトが起動しているときは、すべて終了しておきます。

3 CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを開きます。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。

4 使用するプリンタードライバーを OS のバージョンに応じて選択し、デスクトップにコピーします。

プリンタードライバーのパッケージファイルの末尾の 3 桁が対応 OS を表しています。
例：[106] の場合は、OS X 10.6 が対応 OS となります。

➔ KONICAMINOLTA_1250_xxx.pkg

5 デスクトップにコピーしたファイルをダブルクリックします。

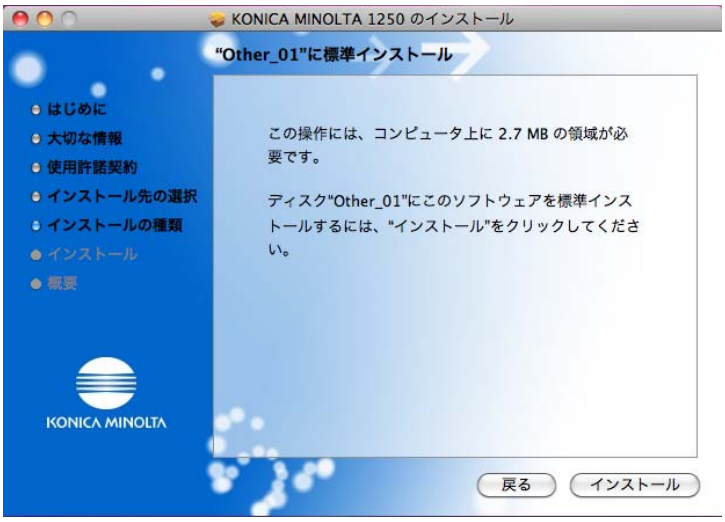
インストーラーが起動します。

➔ [キャンセル] を押すと、インストーラーは終了します。

6 [インストール] 画面が表示されるまで、画面の指示にしたがって [続ける] をクリックします。

➔ 途中で、名前とパスワードが要求されますのでコンピューターの管理者名とパスワードを入力してください。

7 [インストール] 画面で、[インストール] をクリックします。



プリンタードライバーがコンピューターにインストールされます。インストールが終了すると、メッセージが表示されます。

➔ OS X 10.3/10.4 の場合、2 回目以降のインストールでは、[インストール] ボタンが [アップグレード] に変わることがあります。

8 [閉じる] をクリックします。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了します。

続いて、プリンターの選択をしてください。(6-5 ページを参照)

6.1.3 プリンターの選択と接続

OS X 10.4/10.5/10.6 は、Bonjour、LPR（LPD）、IPP で接続できます。

OS X 10.4/10.5 は AppleTalk でも接続できます。

本機のネットワーク設定を行ったあと、［プリントとファクス］で使用するプリンターとして選択すると、印刷できるようになります。

Bonjour を設定する

本機の Bonjour 設定

Bonjour を利用する場合は、本機の［Bonjour 設定］で Bonjour を使用可能に設定し、Bonjour 名を入力しておきます。

参照
本機の［Bonjour 設定］については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

プリンターの追加

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［プリントとファクス］アイコンをクリックします。

3 ［プリントとファクス］画面で［+］をクリックします。

4 ［デフォルト］をクリックします。

接続されているプリンターが検出されます。

➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

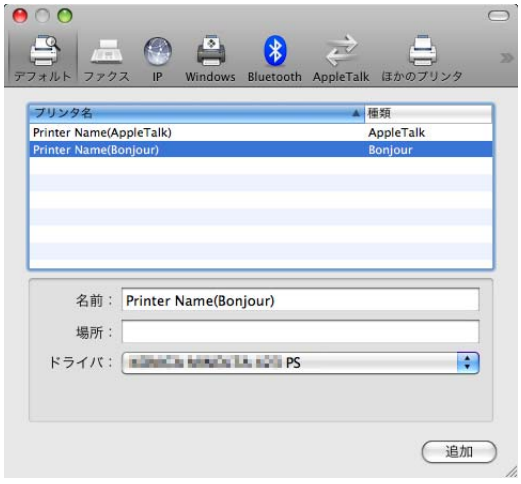
5 ［プリンタ名］一覧から Bonjour 接続された目的の機種名を選択します。

選択したプリンター名に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。

➔ プリンター名は、本機の［管理者設定］の［ネットワーク設定］－［コントローラー NIC 設定］－［Bonjour 設定］で確認できます。初期設定では［Bonjour 名］の最後の（ ）内が MAC アドレスの後半 3 バイトに対応した値になっています。画面では「Printer Name(Bonjour)」に変更した例で説明しています。

➔ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 7 へ進みます。

➔ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 6 へ進みます。

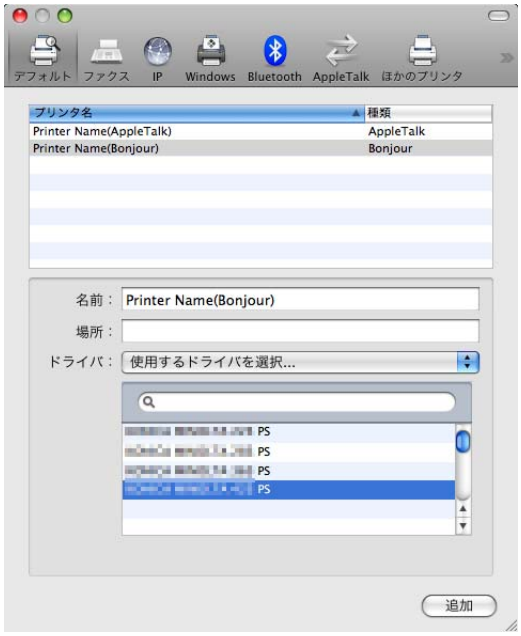


6 プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ OS X 10.6 の場合は、［ドライバ :］で［プリンタソフトウェアを選択 ...］を選択し、別ウィンドウで表示される一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

➔ OS X 10.5 の場合は、[ドライバ :] で [使用するドライバを選択 ...] を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

➔ OS X 10.4 の場合は、[使用するドライバ :] で [KONICA MINOLTA] を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。



➔ プリンタードライバーは以下の名称を選択します。
PS Plug-in ドライバー：KONICA MINOLTA 1250/1052PS
PS PPD ドライバー：KONICA MINOLTA 1250/1052 PS(P)

7 [追加] をクリックします。

選択したプリンターが [プリントとファクス] に登録されると、設定は終了です。

参考

- OS X 10.4 の場合は、[プリンタ設定ユーティリティ] 画面から [追加] をクリックしてもプリンターを追加できます。

AppleTalk を設定する

本機の AppleTalk 設定

AppleTalk を利用する場合は、本機の［AppleTalk 設定］で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンター名を入力しておきます。

重要

- Mac OS X 10.6 は、AppleTalk には対応していません。

参照

本機の［AppleTalk 設定］については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

コンピューターの AppleTalk 設定

接続している Macintosh で AppleTalk を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 イーサネットの設定画面を表示します。

➔ OS X 10.5 の場合は、［Ethernet］を選択し、［詳細 ...］をクリックします。
➔ OS X 10.4 の場合は、［内蔵 Ethernet］を選択し、［設定 ...］をクリックします。

4 ［AppleTalk］タブをクリックし、AppleTalk を有効にします。

5 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ ［このサービスには未保存の変更があります］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［プリントとファクス］アイコンをクリックします。

3 ［プリントとファクス］画面で［+］をクリックします。

4 ［デフォルト］をクリックします。

接続されているプリンターが検出されます。

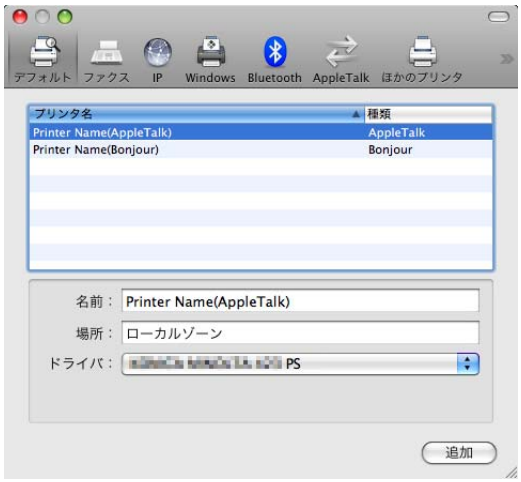
➔ プリンターが検出されない場合は、本機の電源を OFF/ON してください。
電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

5 ［プリンタ名］一覧から AppleTalk 接続された目的の機種名を選択します。

選択したプリンター名に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。

➔ プリンター名は、本機の［管理者設定］の［ネットワーク設定］－［コントローラー NIC 設定］－［AppleTalk 設定］で確認できます。初期設定では［プリンター名］の最後の末尾 6 文字が MAC アドレスの後半 3 バイトに対応した値になっています。画面では「Printer Name(AppleTalk)」に変更した例で説明しています。
➔ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 7 へ進みます。

➔ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 6 へ進みます。



6 プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ OS X 10.5 の場合は、[ドライバ :] で [使用するドライバを選択 ...] を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

➔ OS X 10.4 の場合は、[使用するドライバ :] で [KONICA MINOLTA] を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。



➔ プリンタードライバーは以下の名称を選択します。
PS Plug-in ドライバー：KONICA MINOLTA 1250/1052PS
PS PPD ドライバー：KONICA MINOLTA 1250/1052 PS(P)

7 [追加] をクリックします。

選択したプリンターが [プリントとファクス] に登録されると、設定は終了です。

参考

- OS X 10.4 の場合は、[プリンタ設定ユーティリティ] 画面から [追加] をクリックしてもプリンターを追加できます。

LPR を設定する

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の［LPD 設定］で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

本機の［LPD 設定］については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 イーサネットの設定画面を表示します。

➔ OS X 10.5/10.6 の場合は、［Ethernet］を選択し、［詳細 ...］をクリックします。
➔ OS X 10.4 の場合は、［内蔵 Ethernet］を選択し、［設定 ...］をクリックします。

4 ［TCP/IP］タブをクリックします。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、設定方法と IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ ［このサービスには未保存の変更があります］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［プリントとファクス］アイコンをクリックします。

3 ［プリントとファクス］画面で［+］をクリックします。

4 ［IP］または［IP プリンタ］をクリックします。

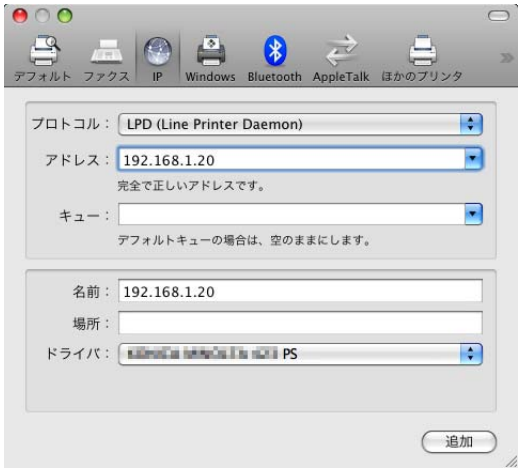
5 ［プロトコル :］で［LPD（Line Printer Daemon）］を選択します。

6 ［アドレス :］に本機の IP アドレスを入力します。

IP アドレスで検出された本機に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。

➔ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 8 へ進みます。

➔ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 7 へ進みます。



7 プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ OS X 10.6 の場合は、［ドライバ :］で［プリンタソフトウェアを選択 ...］を選択し、別ウィンドウで表示される一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

➔ OS X 10.5 の場合は、［ドライバ :］で［使用するドライバを選択 ...］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

➔ OS X 10.4 の場合は、［使用するドライバ :］で［KONICA MINOLTA］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。



➔ プリンタードライバーは以下の名称を選択します。
PS Plug-in ドライバー：KONICA MINOLTA 1250/1052PS
PS PPD ドライバー：KONICA MINOLTA 1250/1052 PS(P)

8 ［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリントとファクス］に登録されると、設定は終了です。

参考

- OS X 10.4 の場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］画面から［追加］をクリックしてもプリンターを追加できます。

IPP を設定する

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の HTTP サーバー設定

本機の［HTTP サーバー設定］で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

本機の［HTTP サーバー設定］については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 イーサネットの設定画面を表示します。

➔ OS X 10.5/10.6 の場合は、［Ethernet］を選択し、［詳細 ...］をクリックします。

➔ OS X 10.4 の場合は、［内蔵 Ethernet］を選択し、［設定 ...］をクリックします。

4 ［TCP/IP］タブをクリックします。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、設定方法と IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ ［このサービスには未保存の変更があります］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［プリントとファクス］アイコンをクリックします。

3 ［プリントとファクス］画面で［+］をクリックします。

［プリンタブラウザ］が表示されます。

4 ［IP］または［IP プリンタ］をクリックします。

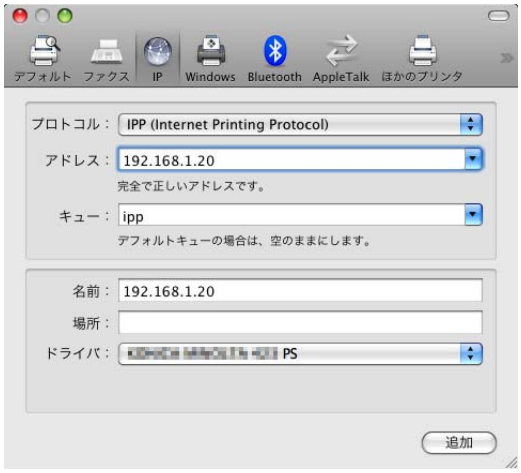
5 ［プロトコル :］で［IPP（Internet Printing Protocol）］を選択します。

6 ［アドレス :］に本機の IP アドレスを入力し、［キュー :］に「ipp」を入力します。

IP アドレスで検出された本機に対応するプリンタードライバーが自動で選択されます。

➔ プリンタードライバーが選択された場合は、手順 8 へ進みます。

➔ プリンタードライバーが正しく選択されない場合は、手順 7 へ進みます。



7 プリンタードライバーを手動で選択します。

➔ OS X 10.6 の場合は、［ドライバ :］で［プリンタソフトウェアを選択 ...］を選択し、別ウィンドウで表示される一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

➔ OS X 10.5 の場合は、［ドライバ :］で［使用するドライバを選択 ...］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。

➔ OS X 10.4 の場合は、［使用するドライバ :］で［KONICA MINOLTA］を選択し、一覧から目的の機種名のプリンタードライバーを選択します。



➔ プリンタードライバーは以下の名称を選択します。
PS Plug-in ドライバー：KONICA MINOLTA 1250/1052PS
PS PPD ドライバー：KONICA MINOLTA 1250/1052 PS(P)

8 ［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリントとファクス］に登録されると、設定は終了です。

参考

- OS X 10.4 の場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］画面から［追加］をクリックしてもプリンターを追加できます。

6.1.4 プリンターの選択と接続（OS X 10.3）

OS 10.3 は、Rendezvous、AppleTalk、LPR（LPD）、IPP で接続できます。本機のネットワーク設定を行ったあと、［プリンタ設定ユーティリティ］で使用するプリンターとして選択すると、印刷できるようになります。

Rendezvous を設定する

本機の Bonjour 設定

本機の［Bonjour 設定］で Bonjour を使用可能に設定し、Bonjour 名を入力しておきます。

Mac OS 10.3 では、「Bonjour」のことを「Rendezvous」と呼んでいます。

参照
本機の［Bonjour 設定］については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

プリンターの追加

1 インストールされた［HDD］−［アプリケーション］−［ユーティリティ］内にある［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックして開きます。

2 ［プリンタの追加］画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、［追加］をクリックします。

3 接続方法に［Rendezvous］を選択し、検出された目的のプリンター名を選択します。

4 ［プリンタの機種］で［KONICA MINOLTA］を選択し、機種一覧から［KONICA MINOLTA 1250 / 1052PS(P)］を選択して［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリンタリスト］に登録されると、設定は終了です。

AppleTalk を設定する

本機の AppleTalk 設定

本機の［AppleTalk 設定］で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンター名を入力しておきます。

参照
本機の［AppleTalk 設定］については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

コンピューターの AppleTalk 設定

接続している Macintosh で AppleTalk を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 ［表示］で［内蔵 Ethernet］を選択します。

4 ［AppleTalk］タブをクリックし、AppleTalk を有効にします。

5 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ ［設定の変更を適用しますか？］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 インストールされた［HDD］−［アプリケーション］−［ユーティリティ］内にある［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックして開きます。

2 ［プリンタの追加］画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、［追加］をクリックします。

3 接続方法に［AppleTalk］を選択し、検出された目的のプリンター名を選択します。

4 ［プリンタの機種］で［KONICA MINOLTA］を選択し、機種一覧から［KONICA MINOLTA 1250/1052 PS(P)］を選択して［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリンタリスト］に登録されると、設定は終了です。

LPR を設定する

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、本機の［LPD 設定］で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

本機の［LPD 設定］については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 ［表示］で［内蔵 Ethernet］を選択します。

4 ［TCP/IP］タブをクリックします。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、設定方法と IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ ［設定の変更を適用しますか？］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 インストールされた［HDD］−［アプリケーション］−［ユーティリティ］内にある［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックして開きます。

2 ［プリンタの追加］画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、［追加］をクリックします。

3 ［IP プリント］をクリック (選択) します。

4 ［プリンタのタイプ］で［LPD/LPR］を選択します。

5 ［プリンタの機種 (アドレス)］に本機の IP アドレスを入力します。

6 ［プリンタの機種］で［KONICA MINOLTA］を選択し、機種一覧から［KONICA MINOLTA 1250/1052 PS(P)］を選択して［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリンタリスト］に登録されると、設定は終了です。

IPP を設定する

本機の TCP/IP 設定

本機の IP アドレスを設定しておきます。

本機の HTTP サーバー設定

本機の［HTTP サーバー設定］で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

参照

本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

本機の［HTTP サーバー設定］については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

1 ［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］を選択します。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。

3 ［表示］で［内蔵 Ethernet］を選択します。

4 ［TCP/IP］タブをクリックします。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、設定方法と IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。

➔ ［設定の変更を適用しますか？］というメッセージが表示されたら［適用］をクリックします。

プリンターの追加

1 インストールされた［HDD］−［アプリケーション］−［ユーティリティ］内にある［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックして開きます。

2 ［プリンタの追加］画面が表示された場合は、［追加］をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、［追加］をクリックします。

3 ［IP プリント］をクリック (選択) します。

4 ［プリンタのタイプ］で［IPP］を選択します。

5 ［プリンタの機種 (アドレス)］に本機の IP アドレスを入力します。

6 ［プリンタの機種］で［KONICA MINOLTA］を選択し、機種一覧から［KONICA MINOLTA 1250/1052 PS(P)］を選択して［追加］をクリックします。

選択したプリンターが［プリンタリスト］に登録されると、設定は終了です。

7 NetWare を使用する場合のインストール

7 NetWare を使用する場合のインストール

NetWare を使用する場合に必要な設定と Windows クライアント用のプリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

7.1 NetWare

7.1.1 ネットワーク設定

本機の［NetWare 設定］で［IPX 設定］、［NetWare プリントモード］を設定しておきます。

参照
本機の NetWare 設定については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

7.1.2 Windows クライアント設定

印刷を行う Windows クライアントでは、［プリンタの追加ウィザード］でプリンタードライバーをインストールします。

✔ インストールするときは、管理者権限が必要です。

1 Driver CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［デバイスとプリンター］ウィンドウ、［プリンタ］ウィンドウまたは［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

3 ［プリンターの追加］または［プリンタのインストール］を実行します。
［プリンタの追加ウィザード］が表示されます。

4 印刷先ポートの設定で、ネットワークを参照し、作成したキュー名（または NDPS プリンター名）を指定します。

5 プリンターのモデル一覧で、CD-ROM 内の目的のプリンタードライバーフォルダーを指定します。

➔ 指定するフォルダーは、使用するプリンタードライバー、OS、言語に応じて選択してください。
選択できるプリンタードライバー：
Windows XP/Server 2003：PCL ドライバー、PS Plug-in ドライバー、PPD ドライバー
Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7：PCL ドライバー、PS Plug-in ドライバー、PPD ドライバー

6 画面の指示に従ってインストールを完了します。

8 プリンタードライバーの削除

8 プリンタードライバーの削除

プリンタードライバーを削除する操作を説明します。

8.1 Windows

プリンタードライバーを再インストールするときなど、Windows のプリンタードライバーを削除するには以下の手順でドライバーを削除してください。

8.1.1 インストーラーによるアンインストール（PCL ドライバー）

プリンタードライバーは、インストーラーを使って削除できます。

1 Windows 用プリンタードライバーの CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。

➔ インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。

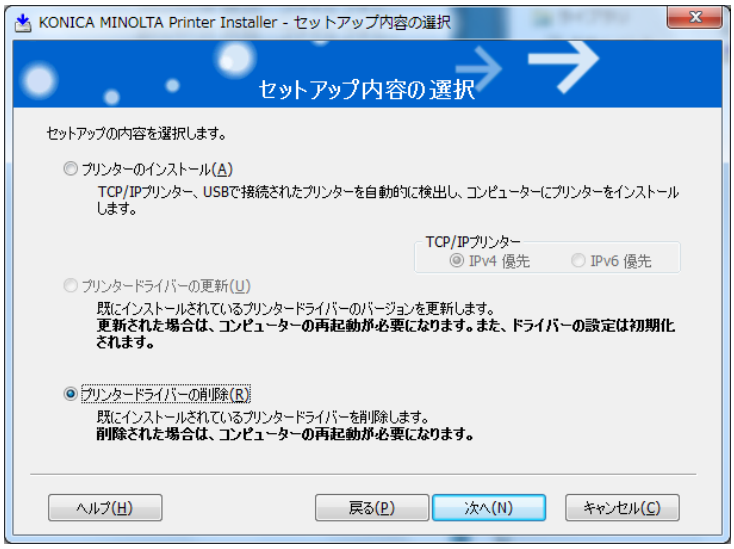
➔ インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて［Setup.exe］をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。

2 ［プリンターのインストール］をクリックします。

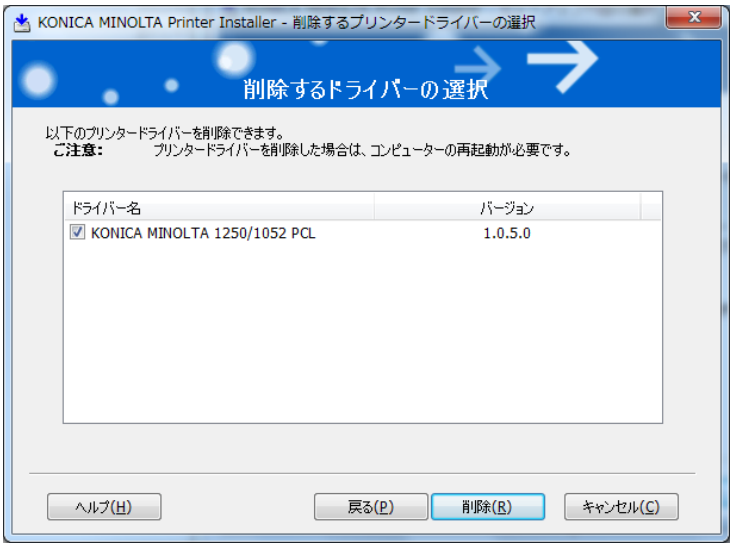
プリンタードライバーのインストーラーが起動します。

3 ［同意します］をクリックします。

4 セットアップの内容を選択する画面で［プリンタードライバーの削除］を選択して［次へ］をクリックします。



5 削除するコンポーネントを選択し、[削除] をクリックします。



➔ 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。

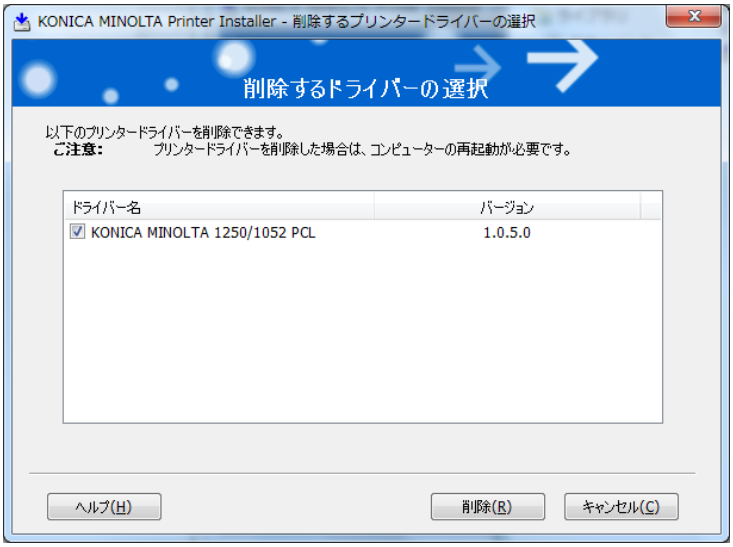
6 再起動する画面が表示されたら [OK] をクリックし、再起動します。

8.1.2 アンインストールプログラムによるアンインストール（PCL ドライバー）

プリンタードライバーをインストーラーでインストールした場合は、プリンタードライバーの削除機能が組み込まれています。

1 [スタート] をクリックし、[すべてのプログラム]（または [プログラム]）－ [KONICA MINOLTA] － [bizhub PRESS 1250 1052] － [PCL プリンタードライバーの削除] をクリックします。

2 削除するコンポーネントを選択し、[削除] をクリックします。



➔ 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。

3 再起動する画面が表示されたら [OK] をクリックし、再起動します。

8.1.3 手動アンインストール（PS Plug-in ドライバー /PPD ドライバー /PCL ドライバー）

1 ［デバイスとプリンター］ウィンドウ、［プリンタ］ウィンドウまたは［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

2 削除したいプリンターのアイコンを選択します。

3 プリンタードライバーを削除します。

➔ Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、キーボードの **Delete** を押します。

➔ Windows 7 の場合は、ツールバーの［デバイスの削除］をクリックします。

4 以降は、画面の指示に従って操作します。

削除が終了すると［デバイスとプリンター］ウィンドウ、［プリンタ］ウィンドウまたは［プリンタと FAX］ウィンドウからアイコンが消えます。

Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 の場合は、引続きサーバーのプロパティでプリンタードライバーを削除します。

5 ［サーバーのプロパティ］を開きます。

➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、［プリンタ］ウィンドウの何もない部分を右クリックし、［管理者として実行］－［サーバーのプロパティ］をクリックします。

➔ Windows 7 の場合は、他のプリンターを選択し、ツールバーの［プリント サーバー プロパティ］をクリックします。

➔ Windows XP/Server 2003 の場合は、［ファイル］メニューをクリックし、［サーバーのプロパティ］をクリックします。

➔ ［ユーザー アカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

6 ［ドライバー］タブをクリックします。

7 ［インストールされたプリンター ドライバー :］一覧から、削除したいプリンタードライバーを選択し、［削除 ...］をクリックします。

➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 の場合は、手順 8 へ進みます。

➔ Windows XP/Server 2003 の場合は、手順 9 へ進みます。

8 削除の対象を確認する画面で［ドライバとドライバ パッケージを削除する］または［ドライバーとパッケージを削除する］を選択して、［OK］をクリックします。

9 削除を確認する画面で［はい］をクリックします。

➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 の場合は、さらに削除を確認する画面が表示されますので［削除］をクリックします。

10 開いている画面を閉じ、コンピューターを再起動します。

➔ 必ず再起動してください。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

参考

- 先の手順でプリンタードライバーを削除しても、Windows XP/Server 2003 の場合は、機種情報ファイルがコンピューターに残ります。このため同一バージョンのプリンタードライバーを再インストールする場合、ドライバーが書き替えできないことがあります。この場合以下のファイルも削除してください。
- 「C:¥WINDOWS¥system32¥spool¥drivers¥w32x86」フォルダー（x64 システムの場合は、「C:¥WINDOWS¥system32¥spool¥drivers¥x64」フォルダー）を確認し、該当機種のフォルダーがあれば削除します。ただし、複数のドライバーがインストールされている場合は、全てのドライバーの機種情報が削除されます。ほかのドライバーを残す場合は削除しないでください。
- 「C:¥WINDOWS¥inf」フォルダーにある「oem*.inf」と「oem*.PNF」を削除します（ファイル名の「*」は番号を示し、番号はコンピューターの環境により異なります）。
  削除する前に inf ファイルを開いて、最後の数行に記述してある機種名を確認し、該当機種のファイルであることを確認してください。PNF ファイルは inf ファイルと同じ番号となります。
- Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 で［ドライバとドライバ パッケージを削除する］または［ドライバーとパッケージを削除する］で操作した場合は、この作業は不要です。

8.2 Macintosh

プリンタードライバーの不具合もしくはアップデートを行うときは、プリンタードライバーを削除する必要があります。以下の手順でプリンタードライバーを削除してください。

8.2.1 手動によるアンインストール（PS Plug-in ドライバー）

1 ［プリントとファクス］画面（または［プリンタ設定ユーティリティ］画面）を開きます。

➔ ［プリントとファクス］画面は、［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］から開きます（OS X 10.4/10.5/10.6）。

➔ ［プリンタ設定ユーティリティ］画面は、［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］から開きます（OS X 10.4）。

2 削除するプリンター名を選択し、［－］（または［削除］）をクリックします。

選択したプリンターが削除されます。

3 ［プリントとファクス］画面（または［プリンタ設定ユーティリティ］画面）を閉じます。

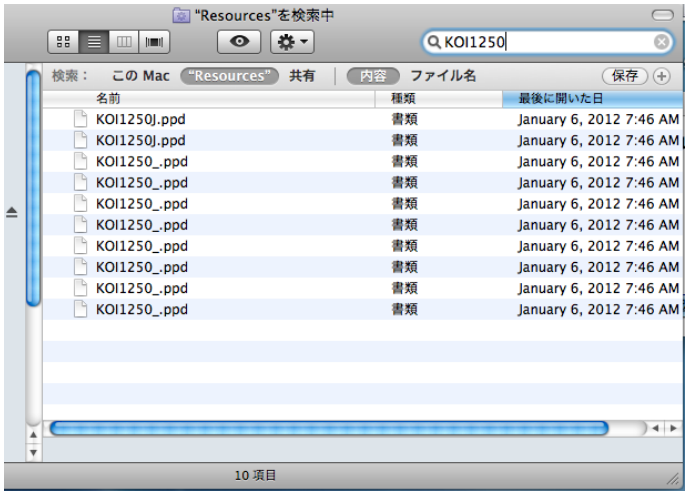
4 インストールした［Macintosh HD］の［ライブラリ］－［Printers］－［PPDs］－［Contents］－［Resources］内の以下のファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。

➔ ［KOI1250J.ppd］

➔ ［KOI1250_.ppd］

参考

検索用のテキストボックスに［KOI］と入力し、検索を「Resources」に選択すれば簡単にファイルを見つけられます。



5 ［ライブラリ］－［Printers］内の不要なファイルを削除します。

［ライブラリ］－［Printers］－［KONICA_MINOLTA］内にある以下のファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。

➔ pstobizhub_PRESS_1250

➔ bizhub_PRESS_1250.plugin

➔ bizhub_PRESS_1250.icns

6 OS X 10.4/10.5 の場合は、［ライブラリ］－［Receipts］内の［bizhub PRESS 1250 1052PS.pkg］を［ゴミ箱］へドラッグします。

7 インストールした［Macintosh HD］の［ユーザー］－［ユーザー名］－［ライブラリ］－［Preferences］内の以下のファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。

➔ com.apple.print.custompapers.plist

➔ com.apple.print.custompresets.plist

10.6 の場合

➔ bizhub PRESS 1250 Printer Driver x86_64 Preferences

10.5/10.4(Intel プロセッサー対応) の場合
➔ bizhub PRESS 1250 Printer Driver x86 Preferences
10.5/10.4(Power PC 対応) の場合
➔ bizhub PRESS 1250 Printer Driver PPC Preferences
ご注意
上記ファイルは、ドライバーの設定により表示されないことがあります
［ユーザー名］は、ログイン時に選択したアカウントになります。

8 コンピューターを再起動します。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

8.2.2 手動によるアンインストール（PS PPD ドライバー）

1 ［プリントとファクス］画面（または［プリンタ設定ユーティリティ］画面）を開きます。

➔ ［プリントとファクス］画面は、［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］から開きます。

➔ ［プリンタ設定ユーティリティ］画面は、［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］から開きます（OS X 10.3/10.4）。

2 削除するプリンター名を選択し、［－］（または［削除］）をクリックします。

選択したプリンターが削除されます。

3 ［プリントとファクス］画面（または［プリンタ設定ユーティリティ］画面）を閉じます。

4 インストールした［Macintosh HDD］の［ライブラリ］－［Printers］－［PPDs］－［Contents］－［Resources］－［ja.lproj］内の以下のファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。

➔ 「KONICAMINOLTA1250.gz」

参考

検索用のテキストボックスに［KONICAMINOLTA］と入力すれば簡単にファイルを見つけることが出来ます。

5 ［ライブラリ］－［Printers］内の不要なファイルを削除します。

➔ ［ライブラリ］－［Printers］－［KONICAMINOLTA］－［1250］内の以下のファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。

➔ pstokm1250

➔ KONICA MINOLTA 1250 Security.plugin

➔ KONICA MINOLTA 1250 Finishing.plugin

➔ KONICA MINOLTA 1250 ImageLAyout.plugin

➔ KONICA MINOLTA 1250 Setup.plugin

6 ［ライブラリ］－［Receipts］内の以下のファイルを［ゴミ箱］へドラッグします。

➔ KONICAMINOLTA_1250_xxx.pkg

7 コンピューターを再起動します。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。

9 基本的な印刷方法とプリンターの機能

9 基本的な印刷方法とプリンターの機能

この章では、基本的なアプリケーションからの印刷方法とプリンターの機能について説明します。

9.1 印刷操作

通常、印刷はアプリケーションソフトウェアから指定します。

基本的な印刷方法（Windows）

1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、［ファイル］をクリックしてメニューから［印刷］をクリックします。

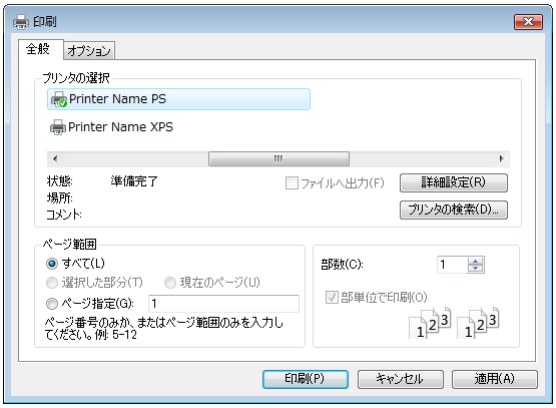
➔ メニューがない場合は、［印刷］ボタンをクリックします。

2 ［プリンタ名］（または［プリンタの選択］）で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

➔ 目的のプリンターが選択されていないときは、クリックして選択します。

➔ ［印刷］画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

➔ インストール方法によりプリンター名が異なります。また、プリンター名は変更できます。画面ではプリンター名を「Printer Name PS」などに変更した例で説明しています。



3 印刷するページ範囲や部数を設定します。

4 必要に応じて［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックし、プリンタードライバーの設定を変更します。

➔ ［印刷］画面で［プロパティ］や［詳細設定］をクリックすると、プリンタードライバーの［印刷設定］画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、11-2 ページ、12-2 ページ、10-2 ページをごらんください。

➔ ［印刷］画面から変更したプリンタードライバーの［印刷設定］は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

5 ［印刷］をクリックします。

印刷が実行されます。

参考

- 本機を使って印刷したジョブは、PageScope Web Connection の［ジョブ確認］画面で確認できます。詳しくは、16-14 ページをごらんください。

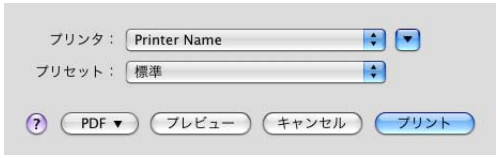
基本的な印刷方法（Mac OS X）

1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、［ファイル］をクリックしてメニューから［プリント］をクリックします。

➔ メニューがない場合は、［印刷］ボタンをクリックします。
［プリント］画面が表示されます。

2 ［プリンタ :］で印刷したいプリンター名が選択されているか確認します。

➔ 目的のプリンターが選択されていないときは、選択します。



➔ プリンターが表示されないときは、［プリントとファクス］、または［プリンタ設定ユーティリティ］でプリンターを選択します。詳しくは、6-5 ページをごらんください。
➔ ［プリント］画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。
➔ プリンター名は変更できます。画面ではプリンター名を「Printer Name」に変更した例で説明しています。

3 印刷するページ範囲や部数を設定します。

➔ OS X10.5/10.6 で設定項目が表示されていない場合は、［プリンタ :］右側の をクリックします。



4 必要に応じて設定画面を切換えて、プリンタードライバーの設定を変更します。

➔ PS Plug-in ドライバーは、プリントオプションのポップアップメニューから、［bizhub PRESS 1250/1052PS］を選択し、［設定］をクリックすると、印刷設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、11-3 ページをご覧ください。
➔ PPD ドライバーは、プリントオプションのポップアップメニューを変更すると、プリンタードライバーのほかの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、13-2 ページをご覧ください。

5 ［プリント］をクリックします。

印刷が実行されます。

参考

- 本機を使って印刷したジョブは、PageScope Web Connection の［ジョブ確認］画面で確認できます。詳しくは、16-14 ページをごらんください。

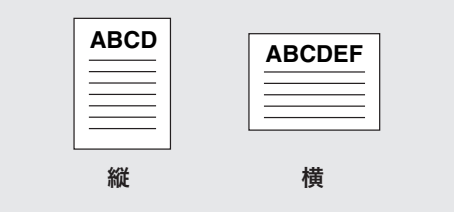
9.2 プリンターの機能

プリンターのさまざまな機能について紹介します。詳しくは、「参照先」のページを参照してください。

9.2.1 用紙に関する設定をするには

印刷方向を設定するには

本プリンティングシステムでは、出力する用紙に対する印刷方向を［縦］または［横］に設定できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-11
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-5
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-6
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-5
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-6

出力用紙の用紙サイズを設定するには

本プリンティングシステムでは、出力用紙のサイズをさまざまな用紙サイズで設定できます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-11
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-5
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-5
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-6

用紙の種類を設定するには

本プリンティングシステムでは、出力用紙としてさまざまな種類の用紙を設定できます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-11
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-12
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-7
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-12
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-11

紙色を設定するには

本プリンティングシステムでは、紙の色を指定して印刷できます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-11
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-12
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-12
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-11

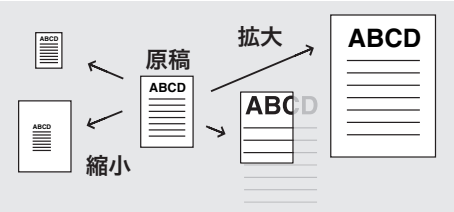
パンチ穴のあいた用紙を設定するには

本プリンティングシステムでは、パンチ穴のあいた用紙を指定して印刷できます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-11
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-12
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-12
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-11

数値で指定して拡大 / 縮小するには

本プリンティングシステムでは、拡大 / 縮小倍率を数値で指定して印刷できます。

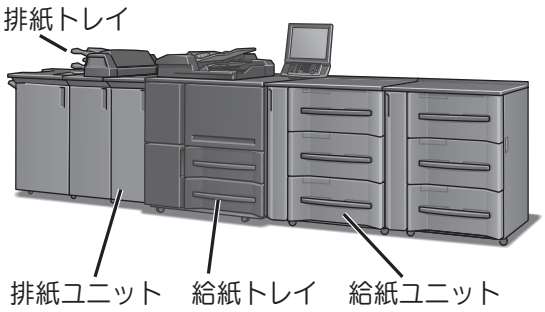


OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-11
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-7
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-7
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-6

9.2.2 用紙トレイを設定するには

給紙ユニットを設定するには

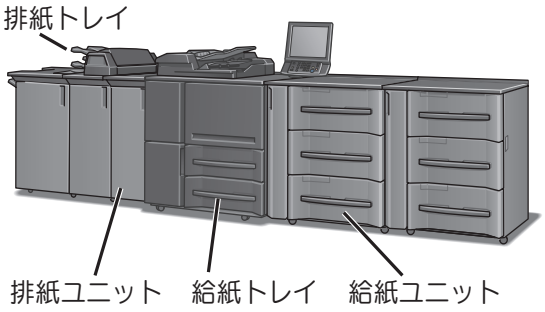
本プリンティングシステムでは、オプションの給紙ユニット（大容量トレイ）をプリンタードライバーに認識させることができます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-3
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-28
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-3
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-28
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-2

給紙トレイを設定するには

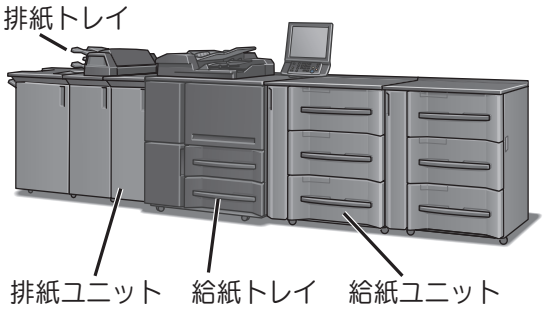
本プリンティングシステムでは、リストから使用する給紙トレイを選択して、設定できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-11
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-5
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-7
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-5

排紙ユニットを設定するには

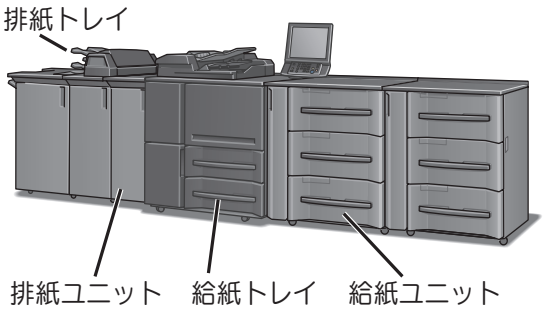
本プリンティングシステムでは、オプションの排紙ユニットをプリンタードライバーに認識させることができます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-3
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-28
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-3
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-28
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-2

排紙トレイを設定するには

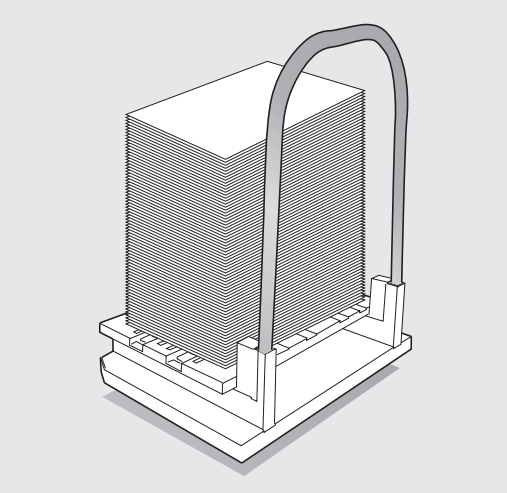
本プリンティングシステムでは、リストから使用する排紙トレイを選択して、設定できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-20
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-8

大容量スタッカーを設定するには

本プリンティングシステムでは、大量に印刷したものを大容量スタッカーに、積重ねて、そのまま台車のように持ち運ぶことができます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-20
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-8

9.2.3 複数の部数を印刷するには

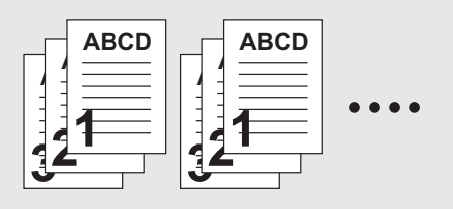
印刷部数を設定するには

本プリンティングシステムでは、印刷する部数をプロパティ画面から設定できます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-11
	PS Plug-in ドライバー	p. 9-2
	PostScript PPD ドライバー	p. 9-2
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 9-3
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-7

1 部ずつまとめて印刷するには（ソート）

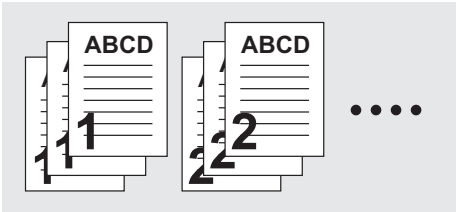
本プリンティングシステムでは、複数部数を印刷する際に、すべてのページを 1 部印刷してから 2 部目、3 部目…と、1 部ずつまとめて印刷できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-11
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 9-2
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-8

1 ページずつまとめて印刷するには

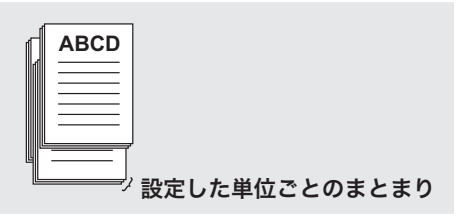
本プリンティングシステムでは、複数部数を印刷するときに、最初のページの必要枚数を印刷し、その後 2 ページ目、3 ページ目…とページごとにまとめて印刷できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-11
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 9-2
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-8

単位ごとにずらして排紙するには（オフセット）

本プリンティングシステムでは、複数部数を印刷するときに、部数単位またはページグループ単位に排紙位置を手前と奥にシフトさせて出力できます。

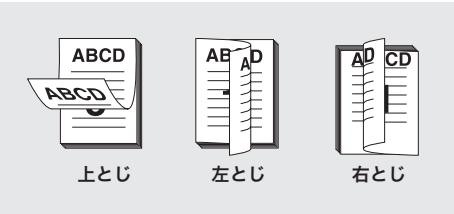


OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-11
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-8

9.2.4 複数のページを印刷するには

両面印刷を設定するには

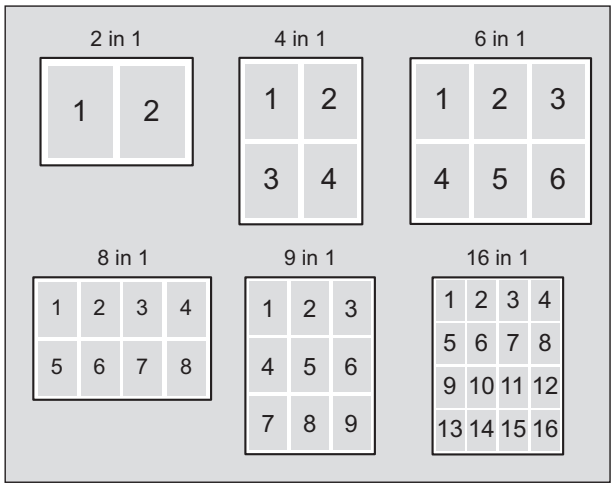
本プリンティングシステムでは、連続する複数ページを表裏両面に印刷できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-15
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-7
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-7
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-8

1 ページに複数ページ分を印刷するには（ページ割付 / レイアウト）

本プリンティングシステムでは、2 ページ分、4 ページ分、6 ページ分、8 ページ分、9 ページ分、または 16 ページ分を 1 ページに割付けて印刷できます。



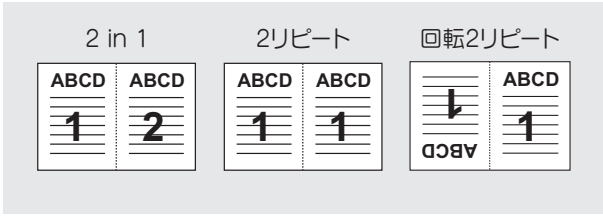
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-15
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-7
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-6
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-7

参考

- 8 ページ分の割付けが可能なプリンタードライバーは、「PS Plug-in ドライバー」のみです。

2 枚分を倍の大きさの用紙 1 枚に印刷するには（1 枚集約）

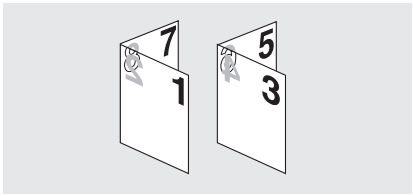
本プリンティングシステムでは、出力用紙で設定されている用紙の倍の大きさの用紙に、出力用紙 2 枚分の内容を印刷できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-15
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-7
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-7
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-10

2 つ折りの冊子用に印刷するには（小冊子）

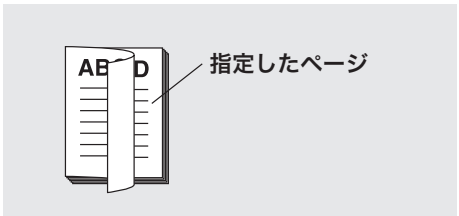
本プリンティングシステムでは、出力した用紙をまとめて 2 つ折りにすると、本のようなページ順になるように印刷できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-15
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-7
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-7
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-10

指定したページを表面にするには（章分け）

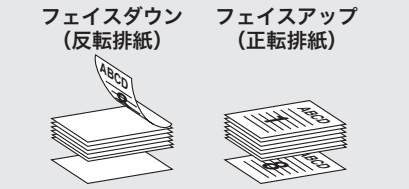
両面印刷をする場合に、指定したページを表面にして印刷できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-15
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-16
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-16

ページを上向きで排紙するには（フェイスアップ）

本プリンティングシステムでは、出力用紙を上向きに排紙できます。

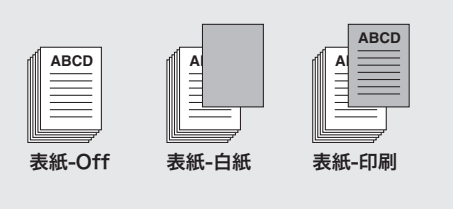


OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-20
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-8

9.2.5 表紙、裏表紙、挿入紙、カバーを設定するには

表カバーを設定するには

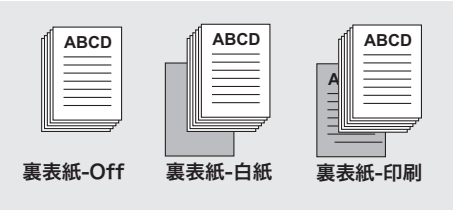
本プリンティングシステムでは、本文用紙と異なる種類の用紙（カラー用紙等）の表紙を設定できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-24
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-14
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-14
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-11

裏カバーを設定するには

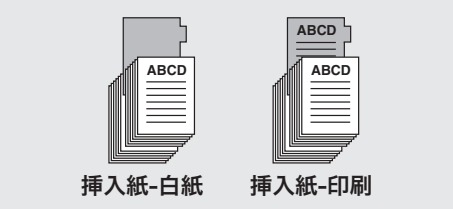
本プリンティングシステムでは、本文用紙と異なる種類の用紙（カラー用紙等）の裏表紙を設定できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-24
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-14
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-14
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-11

インデックス紙を挿入するには

本プリンティングシステムでは、インデックス紙を挿入紙として設定できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-25
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-17
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-17

カバーを設定するには

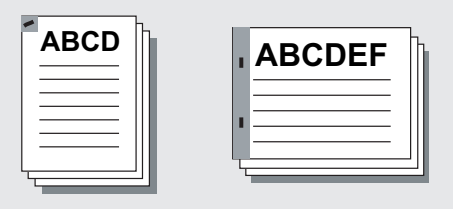
本プリンティングシステムでは、設定した出力用紙と異なる厚紙などの用紙をカバーとして排紙できます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-24
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-14
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-14
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-11

9.2.6 仕上げの設定をするには

ステープル止めを設定するには

本プリンティングシステムでは、出力用紙をステープル止めできます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-20
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-8

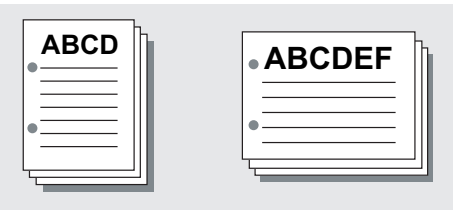
パンチユニットを設定するには

本プリンティングシステムでは、オプションのパンチ / マルチ折り機をプリンタードライバーに認識させることができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-3
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-28
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-3
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-28
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-8

穴あけを設定するには

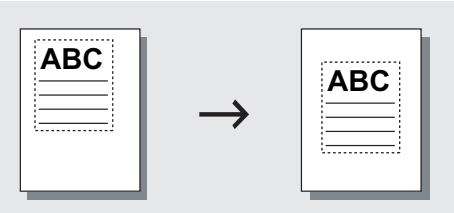
本プリンティングシステムでは、出力用紙に 2 穴～ 4 穴、および多穴のパンチ処理を設定できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-20
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-11

用紙内での印刷位置を調整するには（画像シフト）

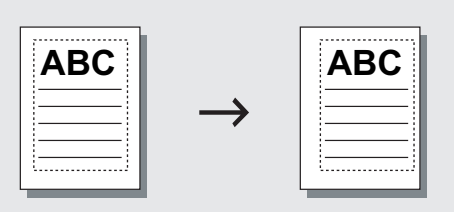
本プリンティングシステムでは、印刷イメージの印刷位置を調整できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-15
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-23
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-23
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-10

用紙内での印刷位置を調整するには（とじしろ）

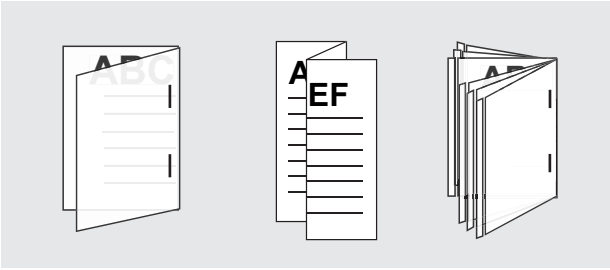
本プリンティングシステムでは、文書を綴じるための余白を調整できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-15

綴じ、折りを設定するには

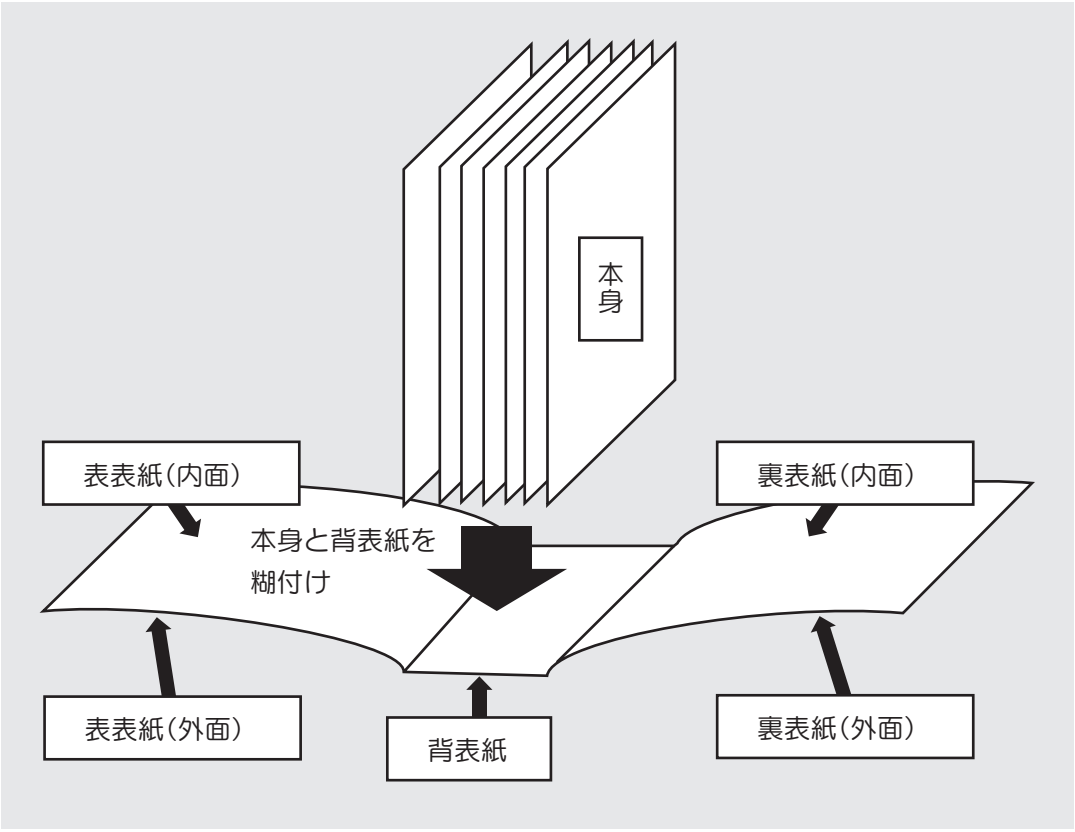
本プリンティングシステムでは、出力用紙を中折り、中綴じ、Z 折り、三つ折りに設定して出力できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-20
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-9
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-8

くるみ製本を設定するには

本プリンティングシステムでは、くるみ製本を設定できます。

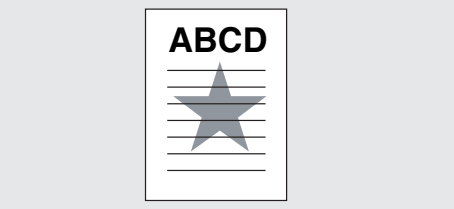


OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	10-22 ページ
	PS Plug-in ドライバー	11-15 ページ
	PostScript PPD ドライバー	12-13 ページ
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	11-15 ページ
	PostScript PPD ドライバー	13-12 ページ

9.2.7 透かしを設定するには

透かし模様を作成するには（オーバーレイ）

出力用紙に印刷する透かし模様を作成できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-26
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-22
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-22
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-10

日付 / 時刻を印刷するには

本プリンティングシステムでは、日付と時刻を出力する全ページまたは最初のページだけに印刷できます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-26
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-24
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-24
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-10

ページ番号を印刷するには

本プリンティングシステムでは、ページ番号をつけて印刷できます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-26
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-24
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-24

ナンバリングして印刷するには

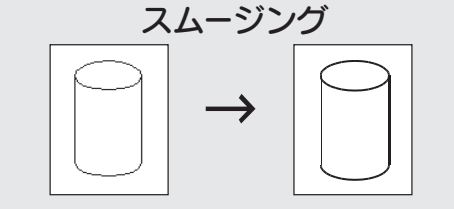
本プリンティングシステムでは、ナンバリングして印刷できます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-26
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-24
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-24

9.2.8 画像や濃淡を設定するには

曲線部分をなめらかに印刷するには

印刷する文字や図形などの曲線部分を滑らかに印刷できます。



OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-30
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-20
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-20
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-10

印刷時の解像度を指定するには

［1200dpi］か［600dpi］かを選択できます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-30
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-20
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-20
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-10

9.2.9 ジョブを保存、再印刷するには

ジョブを保存、印刷するには（保存、印刷 / 保存）

本プリンティングシステムの内蔵ハードディスクにプリントジョブを保存し、必要に応じて再出力できます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-11
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-25
	PostScript PPD ドライバー	p. 12-8
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-25
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-13

パスワードで保護して印刷するには（セキュリティープリント）

秘匿性の高い文書を印刷するために、パスワードによってプリントジョブを保護します。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	PCL ドライバー	p. 10-11
	PS Plug-in ドライバー	p. 11-25
Mac OS X	PS Plug-in ドライバー	p. 11-25
	PostScript PPD ドライバー	p. 13-13

10 Windows 用 PCL ドライバーの印刷機能

10 Windows 用 PCL ドライバーの印刷機能

Windows 用の PCL ドライバーの機能について説明します。

基本的な印刷方法については、9-2 ページをごらんください。

10.1 プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前に、［装置情報］画面でインストール可能なオプションを設定しておく必要があります。

重要

本機に装着されているオプションが［装置情報］タブで設定されていないと、プリンタードライバーの［印刷設定］画面でオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定してください。

10.1.1 プロパティ画面の表示方法

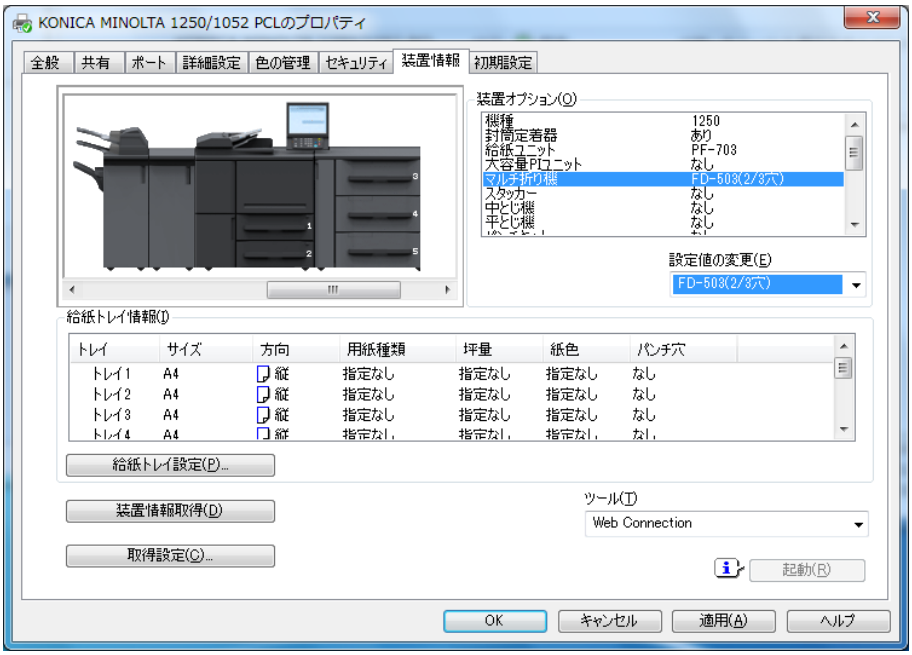
1 ［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウを開きます。

- ➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、［スタート］をクリックして［コントロール パネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。
- ➔ Windows 7 の場合は、［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。
- ➔ Windows 7 で、［スタート］メニューに［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

2 ［プリンターのプロパティ］を開きます。

- ➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。
- ➔ Windows 7 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして［プリンターのプロパティ］をクリックします。

10.1.2 ［装置情報］タブ



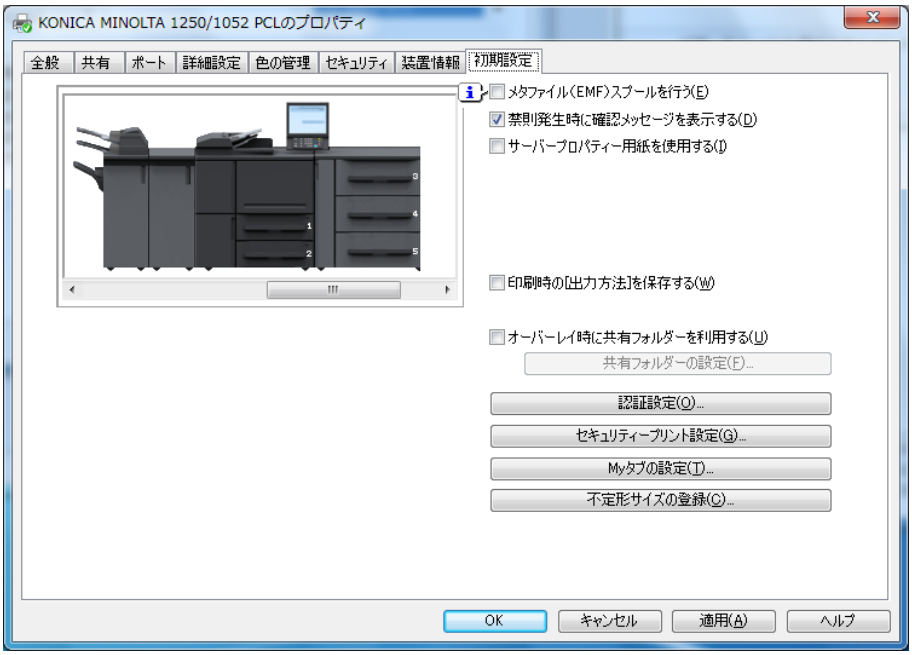
オプションやユーザー認証、部門管理機能の有無を設定し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にします。

項目名	機能
［装置オプション］	装着されているオプションやユーザー認証 / 部門管理の状態を設定します。各項目の状態は［設定値の変更］で設定します。
［給紙トレイ情報］	給紙トレイに対する用紙種類の割当て状態を表示します。 ［給紙トレイ設定 ...］で割当てを設定できます。
［装置情報取得］	本機と通信し、オプション装着の状態を読み取ります。
［取得設定 ...］	［装置情報取得］を実行する接続先などの条件を設定します。 装置情報を自動で取得する場合は［自動取得］を有効にします。 情報装置取得の際に使用する SNMP Community Name を設定するには［Read Community Name］に Community Name を入力します。
［ツール］	PageScope Web Connection などの設定ツールを起動します。

参考

- ［装置オプション］のオプションは、［取得設定 ...］が［自動取得］になっていれば自動的に設定されます。［自動取得］になっていない場合は、［装置情報取得］または手動で必ず設定してください。
- ［装置情報取得］の機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

10.1.3 ［初期設定］タブ



確認メッセージや認証設定入力画面の表示に関する初期設定を変更できます。

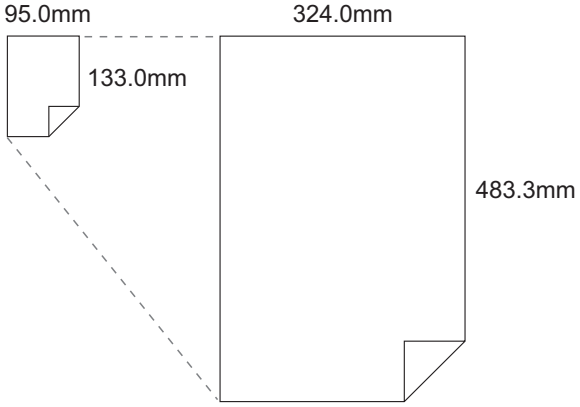
項目名	機能
［メタファイル（EMF）スプールを行う］	メタファイルスプールを行うときに設定します。 ［ユーザー認証］または［部門管理］が設定されているときに、この設定をオンにすると印刷できません。
［禁則発生時に確認メッセージを表示する］	プリンタードライバーで、同時に設定できない機能を有効にした場合にメッセージを表示します。
［サーバープロパティ用紙を使用する］	プリンターウィンドウの［サーバーのプロパティ］で追加登録した用紙を使用します。
［印刷時の［出力方法］を保存する］	文書を印刷する際に設定した出力方法を、プリンタードライバーの［基本設定］タブの［出力方法］へ反映します。 次から印刷する際には、反映された値が初期値になります。
［オーバーレイ時に共有フォルダーを利用する］	ネットワーク上の共有フォルダーに、オーバーレイファイルを保存して共有できるようにするかどうかを設定します。 共有フォルダーを設定するには、［共有フォルダーの設定］をクリックし、共有フォルダーを指定します。
［認証設定］	［ユーザー認証］/［部門管理］に関する設定を行います。 ［印刷前に認証設定を検証する］： この設定をオンにすると、［基本設定］タブの［ユーザー認証 / 部門管理設定］画面で［検証］をクリックすることで、ユーザーや部門の情報がプリンターに認識されているかを確認できます。 ［印刷時に認証設定の入力画面を表示する］： 印刷を指定するときに［ユーザー認証 / 部門管理設定］ダイアログボックスを表示し、ユーザー名や部門名の入力を促します。
［セキュリティープリント設定］	セキュリティープリントに関する設定を行います。 ［セキュリティープリントに固定する］： ［出力方法］が［セキュリティープリント］に固定されます。 ［セキュリティープリント時に設定の入力画面］： セキュリティー印刷を設定したときに［セキュリティープリント］ダイアログボックスを表示し、ID とパスワードの入力を促します。

項目名	機能
［My タブの設定］	プリンタードライバーの［My タブ］の表示について設定します。 ［My タブを表示する］：［My タブ］の表示 / 非表示を設定します。チェックすると、［My タブ］を表示します。チェックをはずすと、［配置を共有する］、［編集を禁止する］、［説明文を表示する］の設定は無効となり、［My タブ］は表示されません。 ［配置を共有する］：［My タブ］上の機能の配置を共有するかどうかを設定します。チェックすると、クライアントからサーバーの共有プリンターを指定してプリンタードライバーをインストールする場合に、サーバー側で設定した［My タブ］の配置をクライアント側の［My タブ］の配置に引き継ぎます。また、クライアント側の［My タブの編集 ...］を非表示にして、クライアントユーザーによる編集を禁止します。 ［編集を禁止する］：各ユーザーによる編集の禁止 / 許可を設定します。 チェックすると、［My タブの編集 ...］を非表示にして、ユーザーによる編集を禁止します。 ［説明文を表示する］：［My タブ］上の説明文の表示 / 非表示を設定します。 チェックすると、My タブの説明文を表示します。
［不定形サイズの登録 ...］	不定形サイズの用紙を登録します。

参考

- ［不定形サイズ］で登録できる用紙サイズは以下の範囲です。

- 幅：95.0 ～ 324.0mm , 高さ：133.0 ～ 483.3mm



参照
My タブの機能については、10-9 ページをごらんください。

10.1.4　OS が提供するタブ

［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］は、Windows が提供するタブです。

テストページの印刷、プリンターの共有設定、プリンターのポート設定などが行えます。

詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

10.1.5 デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの基準設定（初期設定）を変更します。

1 ［デバイスとプリンター］ウィンドウ、［プリンタ］ウィンドウまたは［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

- ➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、［スタート］をクリックして［コントロール パネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。
- ➔ Windows 7 の場合は、［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。
- ➔ Windows 7 で、［スタート］メニューに［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。

2 インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして［印刷設定 ...］をクリックします。

プリンターの［印刷設定］ダイアログが表示されます。

3 機能の設定を変更し、［OK］をクリックして終了します。

変更した設定が、すべてのアプリケーションソフトウェアでプリンターを使用するときに適用されます。

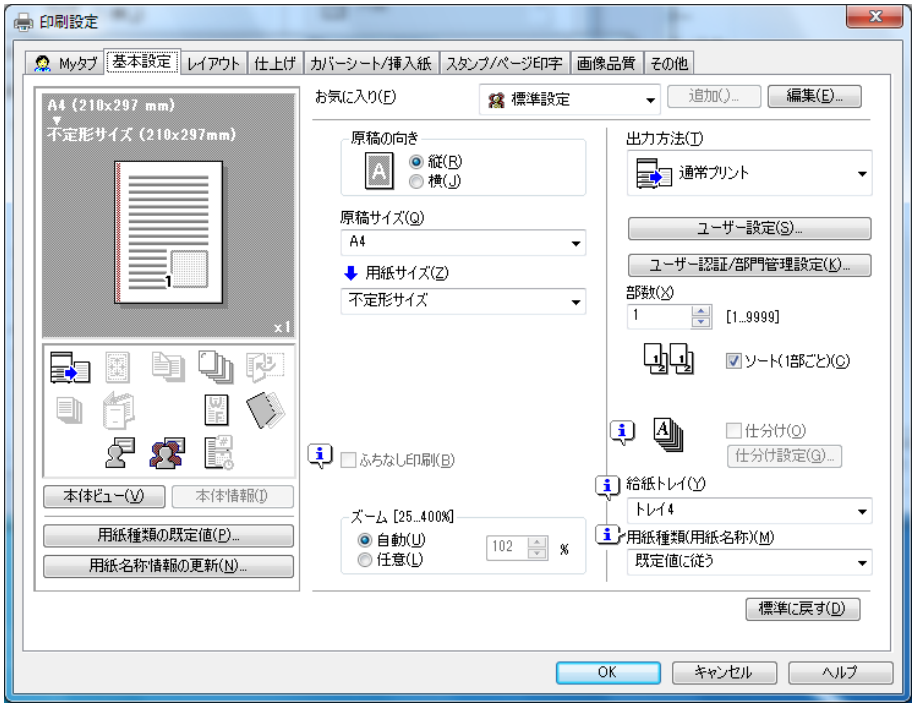
参照

プリンタードライバーの機能や設定項目については、10-9 ページをごらんください。

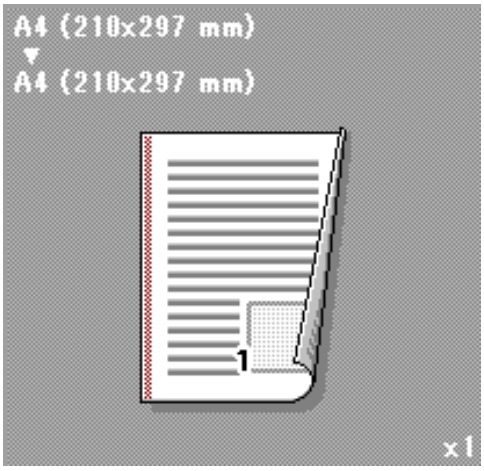
プリンタードライバーには、設定した内容を［お気に入り］として保存する機能もあります。詳しくは、10-7 ページをごらんください。

10.2 共通項目

各タブの画面で共通の設定やボタンについて説明します。



項目名	機能
[OK]	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
[キャンセル]	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
[ヘルプ]	このボタンをクリックすると、表示されている画面の各項目についてのヘルプが表示されます。
[追加 ...]（お気に入り）	現在の設定を登録し、あとでその設定を呼出すことができます。 [呼び出す項目] に表示される機能は、[お気に入り] を選択したときに、お気に入り作成時の値を呼び出すかどうか、選択が可能な項目です。 [呼び出す項目] で設定できる機能は以下の通りです。 ・ 原稿サイズ、原稿の向き ・ 部数 ・ 用紙種類設定のリスト情報 ・ オーバーレイのリスト情報 ・ ページ単位設定のリスト情報 ・ ウォーターマークのリスト情報と共有設定 これらの項目は、チェックをしないと、[お気に入り] を選んでも値が呼出されません。
[編集 ...]（お気に入り）	保存してある設定を変更します。 [オプション ...] で、[呼び出す項目] のチェックの設定を変更できます。
[標準に戻す]	このボタンをクリックすると、初期設定の内容に戻します。

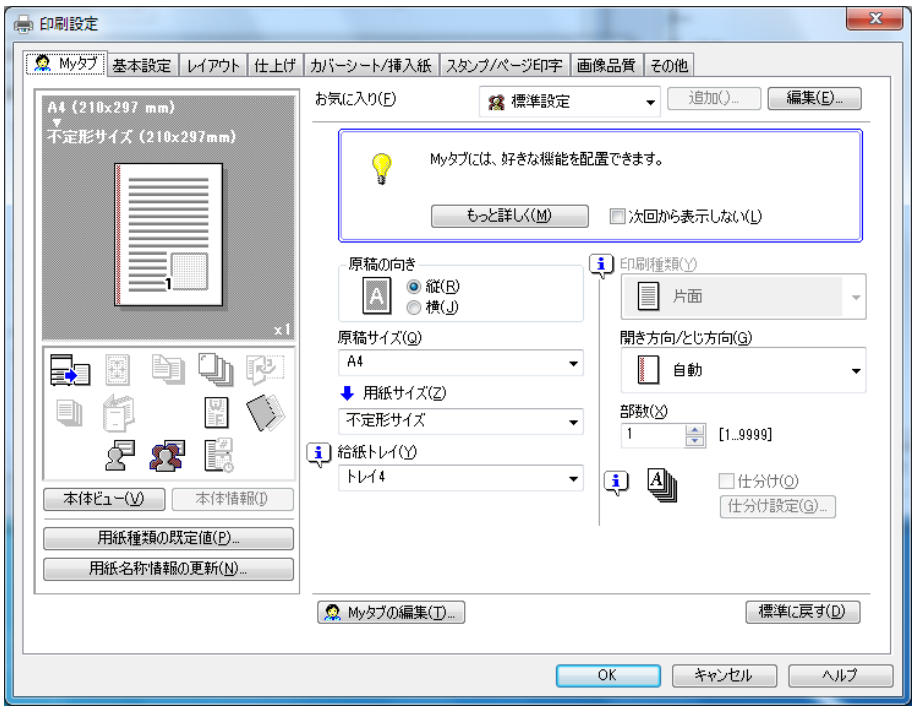
項目名	機能
［ビュー］	［用紙ビュー］を選択すると、現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、印刷結果のイメージを確認できます。 ［本体ビュー］を選択すると、現在本機に装着されている給紙トレイなどのオプションを含むプリンター構成の図が表示されます。 用紙：  本体： 
［本体情報］	PageScope Web Connection を起動し、本機情報を確認できます。本機と通信可能な状態で有効です。

10.3 設定項目詳細

印刷設定画面は、プリンタードライバーの機能を設定する画面です。印刷ダイアログボックスで［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックするか、［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウのプリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定 ...］を指定して開きます。

10.3.1 My タブ

My タブは、表示内容をカスタマイズできるタブです。プリンタードライバーの設定機能のうち、よく使う機能を My タブ画面に登録しておくことで、1 画面で設定変更ができるようになり、プリンタードライバーの使い勝手が良くなります。



機能名称	選択肢	説明
［もっと詳しく］	―	My タブのヘルプを表示します。
［次回から表示しない］	オフ、オン	［もっと詳しく］を含む説明欄を表示しないようにします。
［My タブの編集 ...］	―	My タブに表示する機能を登録 / 削除します。 詳しくは、10-10 ページをごらんください。

参考

- ［もっと詳しく］、［次回から表示しない］を含む説明欄は、［初期設定］タブの［My タブの設定］で［説明文を表示する］が無効になっている場合は表示されません。
- ［My タブの編集 ...］は、［初期設定］タブの［My タブの設定］で［編集を禁止する］が有効になっている場合は表示されません。
- 上記以外の項目は、［My タブの編集 ...］でカスタマイズされている部分で、登録している内容によって異なります。

参照

［初期設定］タブについては、10-4 ページをごらんください。

［My タブ］の編集

✔ ［My タブの編集 ...］は、［初期設定］タブの［My タブの設定］で［編集を禁止する］が有効になっている場合は表示されません。

1 ［My タブ］で［My タブの編集 ...］をクリックします。

2 ［My タブ］に登録したい機能を選択し、［左へ］または［右へ］をクリックします。

➔ 機能は［設定項目一覧］の各タブに表示される内容から選択します。

➔ ［左へ］をクリックすると［My タブ］画面の左側に、［右へ］をクリックすると［My タブ］画面の右側に配置できます

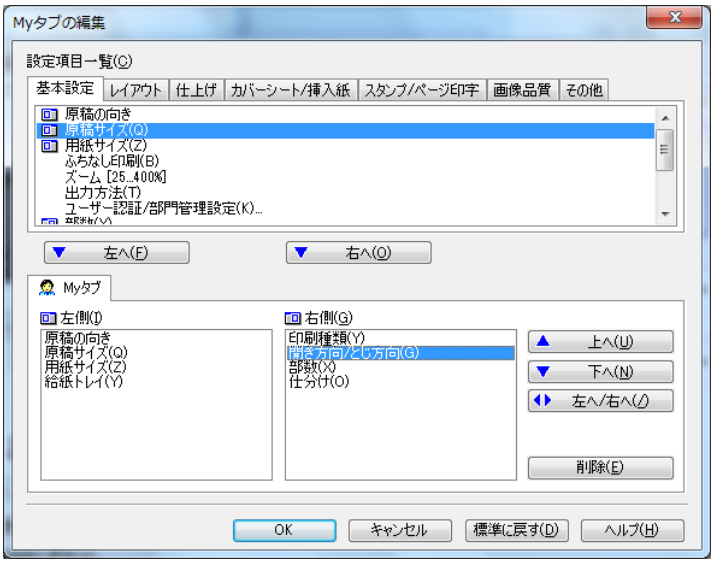
➔ 既に［My タブ］に登録されている機能の前には、［左側］/［右側］のアイコンが表示されます。



3 登録した機能の配置を変更します。

➔ 位置を変更する場合は、移動したい機能を選択し、［上へ］、［下へ］、［左へ / 右へ］をクリックします。

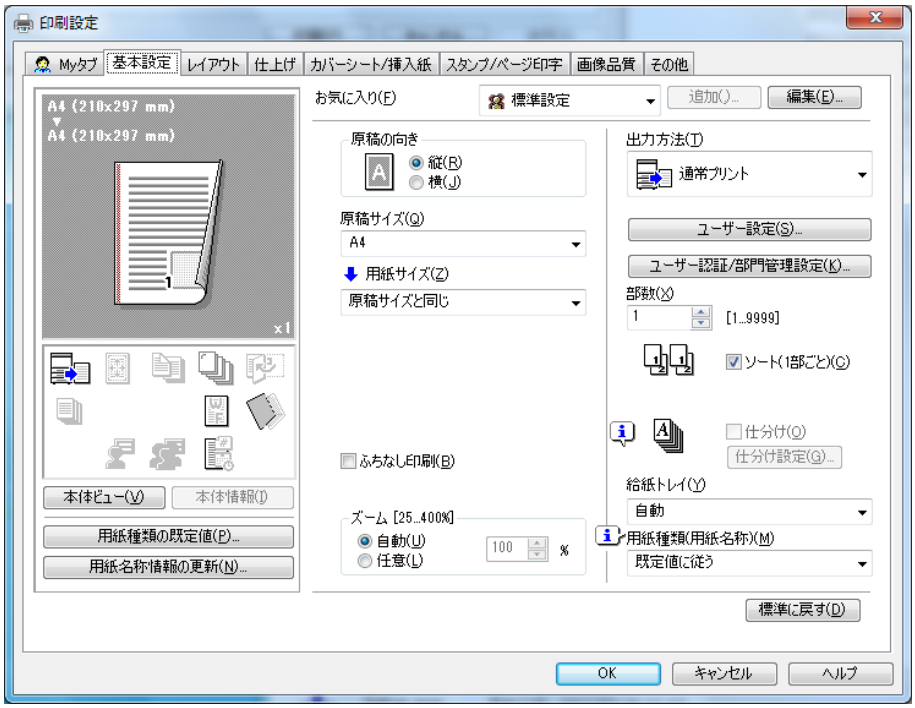
➔ ［My タブ］から削除する場合は、削除したい機能を選択し、［削除］をクリックします。



4 ［OK］をクリックします。

10.3.2 ［基本設定］タブ

用紙のサイズや種類、出力方法など、印刷の基本機能を設定します。



機能名称	選択肢		説明
［用紙種類の既定値］	［用紙種類］	指定なし	
		普通紙	
		塗工紙	パンフレットのようなコート紙を使用するときに選択します。
		追い刷り紙	印刷済みの用紙に、追い刷りをするときに選択します。
		上質紙	主にオフセット印刷で使用される非塗工紙を使用するときに選択します。
		書籍用紙	書籍や新聞のような用紙を使用するときに選択します。
		ラフ紙	表面が粗い、ざらざらした用紙を使用するときに選択します。
		未印字挿入紙	インデックス紙などを挿入するときに選択します。
		封筒	封筒を使用するときに選択します。ただし、封筒を使用するには、オプションの封筒定着器 (定着ユニット EF-102) が装着されているときに使用可能となります。
		エンボス紙	凹凸のある用紙を使用するときに選択します。

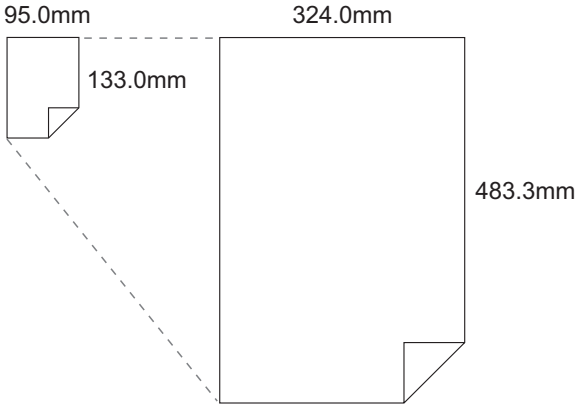
機能名称	選択肢		説明
[用紙種類の既定値]	[坪量]	指定なし、 40-49g/m^2、 50-61g/m^2、 62-74g/m^2、 75-91g/m^2、 92-135g/m^2、 136-162g/m^2、 163-216g/m^2、 217-244g/m^2 245-300g/m^2 301-350g/m^2 (坪量単位が g/m^2 の場合)	出力紙の重さを指定します。 301-350g/m^2 は、[装置情報] タブで給紙ユニットが設定されていないと選択できません。
	[紙色]	[指定なし]、[白色]、[透明]、[黄色]、[桃色]、[青色]、[緑色]	出力紙の紙色を指定します。
	[パンチ穴]	なし、あり	パンチ穴がある用紙を使用するときに設定します。
	[坪量単位]	[g/m^2]、[四六判]、[A本判]、[B本判]、[菊判]、[Bond]、[Book]、[Bristol]、[Cover]、[Index]、[Tag]	坪量の単位を設定します。
[装置の状態を反映]	[装置の状態を反映] をクリックすると、[装置の状態] に表示されている内容を [用紙種類設定] に反映します。		
[用紙名称情報の更新]	[用紙名称情報の更新] 内の [装置情報取得] をクリックすると、本体と通信し、登録されている用紙名称情報を更新します。		
[原稿の向き]	[縦]、[横]	原稿の用紙方向を設定します。	
[原稿サイズ]	定型用紙サイズと不定形サイズに登録してある用紙サイズ		原稿の用紙サイズを設定します。
	[不定形サイズ]		サイズを登録します。
[用紙サイズ]	本機で利用できる定型用紙サイズと不定形サイズに登録してある用紙サイズ	印刷する用紙サイズを設定します。原稿サイズと異なる場合で、ズームが [自動] のときは、サイズに合わせて拡大、縮小されます。	
	[不定形サイズ]		サイズを登録します。
[ふちなし印刷]	オフ、オン	原稿画像内に余白のふちをつけずに印刷します。	
[ズーム]	25 ～ 400%	拡大・縮小率を設定します。	

機能名称	選択肢	説明
［出力方法］	［通常プリント］	［通常プリント］を選択すると、印刷ジョブをどこのハードディスクにも保存することなく印刷します。
	［セキュリティープリント］	［セキュリティープリント］を選択すると、本機の操作パネルで、ID とパスワードを入力しないと出力できません。機密性の高い文書の印刷時に選択します。 セキュリティープリントについての詳細は、14-2 ページをごらんください。
	［ボックス保存］	印刷文書を本機の HDD に保存します。 HDD 保存についての詳細は、14-7 ページをごらんください。
	［ボックス保存 & プリント］	印刷文書を本機の HDD に保存すると同時に印刷もします。 HDD 保存についての詳細は、14-7 ページをごらんください。
	［一時停止］	［一時停止］を選択すると、印刷ジョブが一時停止し、出力前に本機の操作パネルから現在の設定を確認できます。
	［確認プリント］	［確認プリント］を選択すると、印刷結果を確認するために 1 部だけ出力します。 大量部数の印刷でミスプリントを防ぎたいときに選択します。
	［確認プリント（先頭 1 枚）］	［確認プリント（先頭 1 枚）］を選択すると、印刷結果を確認するために最初の 1 ページ目だけを出力します。 大量枚数の印刷でミスプリントを防ぎたい場合に選択します。
	［保留プリント］	［保留プリント］を選択すると、印刷ジョブを保留ジョブとして本機のハードディスクに一時保存します。夜間に一括で出力したいときなどに選択します。
［ユーザー設定］	―	［セキュリティープリント］をするときの ID/ パスワードや［ボックス保存］をするときのファイル名 / ボックスナンバーを設定します。
［ユーザー認証 / 部門管理設定］	―	本機で［ユーザー認証］を設定しているときのユーザー名／パスワード、本機で［部門管理］を設定している場合の部門名／パスワードを設定します。 詳しくは、14-18 ページ、または 14-21 ページをごらんください。
［部数］	1 ～ 9999	出力する部数を設定します。
［ソート（1 部ごと）］	オフ、オン	複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。
［仕分け］	オフ、オン	複数部数を出力するときに、1 部ずつ位置をずらして排出します。
［仕分け設定］	［部数ごとに仕分け］	設定した部数ごとに位置をずらして排紙します。
	［枚数ごとに仕分け］	設定した枚数ごとに位置をずらして排紙します。
［給紙トレイ］	自動、トレイ 1 ～ 8	使用する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
［用紙種類（用紙名称）］	―	本体に登録されている用紙名称を指定できます。

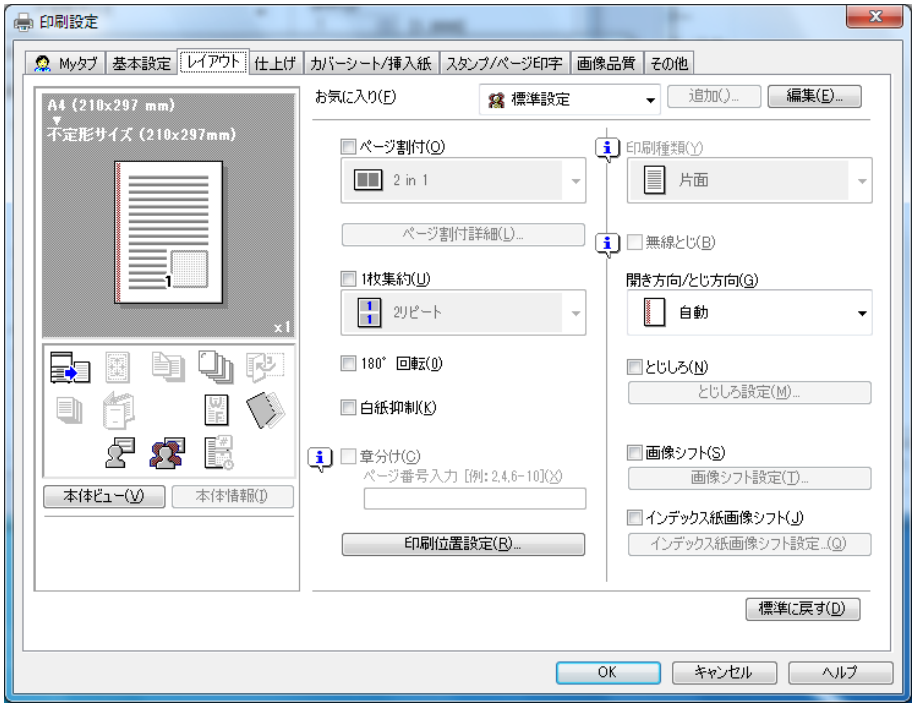
参考

- ［不定形サイズ］で登録できる用紙サイズは以下の範囲です。

- 幅：95.0 ～ 324.0mm，高さ：133.0 ～ 483.3mm



10.3.3 ［レイアウト］タブ



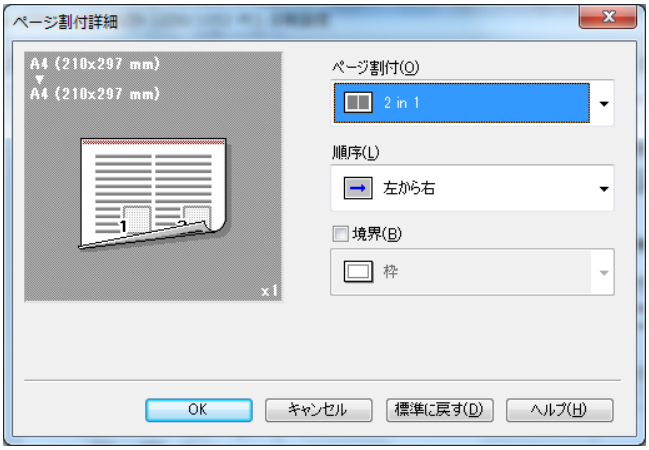
機能名称	選択肢	説明
［ページ割付］	［2 in 1］、［4 in 1］、［6 in 1］、［9 in 1］、［16 in 1］ ［2 x 2］、［3 x 3］、［4 x 4］	1 枚の用紙に複数ページの文書を縮小させたり、1 ページの文書を複数の用紙に拡大させて印刷します。
［ページ割付詳細］	−	ページ割付の条件を選択します。 詳しくは 10-17 ページをごらんください。
［1 枚集約］	［2 リピート］、［回転 2 リピート（上）］、［回転 2 リピート（下）］、［回転 2 リピート（左）］、［回転 2 リピート（右）］、［2 in 1］	面付け印刷をするときに設定します。 ［原稿サイズ］で設定されている用紙を 2 倍したサイズで印刷されます。 例）［用紙サイズ］が A4 の場合、A3 で印刷されます。
［180° 回転］	オフ、オン	180 ° 回転して印刷します。
［白紙抑制］	オフ、オン	白ページを印刷しないときに設定します。
［章分け］	オフ、オン	オモテ面に印刷したいページがあるときに設定します。印刷種類が［両面］のときに設定できます。
［印刷位置設定］	［先端］、［中央］、［後端］	印刷位置を設定します。 用紙サイズが［A4W］などワイドサイズもしくは不定型サイズのときに設定できます。
［印刷種類］	［片面］、［両面］、［小冊子］、［小冊子（原稿サイズ x 2）］	印刷種類を設定します。
［無線とじ］	オフ、オン	［無線とじ］を設定します。 出力後の用紙を 1 枚ずつ 2 つ折りにして重ねると、本のようなページ順になります。 ［印刷種類］で［両面］を設定しているときに設定できます。
［開き方向 / とじ方向］	［自動］、［左とじ］、［右とじ］、［上とじ］	とじ位置を設定します。
［とじしろ］	オフ、オン	とじしろ（余白）を設定します。［とじしろ設定 ...］で余白量を設定でます。

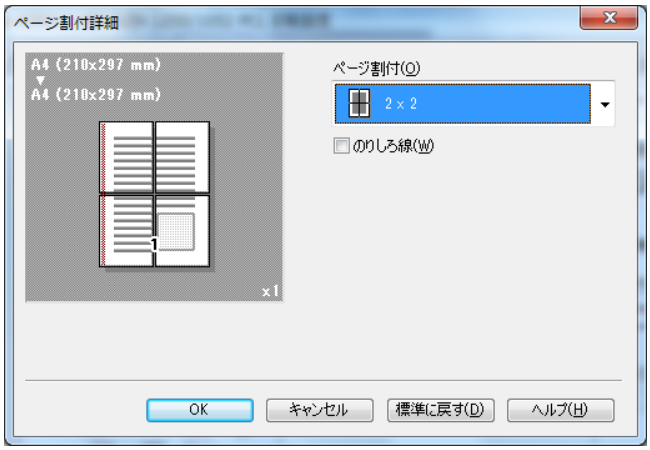
機能名称	選択肢	説明
［とじしろ設定 ...］	−	とじしろに関する詳細を設定できます。 詳しくは、10-18 ページをごらんください。
［画像シフト］	オフ、オン	印刷イメージを全体にずらして印刷します。 ［画像シフト設定 ...］でずれ量の詳細が設定できます。
［画像シフト設定 ...］	−	画像シフトに関する詳細設定を行います。詳しくは、10-19 ページをごらんください。
［インデックス紙画像シフト］	オフ、オン	インデックス紙に印刷するイメージを全体にずらして印刷します。 ページ単位設定と組み合わせて使用します。本文原稿サイズが A4、Letter のときに使用可能です。 ［インデックス紙画像シフト設定 ...］でずれ量の詳細が設定できます。
［インデックス紙画像シフト設定 ...］	［シフト量設定］	インデックス紙に印刷するイメージのシフト量を設定します。

参考

- とじしろの位置は、［開き方向 / とじ方向］の設定に連動します。

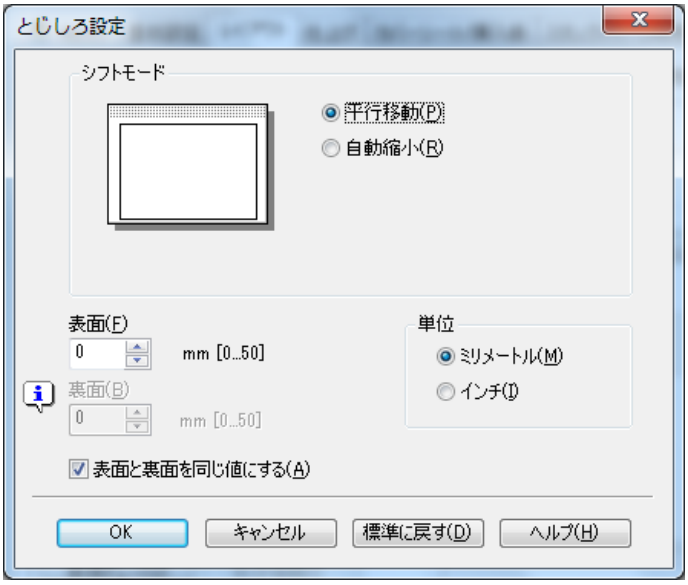
ページ割付詳細





機能名称	選択肢	説明
ページ割付	[2 in 1]、[4 in 1]、[6 in 1]、[9 in 1]、[16 in 1]、[2 x 2]、[3 x 3]、[4 x 4]	1 枚の用紙に複数ページの文書を縮小させたり、1 ページの文書を複数の用紙に拡大させたりして印刷します。
順序	[左から右]、[右から左]、[左上から横方向]、[左上から縦方向]、[右上から横方向]、[右上から縦方向]	割付順序を設定します。ページ割付で N in 1 印刷が選択されているときに設定できます。
境界	[枠]、[線]	境界線の有無と、境界の種類を設定します。ページ割付で N in 1 印刷が選択されているときに設定できます。
のりしろ線	オフ、オン	出力した用紙を貼合わせるための基準線を印刷します。ページ割付で N x N 印刷が選択されているときに設定できます。

とじしろ設定



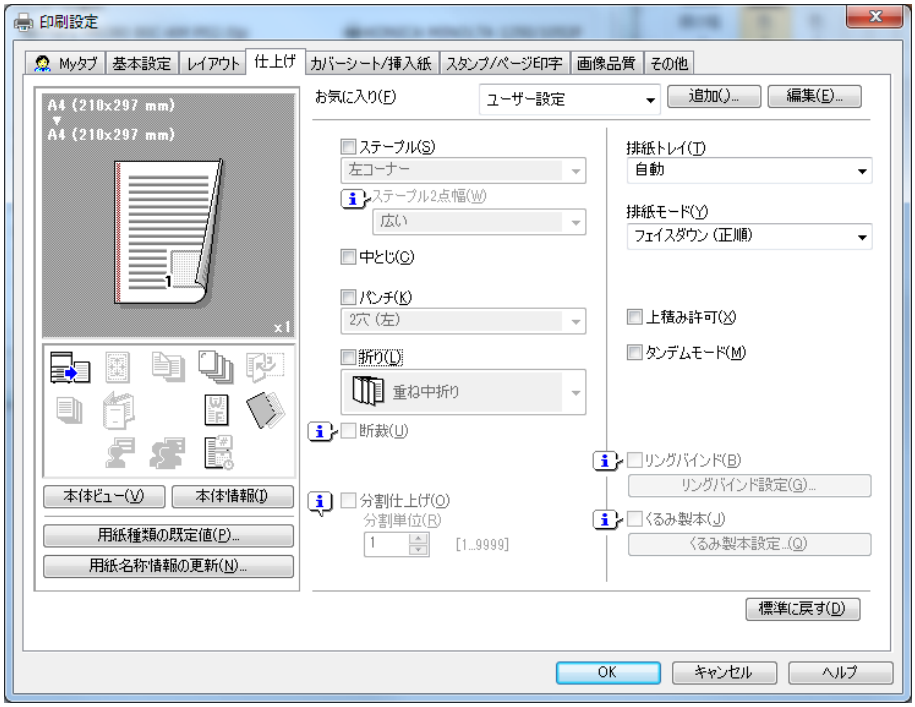
機能名称	選択肢	説明
シフトモード	[平行移動]、[自動縮小]	とじしろの余白を空けるために、画像をどのように処理するかを設定します。 [平行移動]： 縮小せずに用紙に対して平行移動します。余白が少ないときに、用紙からはみ出る可能性があります。 [自動縮小]： 用紙からはみ出ないように縮小されて印刷します。
表面 / 裏面	0 ～ 50mm	とじしろの値を設定します。両面印刷の場合、[表面と裏面を同じ値にする] のチェックボックスを OFF にすると、表面／裏面それぞれの値が設定できます。
単位	[ミリメートル]、[インチ]	サイズを設定する単位を選択します。

画像シフト設定



機能名称	選択肢	説明
設定切り替え	[ドライバーの設定値を使用する] [本体の設定値を使用する]	[ドライバーの設定値を使用する]： 本プリンタードライバーで設定した値が使用されます。 [本体の設定値を使用する]： 本体操作パネルで設定した値が使用されます。
単位	[ミリメートル]、[インチ]	サイズを設定する単位を選択します。
表面 / 裏面	ー	ずらす方向と値を設定します。両面印刷の場合、[表面と裏面を同じ値にする] のチェックボックスを OFF にすると、表面／裏面それぞれの値が設定できます。
左シフト / 右シフト	0 ～ 250mm	印刷イメージ位置を設定した量を左右にシフトします。
上シフト / 下シフト	0 ～ 250mm	印刷イメージ位置を設定した量を上下にシフトします。
ページ間隔	-250mm ～ 250mm	2 in 1 以外の 1 枚集約、または小冊子が設定されているときに、ページ間隔を指定します。 - に設定すると設定した値分、ページが重なります。
外側オフセット	0 ～ 50mm	[小冊子] を設定しているとき、用紙を折った際の厚みを考慮し、外側にいくにしたがってページ間隔が広がるように調整できます。

10.3.4 ［仕上げ］タブ



機能名称	選択肢	説明
［ステープル］	［左コーナー］、 ［右コーナー］、 ［2 点（左）］、 ［2 点（右）］、 ［2 点（上）］	ステープルを設定します。 ドロップダウンリストでステープルの数と位置を指定できます。 ［開き方向 / とじ方向］が［上とじ］の場合、［2 点（上）］が設定できます。
［ステープル 2 点幅］	［広い］、［やや狭い］、［狭い］	ステープルの幅を設定します。
［中とじ］	オフ、オン	中とじを設定できます。
［パンチ］	［2 穴（左）］、［2 穴（右）］、［2 穴（上）］ ［3 穴（左）］、［3 穴（右）］、［3 穴（上）］ ［4 穴（左）］、［4 穴（右）］、［4 穴（上）］ ［マルチパンチ（左）］、［マルチパンチ（右）］、［マルチパンチ（上）］	パンチを設定します。 ドロップダウンリストでパンチの数と位置を指定できます。 ［開き方向 / とじ方向］が［上とじ］の場合、［2 穴（上）］、［3 穴（上）］、［4 穴（上）］、［マルチパンチ（上）］が設定できます。
［折り］	［Z 折り（A3, B4, 11x17, 8K）］ ［Z 折り（8 1/2 x 14）］ ［中折り内印刷］、［中折り外印刷］、 ［内三つ折り内印刷］、［内三つ折り外印刷］、［外三つ折り内印刷］、［外三つ折り外印刷］、［ダブルパラレル折り内印刷］、 ［ダブルパラレル折り外印刷］、 ［観音折り内印刷］、［観音折り外印刷］、 ［重ね三つ折り内印刷］、［重ね三つり外印刷］、［重ね中折り］	折り機能を設定します。 ドロップダウンリストで折りの状態を指定できます。
［断裁］	オフ、オン	［中とじ］、または［重ね中折り］を設定しているときに、2 つ折りにした用紙の端を断裁して、用紙の端を揃えます。
［分割仕上げ］	オフ、オン	ジョブを分割して、ステープル出力します。
	［分割単位］	ジョブを分割するときの単位を指定します。

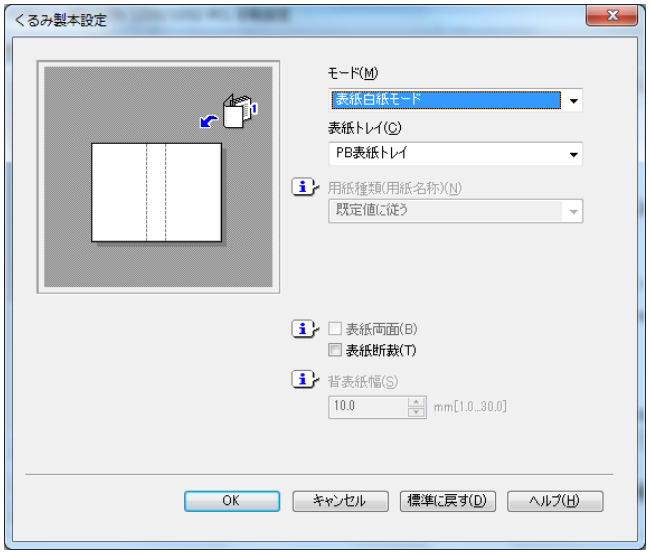
機能名称	選択肢	説明
［排紙トレイ］	［自動］ ［スタッカー自動］、 ［スタッカー 1 メイントレイ］ ［スタッカー 1 サブトレイ］ ［スタッカー 2 メイントレイ］ ［スタッカー 2 サブトレイ］ ［スタッカー 3 メイントレイ］ ［スタッカー 3 サブトレイ］ ［マルチ折り機 メイントレイ］ ［マルチ折り機 サブトレイ］ ［中とじ機 サブトレイ］ ［平とじ機 メイントレイ］ ［平とじ機 サブトレイ］ ［くるみ製本機 サブトレイ］	用紙を排紙するトレイを設定します。
［排紙モード］	［フェイスダウン（正順）］ ［フェイスアップ（正順）］ ［フェイスアップ（逆順）］	印刷する用紙を上向きに出力するときは［フェイスアップ］を選択します。 印刷するページ順を逆順にするときは［逆順］を選択します。
［上積み許可］	オフ、オン	この機能をオンにすると、他のジョブが出力されて大容量スタッカーに上積みされることを許可します。 この機能をオフにしていると、現在のジョブが大容量スタッカーから取除かれるまで、次のジョブは出力できません。
［タンデムモード］	オフ、オン	2 台のプリンターをタンデム接続して出力するときに設定します。
［リングバインド］	オフ、オン	出力紙をリングで綴じるときに設定します。
［リングバインド設定］	［先頭紙印刷面］	［リングバインド］を設定したときに、先頭紙の印刷面を指定します。 ［外印刷］：先頭紙印刷面の表面に文書を印刷します。 ［内印刷］：先頭紙印刷面の裏面に文書を印刷します。
	［最終紙印刷面］	［リングバインド］を設定したときに、最終紙の印刷面を指定します。 ［外印刷］：最終紙印刷面の表面に文書を印刷します。 ［内印刷］：最終紙印刷面の裏面に文書を印刷します。
［くるみ製本］	オフ、オン	くるみ製本を設定します。
［くるみ製本設定］	―	くるみ製本機能を設定します。 くるみ製本についての詳細は、10-22 ページをごらんください。

参考

- ［ステープル］機能は、オプションの［平とじ機］が装着されているときに使用可能となります。
- ［ステープル 2 点幅］で設定できる幅は以下のとおりです。
  広い ..... 約 165mm
  やや狭い ..... 約 140mm
  狭い ..... 約 120mm
- ［中とじ］機能は、オプションの［中とじ機］が装着されているときに使用可能となります。
- ［パンチ］機能は、オプションの［パンチキット］、または［マルチパンチ機］が装着されているときに使用可能となります。
- ［折り］機能は、オプションの［マルチ折り機］、［中とじ機］または［サドルユニット］が装着されているときに使用可能となります。
- ［リングバインド］機能は、オプションの［リングバインダー］が装着されているときに使用可能となります。

くるみ製本設定

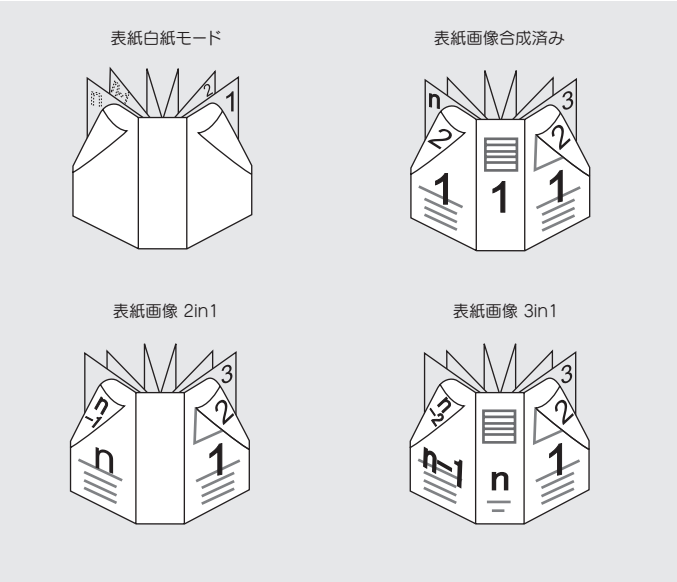
くるみ製本機能は、くるみ製本機によって原稿（本身）の背部分を糊付けし、これを表紙でくるんで製本する機能です。



機能名称	選択肢	説明
[モード]	[表紙白紙モード] [表紙画像合成済み] [表紙画像 2in1] [表紙画像 3in1]	くるみ製本のモードを選択します。 くるみ製本のモードについては、10-23 ページをごらんください。
[表紙トレイ]	トレイ 1 ～ 8、 PI トレイ 1 ～ 2、 PI PFU トレイ 1 ～ 3、 PB 表紙トレイ	表紙を給紙するトレイを選択します。
[用紙種類（用紙名称）]	ー	本体に登録されている用紙名称を指定できます。
[表紙両面]	オフ、オン	くるみ製本表紙を両面にしたいときはオンにします。
[表紙断裁]	オフ、オン	くるみ製本表紙を断裁するときはオンにします。
[背表紙幅]	1.0 ～ 30.0 mm	背表紙の幅を設定します。

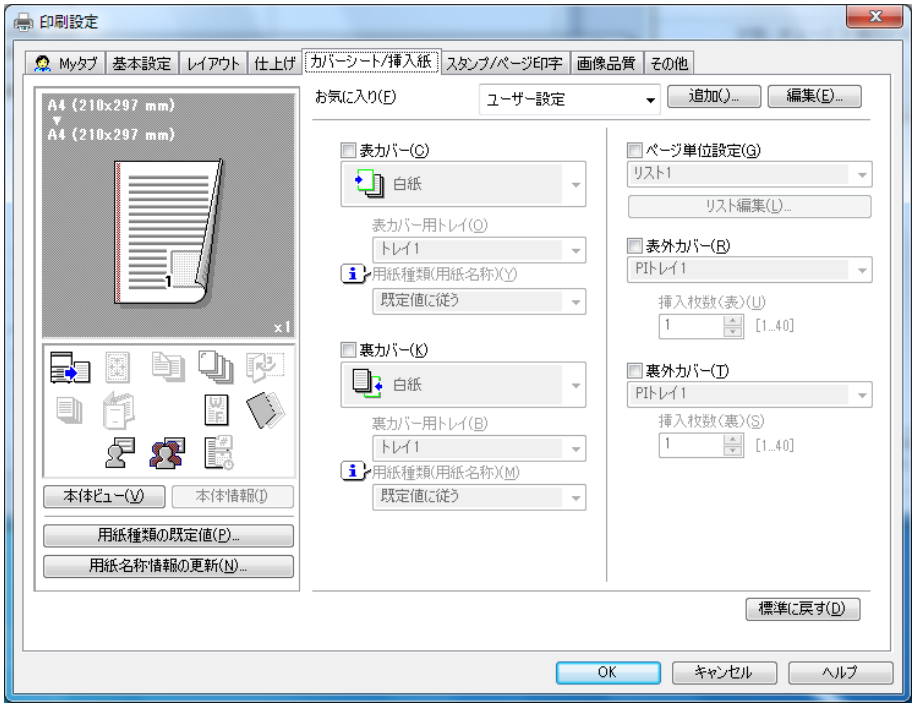
くるみ製本のモード

くるみ製本は、以下の 4 種類のモードがあります。



機能名称	説明
［表紙白紙モード］	表紙には何も印刷せず、本身をくるみます。
［表紙画像合成済み］	表紙に使用する紙と同じサイズに、表紙、裏表紙、背表紙が面付けされた原稿がすでに準備されているときに、選択します。
［表紙画像 2in1］	表紙は、原稿の 1 ページ目と最終ページ（n ページ）を 2 in 1 として作成し、2 ページ目から最終ページの 1 ページ前（n-1 ページ）までを本身として印字し、背表紙は印字せず、くるみ製本を行います。
［表紙画像 3in1］	原稿の 1 ページ目を表表紙に、最終ページの 1 ページ前（n-1 ページ）を裏表紙に、そして最終ページ（n ページ）の背表紙として 3 in 1 に自動で面付けした後に、表紙を印刷します。 また、2 ページ目から最終ページの 2 ページ前（n-2 ページ）までを本身として印字します。

10.3.5 ［カバーシート / 挿入紙］タブ

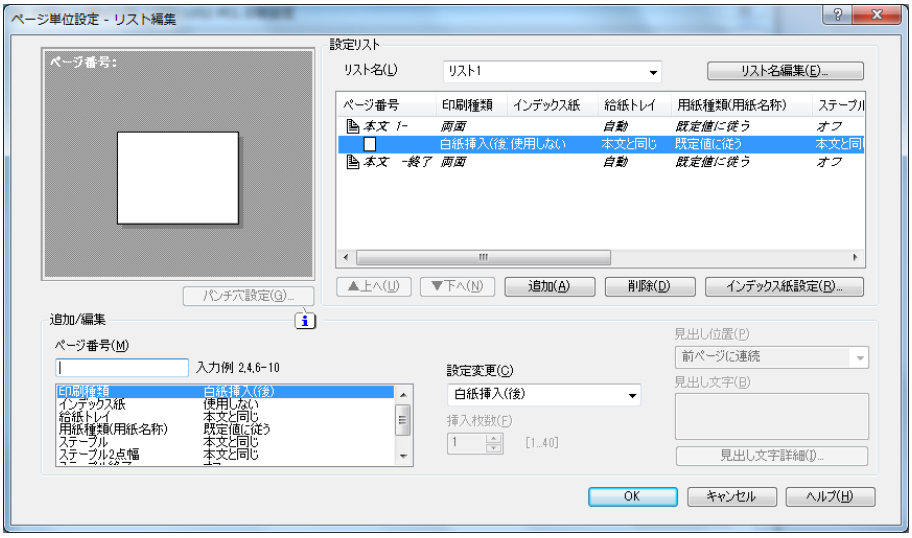


機能名称	選択肢	説明
［表カバー］	［白紙］/［印刷］	表紙を付けて印刷します。
［表カバー用トレイ］	トレイ 1 ～ 8	表紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
［用紙種類（用紙名称）］	―	本体に登録されている用紙名称を指定できます。
［裏カバー］	［白紙］/［印刷］	裏表紙を付けて印刷します。
［裏カバー用トレイ］	トレイ 1 ～ 8	裏表紙を給紙するトレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
［用紙種類（用紙名称）］	―	本体に登録されている用紙名称を指定できます。
［ページ単位設定］	オフ、オン	ページ間に用紙を挿入したり、ページごとに用紙やトレイを切換えます。［リスト編集 ...］でページごとに条件を設定したリストを作成できます。
［リスト編集 ...］	［リスト名］	編集するリスト名を選択します。設定内容が一覧されます。詳しくは、10-25 ページをご覧ください。
［表外カバー］	PI トレイ 1 ～ 2、 PI PFU トレイ 1 ～ 3	表外カバーを付けて印刷します。
［挿入枚数］	1 ～ 40	表外カバーの挿入枚数を指定します。
［裏外カバー］	PI トレイ 1 ～ 2、 PI PFU トレイ 1 ～ 3	裏外カバーを付けて印刷します。
［挿入枚数］	1 ～ 40	裏外カバーの挿入枚数を指定します。

参考

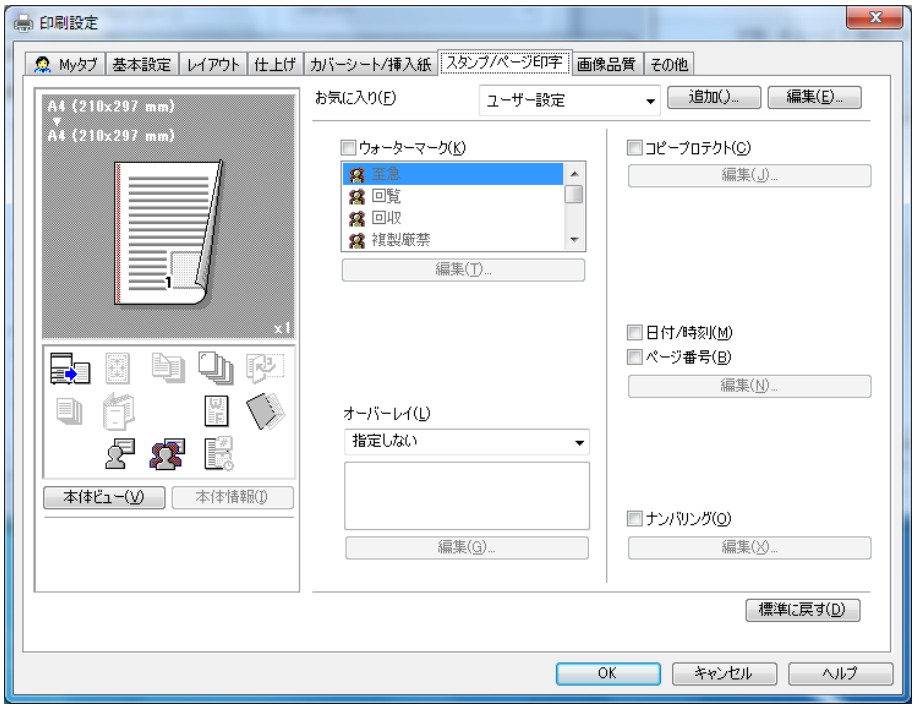
- ［表外カバー］／［裏外カバー］機能は、オプションの［カバーシートフィーダー］が装着されているときに使用可能となります。

ページ単位設定（リスト編集）



機能名称	説明
［リスト名］	編集するリスト名を選択します。設定内容が一覧されます。
［リスト名編集 ...］	リスト名を変更します。
［上へ］/［下へ］	選択している条件行の位置を入替えます。ページ番号が小さい順に並ぶように順番を変更してください。
［追加］	条件を追加します。条件は、［追加 / 編集］の項目で設定します。
［削除］	選択している条件行を削除します。
［ページ番号］	ページ番号を半角数字で入力します。複数のページ番号を入力するときは、カンマで区切るか、ハイフンで範囲を指定します。
［印刷種類］	［設定変更］のドロップダウンリストで印刷種類を設定します。
［インデックス紙］	［設定変更］のドロップダウンリストで使用するインデックス紙を設定します。
［給紙トレイ］	［設定変更］のドロップダウンリストで使用する給紙トレイを設定します。
［用紙種類（用紙名称）］	［設定変更］のドロップダウンリストで用紙種類（用紙名称）を指定します。
［ステープル］	［設定変更］のドロップダウンリストでステープルの数と位置を設定します。
［ステープル 2 点幅］	［設定変更］のドロップダウンリストでステープルの幅を設定します。
［ステープル終了］	［ページ番号］で指定したページの最後でステープル止めをするときは、［設定変更］のドロップダウンリストで［オン］を指定します。
［パンチ穴］	［設定変更］のドロップダウンリストでパンチ機能を設定します。
［設定変更］	各項目の設定を選択します。
［挿入枚数］	挿入枚数を指定します。
［見出し位置］	インデックス紙の見出し位置を選択します。
［見出し文字］	インデックス紙に印刷する見出し文字を入力します。 最大 3 行まで入力できます。
［見出し文字詳細］	見出し文字の詳細設定ができます。 ［方向］：見出し文字の方向を選択します。 ［縦位置］：見出し文字の縦位置を選択します。 ［横位置］：見出し文字の横位置を選択します。 ［フォント名］：見出し文字のフォントを選択します。 ［スタイル］：見出し文字のフォントスタイルを選択します。 ［サイズ］：見出し文字のサイズを設定します。

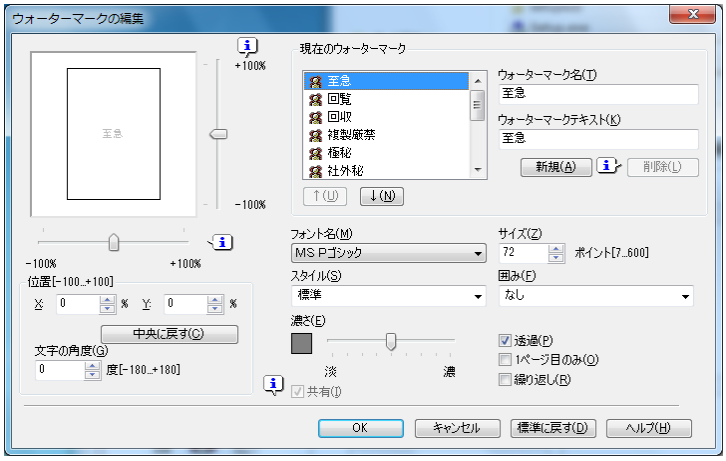
10.3.6 ［スタンプ / ページ印字］タブ



機能名称	選択肢	説明
［ウォーターマーク］	［至急］ ［回覧］ ［回収］ ［複製厳禁］ ［極秘］ ［社外秘］ ［重要］ ［仮］ ［Confidential］ ［DRAFT］ ［COPY］	文書にウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせて印刷します。 あらかじめ左記のウォーターマークが用意されています。 任意の名称でウォーターマークを作成したい場合は、［編集 (T)...］で作成でき、そのウォーターマークが選択肢に追加されます。
［編集 (T)...］	－	ウォーターマークの編集を行います。 ウォーターマークの作成、変更、削除ができます。 詳しくは、10-27 ページをごらんください。
［オーバーレイ］	［指定しない］	オーバーレイ機能を使用しません。
	［オーバーレイファイルの作成］	この設定で原稿を印刷することでオーバーレイ用のデータを作成します。作成したデータはコンピューターに保存します。
	［共有オーバーレイファイルの作成］	［初期設定］タブで［オーバーレイ時に共有フォルダーを利用する］で設定した共有フォルダーにオーバーレイファイルを作成します。 ［初期設定］タブについて詳しくは、10-4 ページをごらんください。
	［オーバーレイ印刷］	［オーバーレイファイルの作成］で作成したオーバーレイ用のデータと原稿を重ねて印刷します。 この設定を選択すると、コンピューターに保存されているオーバーレイ用のデータが下のリストに表示され、選択できるようになります。
［編集 (G)...］	－	オーバーレイ印刷の編集を行います。 オーバーレイ印刷の条件を指定できます。 詳しくは、10-28 ページをごらんください。
［コピープロテクト］	オフ、オン	不正コピーを抑止するためのパターンを文書に合成します。

機能名称	選択肢	説明
[編集 (J)...]	[定型スタンプ]	[コピープロテクト] を設定したときの定型スタンプを、[コピー]、[無効]、[取扱注意]、[複写] から選択します。
	[背景パターン]	[コピープロテクト] を設定したときの背景パターンを、[桜]、[唐草]、[格子] から選択します。
[日付 / 時刻]	オフ、オン	日付や時刻を付けて印刷します。
[ページ番号]	オフ、オン	ページ番号を付けて印刷します。
[編集 (N)...]	ー	日付 / 時刻 / ページ番号の編集を行います。 詳しくは、10-29 ページをごらんください。
[ナンバリング]	オフ、オン	ナンバリングを設定して印刷します。
[編集 (X)...]	ー	ナンバリングの編集を行います。 詳しくは、10-29 ページをごらんください。

ウォーターマークの編集

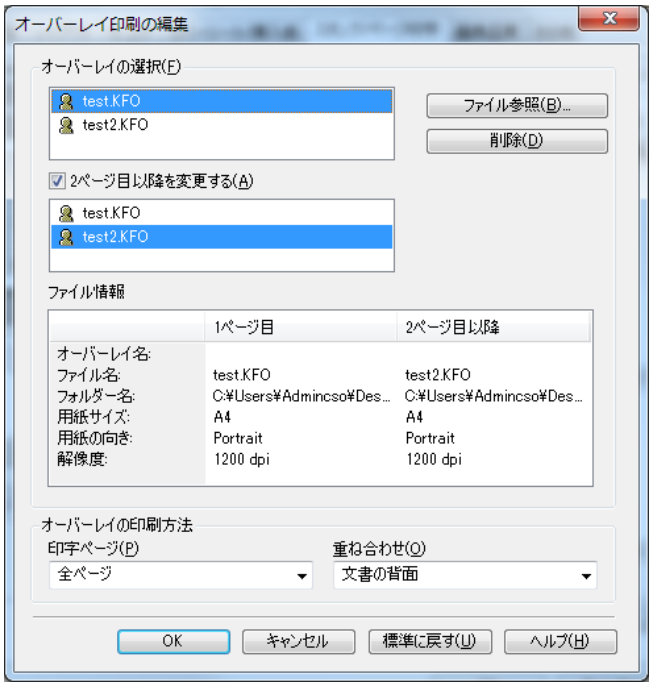


機能名称	説明
ウォーターマークリスト	以下のウォーターマークが用意されています。 [至急] [回覧] [回収] [複製厳禁] [極秘] [社外秘] [重要] [仮] [Confidential] [DRAFT] [COPY]
[ウォーターマーク名]	ウォーターマークリストに表示させる名称を入力します。 30 文字まで入力できます。
[ウォーターマークテキスト]	ウォーターマークを入力します。 30 文字まで入力できます。
[新規]	新規ウォーターマークを作成します。
[削除]	選択しているウォーターマークを削除します。 あらかじめ用意されているウォーターマークは削除できません。
[↑(U)] / [↓(N)]	リストに表示する順番を入替えます。よく使う項目を上に移動できます。
[位置]	上下左右の位置を設定します。右側と下側のスクロールバーでも設定できます。
[中央に戻す]	位置を中央に戻します。
[文字の角度]	印刷角度を設定します。

機能名称	説明
［フォント名］	フォントを設定します。
［サイズ］	サイズを設定します。
［スタイル］	フォントのスタイルを設定します。
［囲み］	囲みスタイルを設定します。
［濃さ］	文字の濃度を設定します。
［透過］	ウォーターマークを透過イメージで印刷します。
［1 ページ目のみ］	ウォーターマークを 1 ページ目のみ印刷します。
［繰り返し］	ウォーターマークを 1 ページの中で繰り返し印刷します。
［共有］	ウォーターマークを公開で登録するか、プライベートにするかを設定します。

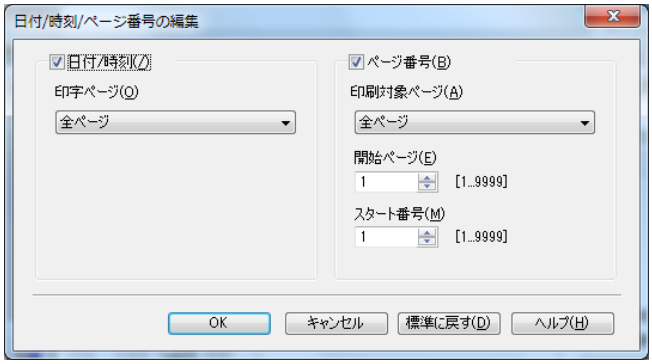
オーバーレイの編集

［オーバーレイ印刷］を選択して［編集］をクリックするとオーバーレイ印刷の編集ができます。



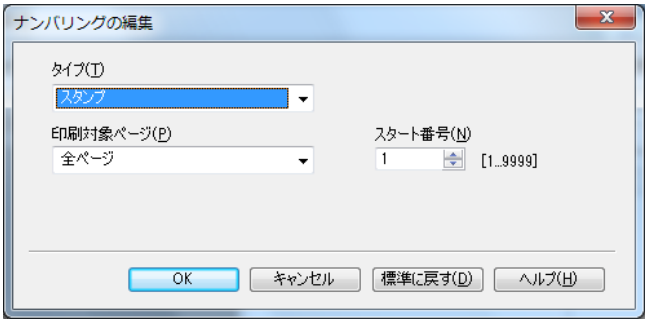
機能名称	説明
［ファイル参照 ...］	オーバーレイファイルを読込みます。
［削除］	選択しているオーバーレイを削除します。
［2 ページ目以降を変更する］	2 ページ目以降のオーバーレイファイルを変更する場合に設定します。
［ファイル情報］	選択しているオーバーレイの情報を表示します。
［印字ページ］	印刷するページを設定します。
［重ね合わせ］	印刷するときの原稿との重合わせ順を設定します。

日付／時刻／ページ番号の編集



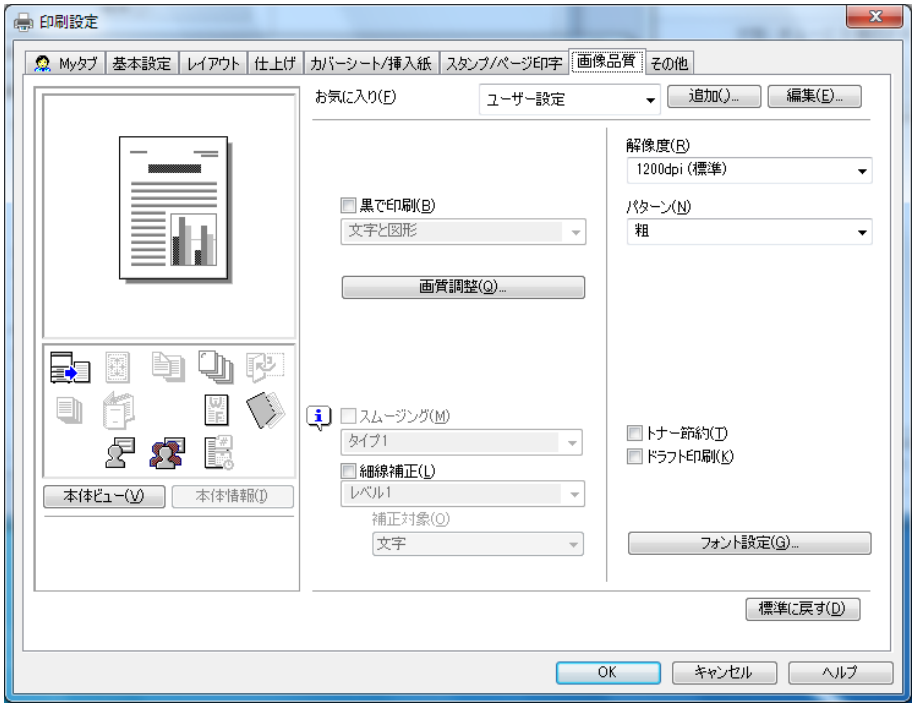
機能名称	説明
［日付 / 時刻］－［印字ページ］	日時と時刻を印刷するページを、［全ページ］または［先頭ページのみ］を選択します。
［ページ番号］－［印刷対象ページ］	ページ番号の印刷対象ページとして［全ページ］、［1 ページ目以外］または［1 ページ目と最終ページ以外］を選択します。
［ページ番号］－［開始ページ］	ページ番号の印刷開始ページを設定します。
［ページ番号］－［スタート番号］	ページ番号の印刷開始番号を設定します。

ナンバリングの編集



機能名称	説明
［タイプ］	ナンバリングのタイプとして、［スタンプ］または［ウォーターマーク］を選択します。
［印刷対象ページ］	ナンバリングの印刷対象ページとして［全ページ］または［先頭ページのみ］を選択します。
［スタート番号］	ナンバリングのスタート番号を指定します。

10.3.7 ［画像品質］タブ



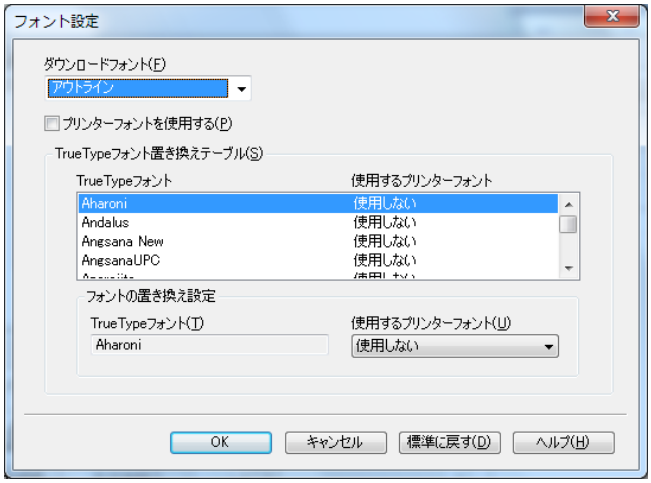
機能名称	選択肢	説明
［黒で印刷］	［すべて］、［文字のみ］、［文字と図形］	選択した条件に合わせ、色付き文字や線、図形などが薄く印刷されないようにします。
［画質調整 ...］	－	画質を調整します。詳しくは、10-31 ページをごらんください。
［スムージング］	［タイプ 1］ ［タイプ 2］ ［タイプ 3］	スムージング機能を使用します。解像度が［600dpi］に設定されているときに使用できます。 ・ ［タイプ 1］：一般的な文字や図形の斜め線に適した処理を行います。 ・ ［タイプ 2］：一般的な文字の曲線部に適した処理を行います。 ・ ［タイプ 3］：飾り文字や細かい文字の曲線部に適した処理を行います。
［細線補正］	［レベル 1］ ［レベル 2］ ［レベル 3］ ［レベル 4］	小さい文字などを印刷するとき、原稿によっては文字がつぶれて読めなくなることがあります。 その場合、細線補正をすることで、文字を読めるようにすることができます。レベルが上がるほど細くなります。
［補正対象］	［文字］ ［全面］	［細線補正］を設定したときの対象を選択します。
［解像度］	［1200dpi（高品質）］、 ［600dpi（高品質）］、 ［1200dpi（標準）］ ［600dpi（標準）］、	印刷時の解像度を選択します。 ［高品質］を選択すると、Acrobat 7.0 より後のバージョンを使用する場合に限り、［標準］より質の高い印刷ができます。 ただし、印刷スピードは若干遅くなります。
［パターン］	［密］、［粗］	グラフィックパターンの細かさを設定します。
［トナー節約］	オフ、オン	印刷濃度をおさえてトナーの使用量を節約します。 ［画質調整］の［-2］に相当します。
［ドラフト印刷］	オフ、オン	文字以外のものを薄く印刷します。 ［画質調整］の［-4］に相当します。
［フォント設定］	－	フォントに関する設定をします。 詳しくは、10-31 ページをごらんください。

画質調整



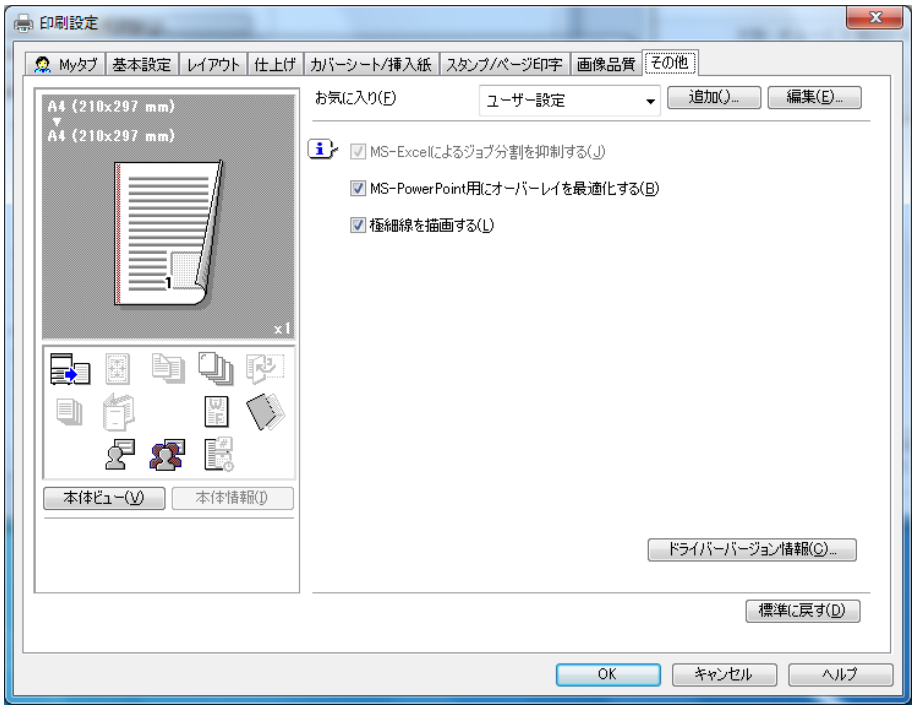
機能名称	選択肢	説明
[濃度]	-5 ～ +1	印刷濃度を調整します。 濃度を濃くする場合はスライダーをプラスの方に、薄くする場合はマイナスの方に移動させます。

フォント設定



機能名称	選択肢	説明
[ダウンロードフォント]	[アウトライン] [ビットマップ]	ダウンロードするフォントの形式を選択します。
[プリンターフォントを使用する]	オフ、オン	プリンターフォントを使用すると高速に印刷できます。 ただし、フォントが置換されるので、データイメージとプリント結果が異なることがあります。 TrueType フォントを使用すると、使用している TrueType フォントのデータを直接プリンターに送信するので、データイメージと同じプリント結果を得られます。
[TrueType フォント置き換えテーブル]	−	TrueType フォントと、プリンターフォントを使用するかどうかがリスト表示されます。
[使用するプリンターフォント]	−	TrueType フォント置き換えテーブルで、選択されているフォントを置換するかどうかを設定します。

10.3.8 ［その他］タブ



機能名称	選択肢	説明
［MS-Excel によるジョブ分割を抑制する］	オフ、オン	Microsoft Excel でページ設定の異なる複数のシートを同時に印刷する場合に、データによっては、シートごとのジョブに分割される場合があります。この機能にチェックすると、ジョブの分割をできるだけ抑制します。
［MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する］	オフ、オン	Microsoft PowerPoint のデータにオーバーレイファイルを重ねて印刷する場合に、PowerPoint データの白背景がオーバーレイファイルを隠さないように、白色部分を除去します。チェックをはずすと、背景を除去せず、原稿データどおりに印刷します。
［極細線を描画する］	オフ、オン	縮小印刷したときに、細い線を消さずに印刷します。
［ドライバーバージョン情報 ...］	−	プリンタードライバーのバージョン情報を表示します。

参考

- ［MS-Excel によるジョブ分割を抑制する］、［MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する］の設定は、Windows Vista ×64、Windows 7 ×64、Windows Server 2008 ×64、Windows Server 2008 R2 では使用できません。
- ［MS-Excel によるジョブ分割を抑制する］は、［プリンタ］（Windows 7/Server 2008 R2 の場合は［デバイスとプリンター］で、プリンタードライバーの設定ダイアログを表示した場合のみ変更できます。

11 PS Plug-in ドライバーの印刷機能

11 PS Plug-in ドライバーの印刷機能

本章では、Windows 7 の画面を使って、PS Plug-in ドライバーの機能について説明します。

基本的な印刷方法については、9-2 ページ（Windows）、9-3 ページ（Mac OS X）をごらんください。

11.1 プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前に、［オプション］画面で装置オプションを設定しておく必要があります。

重要

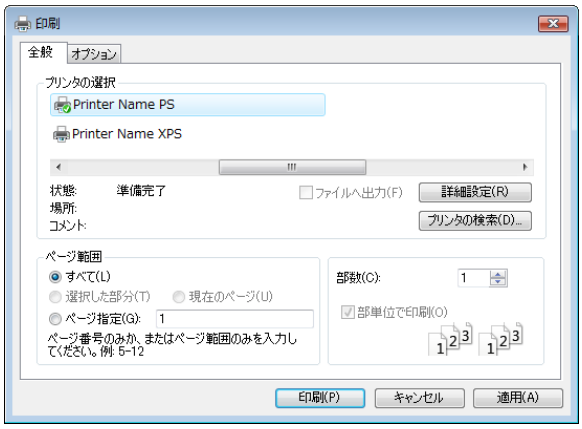
装置オプションが［オプション］画面で設定されていないと、オプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定してください。

11.1.1 オプション画面の表示方法

Windows の場合

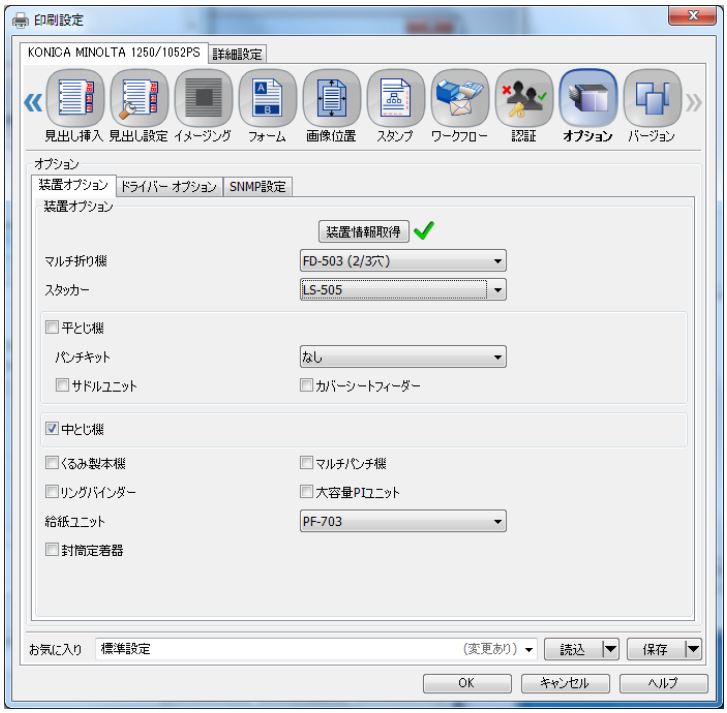
1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、［ファイル］をクリックしてメニューから［印刷］をクリックします。

2 プリンター名を選択し、［詳細設定］をクリックします。



3 ［オプション］タブを選択します。

4　必要に応じて装置オプションを設定し、[OK] をクリックします。



装置オプションが設定されます。

参照

[オプション] について詳しくは、11-28 ページをごらんください。

Mac OS X の場合

1　アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] をクリックしてメニューから [プリント] もしくは [印刷] をクリックします。

2　印刷したいプリンター名を選択します。

3　プリントオプションのポップアップから [bizhub PRESS 1250/1052PS] を選択し、[設定] をクリックします。

4　[オプション] タブを選択します。

5　必要に応じて装置オプションを設定し、[OK] をクリックします。

装置オプションが設定されます。

11.2　共通項目

各タブの画面で共通の設定やボタンについて説明します。



項目名	機能
［OK］	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
［キャンセル］	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
［ヘルプ］	このボタンをクリックすると、各項目についてのヘルプが表示されます。
［読込］/［保存］（お気に入り）	［お気に入り］プルダウンから選択して［保存］をクリックすると、現在の設定を登録できます。登録名を変更することも出来ます。設定を呼出すには、［お気に入り］プルダウンから、名前を選択し、［読込］をクリックします。 詳細については、下記参考をごらんください。

参考

- ［保存］
- お気に入りで現在の設定を保存することができます。
- ［全ユーザーへ保存］（Windows のみ）
- １台の PC を複数のユーザーで共有する際、現在の設定が全ユーザーのお気に入りに保存されます。
- 管理者権限のユーザーのみ使用することができます。
- ［ファイルへ保存］（Windows のみ）
- 現在の設定をファイル化し、保存することができます。
- ［読込］
- ［保存］で登録した設定を読み込むことができます。
- ［ファイルから読込］（Windows のみ）
- ［ファイルへ保存］によって保存された設定を読み込むことができます。

11.3　設定項目詳細

印刷設定画面は、プリンタードライバーの機能を設定する画面です。印刷ダイアログボックスで［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックするか、［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウ、［プリンタと FAX］ウィンドウのプリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定 ...］を指定して開きます。

11.3.1　［簡易設定］タブ

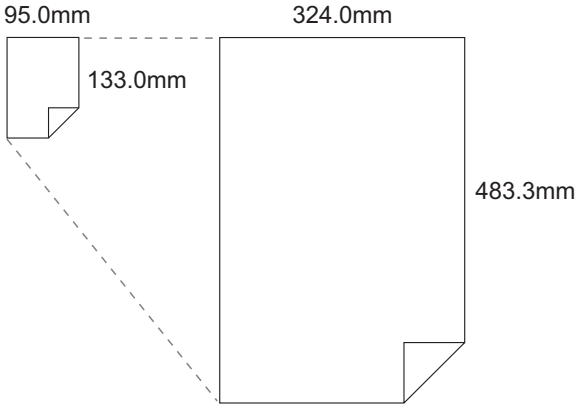


機能名称	選択肢	説明
［原稿サイズ］	定型用紙サイズと不定形サイズに登録してある用紙サイズ	原稿の用紙サイズを設定します。 ［PostScript カスタム ページサイズ］を選択したときには、［不定型サイズ］の［PostScript カスタム ページサイズ］で入力した原稿サイズが使用されます。 また、［不定型サイズ］の［不定型サイズ登録］にて名称を登録したとき、その原稿の名称を選択できます。
	［不定形サイズ ...］	サイズを入力、または登録します。 ［PostScript カスタム ページサイズ］として、原稿サイズを入力できます。 また、設定する原稿サイズに名称を登録したいときには、［不定型サイズ登録］にて、その名称と原稿サイズを登録できます。
［原稿の向き］	［縦］、［横］	原稿の用紙方向を設定します。
［給紙トレイ］	自動選択、トレイ 1 ～ 8	使用する給紙トレイを選択します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
［ステープル］	［オフ］、［コーナー］、［2 点（広い）］、［2 点（やや狭い）］、［2 点（狭い）］、［左コーナー］、［右コーナー］	ステープルを設定します。 ドロップダウンリストでステープルの数と位置を指定できます。 ［とじ方向］が［上とじ］の場合、［左コーナー］、［右コーナー］が設定できます
［パンチ］	［オフ］、［2 穴］、［3 穴］、［4 穴］、［マルチパンチ］	パンチを設定します。 ドロップダウンリストでパンチの数と位置を指定できます。

参考

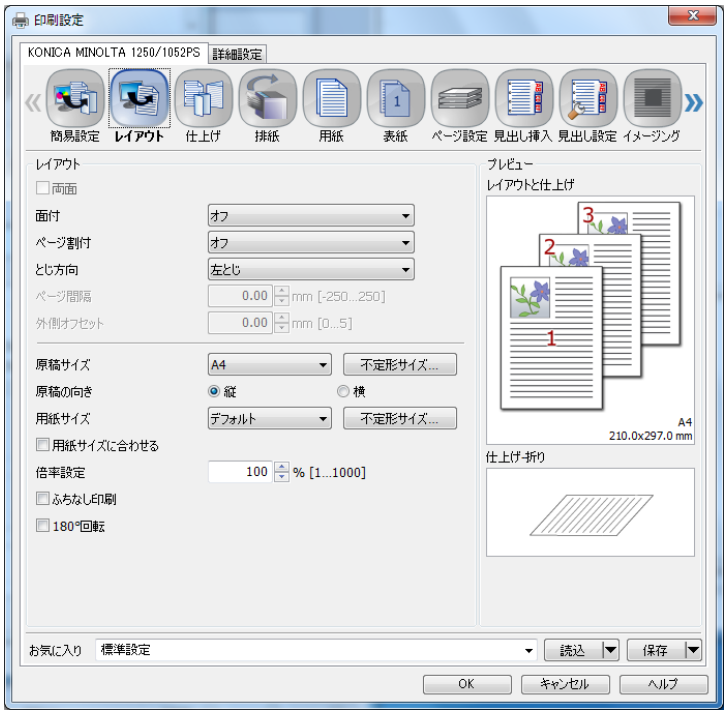
- ［不定形サイズ］で登録できる用紙サイズは以下の範囲です。

- 幅：95.0 ～ 324.0mm , 高さ：133.0 ～ 483.3mm



- ［簡易設定］タブで表示される機能をカスタマイズできます。詳細は 11-29 ページをごらんください。

11.3.2 ［レイアウト］タブ



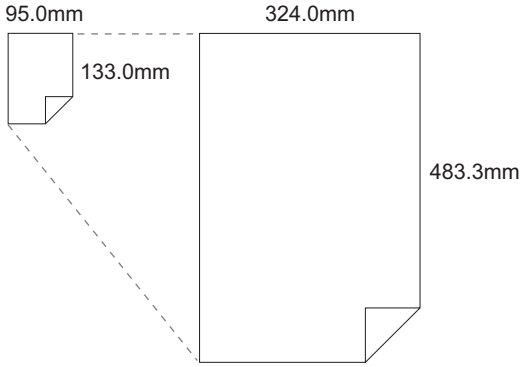
機能名称	選択肢	説明
［両面］	オフ、オン	両面印刷をするときに設定します。
［面付］	［オフ］、［無線とじ］、［小冊子］、［2in1（等倍）］、［2in1（等倍逆方向）］、［2 リピート］、［回転 2 リピート（左反転）］、［回転 2 リピート（右反転）］	面付け印刷をするときに設定します。
［ページ割付］	［オフ］ ［2 in 1］ ［2 in 1（逆方向）］ ［4 in 1］ ［4 in 1（逆方向）］ ［6 in 1］ ［6 in 1（逆方向）］ ［8 in 1］ ［8 in 1（逆方向）］ ［9 in 1］ ［9 in 1（逆方向）］ ［16 in 1］ ［16 in 1（逆方向）］	複数ページの文書を 1 枚の用紙に割付けて印刷します。
［とじ方向］	［左とじ］、［右とじ］、［上とじ］	とじ位置を設定します。
［ページ間隔］	-250 ～ 250 mm	面付け機能を設定したときの見開きページの間隔を設定します。
［外側オフセット］	0 ～ 5 mm	面付け機能で 2 つ折りにすると、外側と内側のページがあわないときに補正します。

機能名称	選択肢	説明
［原稿サイズ］	定型用紙サイズと不定形サイズに登録してある用紙サイズ	原稿サイズを設定します。 ［PostScript カスタム ページサイズ］を選択した場合には、［不定型サイズ］の［PostScript カスタム ページサイズ］で入力した原稿サイズが使用されます。 また、［不定型サイズ］の［不定型サイズ登録］にて名称を登録した場合、その原稿の名称を選択することも可能です。
	［不定形サイズ ...］	サイズを入力、または登録します。 ［PostScript カスタム ページサイズ］として、原稿サイズを入力できます。なお、［PostScript カスタム ページサイズ］の設定値については、入力した値が［用紙サイズ］の［PostScript カスタム ページサイズ］にも反映されます。［原稿サイズ］と［用紙サイズ］の［PostScript カスタム ページサイズ］の値は共通であり、後から入力した数値が両方に反映されます。 また、設定する原稿サイズに名称を登録したい場合には、［不定型サイズ登録］にて、その名称と原稿サイズを登録できます。
［原稿の向き］	［縦］、［横］	原稿の用紙方向を設定します。
［用紙サイズ］	定型用紙サイズと不定形サイズに登録してある用紙サイズ	用紙サイズを設定します。 ［PostScript カスタム ページサイズ］を選択した場合には、［不定型サイズ］で登録した用紙サイズが使用されます。 また、［不定型サイズ］の［不定型サイズ登録］にて名称を登録した場合、その用紙の名称を選択することも可能です。
	［不定形サイズ］	サイズを指定、または登録します。 ［PostScript カスタム ページサイズ］として、用紙サイズを登録できます。なお、［PostScript カスタム ページサイズ］の設定値については、入力した値が［原稿サイズ］の［PostScript カスタム ページサイズ］にも反映されます。［原稿サイズ］と［用紙サイズ］の［PostScript カスタム ページサイズ］の値は共通であり、後から入力した数値が両方に反映されます。 また、設定する用紙サイズに名称を登録したい場合には、［不定型サイズ登録］にて、その名称と用紙サイズを登録できます。
［用紙サイズに合わせる］	オフ、オン	原稿サイズと用紙サイズが異なるときに、用紙サイズにあわせて原稿を印刷できます。
［倍率設定］	1 ～ 1000%	拡大 / 縮小の倍率を設定します。
［ふちなし印刷］	オフ、オン	原稿画像内に余白のふちをつけずに印刷します。
［180 度回転］	オフ、オン	180 ° 回転して印刷します。

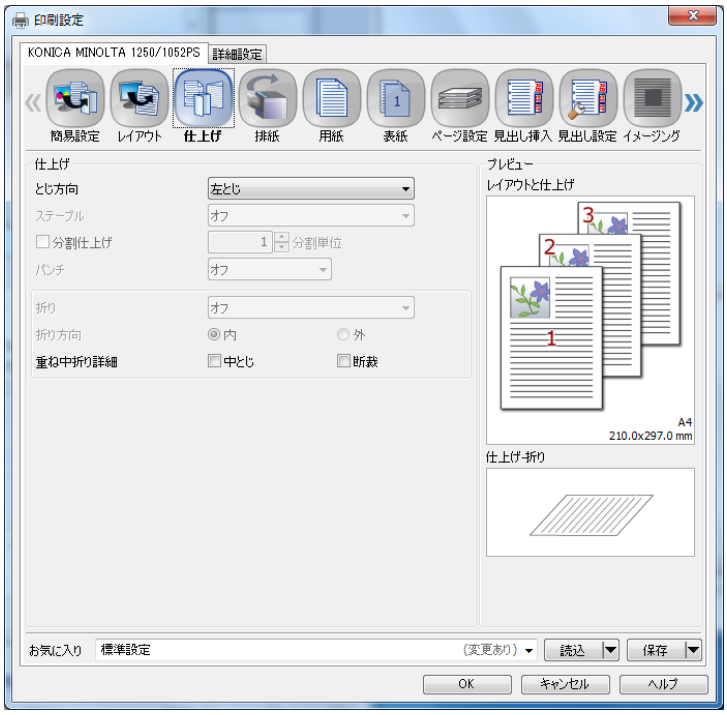
参考

- ［不定形サイズ］で登録できる用紙サイズは以下の範囲です。

- 幅：95.0 ～ 324.0mm , 高さ：133.0 ～ 483.3mm



11.3.3 ［仕上げ］タブ



参考

- ［仕上げ］タブは、［オプション］タブ内の［装置オプション］の設定によって、画面上に表示されない場合があります。

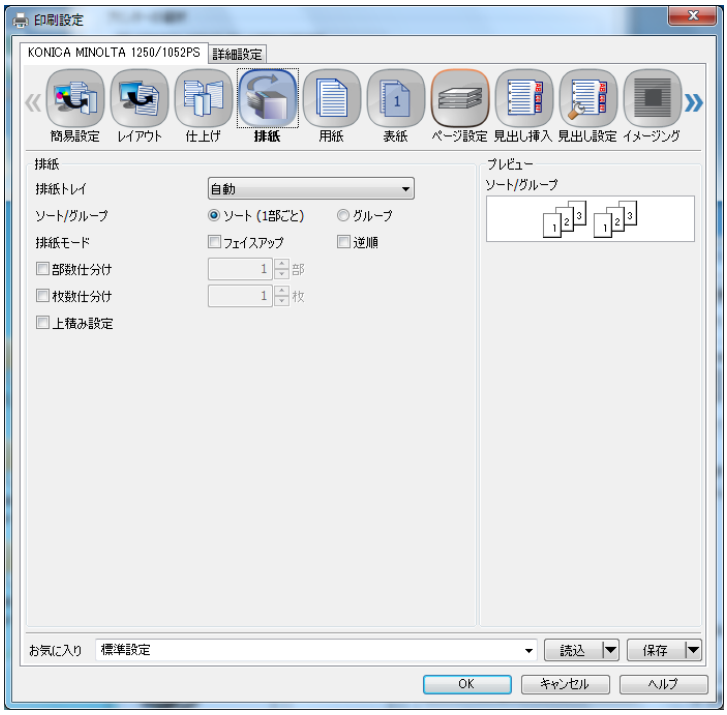
機能名称	選択肢	説明
［とじ方向］	［左とじ］、［右とじ］、［上とじ］	とじ位置を設定します。
［ステープル］	［オフ］、［コーナー］、［2 点（広い）］、［2 点（やや狭い）］、［2 点（狭い）］、［左コーナー］、［右コーナー］	ステープルを設定します。 ドロップダウンリストでステープルの数と位置を指定できます。 ［とじ方向］が［上とじ］の場合、［左コーナー］、［右コーナー］が設定できます
［分割仕上げ］	オフ、オン	ジョブを分割して出力します。
	［分割単位］	ジョブを分割するときの単位を指定します。
［パンチ］	［オフ］、［2 穴］、［3 穴］、［4 穴］、［マルチパンチ］	パンチを設定します。 ドロップダウンリストでパンチの数と位置を指定できます。
［リングバインド］	［先頭紙印刷面］	出力紙をリングで綴じるときに設定します。 ［内］：先頭紙印刷面の裏面に文書を印刷します。 ［外］：先頭紙印刷面の表面に文書を印刷します。
	［最終紙印刷面］	出力紙をリングで綴じるときに設定します。 ［内］：最終紙印刷面の裏面に文書を印刷します。 ［外］：最終紙印刷面の表面に文書を印刷します。

機能名称	選択肢	説明
［折り］	［オフ］、 ［中折り］、 ［Z 折り (A3/B4/Tabloid/8K)］、 ［Z 折り（Legal)］、 ［内三つ折り］、［外三つ折り］、 ［ダブルパラレル折り］、 ［観音折り］、 ［重ね三つ折り］、 ［重ね中折り］	折り機能を設定します。 ドロップダウンリストで折りの状態を指定できます。
	［折り方向］	折り方向を設定します。
	［重ね中折り詳細］	［重ね中折り］選択時に［中とじ］および［断裁］を設定できます。

参考

- ［ステープル］機能は、オプションの平とじ機が装着されているときに使用可能となります。
- ［ステープル 2 点幅］で設定できる幅は以下のとおりです。
  広い ..... 約 165mm
  やや狭い ..... 約 140mm
  狭い ..... 約 120mm
- ［パンチ］機能は、オプションの［パンチキット］、または［マルチパンチ機］が装着されているときに使用可能となります。
- ［リングバインド］機能は、オプションの［リングバインダー ］が装着されているときに使用可能となります。
- ［折り］機能は、オプションの［サドルユニット］、［マルチ折り機］、または［中とじ機］が装着されているときに使用可能となります。

11.3.4 ［排紙］タブ



機能名称	選択肢	説明
［排紙トレイ］	［自動］ ［平とじ機 メイントレイ］ ［平とじ機 サブトレイ］ ［スタッカー自動］、 ［スタッカー 1 メイントレイ］ ［スタッカー 1 サブトレイ］ ［スタッカー 2 メイントレイ］ ［スタッカー 2 サブトレイ］ ［スタッカー 3 メイントレイ］ ［スタッカー 3 サブトレイ］ ［中とじ機 サブトレイ］ ［マルチ折り機 メイントレイ］ ［マルチ折り機 サブトレイ］ ［くるみ製本機 サブトレイ］	用紙を排紙するトレイを設定します。 装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
［ソート / グループ］	［ソート（1 部ごと）］、［グループ］	複数部数を、部数ごと印刷（ソート）するかどうか、またはページごと印刷（グループ）するかどうかを設定します。
［排紙モード］	［フェイスアップ］	印刷する用紙を上向きに出力するときは［フェイスアップ］を選択します。 オフの場合は、下向きに出力します。
	［逆順］	印刷するページ順を逆順にするときは［逆順］を選択します。
［部数仕分け］	オフ、オン	設定した部数ごとに位置をずらして排紙します。
［枚数仕分け］	オフ、オン	設定した枚数ごとに位置をずらして排紙します。
［上積み設定］	オフ、オン	この機能をオンにすると、他のジョブが出力されて大容量スタッカーに上積みされることを許可します。 この機能をオフにしていると、現在のジョブが大容量スタッカーから取除かれるまで、次のジョブは出力できません。

11.3.5 ［用紙］タブ



トレイ設定

機能名称	選択肢	説明
［トレイ / 用紙情報取得］	-	本機で設定されている給紙トレイ情報と、本機で定義されている用紙情報を取得します。 ［トレイ / 用紙情報取得］の右に ✔ が表示されていれば、情報は取得されています。
［給紙トレイ］	自動選択、トレイ 1 ～ 8	本機で設定されている給紙トレイ情報を表示します。装着されているオプションによって選択できる項目が異なります。
［用紙種類］	［指定なし］、［普通紙］、［塗工紙］、［追い刷り紙］、［上質紙］、［書籍用紙］、［ラフ紙］、［未印字挿入紙］、［封筒］、［エンボス紙］	用紙の種類を設定します。 ただし、封筒を使用するには、オプションの封筒定着器（定着ユニット EF-102）が装着されているときに使用可能となります。
［坪量］	指定なし、 40-49g/m^2、 50-61g/m^2、 62-74g/m^2、 75-91g/m^2、 92-135g/m^2、 135-162g/m^2、 163-216g/m^2、 217-244g/m^2、 245-300g/m^2、 301-350g/m^2 （坪量単位が g/m^2 の場合）	出力紙の坪量を設定します。
［紙色］	［白］、［透明］、［黄色］、［桃色］、［青色］、［緑色］	出力紙の紙色を指定します。
［パンチ穴あり］	オフ、オン	パンチ穴がある用紙を使用するときに設定します。

参考

- 坪量単位は、［オプション］タブで変更できます。詳しくは、11-28 ページをご覧ください。

用紙名称

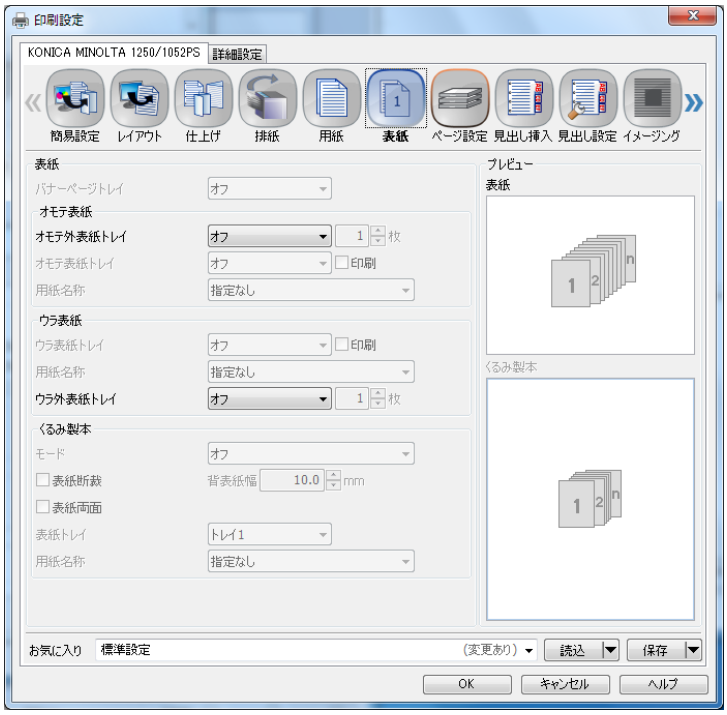
機能名称	選択肢	説明
［用紙名称］	［指定なし］、［登録済みの用紙名称］	登録済みの用紙名称のリストが表示されます。

用紙サイズ

使用可能な用紙サイズリストを表示します。

機能名称	選択肢	説明
［不定形サイズの登録］	-	カスタムサイズとして用紙サイズに登録します。

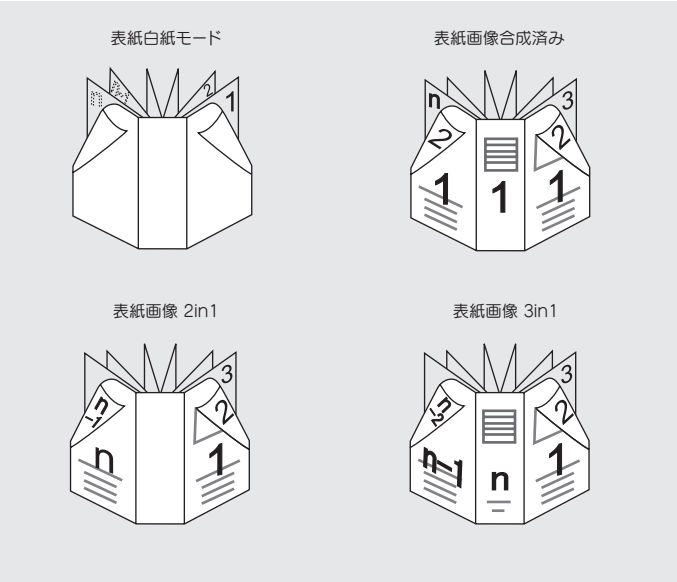
11.3.6 ［表紙］タブ



機能名称	選択肢	説明
［バナーページトレイ］	オフ、自動、トレイ 1 ～ 8	バナーページを挿入するときのトレイを設定します。
［オモテ外表紙トレイ］	オフ、PI トレイ 1 ～ 2 PI-PFU トレイ 1 ～ 3	表カバーに出力用紙と異なる厚紙などを挿入するときに設定します。 PI トレイまたは PI-PFU トレイを選択したとき、最大 40 枚連続挿入ができます。
［オモテ表紙トレイ］	オフ、トレイ 1 ～ 8	表カバーを出力するトレイを設定します。
	［印刷］	表カバーに印刷するときにチェックを入れます。
［用紙名称］（オモテ表紙）	［指定なし］、［登録済みの用紙名称］	登録済みの用紙名称を選択します。 新しく用紙名称をリストに追加する場合は、本体の操作パネルから実行してください。
［ウラ表紙トレイ］	オフ、トレイ 1 ～ 8	裏カバーを出力するトレイを設定します。
	［印刷］	裏カバーに印刷するときにチェックを入れます。
［用紙名称］（ウラ表紙）	［指定なし］、［登録済みの用紙名称］	登録済みの用紙名称を選択します。 新しく用紙名称をリストに追加する場合は、本体の操作パネルから実行してください。
［ウラ外表紙トレイ］	オフ、PI トレイ 1 ～ 2 PI-PFU トレイ 1 ～ 3	裏カバーに出力用紙と異なる厚紙などを挿入するときに設定します。 PI トレイまたは PI-PFU トレイを選択したとき、最大 40 枚連続挿入ができます。
［モード］	［表紙白紙モード］ ［表紙画像合成済み］ ［表紙画像 2in1］ ［表紙画像 3in1］	くるみ製本のモードを選択します。 くるみ製本のモードについては、11-15 ページをごらんください。
［表紙断裁］	オフ、オン	くるみ製本表紙を断裁するときはオンにします。
［背表紙幅］	1.0 ～ 30.0 mm	背表紙の幅を設定します。
［表紙両面］	オフ、オン	くるみ製本表紙を両面にしたいときはオンにします。
［表紙トレイ］	トレイ 1 ～ 8 PI トレイ 1 ～ 2 PI-PFU トレイ 1 ～ 3	表紙を給紙するトレイを選択します。
［用紙名称］	―	本体に登録されている用紙名称を指定できます。

くるみ製本のモード

くるみ製本は、以下の 4 種類のモードがあります。



機能名称	説明
［表紙白紙モード］	表紙には何も印刷せず、本身をくるみます。
［表紙画像合成済み］	表紙に使用する紙と同じサイズに、表紙、裏表紙、背表紙が面付けされた原稿がすでに準備されているときに、選択します。
［表紙画像 2in1］	表紙は、原稿の 1 ページ目と最終ページ（n ページ）を 2 in 1 として作成し、2 ページ目から最終ページの 1 ページ前（n-1 ページ）までを本身として印字し、背表紙は印字せず、くるみ製本を行います。
［表紙画像 3in1］	原稿の 1 ページ目を表表紙に、最終ページの 1 ページ前（n-1 ページ）を裏表紙に、そして最終ページ（n ページ）の背表紙として 3 in 1 に自動で面付けした後に、表紙を印刷します。 また、2 ページ目から最終ページの 2 ページ前（n-2 ページ）までを本身として印字します。

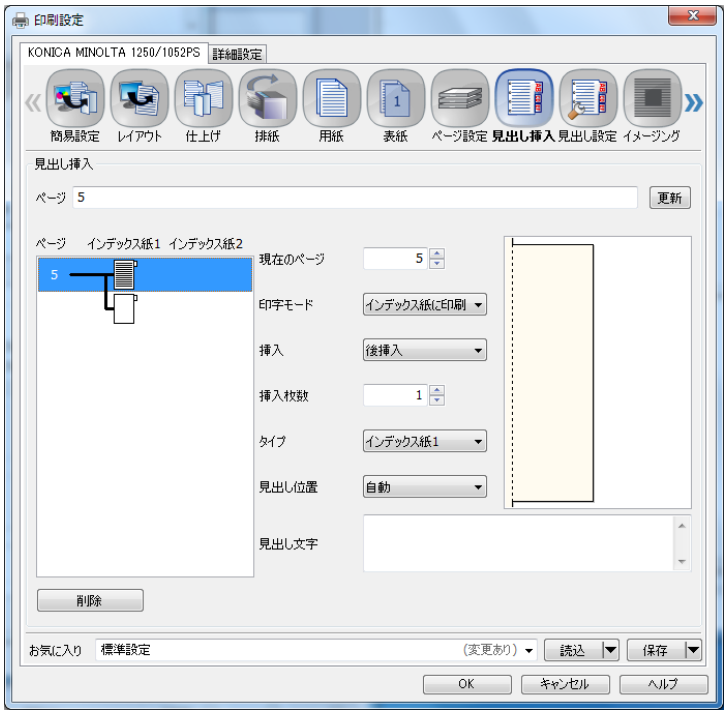
11.3.7 ［ページ設定］タブ



印刷する用紙や印刷設定をページごとに設定します。

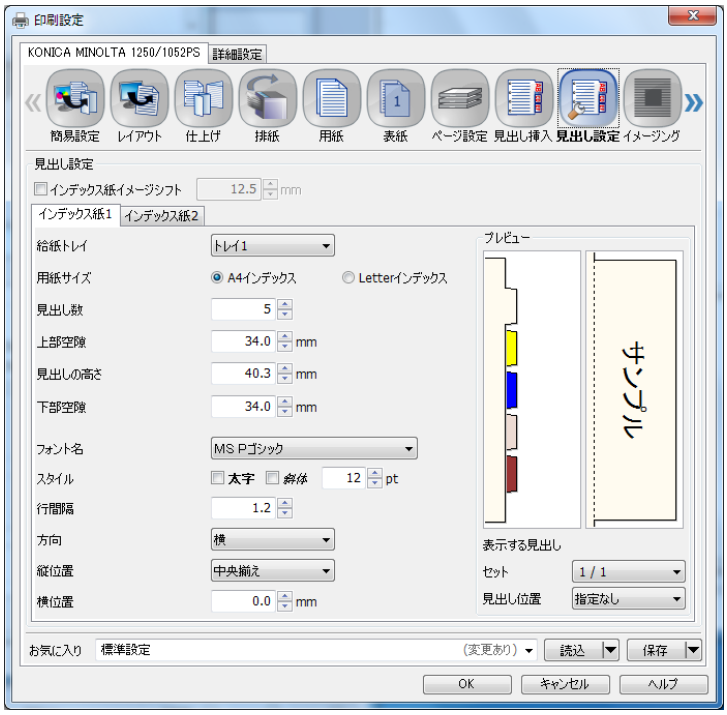
機能名称	選択肢	説明
［章分け］	オフ、オン	オモテ面に印刷するページを指定します。 ［章分け］をオンに設定すると、［両面］も自動的にオンに設定されます。 ページを分けて指定するときはカンマを、ページ範囲を分けて指定する場合はハイフンを使用してください。 (例 :2,5, 7-10)
ページ単位設定	［種類］	［ページ番号］で指定したページの印刷種類を指定します。 ［本文と同じ］を選択すると、原稿全体への設定内容が適用されます。
	［ページ番号］	ページ単位設定を行うページを指定します。
	［給紙トレイ］	［ページ番号］で指定したページの給紙トレイを指定します。 ［自動］を選択すると、操作パネルで設定されたトレイ優先順位に準じて給紙されます。
	［用紙名称］	［ページ番号］で指定したページの用紙名称を指定します。
	［挿入枚数］	［ページ番号］で指定したページの白紙挿入の枚数を指定します。
	［パンチ］	［ページ番号］で指定したページにパンチ穴を設定します。 ［本文と同じ］を選択すると、原稿全体への設定内容が適用されます。
	［ステープル］	［ページ番号］で指定したページにステープルを設定します。 ［本文と同じ］を選択すると、原稿全体への設定内容が適用されます。
	［ステープル終了］	ステープルを区切る場合にチェックします。
［解除］	選択しているページ単位設定を解除します。	
［全設定解除］	すべてのページ単位設定を解除します。	

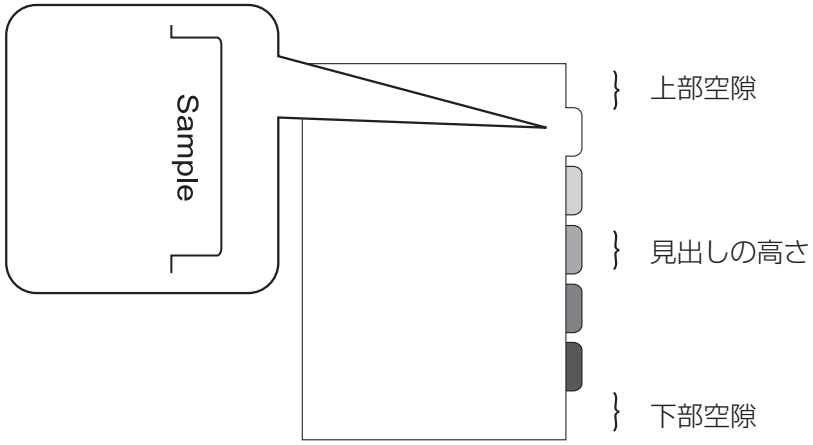
11.3.8 ［見出し挿入］タブ



機能名称	選択肢	説明
［ページ］	-	インデックス紙を挿入するページを指定します。 設定を適用させるには、［更新］をクリックします。
［現在のページ］	-	選択しているインデックス紙のページを変更できます。
［印字モード］	［インデックス紙に印刷］、［本文に印刷］	本文に印刷するかインデックス紙に印刷するかを指定します。
［挿入］	［オフ］、［前挿入］、［後挿入］	空白インデックスページを、前に挿入するか後に挿入するかを指定します。
［挿入枚数］	-	空白インデックスページの挿入枚数を指定します。
［タイプ］	［インデックス紙 1］、［インデックス紙 2］	インデックスタイプを指定します。
［見出し位置］	自動、1/15 ～ 15/15	タブの位置を指定します。 タブの総数は［見出し設定］タブで設定します。
［見出し文字］	-	見出し文字を入力します。 文字は最大 3 行まで入力できます。

11.3.9 ［見出し設定］タブ





機能名称	選択肢	説明
［インデックス紙イメージシフト］	オフ、オン	インデックス紙の印刷イメージを右側にシフトできます。 10.0 ～ 15.0mm（0.1mm 単位）で設定できます。
［インデックス紙 1］/［インデックス紙 2］	-	2 種類のインデックス紙を定義できます。 例：［インデックス紙 1］のタブ数が 5 で、［インデックス紙 2］のタブ数が 15 など。
［給紙トレイ］	トレイ 1 ～ 8	インデックス紙の給紙トレイを選択します。
［用紙サイズ］	［A4 インデックス］、［Letter インデックス］	インデックス紙の用紙サイズを選択します。
［見出し数］	-	インデックス紙のタブ数を指定します。
［上部空隙］	-	上部空隙の数値を入力します。
［見出しの高さ］	-	見出しの高さを入力します。
［下部空隙］		下部空隙の数値を入力します。
［フォント名］	-	見出し文字のフォントを指定します。

機能名称	選択肢	説明
［スタイル］	［太字］、［斜体］、［サイズ］	見出し文字のスタイルを設定します。
［行間隔］	-	見出し文字の行間隔を設定します。
［方向］	［横］、［横（反転）］、［水平］、［縦］	見出し文字の方向を設定します。
［縦位置］	［上詰め］、［中央揃え］、［下詰め］	見出し文字の縦位置を設定します。
［横位置］	-	見出し文字の水平位置を設定します。 初期設定では、見出し文字はタブに対してセンターに配置されます。

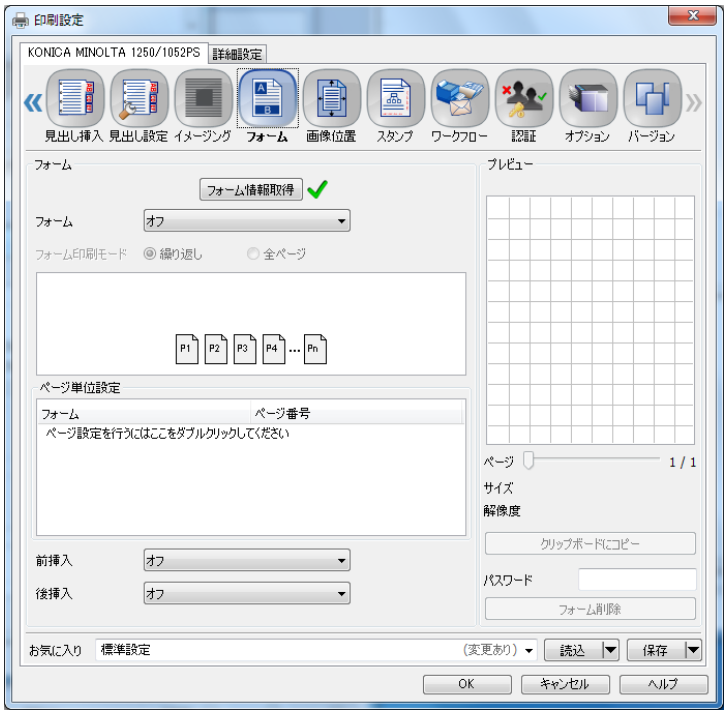
11.3.10 [イメージング] タブ



機能名称	選択肢	説明
[イメージコントローラーデフォルト取得]	-	本機と通信し、イメージコントローラーで初期設定されているスクリーニングの情報を取得します。
[解像度]	[600dpi]、[1200dpi]	解像度を選択します。
[スクリーン方式]	[写真]、[文字]、[文字 / 写真]、[ドットスクリーン]	スクリーン方式を選択します。
[スクリーン線数]	[40 lpi] ～ [300 lpi]	[スクリーン方式] で [ドットスクリーン] を選択したときに、スクリーン線数を指定します。
[スクリーン角度]	[0.0°] ～ [172.5°]	[スクリーン方式] で [ドットスクリーン] を選択したときに、スクリーン角度を指定します。
[ドット形状]	[シンプルドット] [反転シンプルドット] [ダブルドット] [反転ダブルドット] [コサインドット] [ダブル] [反転ダブル] [ライン] [ライン X] [ライン Y] [円] [楕円] [楕円 A] [反転楕円 A] [楕円 B] [楕円 C] [反転楕円 C] [四角] [クロス] [菱形] [ダイアモンド]	[スクリーン方式] で [ドットスクリーン] を選択したときに、ドットの形状を指定します。 ドットの形状を確認したい場合は、プリンタードライバーのヘルプをごらんください。
[トーンカーブ]	-	イメージコントローラーから取得したトーンカーブ名を選択します。トーンカーブの設定は、アプリケーション「ToneCurve Utility」から行います。

機能名称	選択肢	説明
［画質］	［標準］、［ドラフト印刷］、［トナー節約］	印刷時の画質を指定します。 ［ドラフト印刷］は、［画像濃度選択］の［-2］に、［トナー印刷］は、［-4］に相当します。
［画像濃度選択］	［-5］～［-1］ ［標準］、［+1］	印刷濃度を調整します。 濃度を濃くする場合はプラスに、薄くする場合はマイナスのに方に設定します。
［スムージング］	［オフ］ ［タイプ 1］ ［タイプ 2］ ［タイプ 3］	スムージング機能を使用します。解像度が［600dpi］に設定されているときに使用できます。 ・ ［タイプ 1］：一般的な文字や図形の斜め線に適した処理を行います。 ・ ［タイプ 2］：一般的な文字の曲線部に適した処理を行います。 ・ ［タイプ 3］：飾り文字や細かい文字の曲線部に適した処理を行います。
［細線補正］	［オフ］ ［レベル 1］ ［レベル 2］ ［レベル 3］ ［レベル 4］	小さい文字などを印刷するとき、原稿によっては文字がつぶれて読めなくなることがあります。その場合、細線補正をすることで、文字を読めるようにすることができます。レベルが上がるほど細くなります。
［補正対象］	［文字］ ［全面］	［細線補正］を設定したときの対象を選択します。
［CIE 色空間を使用］	オフ、オン	グレースケール印刷時、CIE 色空間を使用するときに設定します。 ただし、オンにすると印刷スピードは若干遅くなります。

11.3.11 [フォーム] タブ



フォーム用ファイルを重ねて印刷できます。

フォーム用ファイルを保存するには、[ワークフロー] タブの [出力方法] 内にある [フォーム] を選択してください。詳しくは、11-25 ページをごらんください。

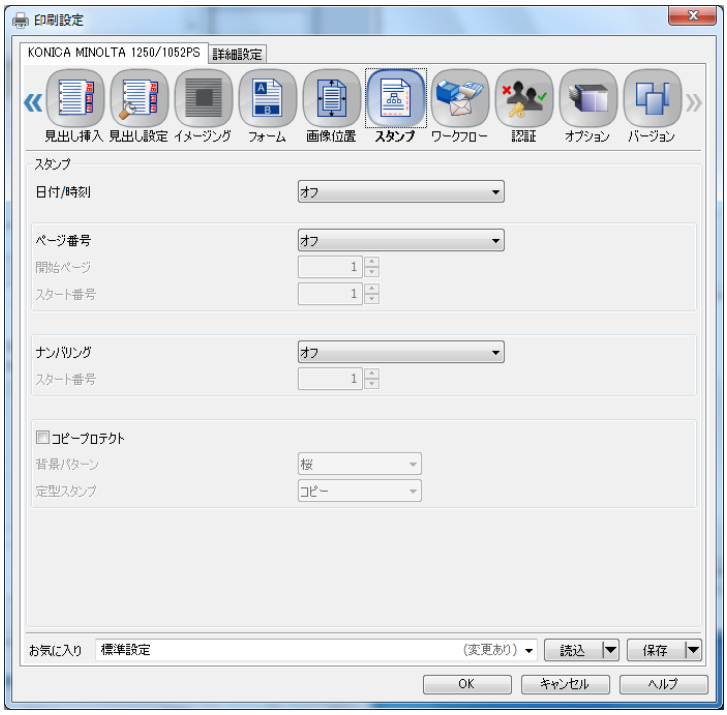
機能名称	選択肢	説明
[フォーム情報取得]	-	本機と通信し、イメージコントローラーに保存されているフォーム情報を取得します。 [フォーム情報取得] の右に✔が 表示されていれば、フォーム情報は取得されています。
[フォーム]	[オフ]、[登録フォーム名]	フォーム機能を設定します。
[フォーム印刷モード]	[繰り返し]、[全ページ]	[繰り返し] は、フォームのすべてのページを 1 ページ目から順に、印刷文書の各ページにオーバーレイを繰り返す設定ができます。 [全ページ] は、フォームのすべてのページを 1 ページ目から順に 1 回だけ、印刷文書にオーバーレイをする設定ができます。
[ページ単位設定]	[フォーム]、[ページ番号]	ページ単位でオーバーレイを設定できます。 ただし、入力には制限があり、設定できる最大数は使用されるフォームと対象ページに依存します。
[前挿入]	[オフ]、[登録フォーム名]	指定したフォームを現在のジョブの前に設定します。
[後挿入]	[オフ]、[登録フォーム名]	指定したフォームを現在のジョブの後に設定します。
[クリップボードにコピー]	-	現在プレビューに表示されているページをクリップボードにコピーします。 クリップボードにコピーした画像は印刷文書にペーストすることで、レイアウトの確認ができます。
[フォーム削除]	-	選択したフォームをイメージコントローラーから削除します。フォームを削除する場合は、パスワード入力が必要になります。 このパスワードは本機で設定されています。詳しくは、15-10 ページをごらんください。

11.3.12［画像位置］タブ



機能名称	選択肢	説明
［画像シフト］	［オフ］、［本体の設定値を使用する］、［ドライバーの設定値を使用する］	印刷イメージの位置を設定します。 本機に設定されている［画像シフト］の設定で出力するときは［本体の設定値を使用する］を選択します。 プリンタードライバー上で設定するには、［ドライバーの設定値を使用する］を選択します。
［オモテ / ウラ個別に設定する］	オフ、オン	オモテ面とウラ面で画像シフトの設定を同じ設定にするときは、チェックボックスをオンにします。
［右シフト］	-	オモテ面の出力イメージが水平に移動します。（正の値：右シフト、負の値：左シフト） ［オモテ / ウラ個別に設定する］を設定していると、ウラ面の画像位置もシフトします。
［下シフト］	-	オモテ面の出力イメージが垂直に移動します。（正の値：下シフト、負の値：上シフト） ［オモテ / ウラ個別に設定する］を設定していると、ウラ面の画像位置もシフトします。
［右シフト（ウラ）］	-	ウラ面の出力イメージが水平に移動します。（正の値：右シフト、負の値：左シフト）
［下シフト（ウラ）］	-	ウラ面の出力イメージが垂直に移動します。（正の値：下シフト、負の値：上シフト）
［画像位置］	［先端］、［中央］、［後端］、	用紙サイズ設定でワイドサイズ、または不定形サイズのときに印刷位置を設定します。

11.3.13 [スタンプ] タブ



機能名称	選択肢	説明
[日付 / 時刻]	[オフ]、[全ページ]、[先頭ページのみ]	[日付 / 時刻] を印刷するときに [先頭ページのみ]、[全ページ] から指定します。
[ページ番号]	[オフ]、[全ページ]、[先頭ページ以外]、[先頭 / 最終ページ以外]	[ページ番号] を印刷するときに [全ページ]、[先頭ページ以外]、[先頭 / 最終ページ以外] から指定します。
[開始ページ]	-	[ページ番号] を印刷するときに、印刷開始ページを指定します。1 ～ 9999 ページまで入力できます。
[スタート番号]	-	[ページ番号] を印刷するときに、ページ番号の開始番号を指定します。1 ～ 9999 ページまで入力できます。
[ナンバリング]	[オフ]、[スタンプ（全ページ）]、[スタンプ（先頭ページのみ）]、[ウォーターマーク（全ページ）]	[ナンバリング] を印刷するときに、[スタンプ（全ページ）]、[スタンプ（先頭ページのみ）]、[ウォーターマーク（全ページ）] から指定します。
[スタート番号]	-	[ナンバリング] を印刷するときに、印刷開始番号を指定します。1 ～ 9999 ページまで入力できます。
[コピープロテクト]	オフ、オン	不正コピーを抑止するためのパターンを文書に合成します。
[背景パターン]	[桜]、[唐草]、[格子]	[コピープロテクト] を設定したときの背景パターンを指定します。
[定型スタンプ]	[コピー]、[無効]、[取扱注意]、[複写]	[コピープロテクト] を設定したときの文字を指定します。

11.3.14 [ワークフロー] タブ



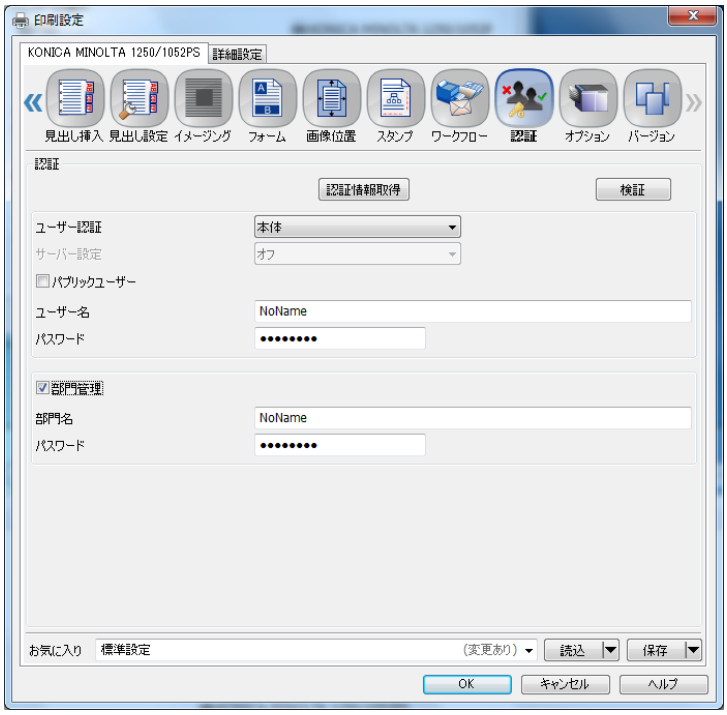
機能名称	選択肢	説明
[タンデムモード]	オフ、オン	2 台のプリンターをタンデム接続して出力するときに設定します。
[E-Mail 送信]	[オフ]、[エラー時]、[常に]	プリントジョブ完了後に、指定されたアドレスに E-Mail を送信できます。
[プリントモード]	[通常プリント] [確認プリント] [確認プリント（先頭 1 枚）] [一時停止] [保留プリント] [セキュリティープリント]	印刷方法を設定します。 [通常プリント]： 印刷ジョブをどこのハードディスクにも保存することなく印刷します。 [確認プリント]： 印刷イメージを確認するために 1 部だけ出力します。 [確認プリント（先頭 1 枚）]： 印刷イメージを確認するために最初の 1 ページ目だけを出力します。 [一時停止]： 印刷ジョブが一時停止し、出力前に本機の操作パネルから現在の設定を確認できます。 [保留プリント]： 印刷ジョブを保留ジョブとして本機のハードディスクに一時保存します。夜間に一括で出力したいときなどに選択します。 [セキュリティープリント]： 本機の操作パネルで、ID とパスワードを入力しないと出力できません。機密性の高い文書の印刷時に選択します。 手順について詳しくは、14-2 ページをごらんください

機能名称	選択肢	説明
［出力方法］	［通常プリント］ ［ボックス保存］ ［ボックス保存 / プリント］ ［フォーム］	出力方法を設定します。 ［通常プリント］： 印刷ジョブをどこのハードディスクにも保存することなく印刷します。 ［ボックス保存］： 印刷ジョブを本機のハードディスクに保存します。ハードディスクに保存するときのボックスナンバーとファイル名を指定します。 手順について詳しくは、14-7 ページをごらんください。 ［ボックス保存 / プリント］： 印刷ジョブを本機のハードディスクに保存してから印刷します。ハードディスクに保存するときのボックスナンバーとファイル名を指定します。 詳しくは、14-7 ページをごらんください。 ［フォーム］： イメージコントローラーに画像ファイルが保存され、本ドライバーの［フォーム］タブから、保存した画像を背景として使用できます。 ［フォーム］について詳しくは、11-22 ページをごらんください。

重要

［お気に入り］で［標準設定］を選択しても、［セキュリティープリント］の［ID］と［パスワード］の設定は維持されます。

11.3.15 [認証] タブ



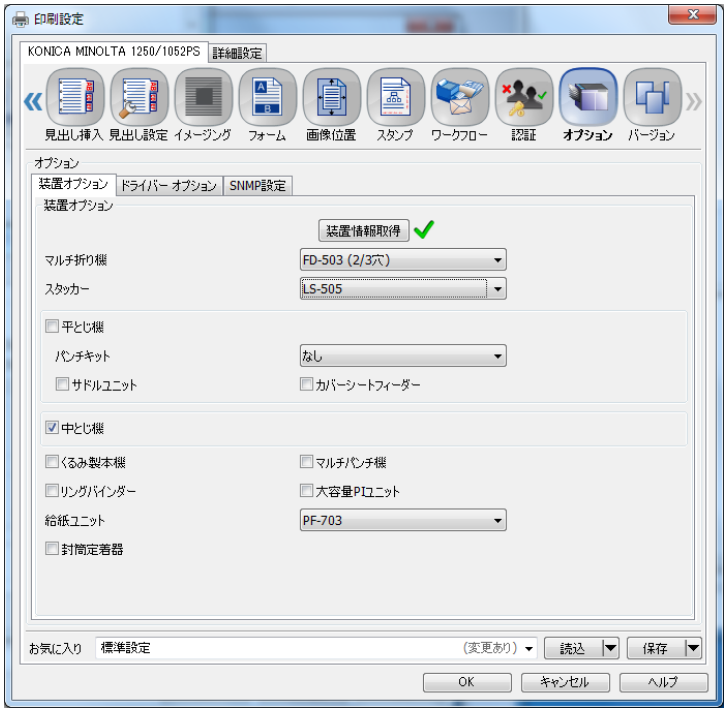
機能名称	選択肢	説明
[認証情報取得]	-	本機と通信し、ユーザー認証 / 部門管理の情報を取得します。
[検証]	-	ユーザー認証 / 部門管理設定について、ユーザーや部門の情報がプリンターに認識されているかを確認できます。
[ユーザー認証]	[オフ]、[本体]、[外部サーバー認証]、[拡張サーバー認証]	ユーザー認証機能が設定されている場合、ユーザー認証サーバーとして、[本体]、[外部サーバー認証]、[拡張サーバー認証] のいずれかを選択します。 詳しくは、14-18 ページをごらんください。
[サーバー設定]	[オフ]、 設置された認証サーバー	複数のユーザー認証サーバーが設置されているとき、プリンターに登録されたユーザー認証サーバーの中から、どのユーザー認証サーバーで認証を行うかを選択します。
[パブリックユーザー]	オフ、オン	パブリックユーザーとしてイメージコントローラーにアクセスするときにチェックします。 詳しくは、14-18 ページをごらんください。
[ユーザー名]	-	登録ユーザーとしてイメージコントローラーにアクセスするときのユーザー名を入力します。 詳しくは、14-18 ページをごらんください。
[パスワード]	-	登録ユーザーとしてイメージコントローラーにアクセスするときのパスワードを入力します。 詳しくは、14-18 ページをごらんください。
[部門管理設定]	オフ、オン	本体で、部門管理機能を設定しているとき、印刷ジョブに、部門名とパスワードを設定できます。 この識別情報は、プリント枚数を管理する目的で使用されます。 [部門管理設定] をチェックして印刷すると、出力時に、部門名とパスワードの入力が必要になります。 詳しくは、14-21 ページをごらんください。
[部門名]	-	[部門管理設定] をチェックして印刷するときの、部門名を入力します。 詳しくは、14-21 ページをごらんください。

機能名称	選択肢	説明
［パスワード］	-	［部門管理設定］をチェックして印刷するときの、パスワードを入力します。 詳しくは、14-21 ページをごらんください。
［再入力］	-	［部門管理設定］をチェックして印刷するときの、確認用パスワードとしてパスワードを再入力します。 詳しくは、14-21 ページをごらんください。

重要

- ［お気に入り］で［標準設定］を選択しても、［ユーザー認証］、［部門管理設定］の設定は維持されます。

11.3.16 ［オプション］タブ



［装置オプション］タブ

項目名	機能
［装置情報取得］	本機が装着しているオプションを自動的に検出します。 ［装置情報取得］の右に ✔ が表示されていれば、装置情報は取得されています。
［マルチ折り機］	折り、パンチ機能を使用できます。
［スタッカー］	大量印刷を排紙するときに使用します。
［平とじ機］	ステープル機能を使用できます。
［パンチキット］	パンチ機能を使用できます。
［サドルユニット］	［重ね三つ折り］、［重ね中折り］、［中とじ］などの機能を使用できます。
［カバーシートフィーダー］	外カバーを挿入するときに使用します。
［中とじ機］	中とじを設定するときに使用します。
［くるみ製本機］	くるみ製本を設定するときに使用します。
［マルチパンチ機］	マルチパンチ機能を使用できます。
［リングバインダー］	出力紙をリングで綴じることができます。

項目名	機能
［大容量 PI ユニット］	外カバーを大量に挿入するときに使用します。
［給紙ユニット］	給紙トレイとして、トレイ 3 ～ 8 を使用できます。
［封筒定着器］	封筒を印刷するときに使用します。
［単位］	単位を設定します。
［言語］	言語を設定します。 ［言語］は Windows 版のみに対応しています。

参照
トレイにセット可能な用紙サイズについては、［ユーザーズガイド コピー編］をごらんください。

［ドライバーオプション］タブ

項目名	機能
［通常の PostScript を使用］	PPD をベースにしてる PostScript ドライバー機能を持っているアプリケーションを使用しているときに設定します。
［MacOS キーチェーン］	［ユーザー認証］、［部門管理設定］時に、ユーザー名、パスワードをキーチェーンアクセスに登録できます。 ［MacOS キーチェーン］は Mac 版のみに対応しています。
［単位］	単位を設定します。
［坪量単位］	坪量の単位を設定します。
［言語］	言語を設定します。
［簡易設定のカスタマイズ］	［簡易設定］タブに表示する項目を設定します。

［SNMP］タブ

項目名	機能
［SNMP バージョン］	SNMP バージョンを指定します。
［Read Community Name］	コミュニティー名を入力します。確認用として再入力フィールドにコミュニティー名を再入力します。
［Context Name］	コンテキスト名を入力します。
［Read User Name］	ユーザー名を入力します。
［Security Level］	セキュリティーレベルを指定します。 ［Auth-Password］：認証にパスワードが必要です。 ［Auth-Password/Priv-Password］：認証に暗号化パスワードが必要です。
［Read User Auth-Password］	認証パスワードを入力します。確認用として再入力フィールドにパスワードを再入力します。
［Read UserPriv-Password］	暗号化パスワードを入力します。確認用として再入力フィールドに暗号化パスワードを再入力します。

ご注意

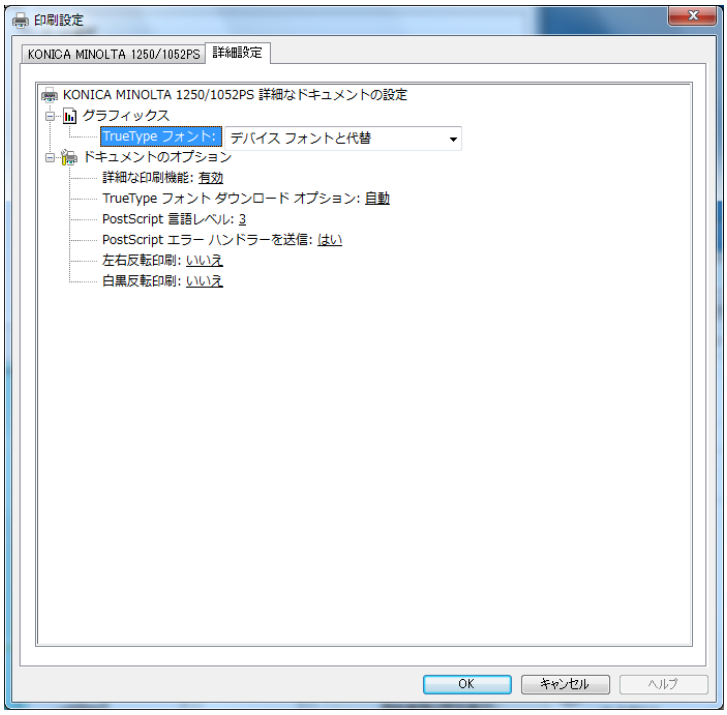
- 本機で SNMP の設定を行っている場合は、該当する各項目に名称などを入力する必要があります。入力する内容については、本機の管理者にお問い合わせください。

11.3.17 [バージョン] タブ



このドライバーのバージョンを確認できます。

11.3.18 ［詳細設定］タブ



［詳細設定］タブでは、PostScript オプションの設定ができます。

機能名称	選択肢	説明
［TrueType フォント］	［デバイスフォントと代替］、［ソフトフォントとしてダウンロード］	フォント代替処理を TrueType フォントに設定します。 ［デバイスフォント代替］はフォントセットをダウンロードしないで、類似フォントをプリンターが選択します。この場合はプリント時間を短縮できますが、代替フォントに含まれない特殊文字などが文字化けする可能性があります。 ［ソフトフォントとしてダウンロード］をクリックすると、TrueType フォントをプリンターにダウンロードします。
［詳細な印刷機能］	［有効］、［無効］	印刷機能の詳細を有効にするか無効にするかを指定します。
［TrueType フォントダウンロードオプション］	［自動］、［アウトライン］、［ビットマップ］、［Native TrueType］	TrueType フォントのダウンロードモードを指定します。
［PostScript 言語レベル］	1 ～ 3	PostScript 言語レベルをで指定します。 PostScript レベルの数値を上げると、より多くの機能を扱うことができます。ただし、対応していない処理を必要とする印刷文書の場合に、より良い互換性を得るには、PostScript レベルの数値を下げることも有用です。
［PostScript エラーハンドラを送信］	［はい］、［いいえ］	PS エラーメッセージを送信するかどうかを指定します。プリントエラーが起きた場合にプリンターからエラーメッセージを出力するには、［はい］を選択します。
［左右反転印刷］	［はい］、［いいえ］	左右反転して印刷する場合に指定します。
［白黒反転印刷］	［はい］、［いいえ］	白黒反転して印刷する場合に指定します。

12 Windows用PPDドライバーの印刷機能

12 Windows 用 PPD ドライバーの印刷機能

Windows 用の PPD プリンタードライバーの機能について説明します。

基本的な印刷方法については、9-2 ページをごらんください。

12.1 プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前に、［デバイスの設定］画面でインストール可能なオプションを設定しておく必要があります。

重要
本機に装着されているオプションが［デバイスの設定］タブで設定されていないと、プリンタードライバーの［印刷設定］画面でオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定してください。

12.1.1 プロパティ画面の表示方法

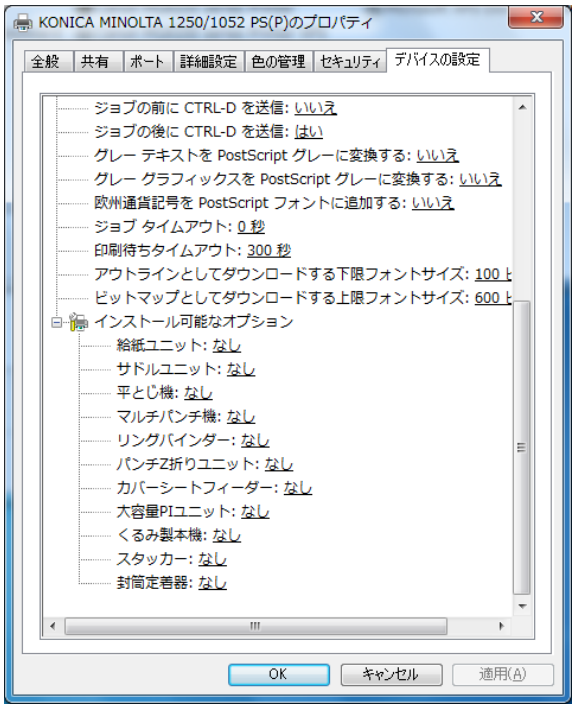
1 ［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウ、［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

- ➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、［スタート］をクリックして［コントロール パネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。
- ➔ Windows 7 の場合は、［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。
- ➔ Windows 7 で、［スタート］メニューに［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。
- ➔ Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］をクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。
- ➔ Windows XP/Server 2003 で、［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］を選び、さらに［プリンタと FAX］を選びます。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

2 ［プリンターのプロパティ］を開きます。

- ➔ Windows XP/Vista/Server 2003/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。
- ➔ Windows 7 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして［プリンターのプロパティ］をクリックします。

12.1.2 ［デバイスの設定］タブ



インストール可能なオプションの設定を行います。

［給紙ユニット］	給紙トレイとして、トレイ 3 ～ 8 を使用できます。
［サドルユニット］	［重ね三つ折り］、［重ね中折り］、［中とじ］などの機能を使用できます。
［平とじ機］	ステープル機能を使用できます。
［マルチパンチ機］	マルチパンチ機能を使用できます。
［リングバインダー］	出力紙をリングで綴じることができます。
［パンチ Z 折りユニット］	折り、パンチ機能を使用できます。
［カバーシートフィーダー］	外カバーを挿入するときに使用します。
［大容量 PI ユニット］	外カバーを大量に挿入するときに使用します。
［くるみ製本機］	くるみ製本を設定することが出来ます。
［スタッカー］	大量印刷を排紙するときに使用します。
［封筒定着器］	封筒を印刷するときに使用します。

12.1.3 OS が提供するタブ

［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］は、Windows が提供するタブです。

テストページの印刷、プリンターの共有設定、プリンターのポート設定などが行えます。

詳しくは、Windows のマニュアルを参照してください。

12.1.4 デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの基準設定（初期設定）を変更します。

1 ［デバイスとプリンター］ウィンドウ、［プリンタ］ウィンドウまたは［プリンタと FAX］ウィンドウを開きます。

- ➔ Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2 の場合は、［スタート］をクリックして［コントロール パネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。
- ➔ Windows 7 の場合は、［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］をクリックします。
- ➔ Windows 7 で、［スタート］メニューに［デバイスとプリンター］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［ハードウェアとサウンド］の［デバイスとプリンターの表示］をクリックします。
- ➔ Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］をクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。
- ➔ Windows XP/Server 2003 で、［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されていない場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］を開き、［プリンタとその他のハードウェア］を選び、さらに［プリンタと FAX］を選びます。［コントロール パネル］がクラシック表示になっている場合は、［プリンタ］をダブルクリックします。

2 インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして［印刷設定 ...］をクリックします。

プリンターの［印刷設定］ダイアログが表示されます。

3 機能の設定を変更し、［OK］をクリックして終了します。

変更した設定が、すべてのアプリケーションソフトウェアでプリンターを使用するときに適用されます。

参照

プリンタードライバーの機能や設定項目については、12-6 ページをごらんください。

12.2 共通項目

各タブの画面で共通の設定やボタンについて説明します。



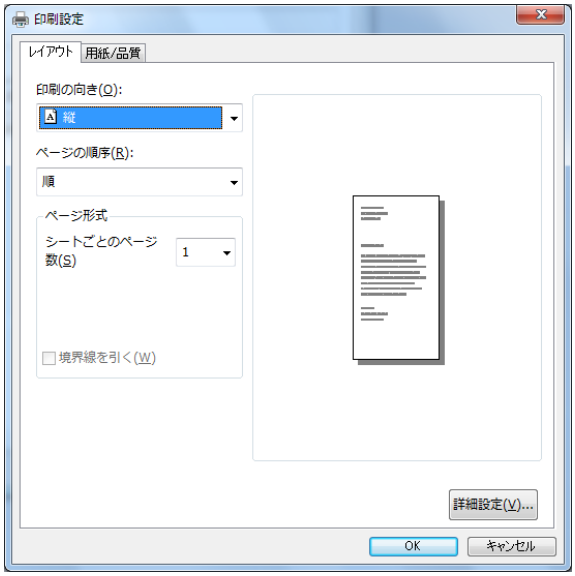
項目名	機能
[OK]	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
[キャンセル]	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
[適用]	このボタンをクリックすると、現在のタブの設定内容を保存します。

12.3 設定項目詳細

印刷設定画面は、プリンタードライバーの機能を設定する画面です。印刷ダイアログボックスで［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックするか、［プリンタ］ウィンドウまたは［デバイスとプリンター］ウィンドウ、［プリンタと FAX］ウィンドウのプリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定 ...］を指定して開きます。

12.3.1 ［レイアウト］タブ

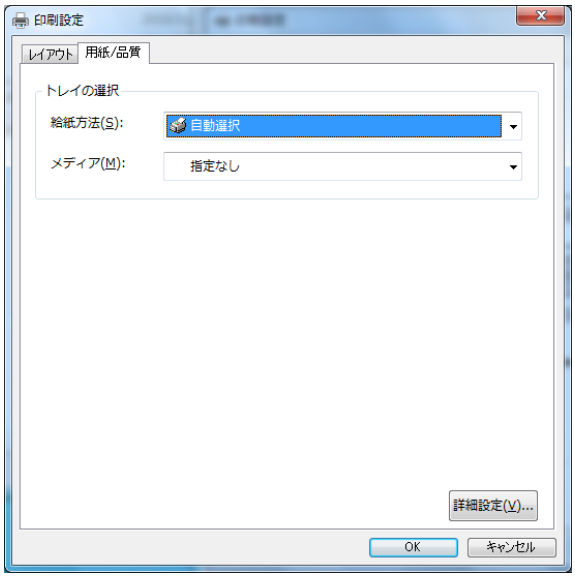
印刷の向き、ページの順序、シートごとのページ数を設定します。



機能名称	選択肢	説明
［印刷の向き］	［縦］、［横］、［横置きに回転］	原稿の用紙方向を設定します。
［ページの順序］	［順］、［逆］	印刷するページの順序を設定します。
［シートごとのページ数］	1、2、4、6、9、16	1 シートに割付けるページ数を指定します。
	［境界線を引く］	割りつけたページの境界線を設定します。
［詳細設定］		詳細設定画面を表示します。

12.3.2 ［用紙 / 品質］タブ

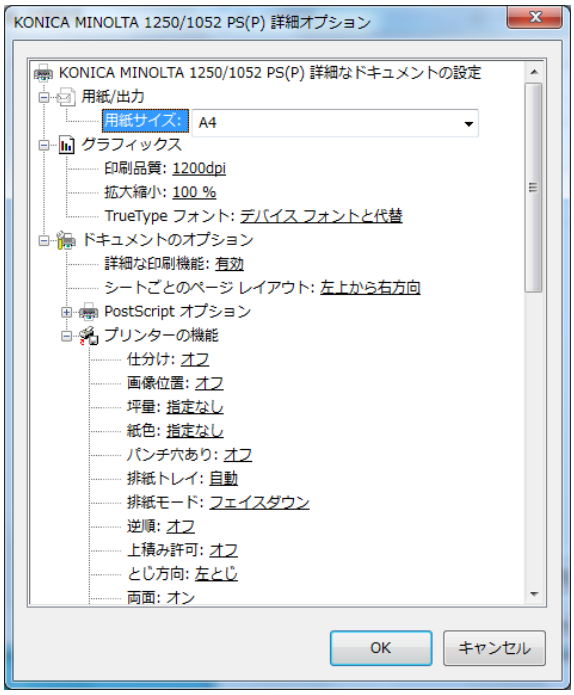
給紙方法、用紙の種類を設定します。



機能名称	選択肢	説明
［給紙方法］	トレイ 1 ～ 8	給紙トレイを設定します。
［メディア］	［指定なし］、［普通紙］、［塗工紙］、［追い刷り紙］、［上質紙］、［書籍用紙］、［ラフ紙］、［未印字挿入紙］、［封筒］、［エンボス紙］	用紙の種類を設定します。 ただし、封筒を使用するには、オプションの封筒定着器（定着ユニット EF-102）が装着されているときに使用可能となります。
［詳細設定］		［詳細オプション］画面を表示します。

12.3.3 ［詳細オプション］画面

プリンターの応用機能を設定します。



機能名称	選択肢	説明
［用紙サイズ］	本機で使用できる用紙サイズ	用紙サイズを設定します。
［印刷品質］	［600dpi］、［1200dpi］	解像度を設定します。
［拡大 / 縮小］	1 ～ 1000%	拡大 / 縮小率を設定します。
［TrueType フォント］	［デバイスフォントと代替］、［ソフトフォントとしてダウンロード］	TrueType フォントの出力方法を設定します。
［詳細な印刷機能］	［有効］、［無効］	［シートごとのページレイアウト］機能を有効にするときに設定します。
［シートごとのページレイアウト］	［左上から右方向］、［左上から下方向］、［右上から左方向］、［右上から下方向］	［シートごとのページレイアウト］機能を有効にするときに設定します。
［PostScript 出力オプション］	［印刷処理が速くなるように最適化］、［エラーが軽減するよう最適化］、［EPS（Encapsulated PostScript）］、［アーカイブ形式］	PostScript の出力オプションを設定します。詳しくは PostScript 解説書をごらんください。
［TrueType フォントダウンロードオプション］	［自動］、［アウトライン］、［ビットマップ］、［Native TrueType］	TrueType フォントのダウンロードオプションを設定します。
［PostScript 言語レベル］	1 ～ 3	PostScript 言語レベルを設定します。
［PostScript エラーハンドラーを送信］	［はい］、［いいえ］	PostScript エラーハンドラーを送信するかどうかを設定します。
［左右反転印刷］	［はい］、［いいえ］	［左右反転印刷］を設定します。
［白黒反転印刷］	［はい］、［いいえ］	［白黒反転印刷］を設定します。
［仕分け］	［オフ］、［オン］	部数ごとに位置をずらして排紙します。
［画像位置］	［オフ］、［先端］、［中央］、［後端］	印刷する位置を設定します。

機能名称	選択肢	説明
［坪量］	指定なし、 40-49g/m^2、 50-61g/m^2、 62-74g/m^2、 75-91g/m^2、 92-135g/m^2、 136-162g/m^2、 163-216g/m^2、 217-244g/m^2 245-300g/m^2 301-350g/m^2 （坪量単位が g/m^2 の場合）	出力紙の重さを設定します。
［紙色］	［指定なし］、［白色］、［透明］、［黄色］、［桃色］、［青色］、［緑色］	出力紙の紙色を指定します。
［パンチ穴あり］	［オフ］、［オン］	パンチ穴がある用紙を使用するときに設定します。
［排紙トレイ］	［自動］ ［平とじ機 メイントレイ］ ［平とじ機 サブトレイ］ ［スタッカー自動］、 ［スタッカー 1 メイントレイ］ ［スタッカー 1 サブトレイ］ ［スタッカー 2 メイントレイ］ ［スタッカー 2 サブトレイ］ ［スタッカー 3 メイントレイ］ ［スタッカー 3 サブトレイ］ ［中とじ機 サブトレイ］ ［マルチ折り機 メイントレイ］ ［マルチ折り機 サブトレイ］ ［くるみ製本機 サブトレイ］	排紙トレイを設定します。
［排紙モード］	［フェイスダウン］、［フェイスアップ］	印刷する用紙を上向きに出力するときに設定します。
［逆順］	［オフ］、［オン］	印刷するページ順を逆順にするときに設定します。
［上積み許可］	［オフ］、［オン］	この機能をオンにすると、他のジョブが出力されて大容量スタッカーに上積みされることを許可します。 この機能をオフにしていると、現在のジョブが大容量スタッカーから取除かれるまで、次のジョブは出力できません。
［とじ方向］	［左とじ］、［上とじ］、［右とじ］、［左とじ（ランドスケープ）］、［上とじ（ランドスケープ）］、［右とじ（ランドスケープ）］	［ステープル］、［パンチ］などの機能を使用したときのとじ位置を設定します。
［両面］	［オフ］、［オン］	両面印刷をするかどうかを設定します。
［面付］	［オフ］、［小冊子］、［無線とじ］、［2in1］、［2 リピート］、［回転 2 リピート（左反転）］、［回転 2 リピート（右反転）］、［回転 2 リピート（上反転）］、［回転 2 リピート（下反転）］	面付け印刷をするときに設定します。
［ステープル］	［オフ］、［左コーナー］、［右コーナー］、［2 点（広い）］、［2 点（やや狭い）］、［2 点（狭い）］	ステープル止めをするときに設定します。
［パンチ］	［オフ］、［2 穴］、［3 穴］、［4 穴］、［マルチパンチ］	パンチ穴をあけるときに設定します。

機能名称	選択肢	説明
［折り］	［オフ］、 ［Z 折り（A3/B4/Tabloid/8K）］、 ［Z 折り（Legal）］、 ［中とじ］、 ［中とじ + 断裁］、 ［中折り - 内］、 ［中折り - 外］、 ［内三つ折り - 内］、 ［内三つ折り - 外］、 ［外三つ折り - 内］、 ［外三つ折り - 外］、 ［ダブルパラレル折り - 内］、 ［ダブルパラレル折り - 外］、 ［観音折り - 内］、 ［観音折り - 外］、 ［重ね三つ折り - 内］、 ［重ね三つ折り - 外］、 ［重ね中折り］、 ［重ね中折り + 断裁］	折り機能を設定します。
［画像シフト］	［オフ］、［オン］	印刷イメージの位置を設定します。
［オモテ表紙］	［オフ］、［印刷］、［白紙］	オモテ表紙を付けるときに設定します。
［オモテ表紙トレイ］	オフ、トレイ 1 ～ 8	オモテ表紙を出力するトレイを設定します。
［ウラ表紙］	［オフ］、［印刷］、［白紙］	ウラ表紙を付けるときに設定します。
［ウラ表紙トレイ］	オフ、トレイ 1 ～ 8	ウラ表紙を出力するトレイを設定します。
［オモテ外表紙トレイ］	オフ、PI トレイ 1 ～ 2 PI-PFU トレイ 1 ～ 3	オモテ表紙を出力用紙と異なる厚紙などで印刷するときに設定します。
［ウラ外表紙トレイ］	オフ、PI トレイ 1 ～ 2 PI-PFU トレイ 1 ～ 3	ウラ表紙を出力用紙と異なる厚紙などで印刷するときに設定します。
［くるみ製本設定］	［オフ］ ［表紙白紙モード］ ［表紙画像合成済み］ ［表紙画像 2in1］ ［表紙画像 3in1］	くるみ製本のモードを選択します。 くるみ製本のモードについては、12-13 ページをごらんください。
［くるみ製本表紙トレイ］	トレイ 1 ～ 8 PI トレイ 1 ～ 2 PI-PFU トレイ 1 ～ 3	表紙を給紙するトレイを選択します。
［くるみ製本表紙両面］	［オフ］、［オン］	くるみ製本表紙を両面にしたいときはオンにします。
［くるみ製本表紙断裁］	［オフ］、［オン］	くるみ製本表紙を断裁するときはオンにします。

機能名称	選択肢	説明
[プリントモード]	[通常プリント]、 [一時停止]、 [確認プリント]、 [確認プリント（先頭 1 枚)]、 [保留プリント]	印刷方法を設定します。 [通常プリント]： 印刷ジョブをどこのハードディスクにも保存することなく印刷します。 [確認プリント]： 印刷イメージを確認するために 1 部だけ出力します。 [確認プリント（先頭 1 枚)]： 印刷イメージを確認するために最初の 1 ページ目だけを出力します。 [一時停止]： 印刷ジョブが一時停止し、出力前に本機の操作パネルから現在の設定を確認できます。 [保留プリント]： 印刷ジョブを保留ジョブとして本機のハードディスクに一時保存します。夜間に一括で出力したいときなどに選択します。 [セキュリティープリント]： 本機の操作パネルで、ID とパスワードを入力しないと出力できません。機密性の高い文書の印刷時に選択します。
[スムージング]	[オフ]、[タイプ 1]、[タイプ 2]、 [タイプ 3]	スムージング機能を使用します。解像度が［600dpi］に設定されているときに使用できます。 ・ ［タイプ 1］：一般的な文字や図形の斜め線に適した処理を行います。 ・ ［タイプ 2］：一般的な文字の曲線部に適した処理を行います。 ・ ［タイプ 3］：飾り文字や細かい文字の曲線部に適した処理を行います。
[細線補正]	[オフ] [レベル 1] [レベル 2] [レベル 3] [レベル 4]	小さい文字などを印刷するとき、原稿によっては文字がつぶれて読めなくなることがあります。その場合、細線補正をすることで、文字を読めるようにすることができます。レベルが上がるほど細くなります。
[細線補正対象]	[文字] [全面]	［細線補正］を設定したときの対象を選択します。
[日付 / 時刻]	[オフ]、[全ページ]、[先頭ページのみ]	日付 / 時刻を印刷するときに設定します。
[コピープロテクト]	[オフ]、[オン]	不正コピーを抑止するためのパターンを文書に合成します。
[定型スタンプ]	[オフ]、[コピー]、[無効]、[取扱注意]、[複写]	［コピープロテクト］を設定したときの定型スタンプを指定します。
[背景パターン]	[オフ]、[桜]、[唐草]、[格子]	［コピープロテクト］を設定したときの背景パターンを指定します。
[画像濃度選択]	[+1]、[標準]、 [-5] ～ [-1] [トナー節約]、[ドラフト印刷]	印刷濃度を調整します。 濃度を濃くする場合はプラスに、薄くする場合はマイナスのに方に設定します。 ［ドラフト印刷］は［-2]、[トナー印刷］は［-4］に相当します。
[180° 回転]	[オフ]、[オン]	180° 回転して印刷します。
[タンデムモード]	[オフ]、[オン]	2 台のプリンターをタンデム接続して出力するときに設定します。
[リングバインド]	[オフ]、[オン]	出力紙をリングで綴じるときに設定します。

機能名称	選択肢	説明
［先頭紙印刷面］	［外］、［内］	［リングバインド］を設定したときに、先頭紙の印刷面を指定します。 ［内］：先頭紙印刷面の裏面に文書を印刷します。 ［外］：先頭紙印刷面の表面に文書を印刷します。
［最終紙印刷面］	［内］、［外］	［リングバインド］を設定したときに、最終紙の印刷面を指定します。 ［内］：最終紙印刷面の裏面に文書を印刷します。 ［外］：最終紙印刷面の表面に文書を印刷します。

参考

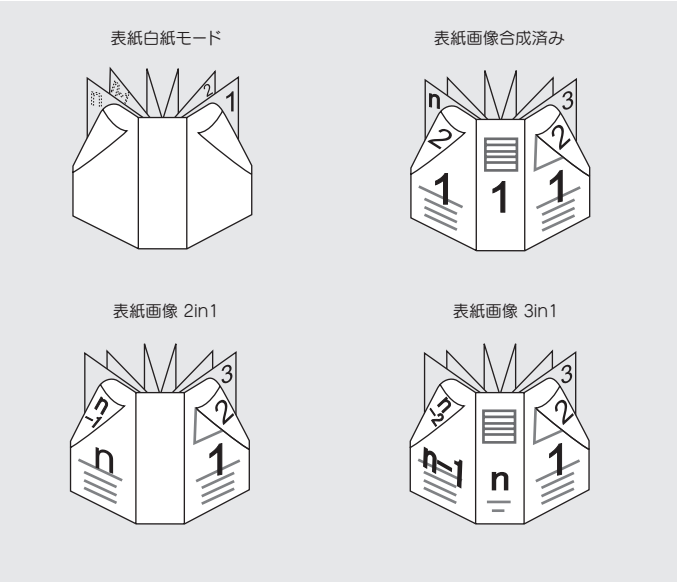
- ［ステープル］機能は、オプションの［平とじ機］が装着されているときに使用可能となります。
- ［ステープル 2 点幅］で設定できる幅は以下のとおりです。
  広い ..... 約 165mm
  やや狭い ..... 約 140mm
  狭い ..... 約 120mm
- ［パンチ］機能は、オプションの［パンチ Z 折りユニット］、または［マルチパンチ機］が装着されているときに使用可能となります。
- ［リングバインド］機能は、オプションの［リングバインダー］が装着されているときに使用可能となります。
- ［折り］機能は、オプションの［サドルユニット］、［パンチ Z 折りユニット］が装着されているときに使用可能となります。

参照

トレイにセット可能な用紙サイズについては、「ユーザーズガイド コピー編」をごらんください。

くるみ製本のモード

くるみ製本は、以下の 4 種類のモードがあります。



機能名称	説明
［表紙白紙モード］	表紙には何も印刷せず、本身をくるみます。
［表紙画像合成済み］	表紙に使用する紙と同じサイズに、表紙、裏表紙、背表紙が面付けされた原稿がすでに準備されているときに、選択します。
［表紙画像 2in1］	表紙は、原稿の 1 ページ目と最終ページ（n ページ）を 2 in 1 として作成し、2 ページ目から最終ページの 1 ページ前（n-1 ページ）までを本身として印字し、背表紙は印字せず、くるみ製本を行います。
［表紙画像 3in1］	原稿の 1 ページ目を表表紙に、最終ページの 1 ページ前（n-1 ページ）を裏表紙に、そして最終ページ（n ページ）の背表紙として 3 in 1 に自動で面付けした後に、表紙を印刷します。 また、2 ページ目から最終ページの 2 ページ前（n-2 ページ）までを本身として印字します。

13 Mac OS X 用 PPD ドライバー

13 Mac OS X 用 PPD ドライバー

OS X 用の PPD プリンタードライバーの機能について説明します。

13.1 プリンタードライバーの初期設定

プリンタードライバーをインストールしたら、日常の印刷を行う前にオプションなどの初期設定条件を変更し、本機の機能をプリンタードライバーから使用可能にする必要があります。

重要
本機に装着されているオプションが［プリンタ情報］で設定されていないと、プリンタードライバーでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

13.1.1 オプション設定

1 ［プリントとファクス］画面（または［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］画面）を開きます。

➔ ［プリントとファクス］画面は、［アップルメニュー］の［システム環境設定 ...］から開きます（OS X 10.4/10.5/10.6）。

➔ ［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］画面は、［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］から開きます。

2 ［プリンタ情報］画面を表示します。

➔ ［プリントとファクス］画面の場合は、［オプションとサプライ ...］（OS X 10.5/10.6）、［プリンタ設定 ...］（OS X 10.4）をクリックします。

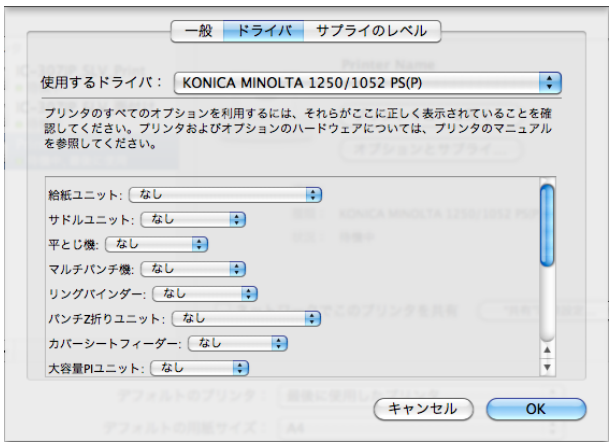
➔ ［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］画面の場合は、［プリンタ］メニューの［情報を見る］を選択します。

3 ［インストール可能なオプション］画面を表示します。

➔ OS X 10.5/10.6 の場合は、［ドライバ］をクリックします。

➔ OS X 10.3/10.4 の場合は、［インストール可能なオプション］を選択します。

4 装着しているオプションを設定します。



5 ［OK］または［変更を適用］をクリックしてから［プリンタ情報］画面を閉じます。

参考

- オプションの選択は必ず行ってください。
- ［セキュリティー印刷のみ許可］をチェックしてある場合は、セキュリティー印刷ジョブのみ許可されます。セキュリティー印刷については、14-5 ページをごらんください。

13.1.2 デフォルト設定の登録

印刷時に設定する本機機能の設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元に戻ります。

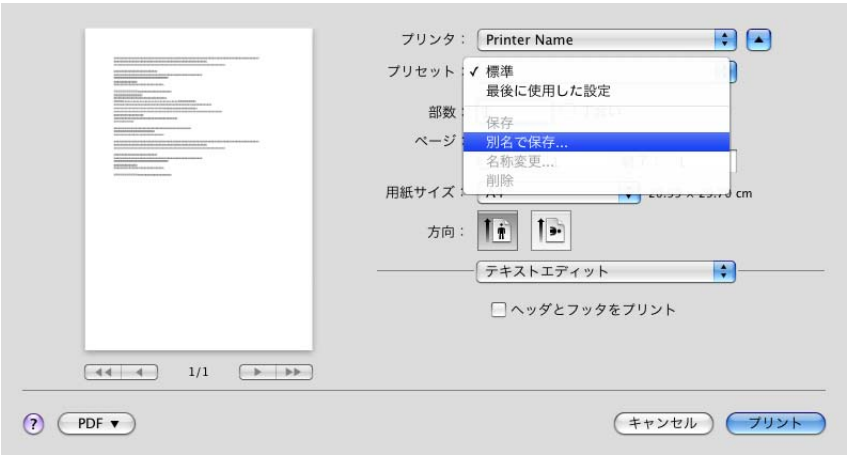
設定内容を登録する場合は、プリンタードライバーの設定を保存します。OS X の場合は、用紙の設定はデフォルト設定として登録できますが、そのほかの印刷機能の設定は［プリセット］機能で設定を保存し、必要に応じて呼出して利用します。

［ページ設定］画面の設定は、［設定］から［デフォルトとして保存］を選択することで保存します。



［プリント］画面から設定するプリンタードライバーの機能は、［プリセット］から［別名で保存 ...］を選択することで保存します。

この設定は、使用するときに［プリセット］から選択します。



参考

- ［ページ単位設定］のリストはプリセットに保存されません。

参照
プリンタードライバーの機能や設定項目については、13-6 ページをごらんください。

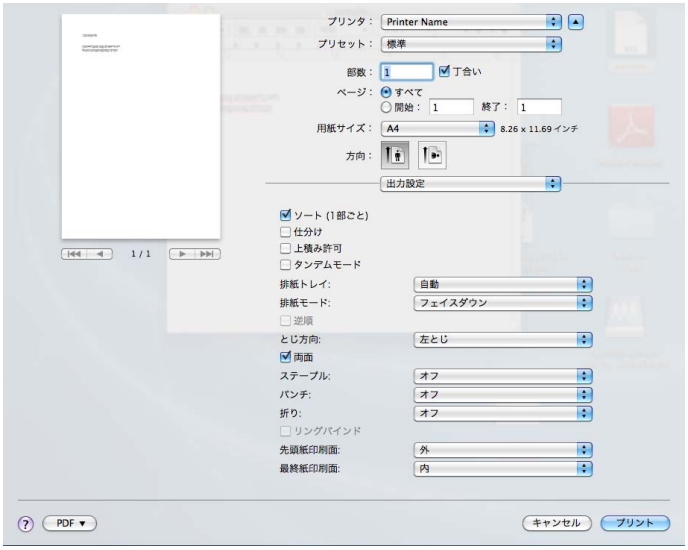
13.2 共通項目

［プリント］画面から設定する本機の固有機能で表示される共通項目について説明します。

OS X 10.5/10.6：



OS X 10.4：



項目名	機能
［キャンセル］	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
［プリント］	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして印刷します。

参考

- 本体情報ダイアログの［装置情報取得］は本機と通信し、本機での設定の状態を読み取ります。この機能は、本機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

13.3 カスタムサイズの追加方法

用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、カスタム用紙サイズを登録します。

1 ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

2 カスタムサイズの登録画面を開きます。

➔ OS X 10.4/10.5/10.6 の場合は、用紙サイズの一覧から［カスタムサイズを管理 ...］を選択します。

➔ OS X 10.3 の場合は、［設定 :］から［カスタム用紙サイズ］を選択します。

3 ［+］（OS X 10.4/10.5/10.6）または［新規］（OS X 10.3）をクリックします。

4 用紙サイズの名称を入力します。

A4、Custom など、既存の定型紙の名称は使用できません。

5 各項目を設定します。

➔ ページサイズ（用紙サイズ）：任意の用紙サイズを設定します。

➔ プリンタの余白：用紙の余白を設定します。



6 ［OK］（OS X 10.4/10.5/10.6）または［保存］（OS X 10.3）をクリックします。

カスタム用紙サイズが登録され、［ページ属性］の用紙サイズで選択できるようになります。

参考

- OS X 10.5/10.6 の場合は、［プリント］画面の［用紙サイズ :］でも［カスタムサイズを管理 ...］を選択できます。

13.4 設定項目詳細

プリンタードライバーの機能は［ページ設定］画面から指定する［ページ属性］と［プリント］画面から設定する［出力方法］、［レイアウト / 仕上げ］、［給紙トレイ / 排紙トレイ］、［カバーシート / OHP 合紙］、［ページ単位設定］、［スタンプ / ページ印字］、［画像品質］の各画面で設定します。

13.4.1 ［ページ属性］

［ファイル］メニューの［ページ設定］で選択します。



機能名称	選択肢	説明
［用紙サイズ］	本機で利用できる定型用紙サイズとカスタムサイズに登録してある用紙サイズ	印刷する用紙サイズを設定します。
	カスタムサイズを管理（OS X 10.4/10.5/10.6）	
［方向］	縦、横	原稿の用紙方向を設定します。
［拡大縮小］	－（OS X のバージョンで異なります。）	拡大・縮小率を設定します。

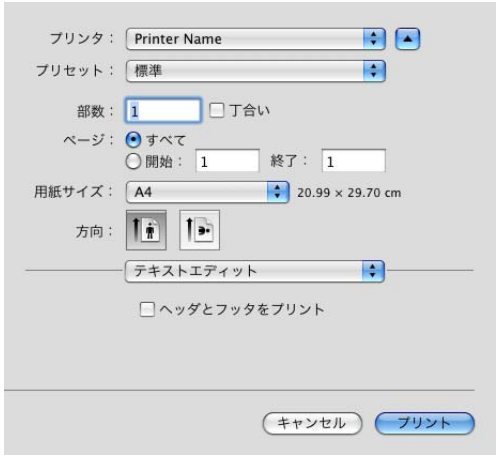
参考

- 用紙サイズ［12 × 18］は A3 よりひと回り大きい 304.8 × 457.2mm です。
- 用紙サイズが定形以外のサイズの場合は、不定形サイズを設定してください。不定形サイズの登録については、13-5 ページをごらんください。
- 定形サイズ全面に相当するデータを印刷したい場合は、用紙サイズで各定形用紙の「W」を選択することで原稿サイズより大きな用紙にセンタリングして印刷できます。
  たとえば、A4 サイズのデータを A3 サイズの用紙にセンタリングして印刷する場合、「A4W」の用紙サイズでデータを作成し、プリンタードライバーで［用紙サイズ］を［A4W］、［給紙トレイ］を使用するトレイに設定します。
  本機側では、使用するトレイに A3 サイズの用紙をセットし、操作パネルの［基本設定画面（用紙）］でトレイを選択して［選択トレイの設定変更］－［ワイド紙］で［A4W］を指定し、［選択サイズ］で［自動検出］が選択され、A3 が表示されていることを確認します。
  セットしている用紙が 12 1/4 × 18 の場合、［選択サイズ］で［12 1/4 × 18］を選択する必要があります。
  印刷用紙が不定形サイズの場合は、手差しトレイを使用し、［選択トレイの設定変更］－［ワイド紙］で［A4W］、［サイズ変更］で使用する用紙サイズを入力します。
- OS X 10.5/10.6 の場合は、プリント画面でも［用紙サイズ］と［方向］を設定できます。

参照
トレイにセット可能な用紙サイズについては、［ユーザーズガイド コピー編］をごらんください。

13.4.2 ［印刷部数と印刷ページ］

［ファイル］メニューの［プリント］で選択します。

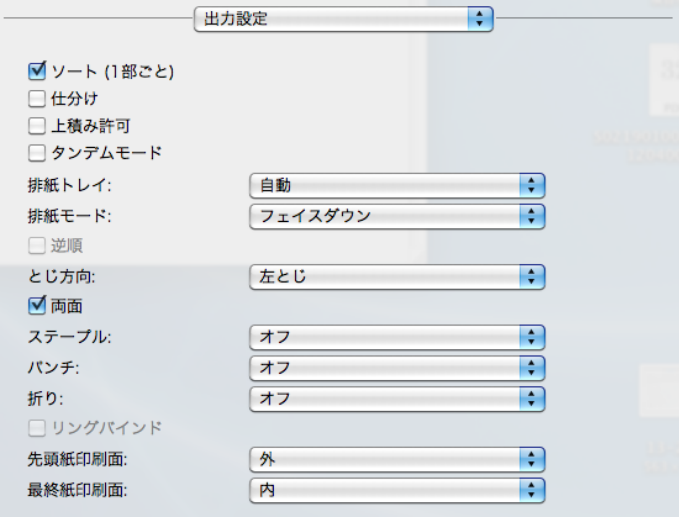


機能名称	選択肢	説明
［部数］	1 ～ 9999	印刷する部数を設定します。
［丁合い］	ON/OFF	この機能は設定しないでください。 ［出力方法］の［ソート（1 部ごと）］で設定してください。
［ページ］	−	印刷するページ範囲を設定します。

参考

- OS X 10.5 の場合は、［用紙サイズ］、［方向］も表示されますが、［ページ属性］の機能と同じです。
- OS X 10.5 で設定項目が表示されていない場合は、［プリンタ］右側の をクリックします。

13.4.3 ［出力設定］



機能名称	選択肢	説明
［ソート（1 部ごと)］	ON/OFF	複数部数を、部数ごと印刷するかどうかを設定します。
［仕分け］	ON/OFF	複数部数を印刷するときに、1 部ずつ位置をずらして排出します。
［上積み許可］	オフ、オン	この機能をオンにすると、他のジョブが出力されて大容量スタッカーに上積みされることを許可します。この機能をオフにしていると、現在のジョブが大容量スタッカーから取除かれるまで、次のジョブは出力できません。
［タンデムモード］	［オフ］、［オン］	2 台のプリンターをタンデム接続して出力するときに設定します。
［排紙トレイ］	［自動］ ［平とじ機 メイントレイ］ ［平とじ機 サブトレイ］ ［スタッカー自動］、 ［スタッカー 1 メイントレイ］ ［スタッカー 1 サブトレイ］ ［スタッカー 2 メイントレイ］ ［スタッカー 2 サブトレイ］ ［スタッカー 3 メイントレイ］ ［スタッカー 3 サブトレイ］ ［中とじ機 サブトレイ］ ［マルチ折り機 メイントレイ］ ［マルチ折り機 サブトレイ］ ［くるみ製本機 サブトレイ］	排紙トレイを設定します。
［排紙モード］	［フェイスダウン］、［フェイスアップ］	印刷する用紙を上向きに出力するときに設定します。
［逆順］	［オフ］、［オン］	印刷するページ順を逆順にするときに設定します。
［とじ方向］	［左とじ］、［上とじ］、［右とじ］、［左とじ（ランドスケープ)］、［上とじ（ランドスケープ)］、［右とじ（ランドスケープ)］	［ステープル］、［パンチ］などの機能を使用したときのとじ位置を設定します。
［両面］	［オフ］、［オン］	両面印刷をするかどうかを設定します。
［ステープル］	［オフ］、［左コーナー］、［右コーナー］、［2 点（広い)］、［2 点（やや狭い)］、［2 点（狭い)］	ステープル止めをするときに設定します。
［パンチ］	［オフ］、［2 穴］、［3 穴］、［4 穴］、［マルチパンチ］	パンチ穴をあけるときに設定します。

機能名称	選択肢	説明
［折り］	［オフ］、 ［Z 折り（A3/B4/Tabloid/8K）］、 ［Z 折り（Legal）］、 ［中とじ］、 ［中とじ + 断裁］、 ［中折り - 内］、 ［中折り - 外］、 ［内三つ折り - 内］、 ［内三つ折り - 外］、 ［外三つ折り - 内］、 ［外三つ折り - 外］、 ［ダブルパラレル折り - 内］、 ［ダブルパラレル折り - 外］、 ［観音折り - 内］、 ［観音折り - 外］、 ［重ね三つ折り - 内］、 ［重ね三つ折り - 外］、 ［重ね中折り］、 ［重ね中折り + 断裁］	折り機能を設定します。
［リングバインド］	［オフ］、［オン］	出力紙をリングで綴じるときに設定します。
［先頭紙印刷面］	［外］、［内］	［リングバインド］を設定したときに、先頭紙の印刷面を指定します。 ［内］：先頭紙印刷面の裏面に文書を印刷します。 ［外］：先頭紙印刷面の表面に文書を印刷します。
［最終紙印刷面］	［内］、［外］	［リングバインド］を設定したときに、最終紙の印刷面を指定します。 ［内］：最終紙印刷面の裏面に文書を印刷します。 ［外］：最終紙印刷面の表面に文書を印刷します。

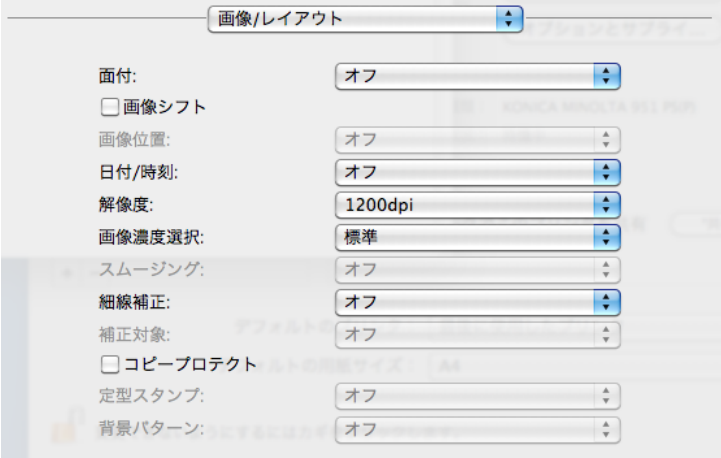
参考

- ［ステープル］機能は、オプションの［平とじ機］が装着されているときに使用可能となります。
- ［ステープル 2 点幅］で設定できる幅は以下のとおりです。
  広い ..... 約 165mm
  やや狭い ..... 約 140mm
  狭い ..... 約 120mm
- ［パンチ］機能は、オプションの［パンチ Z 折りユニット］、または［マルチパンチ機］が装着されているときに使用可能となります。
- ［リングバインド］機能は、オプションの［リングバインダー］が装着されているときに使用可能となります。
- ［折り］機能は、オプションの［サドルユニット］、［パンチ Z 折りユニット］が装着されているときに使用可能となります。

参照

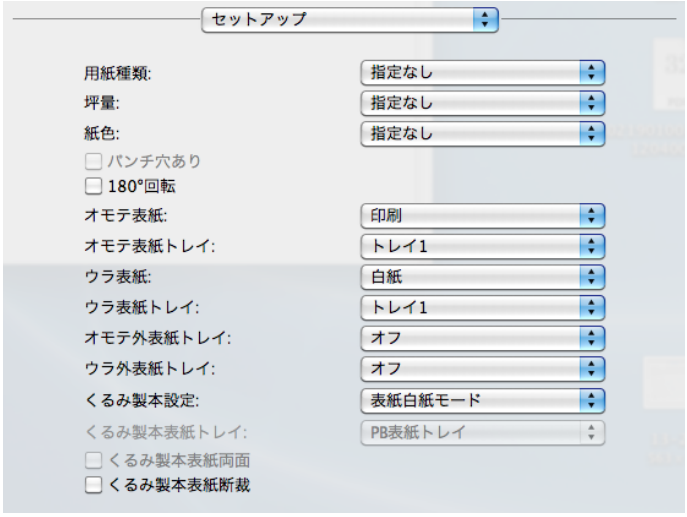
トレイにセット可能な用紙サイズについては、「ユーザーズガイド コピー編」をごらんください。

13.4.4 ［画像 / レイアウト］



機能名称	選択肢	説明
［面付］	［オフ］、［小冊子］、［無線とじ］、［2in1］、［2 リピート］、［回転 2 リピート（左反転）］、［回転 2 リピート（右反転）］、［回転 2 リピート（上反転）］、［回転 2 リピート（下反転）］	面付け印刷をするときに設定します。
［画像シフト］	オフ、オン	印刷イメージの位置を設定します。
［画像位置］	［オフ］、［先端］、［中央］、［後端］	印刷する位置を設定します。
［日付 / 時刻］	［オフ］、［全ページ］、［先頭ページのみ］	日付 / 時刻を印刷するときに設定します。
［解像度］	［600dpi］、［1200dpi］	解像度を設定します。
［画像濃度選択］	［+1］、［標準］、［-5］～［-1］［トナー節約］、［ドラフト印刷］	印刷濃度を調整します。 濃度を濃くする場合はプラスに、薄くする場合はマイナスのに方に設定します。 ［ドラフト印刷］は［-2］、［トナー印刷］は［-4］に相当します。
［スムージング］	［オフ］、［タイプ 1］、［タイプ 2］、［タイプ 3］	スムージング機能を使用します。解像度が［600dpi］に設定されているときに使用できます。 ・ ［タイプ 1］：一般的な文字や図形の斜め線に適した処理を行います。 ・ ［タイプ 2］：一般的な文字の曲線部に適した処理を行います。 ・ ［タイプ 3］：飾り文字や細かい文字の曲線部に適した処理を行います。
［細線補正］	［オフ］ ［レベル 1］ ［レベル 2］ ［レベル 3］ ［レベル 4］	小さい文字などを印刷するとき、原稿によっては文字がつぶれて読めなくなることがあります。その場合、細線補正をすることで、文字を読めるようにすることができます。レベルが上がるほど細くなります。
［補正対象］	［文字］ ［全面］	［細線補正］を設定したときの対象を選択します。
［コピープロテクト］	オフ、オン	不正コピーを抑止するためのパターンを文書に合成します。
［定型スタンプ］	［オフ］、［コピー］、［無効］、［取扱注意］、［複写］	［コピープロテクト］を設定したときの定型スタンプを指定します。
［背景パターン］	［オフ］、［桜］、［唐草］、［格子］	［コピープロテクト］を設定したときの背景パターンを指定します。

13.4.5 ［セットアップ］

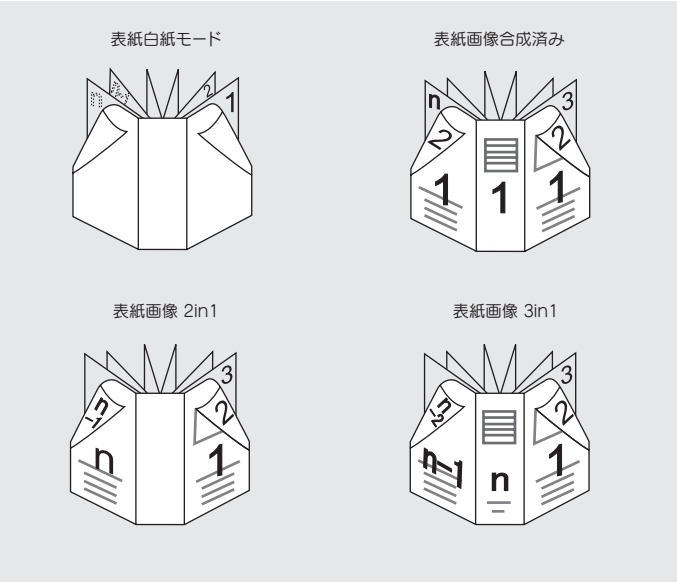


機能名称	選択肢	説明
［用紙種類］	［指定なし］、［普通紙］、［塗工紙］、［追い刷り紙］、［上質紙］、［書籍用紙］、［ラフ紙］、［未印字挿入紙］、［封筒］、［エンボス紙］	用紙の種類を設定します。 ただし、封筒を使用するには、オプションの封筒定着器（定着ユニット EF-102）が装着されているときに使用可能となります。
［坪量］	指定なし、 40-49g/m^2、 50-61g/m^2、 62-74g/m^2、 75-91g/m^2、 92-135g/m^2、 136-162g/m^2、 163-216g/m^2、 217-244g/m^2 245-300g/m^2 301-350g/m^2 （坪量単位が g/m^2 の場合）	出力紙の重さを設定します。
［紙色］	［指定なし］、［白色］、［透明］、［黄色］、［桃色］、［青色］、［緑色］	出力紙の紙色を指定します。
［パンチ穴あり］	オフ、オン	パンチ穴がある用紙を使用するときに設定します。
［180°回転］	オフ、オン	180°回転して印刷します。
［オモテ表紙］	［オフ］、［印刷］、［白紙］	オモテ表紙を付けるときに設定します。
［オモテ表紙トレイ］	オフ、トレイ 1 ～ 8	オモテ表紙を出力するトレイを設定します。
［ウラ表紙］	［オフ］、［印刷］、［白紙］	ウラ表紙を付けるときに設定します。
［ウラ表紙トレイ］	オフ、トレイ 1 ～ 8	ウラ表紙を出力するトレイを設定します。
［オモテ外表紙トレイ］	オフ、PI トレイ 1 ～ 2 PI-PFU トレイ 1 ～ 3	オモテ表紙を出力用紙と異なる厚紙などで印刷するときに設定します。
［ウラ外表紙トレイ］	オフ、PI トレイ 1 ～ 2 PI-PFU トレイ 1 ～ 3	ウラ表紙を出力用紙と異なる厚紙などで印刷するときに設定します。

機能名称	選択肢	説明
［くるみ製本設定］	［オフ］ ［表紙白紙モード］ ［表紙画像合成済み］ ［表紙画像 2in1］ ［表紙画像 3in1］	くるみ製本のモードを選択します。 くるみ製本のモードについては、13-12 ページをごらんください。
［くるみ製本表紙トレイ］	トレイ 1 ～ 8 PI トレイ 1 ～ 2 PI-PFU トレイ 1 ～ 3	表紙を給紙するトレイを選択します。
［くるみ製本表紙両面］	オフ、オン	くるみ製本表紙を両面にしたいときはオンにします。
［くるみ製本表紙断裁］	オフ、オン	くるみ製本表紙を断裁するときはオンにします。

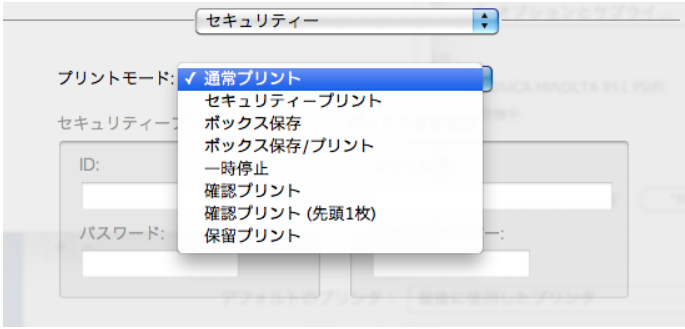
くるみ製本のモード

くるみ製本は、以下の 4 種類のモードがあります。



機能名称	説明
［表紙白紙モード］	表紙には何も印刷せず、本身をくるみます。
［表紙画像合成済み］	表紙に使用する紙と同じサイズに、表紙、裏表紙、背表紙が面付けされた原稿がすでに準備されているときに、選択します。
［表紙画像 2in1］	表紙は、原稿の 1 ページ目と最終ページ（n ページ）を 2 in 1 として作成し、2 ページ目から最終ページの 1 ページ前（n-1 ページ）までを本身として印字し、背表紙は印字せず、くるみ製本を行います。
［表紙画像 3in1］	原稿の 1 ページ目を表表紙に、最終ページの 1 ページ前（n-1 ページ）を裏表紙に、そして最終ページ（n ページ）の背表紙として 3 in 1 に自動で面付けした後に、表紙を印刷します。 また、2 ページ目から最終ページの 2 ページ前（n-2 ページ）までを本身として印字します。

13.4.6 ［セキュリティー］



機能名称	選択肢	説明
［プリントモード］	［通常プリント］ ［セキュリティープリント］ ［ボックス保存］ ［ボックス保存 / プリント］ ［一時停止］、 ［確認プリント］ ［確認プリント（先頭 1 枚）］ ［保留プリント］	印刷方法を設定します。 ［通常プリント］： 印刷ジョブをどこのハードディスクにも保存することなく印刷します。 ［セキュリティプリント］： 本機の操作パネルで、セキュリティープリント ID とパスワードを入力しないと出力できません。機密性の高い文書の印刷時に選択します。 手順について詳しくは、14-5 ページをごらんください。 ［ボックス保存］： 印刷ジョブを本機のハードディスクに保存します。ハードディスクに保存するときのボックスナンバーとファイル名を指定します。 手順について詳しくは、14-9 ページをごらんください。 ［ボックス保存 / プリント］： 印刷ジョブを本機のハードディスクに保存してから印刷します。ハードディスクに保存するときのボックスナンバーとファイル名を指定します。 詳しくは、14-9 ページをごらんください。 ［一時停止］： 印刷ジョブが一時停止し、出力前に本機の操作パネルから現在の設定を確認できます。 ［確認プリント］： 印刷イメージを確認するために 1 部だけ出力します。 ［確認プリント（先頭 1 枚）］： 印刷イメージを確認するために最初の 1 ページ目だけを出力します。 ［保留プリント］： 印刷ジョブを保留ジョブとして本機のハードディスクに一時保存します。夜間に一括で出力したいときなどに選択します。

14 機能詳細説明

14 機能詳細説明

プリンタードライバーと本機のパネル操作を組合わせる必要があるなど、特に注意が必要な機能について説明します。

14.1 セキュリティープリント

セキュリティープリント機能は、印刷ジョブを本機のハードディスクに保存し、操作パネルからパスワードを入力することで出力するので、機密文書の出力に便利です。

セキュリティープリントは、印刷時にプリンタードライバーで指定し、操作パネルで出力します。

情報漏えいを防ぐため、本機での印刷をセキュリティープリントだけに限定できます。

14.1.1 プリンタードライバーの設定（PCL ドライバー /PS Plug-in ドライバー /PPD ドライバー（Mac OS X））

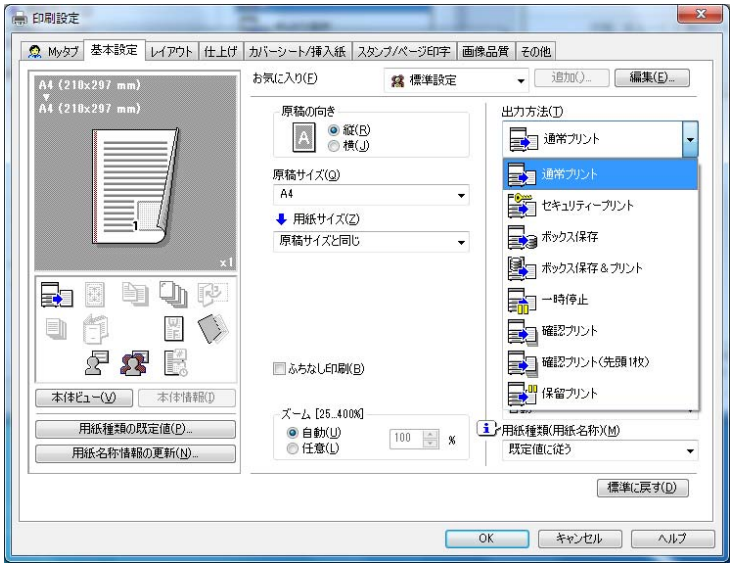
PCL ドライバーの場合

以下の設定で印刷します。

✔ ［基本設定］タブの［出力方法］で［セキュリティープリント］を選択

1 ［基本設定］タブを表示します。

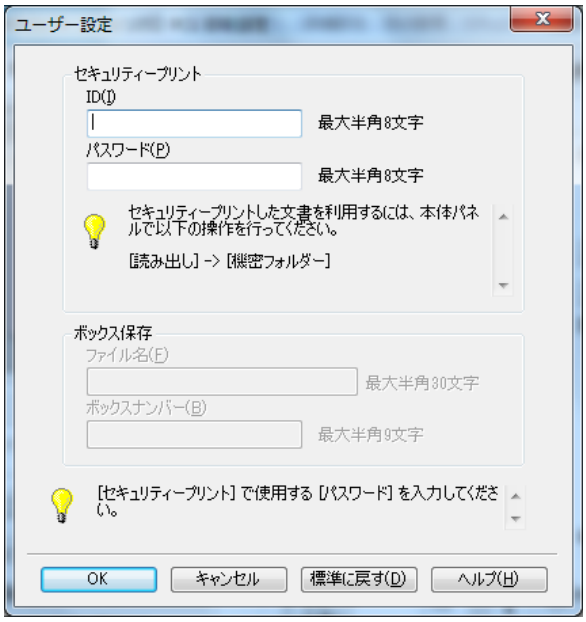
2 ［出力方法］で［セキュリティープリント］を選択します。



➔ Windows 7 の画面を使って説明しています。

➔ ［セキュリティープリント設定］で［セキュリティープリントに固定する］を選択しているときは、［セキュリティープリント］に固定されています。［セキュリティープリント設定］について詳しくは 10-4 ページをご覧ください。

3 [ID] と [パスワード] を入力し、[OK] をクリックします。



➔ 本機側で [パスワード規約] が有効の場合、セキュリティー印刷で使用可能なパスワードに制限があり、パスワード規約を満たさないパスワードを入力するとジョブが消去されます。[パスワード規約] については、「ユーザーズガイド コピー編」をごらんください。

➔ [セキュリティープリント設定] で [セキュリティープリント時に設定の入力画面を表示する] を選択しているときは、パスワードを入力できません。パスワードは印刷時に入力します。ID は入力が可能です。[セキュリティープリント設定] について詳しくは 10-4 ページをご覧ください。

4 [OK] をクリックして、印刷します。

➔ [セキュリティープリント設定] で [セキュリティープリント時に設定の入力画面を表示する] を選択しているときは、印刷時に ID とパスワードが要求されますので、ID とパスワードを入力します。



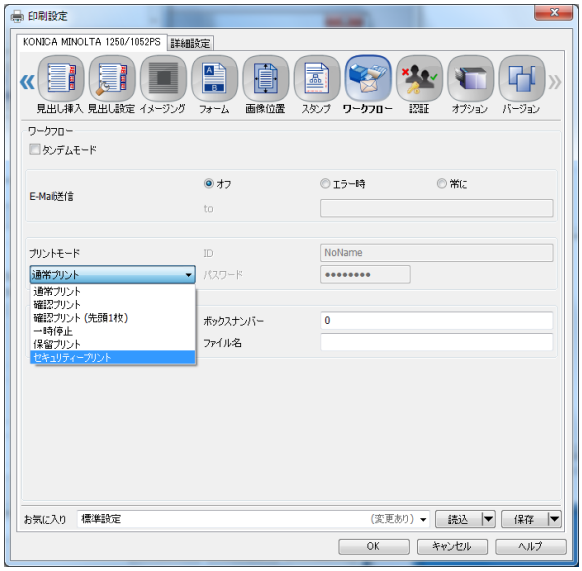
PS Plug-in ドライバーの場合

以下の設定で印刷します。

✔ ［ワークフロー］パネルの［プリントモード］から［セキュリティープリント］を選択

1 ［ワークフロー］タブを表示します。

2 ［プリントモード］から［セキュリティープリント］を選択します。



➔ Windows 7 の画面を使って説明しています。

3 ［ID］と［パスワード］を入力し、［再入力］フィールドにパスワードを再入力します。

➔ ［ID］のデフォルトは「NoName」です。

➔ パスワードは 1 ～ 8 文字の英数字で入力できます。

➔ 本機側で［パスワード規約］が有効の場合、セキュリティープリントで使用可能なパスワードに制限があり、パスワード規約を満たさないパスワードを入力するとジョブが消去されます。［パスワード規約］については、［ユーザーズガイド コピー編］をごらんください。

4 ［OK］をクリックして、印刷します。

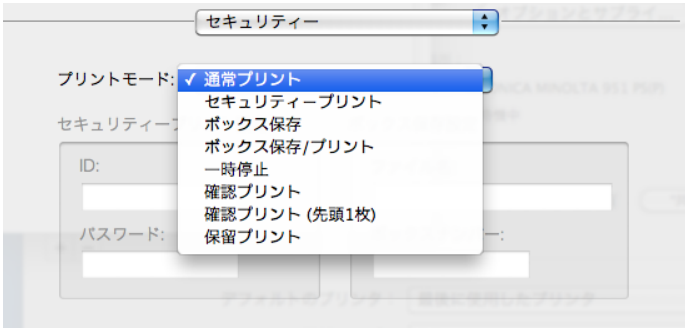
PPD ドライバーの場合 (Mac OS X)

以下の設定で印刷します。

✔ ［セキュリティー］の［プリントモード］を［セキュリティープリント］に設定

1 ［セキュリティー］を選択します。

2 ［プリントモード］から［セキュリティープリント］を選択します。



3 ［ID］と［パスワード］を入力します。

➔ パスワードは 1 ～ 8 文字の英数字で入力できます。

➔ 本機側で［パスワード規約］が有効のとき、セキュリティープリントで使用可能なパスワードに制限があり、パスワード規約を満たさないパスワードを入力するとジョブが消去されます。［パスワード規約］については、「ユーザーズガイド コピー編を」ごらんください。

14.1.2 操作パネルからのジョブの呼び出し

［セキュリティープリント］によるジョブは、［読出し］タブの［機密フォルダー］に保存されます。

参照
操作パネルの各キーのはたらきについては、「ユーザーズガイド コピー編」をごらんください。

機密フォルダーからの出力

1 操作パネルの［読出し］を押して、［機密フォルダー］を押します。



2 ボックス（ID）を選択し、［パスワード］を入力して［OK］を押します。

3 印刷したいファイルを選択し、［出力］を押します。



4 印刷する部数、必要であれば印刷するページを入力し、［OK］を押します。

参照
プリントする前に出力の設定を確認したり、出力するファイルを結合したりできます。
詳しくは、「ユーザーズガイド（ネットワークスキャナー編）」をごらんください。

14.2 ボックス保存

ボックス保存機能は、印刷ジョブをハードディスクのボックスに保存する機能です。

ボックス保存は、印刷時にプリンタードライバーで指定します。

参照

ボックス保存の詳細については、「ユーザーズガイド（ネットワークスキャナー編）」をごらんください。

14.2.1 プリンタードライバーの設定（PCL ドライバー /PS Plug-in ドライバー /PPD ドライバー (Mac OS X)）

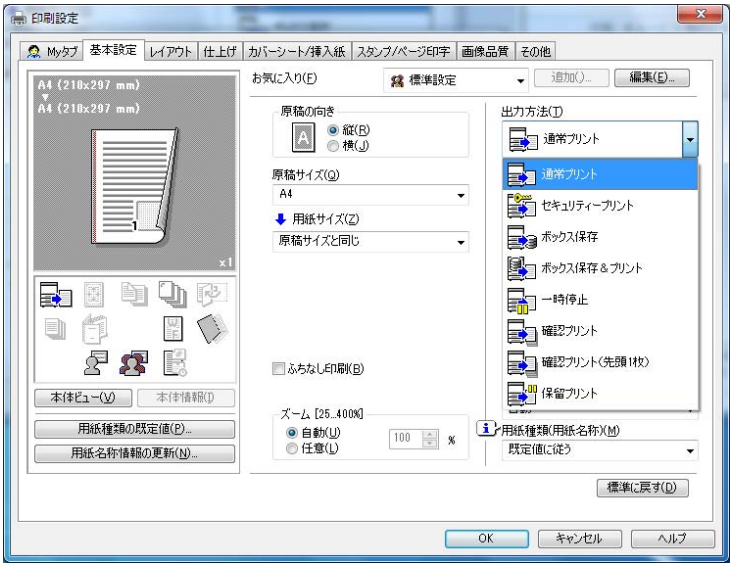
以下の設定で印刷します。

- 印刷モード：[ボックス保存] または [ボックス保存 / プリント]

PCL ドライバーの場合

1 [基本設定] タブを表示します。

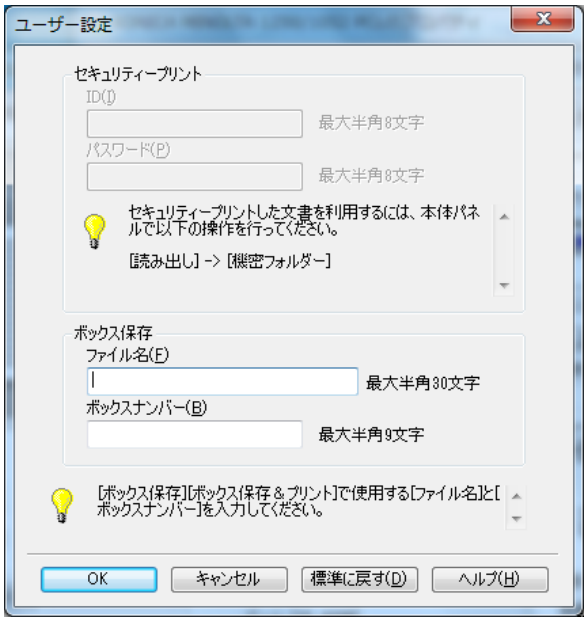
2 [出力方法] で [ボックス保存] または [ボックス保存 & プリント] を選択します。



➔ Windows 7 の画面を使って説明しています。

➔ ハードディスクへの保存と印刷を同時に実行したいときは [ボックス保存 & プリント] を選択します。

3 ［ファイル名］と［ボックスナンバー］を入力し、［OK］をクリックします。

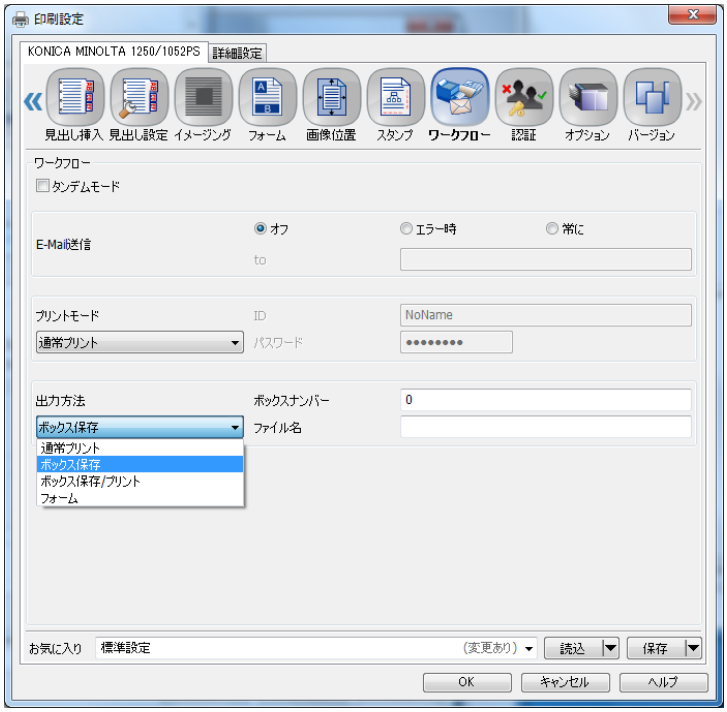


4 ［OK］をクリックして、印刷します。

PS Plug-in ドライバーの場合

1 ［ワークフロー］タブを表示します。

2 ［出力方法］で［ボックス保存］または［ボックス保存 / プリント］を選択します。



➔ ハードディスクへの保存と印刷を同時に実行したいときは［ボックス保存 / プリント］を選択します。

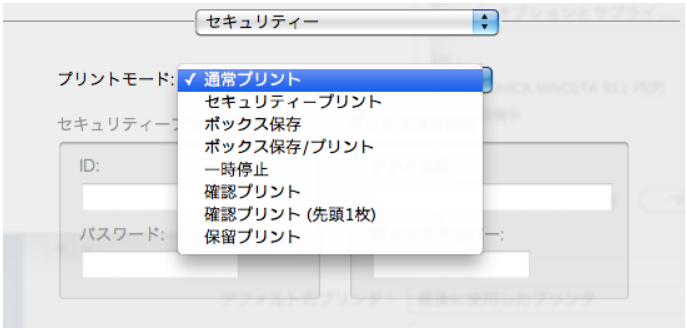
3 ［ボックスナンバー］と［ファイル名］を入力します。

4 ［OK］をクリックします。

PPD ドライバーの場合 (Mac OS X)

1 ［セキュリティー］を選択します。

2 ［プリントモード］から［ボックス保存］または［ボックス保存 / プリント］を選択します。



➔ ハードディスクへの保存と印刷を同時に実行したいときは［ボックス保存 / プリント］を選択します。

3 ［ファイル名］と［ボックスナンバー］を入力します。

4 ［プリント］をクリックします。

14.2.2 ジョブ呼び出し

ボックス保存したジョブは、操作パネルの［読出し］タブで、出力したいジョブを指定します。（14-10 ページ）

参照

操作パネルの各キーのはたらきについては、［ユーザーズガイド コピー編］をごらんください。

［読出し］タブからジョブを出力する

1 操作パネルの［読出し］を押します。

2 ［共有フォルダー］を押します。



3 ボックスの中にある該当ファイルを選択します。



4 該当するフォルダを選択します。

参考

➔ プリンタードライバー上で入力した［ボックスナンバー］が事前に登録されていない場合は、自動的にボックスが作成されます。その場合、同じナンバーが 2 つ並んだ形で登録されます。
例：[ボックスナンバー] で「12345」と入力した場合：
「000012345 000012345」

5 印刷したいファイルを選択し、［出力］を押します。

6 印刷する部数、必要であれば印刷するページを入力し、［OK］を押します。

文書が印刷されます。

参照

プリントする前に出力の設定を確認したり、出力するファイルを結合したりできます。

詳しくは、「ユーザーズガイド（ネットワークスキャナー編）」をごらんください。

14.3 確認プリント / 一時停止 / 保留プリント

印刷前に現在の設定を確認したり、試し印刷をして印刷結果を確認したりすることができます。

大量の印刷を行う前に使用することを推奨します。

14.3.1 プリンタードライバーの設定（PCL ドライバー /PS Plug-in ドライバー /PPD ドライバー (Mac OS X)）

以下の設定で印刷します。

- 印刷モード：[確認プリント]、[確認プリント（先頭 1 枚）]、[一時停止] または [保留プリント]

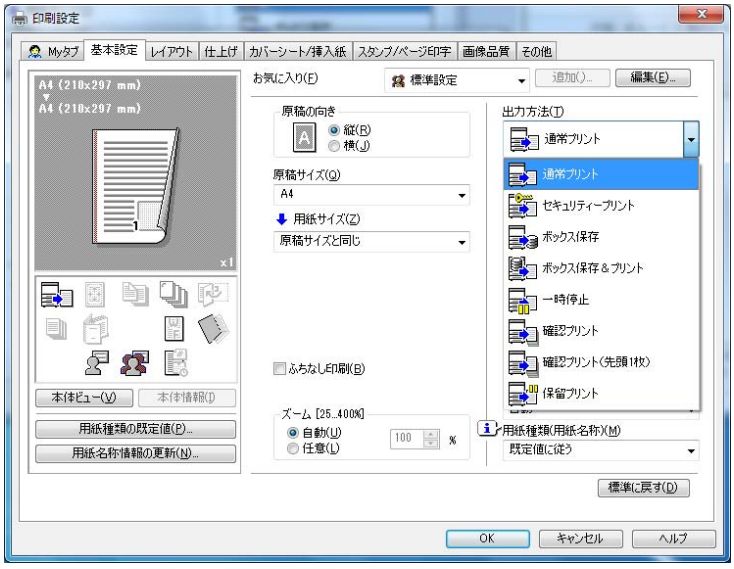
参照

[保留プリント] を使って印刷すると、本機 [ジョブリスト] 内の [保留中] にジョブが表示されます。詳しくは「ユーザーズガイド　コピー編」をごらんください。

PCL ドライバーの場合

1 [基本設定] タブを表示します。

- [出力方法] で [確認プリント]、[確認プリント（先頭 1 枚）]、[一時停止] または [保留プリント] を選択します。



➔ 1 部だけをテスト印刷して、現在の設定を確認するには [確認プリント] を選択します。

➔ 先頭の 1 ページだけをテスト印刷して、現在の設定を確認するには [確認プリント（先頭 1 枚）] を選択します。

➔ 印刷前に、本機の操作パネルから現在の設定を確認するには、[一時停止] を選択します。

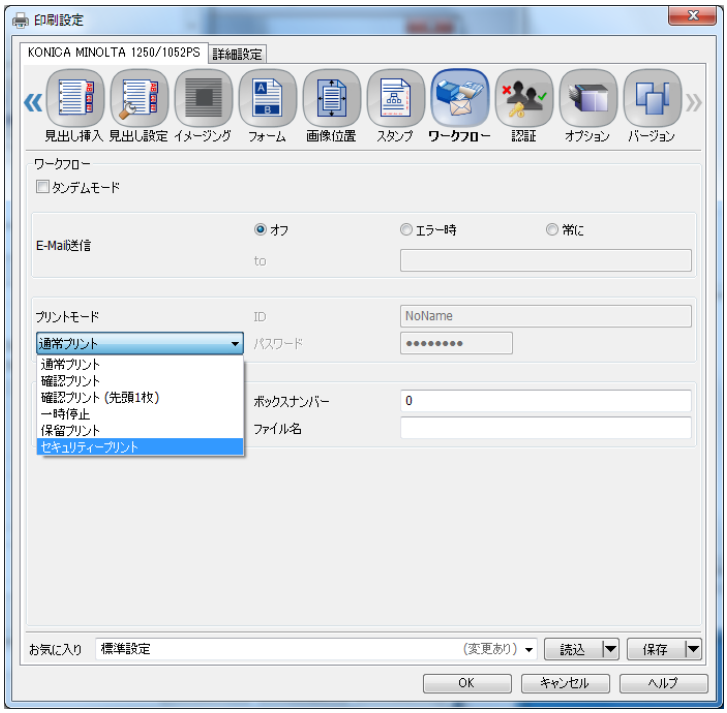
➔ 保留扱いのジョブとしてプリンターに送信しておきたいときは、[保留プリント] を選択します。

2 [OK] をクリックして、印刷します。

PS Plug-in ドライバーの場合

1 ［ワークフロー］タブを表示します。

- ［プリントモード］で［確認プリント］、［確認プリント（先頭 1 枚）］、［一時停止］、または［保留プリント］を選択します。



➔ 1 部だけをテスト印刷して、現在の設定を確認するには［確認プリント］を選択します。

➔ 先頭の 1 ページだけをテスト印刷して、現在の設定を確認するには［確認プリント（先頭 1 枚）］を選択します。

➔ 印刷前に、本機の操作パネルから現在の設定を確認するには、［一時停止］を選択します。

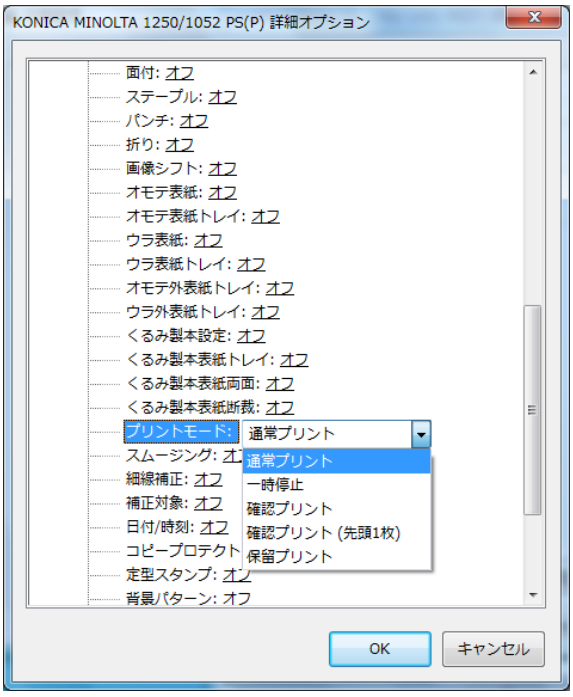
➔ 保留扱いのジョブとして本機に送信しておきたいときは、［保留プリント］を選択します。

2 ［OK］をクリックして、印刷します。

PPD ドライバーの場合（Windows）

1 ［詳細オプション］画面を表示します。

- ［プリントモード］で［確認プリント］、［確認プリント（先頭 1 枚）］、［一時停止］または［保留プリント］を選択します。



➔ 1 部だけをテスト印刷して、現在の設定を確認するには［確認プリント］を選択します。

➔ 先頭の 1 ページだけをテスト印刷して、現在の設定を確認するには［確認プリント（先頭 1 枚）］を選択します。

➔ 印刷前に、本機の操作パネルから現在の設定を確認するには、［一時停止］を選択します。

➔ 保留扱いのジョブとしてプリンターに送信しておきたいときは、［保留プリント］を選択します。

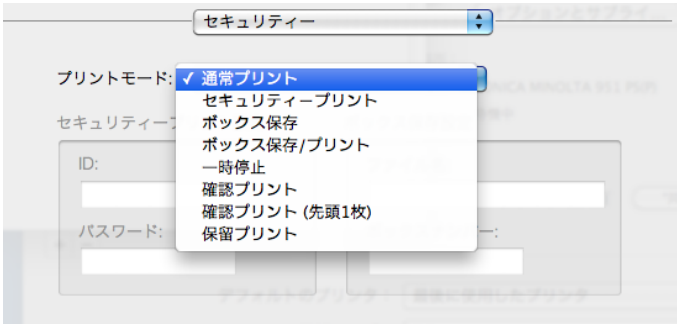
2 ［OK］をクリックします。

3 ［OK］をクリックして、印刷します。

PPD ドライバーの場合 (Mac OS X)

1 ［セキュリティー］を選択します。

2 ［プリントモード］から［一時停止］、［確認プリント］、［確認プリント (先頭 1 枚)］または［保留プリント］を選択します。



➔ 印刷前に、本機の操作パネルから現在の設定を確認するには、［一時停止］を選択します。
➔ 1 部だけをテスト印刷して、現在の設定を確認するには［確認プリント］を選択します。
➔ 先頭の 1 ページだけをテスト印刷して、現在の設定を確認するには［確認プリント（先頭 1 枚）］を選択します。
➔ 保留扱いのジョブとしてプリンターに送信しておきたいときは、［保留プリント］を選択します。

3 ［プリント］をクリックします。

14.3.2 ジョブ呼び出し

確認プリント / 確認プリント / 一時停止のジョブ呼び出し

［確認プリント］、［確認プリント（先頭 1 枚）］または［一時停止］を設定したときは、本体が一時停止し、設定確認画面が表示されます。

- ［確認プリント］を選択したときは、1 部が印刷され、本体が一時停止します。
- ［確認プリント（先頭 1 枚）］を選択したときは、先頭の 1 ページが印刷され、本体が一時停止します。
- ［一時停止］を選択したときは、印刷前に本体が一時停止します。

［読出し］タブからジョブを出力する

1 操作パネルで現在の設定を確認します。



2 設定を変更するには、設定項目を選択して表示される画面で設定を変更して［OK］を押します。

3 再度確認したい場合は、［確認プリント］を、保留したい場合は［保留ジョブ］を押します。

➔ 参照
［保留ジョブ］については、「ユーザーズガイドコピー編」をごらんください。

4 ［スタート］を押します。
プリントジョブが印刷されます。

保留プリントのジョブ呼び出し

［保留プリント］を設定したときは、操作パネルの［ジョブリスト］タブの［保留中］リストに表示されます。

参照

操作パネルの各キーのはたらきについては、［ユーザーズガイド コピー編］をごらんください。

［ジョブリスト］タブからジョブを出力する

1 操作パネルで［ジョブリスト］タブを押します。

2 ［保留中］リストから印刷したいジョブを選択します。



➔ ［保留解除］を押すと、ジョブが［動作中］リストに移動して出力されます。
➔ ［一括解除］を押すと、保留中のすべてのジョブが［動作中］リストに移動して出力されます。
➔ ［チケット編集］を押すと、設定確認画面が表示され、出力設定を確認および変更できます。

3 ［保留解除］または［一括解除］を押して、保留ジョブを出力します。

14.4 ユーザー認証を設定している本機で印刷する

本体側で［ユーザー認証］が設定されている場合、印刷時にユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

この機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 3 種類です。

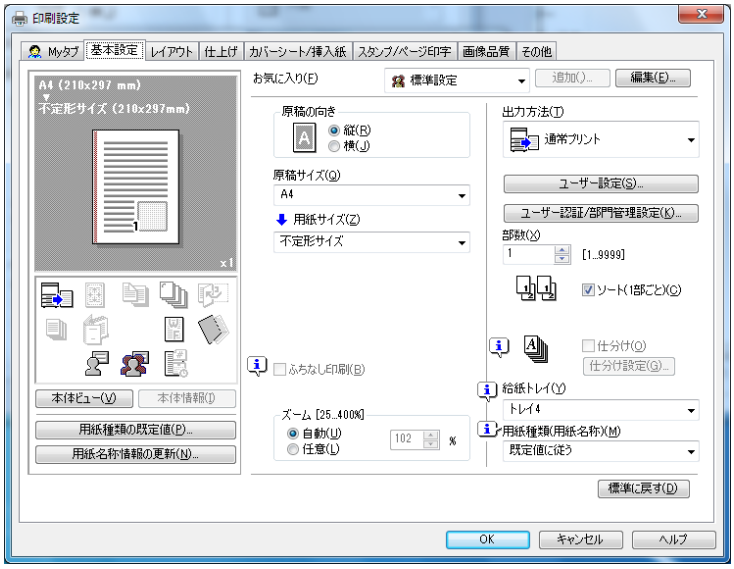
- Windows 用 PS Plug-in ドライバー
- Mac OS X 用 PS Plug-in ドライバー
- Windows 用 PCL ドライバー

参考

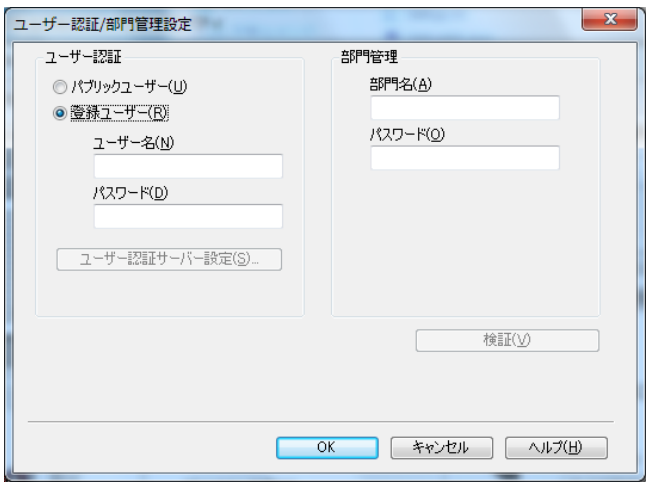
- 本体側の［ユーザー認証］で有効ではないユーザー名やパスワードを入力して印刷したり、または［ユーザー認証］を設定しないで印刷した場合は本機で認証されずにジョブが破棄されます。
ただし、本体で［セキュリティー強化モード］が設定されているときは、本体側でユーザー名とパスワードを入力する必要がありますので、ここではユーザー名だけを入力してください。パスワードの入力は不要です。
- 登録ユーザーであっても、印刷が許可されていない場合は印刷できません。［ユーザー認証］については、本機の管理者にお問い合わせください。

ユーザー認証の設定（PCL ドライバー）

1 ［基本設定］タブを表示し、［ユーザー認証 / 部門管理設定］をクリックします。



2 ［ユーザー認証］の［登録ユーザー］を選択します。



3 登録されている［ユーザー名］および［パスワード］を入力します。

➔ ユーザー名は半角1～64文字/全角1～32文字まで、パスワードは半角 1～64文字まで入力できます。ただし、パスワードは何も入力しなくても使用できます。

4 [OK]をクリックします。

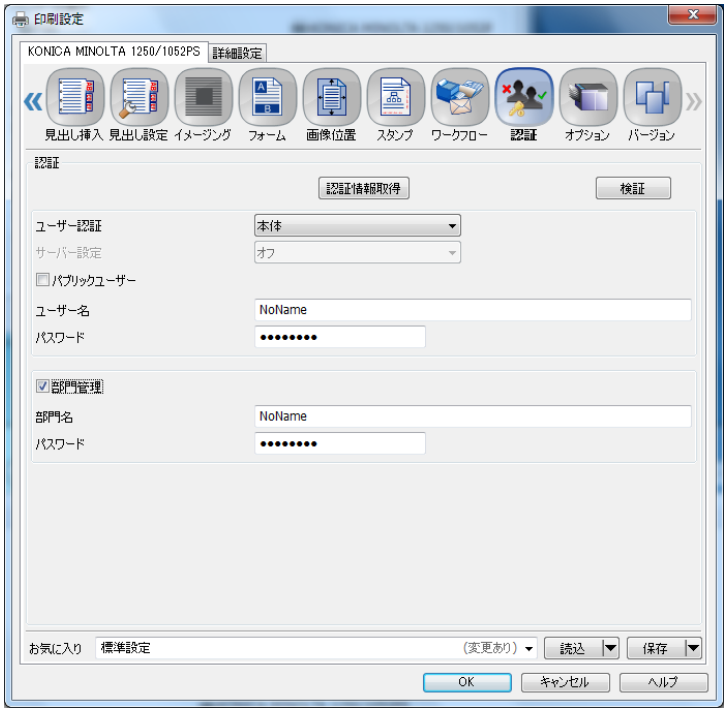
5 [OK]をクリックして印刷を実行します。

入力したユーザー名が本機側で有効になっているユーザー名である場合、ジョブは印刷され、指定したユーザーにカウントされます。

ユーザー認証の設定（PS Plug-in ドライバー）

1　［認証］タブを表示します。

2　［ユーザー認証］から該当する認証先を選択します。



➔［外部サーバー認証］と［拡張サーバー認証］は手動で選択できません。
［認証情報取得］にて自動で選択されます。

3　登録されている［ユーザー名］および［パスワード］を入力します。

➔ ユーザー名は半角1～64文字/全角1～32文字まで、パスワードは半角１～64文字まで入力できます。ただし、パスワードは何も入力しなくても使用できます。

4　［OK］をクリックして印刷を実行します。

入力したユーザー名が本機側で有効になっているユーザー名である場合、ジョブは印刷され、指定したユーザーにカウントされます。

14.5　部門管理機能を使用している本機で印刷する

本体側で［部門管理］機能を使用している場合、印刷時に部門名とパスワードを入力する必要があります。

この機能が設定できるプリンタードライバーは、以下の 3 種類です。

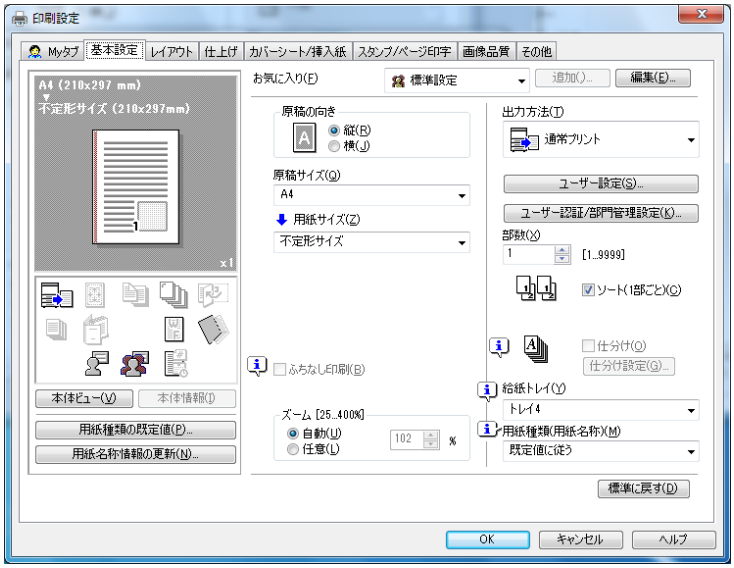
- Windows 用 PS Plug-in ドライバー
- Mac OS X 用 PS Plug-in ドライバー
- Windows 用 PCL ドライバー

参考

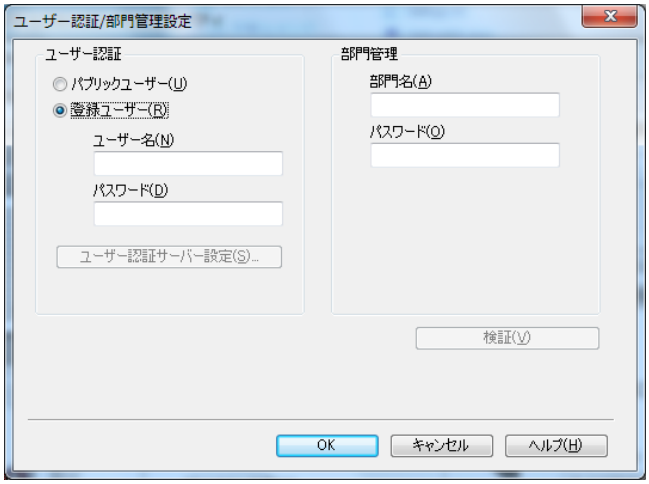
- 本体側の［部門管理］機能で有効ではないパスワードを入力して印刷した、または［部門管理］を設定しないで印刷した場合は本機で認証されずにジョブが破棄されます。
- 登録部門であっても、印刷が許可されていない場合は印刷できません。
- 部門管理については、本機の管理者にお問い合わせください。

部門管理設定（PCL ドライバー）

1　［基本設定］タブを表示し、［ユーザー認証 / 部門管理設定］をクリックします。



2　本機で登録されている［部門名］および［パスワード］を入力します。



➔ 部門名は半角 1 ～ 8 文字まで、パスワードは半角 1 ～ 8 文字まで入力できます。
ただし、パスワードは何も入力しなくても使用できます。

注意

部門管理を入力するには、［装置情報］タブの装置オプションを手動で有効にする必要があります。
詳しくは 10-3 ページをごらんください。

3　［OK］をクリックします。

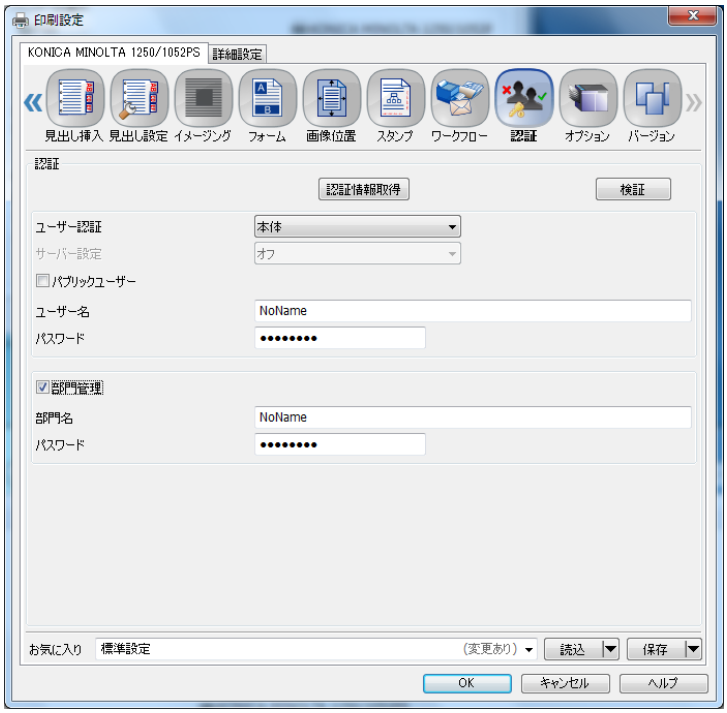
4　［OK］をクリックして印刷を実行します。

入力した部門名が本機側で有効になっている部門名である場合、ジョブは印刷され、指定した部門にカウントされます。

部門管理設定（PS Plug-in ドライバー）

1　［認証］タブを表示します。

2　［部門管理］チェックボックスをオンにします。



3　登録されている［部門名］および［パスワード］を入力します。

➔ 部門名は半角 1 ～ 8 文字まで、パスワードは半角 1 ～ 8 文字まで入力できます。
ただし、パスワードは何も入力しなくても使用できます。

4　［OK］をクリックして印刷を実行します。

入力した部門名が本機側で有効になっている部門名である場合、ジョブは印刷され、指定した部門にカウントされます。

15 操作パネルでの各種設定

15 操作パネルでの各種設定

操作パネルで設定できるプリンター関連の機能を説明します。

15.1 コントローラー設定

操作パネルの［機械状態］画面から［コントローラー設定］を押して表示される［コントローラー設定］画面から、コントローラーのさまざまな設定ができます。

15.1.1 コントローラー設定画面を表示させるには

1 操作パネルで、［機械状態］タブを押します。

2 ［コントローラー設定］を押します。



コントローラー設定画面が表示されます。

15.1.2 コントローラー設定画面

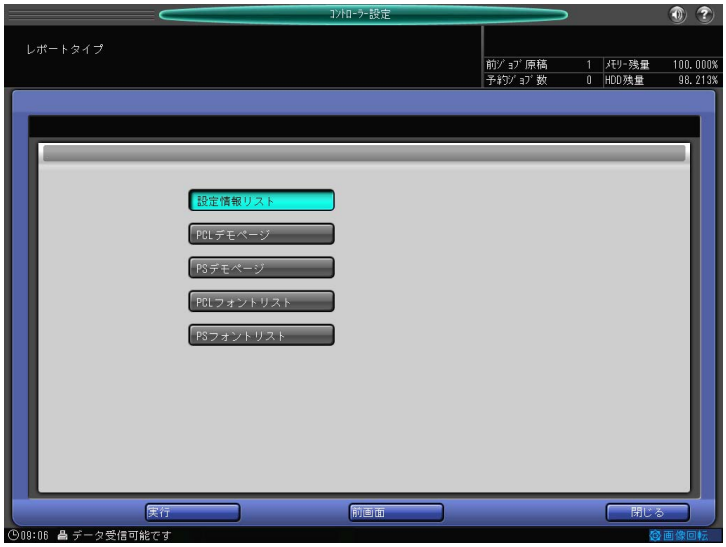


コントローラー設定画面では、以下の機能が設定できます。

名称	説明	参照ページ
レポートタイプ	[設定情報リスト]、[PS デモページ]、[PCL フォントリスト]、[PS フォントリスト] を出力します。	15-4 ページ
ダイレクトプリント設定	ダイレクトプリントの［基本設定］など、さまざまな出力設定ができます。	15-5 ページ
ポート別出力設定	デフォルトポートのデフォルト出力設定やポートごとのデフォルト出力設定番号を割当てます。	15-9 ページ
スプール設定	ジョブスプールの設定として、[自動]、[有効]、[無効] から指定します。	15-9 ページ
I/F タイムアウト	送信タイムアウトまでの時間を設定できます。	15-10 ページ
Plug-in Form Password	PS Plug-in ドライバーのフォーム機能用パスワードを入力します。	15-10 ページ
スキャン設定	ネットワークスキャンに関する設定をします。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編」をごらんください。	15-11 ページ
管理者設定	管理者設定として、メモリースイッチ、デフォルト設定を設定します。	15-12 ページ

レポートタイプ

［コントローラー設定］画面から、［レポートタイプ］を選択すると表示されます。［コントローラー設定］画面の表示方法については、15-2 ページをごらんください。



名称	説明
設定情報リスト	設定情報として［ネットワーク設定］、［機械状態設定］のリストを出力します。
PCL デモページ	［PCL デモページ］を出力します。
PS デモページ	［PS デモページ］を出力します。
PCL フォントリスト	［PCL フォントリスト］を出力します。
PS フォントリスト	［PS フォントリスト］を出力します。

参照

各レポートのサンプルについては、19-5 ページをごらんください。

ダイレクトプリント設定

［コントローラー設定］画面から、［ダイレクトプリント設定］を選択すると表示されます。［コントローラー設定］画面の表示方法については、15-2 ページをごらんください。



名称	説明
［設定番号（1-6)］	設定番号 1 ～ 6 を選択します。
［基本設定］	［PDL］、［給紙トレイ］、［排紙トレイ］などの基本設定を設定できます。
［PCL 設定］	［フォント設定］、［シンボルセット］などの基本設定を設定できます。
［PS 設定］	PS エラー印刷を行うかどうかを設定します。
［TIFF 設定］	［自動用紙選択］と［画像位置］を設定できます。

ダイレクトプリント設定 ー 基本設定

［コントローラー設定］画面から、［ダイレクトプリント設定］ー［基本設定］を選択すると表示されます。［コントローラー設定］画面の表示方法については、15-2 ページをごらんください。



名称	説明
［PDL］	Page Description Language の設定ができます。
［給紙トレイ設定］	給紙トレイの初期値を設定します。
［排紙トレイ設定］	排紙トレイの初期値を設定します。

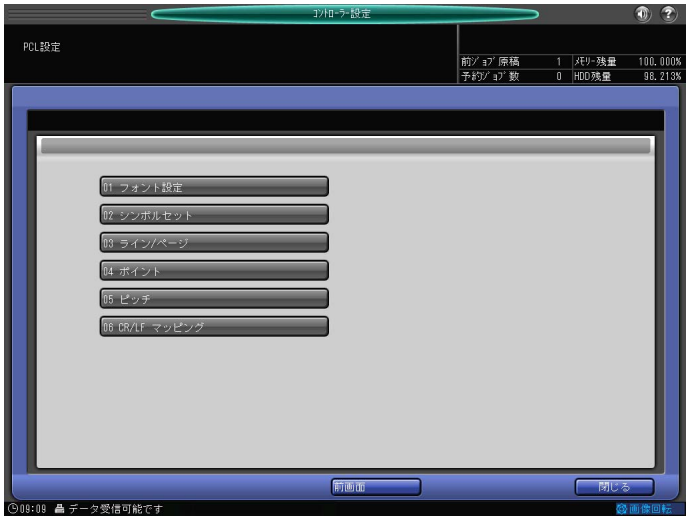
名称	説明
［片面 / 両面］	片面 / 両面印刷の初期値を設定します。
［とじ方向］	［とじ方向］の初期値を設定します。
［ステープル］	印刷データにステープルの設定情報がない場合のステープルの設定ができます。
［ステープル 2 点幅］	ステープル幅の設定ができます。
［パンチ］	印刷データにパンチの設定情報がない場合のパンチの設定ができます。
［紙折り / 断裁］	印刷データに［紙折り］または［断裁］の設定情報がない場合の［折り / 断裁］の設定ができます。
［仕分け］	［仕分け］の初期値を設定します。
［出力設定］	［出力設定］の初期値を設定します。
［排紙順］	［排紙順］の初期値を設定します。
［部数］	［部数］の初期値を設定します。
［ソート / グループ］	［ソート / グループ］の初期値を設定します。
［用紙サイズ］	［用紙サイズ］の初期値を設定します。
［用紙方向］	［用紙方向］の初期値を設定します。
［バナーオプション］	印刷ジョブの送信者や表題などの入ったバナーページ（表紙）を印刷するかどうかを設定できます。
［バナーページトレイ］	バナーページの印刷で使用する給紙トレイを設定できます。
［用紙サイズ変更］	ダイレクトプリントで指定した用紙がトレイにセットされていないときの用紙サイズ変換を設定します。
［集約 / リピート］	［集約 / リピート］の初期値を設定します。



［小冊子］	［小冊子］の初期値を設定します。
［無線とじ］	［無線とじ］の初期値を設定します。
［画像位置］	［画像位置］の初期値を設定します。
［解像度］	［解像度］の初期値を設定します。
［ふちなし印刷］	［ふちなし印刷］の初期値を設定します。
［リングバインド］	［リングバインド］の初期値を設定します。
［180° 回転］	［180° 回転］の初期値を設定します。

ダイレクトプリント設定 – PCL 設定

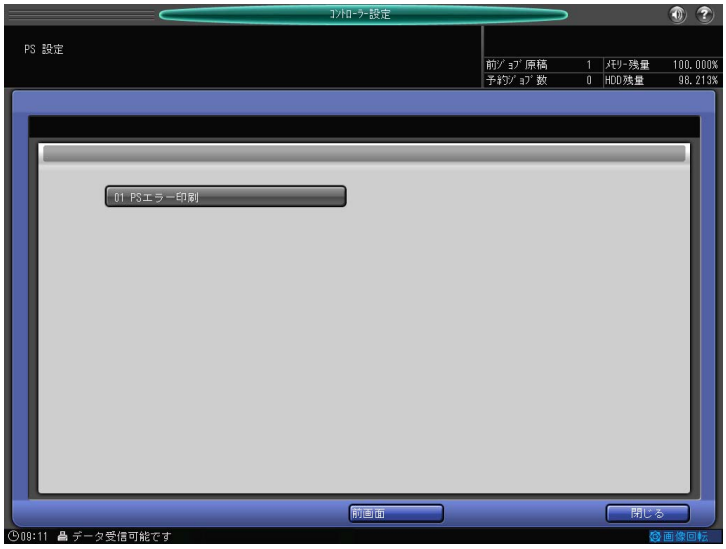
［コントローラー設定］画面から、［ダイレクトプリント設定］–［PCL 設定］を選択すると表示されます。［コントローラー設定］画面の表示方法については、15-2 ページをごらんください。



名称	説明
［フォント設定］	フォントの初期値を設定できます。（初期値：Courier）
［シンボルセット］	フォントシンボルセットの初期値を設定できます。（初期値：ROMAN8）
［ライン / ページ］	テキスト印字時の 1 ページのライン数を設定できます。（初期値：64 ライン）
［ポイント］	プロポーショナルフォントのサイズをポイントで設定できます。（初期値：12.00）
［ピッチ］	固定幅フォントの幅をピッチで設定できます。（初期値：10.00）
［CR/LF マッピング］	テキストデータを印刷する場合の CR（Carriage Return：行頭復帰）、LF（Line Feed：改行）、FF（Form Feed：改ページ）の置換え方法を設定できます。（初期値：Off）

ダイレクトプリント設定 ー PS 設定

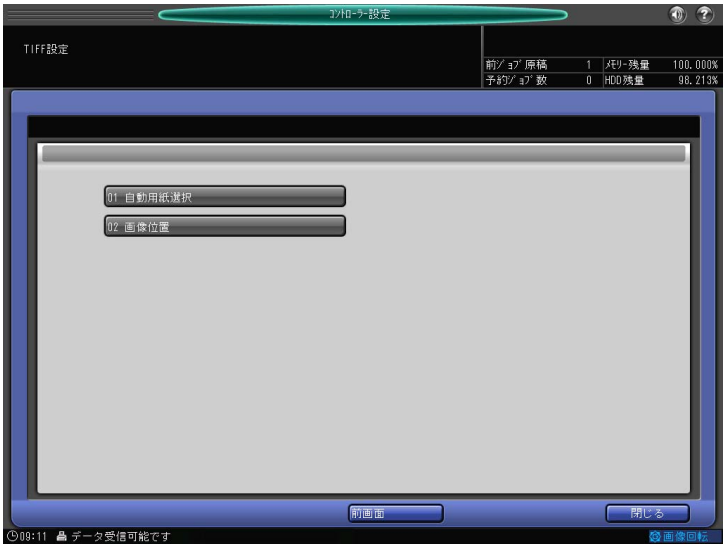
［コントローラー設定］画面から、［ダイレクトプリント設定］ー［PS 設定］を選択すると表示されます。
［コントローラー設定］画面の表示方法については、15-2 ページをごらんください。



名称	説明
［PS エラー印刷］	PS のラスタライズ中にエラーが発生した場合、エラー情報を印字するかどうかを設定します。

ダイレクトプリント設定 ー TIFF 設定

［コントローラー設定］画面から、［ダイレクトプリント設定］ー［TIFF 設定］を選択すると表示されます。［コントローラー設定］画面の表示方法については、15-2 ページをごらんください。



名称	説明
［自動用紙選択］	TIFF 画像サイズに合わせた用紙サイズで、自動的に印刷するかどうかを設定します。
［画像位置］	TIFF 画像の印刷位置を設定します。 ・ ［左］、［中央］から指定します。

ポート別出力設定

［コントローラー設定］画面から、［ポート別出力設定］を選択すると表示されます。［コントローラー設定］画面の表示方法については、15-2 ページをごらんください。



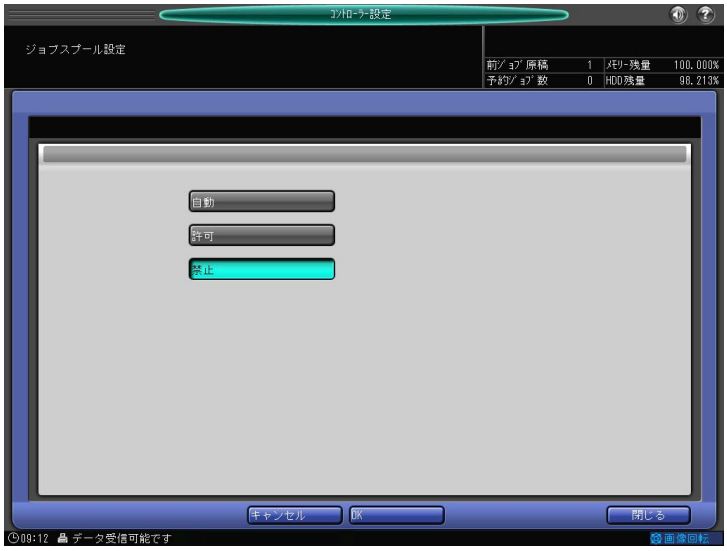
名称	説明
［Port1(9100)］～［Port6（9116)］	ポート別の出力を、設定番号 1 ～ 6 まで設定できます。 ポート番号を入力して、［設定］を押します。

参考

- 設定番号 1 ～ 6 については、［ダイレクトプリント設定］で設定した内容に反映されます。

スプール設定

［コントローラー設定］画面から、［スプール設定］を選択すると表示されます。［コントローラー設定］画面の表示方法については、15-2 ページをごらんください。



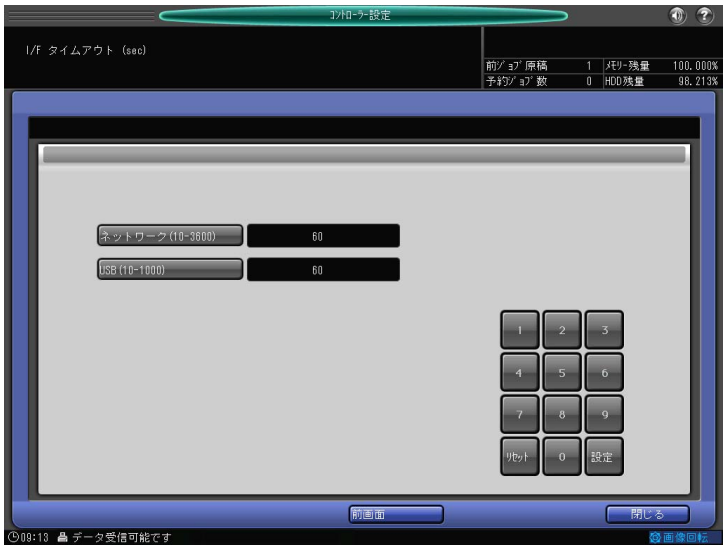
名称	説明
［ジョブスプール設定］	ジョブスプールを設定します。 ・ ［自動］、［許可］、［禁止］から指定します。

重要

変更後は、設定を確定するため、副電源スイッチを OFF/ON します。

I/F タイムアウト (sec)

［コントローラー設定］画面から、［I/F タイムアウト］を選択すると表示されます。［コントローラー設定］画面の表示方法については、15-2 ページをごらんください。



名称	説明
ネットワーク (10-3600)	ネットワークの通信タイムアウトの時間を設定します。
USB (10-1000)	USB の通信タイムアウトの時間を設定します。

Plug-in Form Password

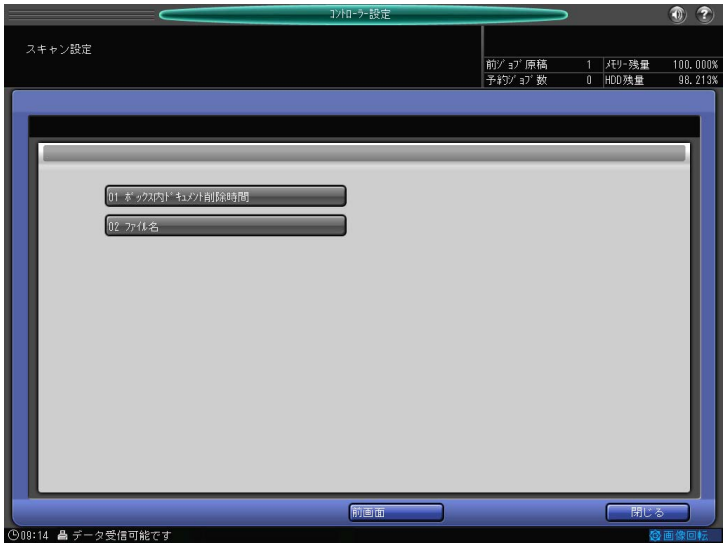
［コントローラー設定］画面から、［Plug-in Form Password］を選択すると表示されます。［コントローラー設定］画面の表示方法については、15-2 ページをごらんください。



名称	説明
Plug-in Form Password	フォームを削除するときに使うパスワードを設定します。 フォームは PS Plug-in ドライバーで使用できます。 詳しくは、11-22 ページをごらんください。

スキャン設定

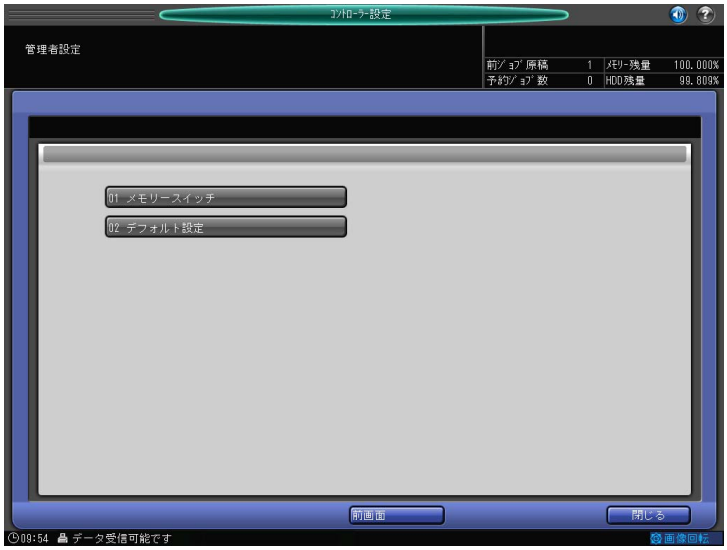
［コントローラー設定］画面から、［スキャン設定］を選択すると表示されます。［コントローラー設定］画面の表示方法については、15-2 ページをごらんください。

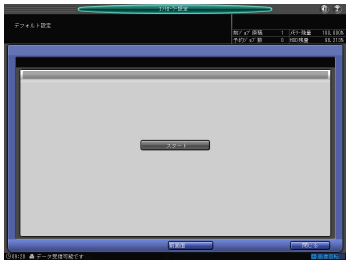


名称	説明
［ボックス内ドキュメント削除時間］	ボックス内ドキュメント削除時間に関する設定をします。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編」をごらんください。
［ファイル名］	ファイル名に関する設定をします。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編」をごらんください。

管理者設定

［コントローラー設定］画面から、［管理者設定］を選択すると表示されます。［コントローラー設定］画面の表示方法については、15-2 ページをごらんください。



名称	説明
［メモリースイッチ］	メモリースイッチを設定します。 
［デフォルト設定］	各設定を初期化します。 

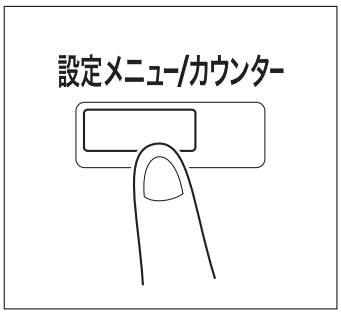
参考

- ［メモリースイッチ］については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

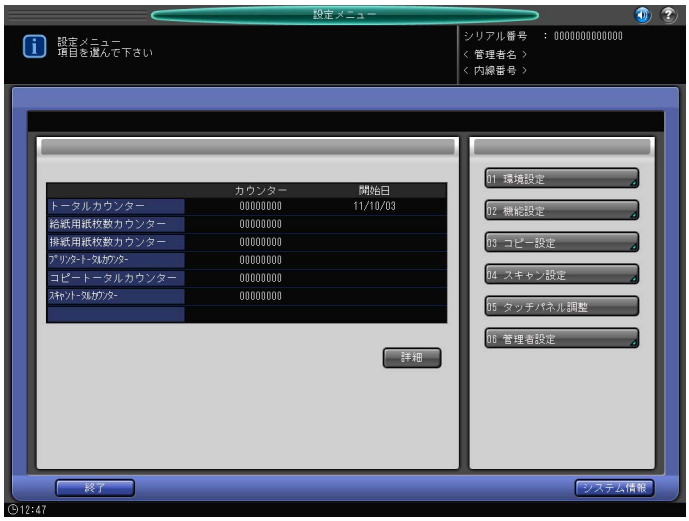
15.2　設定メニュー画面の基本操作

15.2.1　設定メニュー画面を表示させるには

1　［設定メニュー / カウンター］を押します。



設定メニュー画面が表示されます。

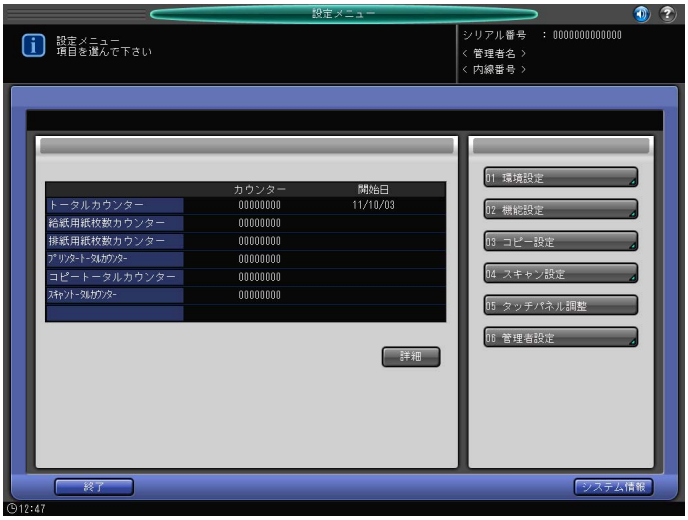


➔ 設定メニューの設定を終了するときは、［終了］を押します。
➔ 設定メニューの階層を戻るときは、目的の画面になるまで［閉じる］を押します。

15.2.2 機能設定

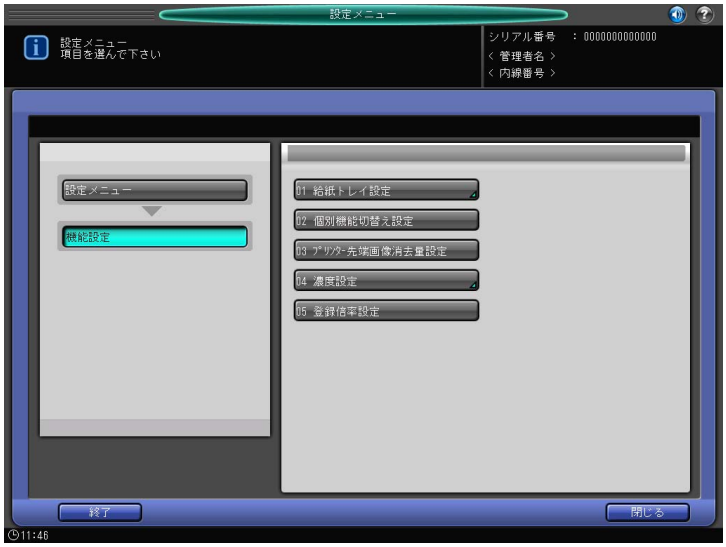
［設定メニュー］画面の［機能設定］で、印刷時の各機能の設定ができます。

1 設定メニュー画面で、［機能設定］を押します。



➔ 設定メニュー画面の表示のしかたは、15-13 ページをごらんください。

2 設定したい項目を押します。



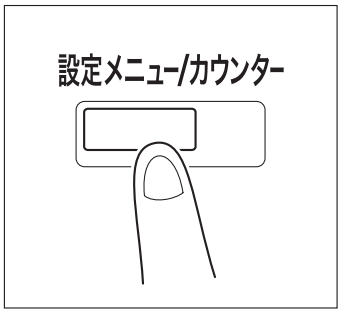
機能設定画面では、以下の項目が設定できます。

- ［給紙トレイ設定］：給紙トレイに関する設定ができます。
- ［個別機能切替え設定］：［とじしろ小数点入力］、［とじしろ入力値保持］、［プリンター受付禁止タイマー］、［不要インデックス紙排紙］、［インデックス紙プリント自動シフト］などの機能が個別に設定できます。
- ［プリンター先端画像消去量設定］：定形サイズ、ワイド / 不定形サイズごとに、プリンターの先端画像の消去量を設定できます。
- ［濃度設定］：印刷時の濃度を設定できます。
- ［登録倍率設定］：登録倍率を設定できます。

15.3 管理者設定の基本操作

15.3.1 管理者設定画面を表示させるには

1 ［設定メニュー / カウンター］を押します。



2 ［管理者設定］を押します。



3 パスワードを入力し、［OK］を押します。

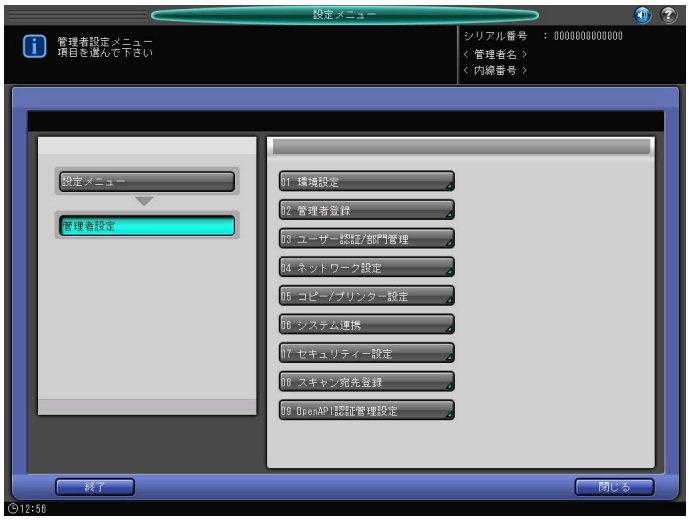
➔ パスワードの設定や変更については、［ユーザーズガイド コピー編］をごらんください。

管理者設定画面が表示されます。

➔ 設定メニューの設定を終了するときは、［終了］を押します。

➔ 設定メニューの階層を戻るときは、目的の画面になるまで［閉じる］を押します。

15.3.2 管理者設定画面



参照

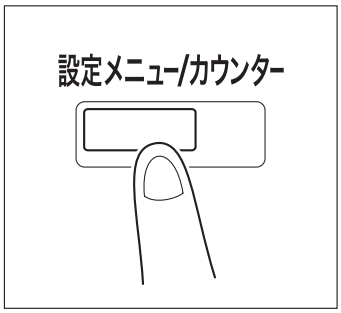
本体の管理者設定については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

15.4 コントローラー NIC 設定メニュー

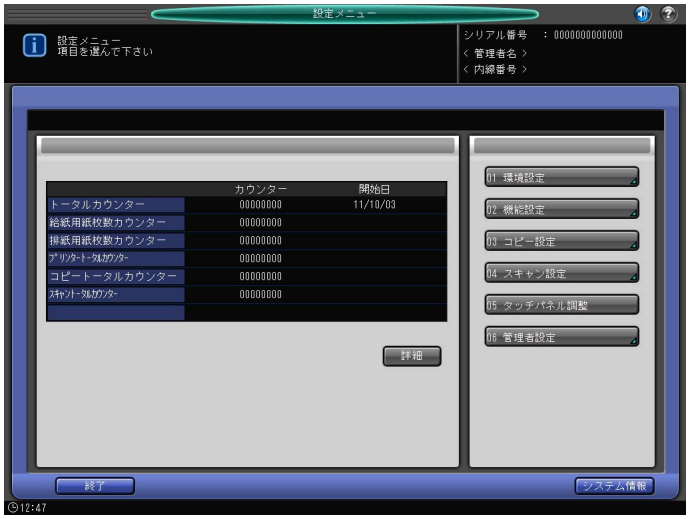
操作パネルの［設定メニュー / カウンター］を押して、［管理者設定］－［ネットワーク設定］－［コントローラー設定］を押して表示される［コントローラー NIC 設定］画面から、コントローラーのネットワーク設定ができます。

15.4.1 コントローラー NIC 設定メニューを表示させるには

1 操作パネルで、［設定メニュー / カウンター］を押します。



2 ［管理者設定］を押します。



3 ［ネットワーク設定］を押します。



4 ［コントローラー NIC 設定］を押します。



名称	説明
TCP/IP 設定	TCP/IP に関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
Netware 設定	Netware に関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
HTTP サーバー設定	HTTP サーバーに関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
FTP 設定	FTP に関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
SNMP 設定	SNMP に関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
SMB 設定	SMB に関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
AppleTalk 設定	AppleTalk に関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
Bonjour 設定	Bonjour に関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
E-mail 設定	E-Mail に関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
TCP Socket 設定	TCP Socket に関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
CSRC 設定	CSRC に関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
OpenAPI 設定	OpenAPI に関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
Web サービス設定	Web サービスに関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
JSP 設定	JSP に関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
LDAP 設定	LDAP に関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
IEEE802.1x 設定	IEEE802.1x 認証に関する設定ができます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
詳細設定	コントローラーの MAC アドレス、ネットワーク速度、ネットワークプロトコルなどの詳細を設定できます。 詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

16 PageScope Web Connection

16 PageScope Web Connection

16.1 PageScope Web Connection の使い方

PageScope Web Connection は、イメージコントローラーに内蔵されている HTTP サーバーが提供する、デバイス管理用ユーティリティーです。ネットワーク上のコンピューターで Web ブラウザーを起動し、本機の設定変更や状態確認ができます。

16.1.1 動作環境

ネットワーク	イーサネット（TCP/IP）
コンピューター側のアプリケーション	<Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 の場合 > ・ Microsoft Internet Explorer 8 以降 (推奨)（JavaScript 有効、Cookie 有効） ・ Mozilla Firefox 3.6 以降 (推奨)（JavaScript 有効、Cookie 有効） <Macintosh MacOS X の場合 > ・ Mozilla Firefox 3.6 以降 (推奨)（JavaScript 有効、Cookie 有効） <Linux の場合 > ・ Mozilla Firefox 3.6 以降 (推奨)（JavaScript 有効、Cookie 有効） Adobe® Flash® Player ： ・ 表示形式で Flash を選択する場合、Flash Player が必要です。 ・ Flash Player をインストールの際は、Flash Player の必要システム構成を確認の上インストールしてください。

16.1.2 アクセス方法

- ✔ PageScope Web Connection は、Web ブラウザーを起動して使用します。
- ✔ ユーザー認証機能が有効の場合は、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。詳しくは、16-9 ページをごらんください。
- ✔ 本機の IP アドレスの設定については、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。
- ✔ PageScope Web Connection の表示形式には Flash と HTML があります。詳しくは、16-8 ページをごらんください。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力して［Enter］を押します。

http:// <本機の IP アドレス> /

（例）本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合

- http://192.168.1.20/

IPv6 が［使用する］に設定されていて、Internet Explorer 6 以外のブラウザーを使用している場合

- IPv6 アドレスを [ ] で囲んでアクセスします。

- http:// <本機の IPv6 アドレス> /

（例）本機の IPv6 アドレスが fe80::220:6bff:fe10:2f16 の場合

- http://[fe80::220:6bff:fe10:2f16]/
- IPv6 が［使用する］に設定されている場合は、あらかじめ hosts ファイルに「fe80::220:6bff:fe10:2f IPv6_MFP_1」といった追記する編集をし、ドメイン名による URL 指定を行います。

トップメニュー画面またはログイン画面が表示されます。

16.1.3 Web ブラウザーのキャッシュ機能について

Web ブラウザーにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されないことがあります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こることがあります。PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザーでキャッシュ機能を無効にしてください。

参考

- Web ブラウザーのバージョンによっては、メニューや項目名が異なることがあります。詳しくは、Web ブラウザーのヘルプをごらんください。
- キャッシュ機能を有効にしたまま使用すると、管理者モードでタイムアウトになったあと、再度アクセスしてもタイムアウト表示になることがあります。この場合でも、本機の操作パネルがロックされ操作できなくなるため、主電源の OFF/ON が必要になります。このような問題を避けるために、キャッシュ機能を無効にしてください。

Internet Explorer の場合

✔ インターネットオプションの［全般］タブの［閲覧の履歴］-［設定］で［保存しているページの新しいバージョンの確認］を［Web サイトを表示するたびに確認する］に設定してください。

1 ［ツール］メニューから［インターネットオプション］を選択します。

2 ［全般］タブで［インターネット一時ファイル］の［設定］をクリックします。

3 ［ページを表示するごとに確認する］を選択し、［OK］をクリックします。

Mozilla Firefox の場合

✔ ツールメニューから［オプション］-［詳細］-［ネットワーク］-［オフラインデータ］で［キャッシュサイズを制限する］にチェックして「0MB」を設定してください。

1 ［ツール］メニューから［オプション］を選択します。

2 ［プライバシー］をクリックし、［消去設定］をクリックします。

3 ［消去するデータ］で［キャッシュ］にチェックを付け、［消去の設定］で［Firefox の終了時にプライバシー情報を消去する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

16.1.4 オンラインヘルプ機能について

PageScope Web Connection にログイン後、をクリックすると、設定中の機能に関するオンラインヘルプを表示させることができます。

参考

- オンラインヘルプを表示させるためには、お使いのコンピューターがインターネットに接続されている必要があります。

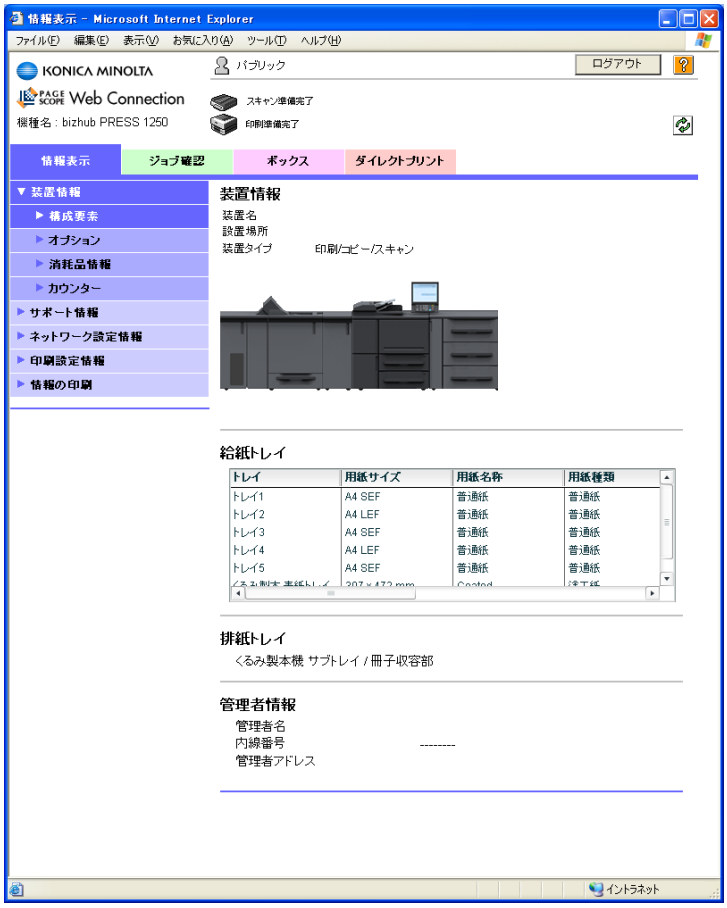
16.2 ログインとログアウト

16.2.1 ログインとログアウトの流れ

PageScope Web Connection でアクセスすると、本機でユーザー認証や部門管理を行っているときはログイン画面が表示され、ユーザー認証や部門管理を行っていないときはパブリックユーザーとしてログインした画面が表示されます。ログイン後、別のユーザーとしてログインするときや、管理者としてログインするためにはいったんログアウトし、ログインしなおす必要があります。

ユーザー認証、部門管理を行っていない場合

パブリックユーザーとして自動的にログインします。



↓

管理者としてログインするときは、いったんログアウトします。

↓

管理者としてログインしなおします。



ユーザー認証、部門管理を行っている場合

ユーザー認証、部門認証画面が表示されます。必要事項を入力してログインします。



↓

他のユーザーまたは管理者としてログインするときは、いったんログアウトします。

↓

ログインしなおします。

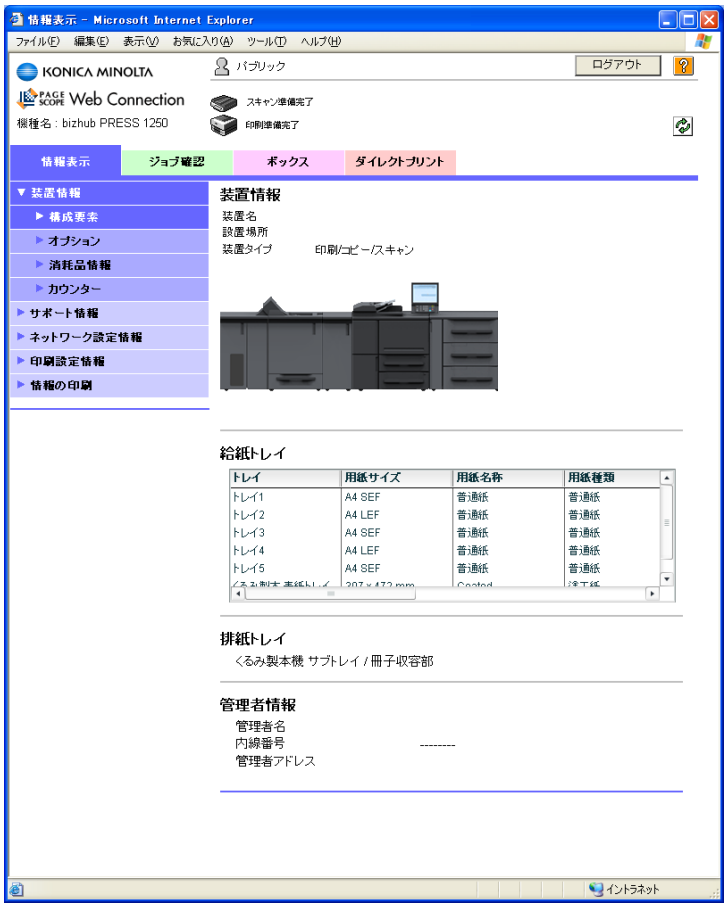

KONICA MINOLTA PageScope Web Connection - Windows Internet Explorer
KONICA MINOLTA
PAGE SCOPE Web Connection
言語
OS言語 (OS Language)
ログイン
パブリックユーザー
登録ユーザー
ユーザー一覧
ユーザー名
パスワード
外部認証サーバー
TestServer1
部門名
部門パスワード
管理者
表示形式
Flash
HTML
Flash形式でご覧頂くには Flash Player が必要です。
ユーザー補助
警告時、ダイアログ表示する
ログイン

16.2.2　ログアウト

画面右上の［ログアウト］をクリックすると、ログアウトを確認する画面が表示されます。［OK］をクリックするとログイン画面に戻ります。

参考

- 本機の認証設定によって、表示されるログイン画面が異なります。
- ログインした状態で操作が一定期間行われずにタイムアウトとなった場合や、ユーザーモードログイン中に本機の操作パネルで認証設定が変更された場合は、自動的にログアウトされます。
- ユーザーモードおよび管理者モードのタイムアウトの時間設定については、16-18 ページをごらんください。



16.2.3 ログイン

PageScope Web Connection はログインのしかたによって、ユーザーモードと管理者モードがあります。

ログイン時の選択項目

ログイン時には、必要に応じて項目を選択できます。

項目	説明
［言語］	表示させる言語を選択します。
［表示形式］	Flash または HTML を選択します。 ・ 読上げソフトを使用する場合は、［HTML］を選択することを推奨します。 ・ ［Flash］を選択する場合は、Flash Player が必要です。
［ユーザー補助］	［警告時、ダイアログ表示する］にチェックを付けると、ログイン後の操作中、警告時にダイアログが表示されます。

参考

- ［表示形式］で［Flash］を選択すると、以下の項目が Flash 機能を利用して表示されます。
- ステータスのアイコンやメッセージ
- ［情報表示］－［装置情報］の［給紙トレイ］の状態
- ［ジョブ確認］の状態

パブリックユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っていない場合はパブリックユーザーとしてログインします。ログイン画面で［パブリックユーザー］を選択し、［ログイン］をクリックします。



登録ユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っている場合は、登録ユーザー名とパスワードを利用してログインする必要があります。

➔ ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。



参考

- 部門管理を行っている場合は、部門名と部門パスワードも入力します。

管理者モードへログイン

システムやネットワークなどの設定を行うには、管理者モードにログインします。

1 ［管理者］を選択し、［ログイン］をクリックします。



2 管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

➔ 管理者モードにログインしているときは、本機の操作パネルがロックされ、操作できなくなります。

➔ 本機の状態によっては、管理者モードにログインできないことがあります。

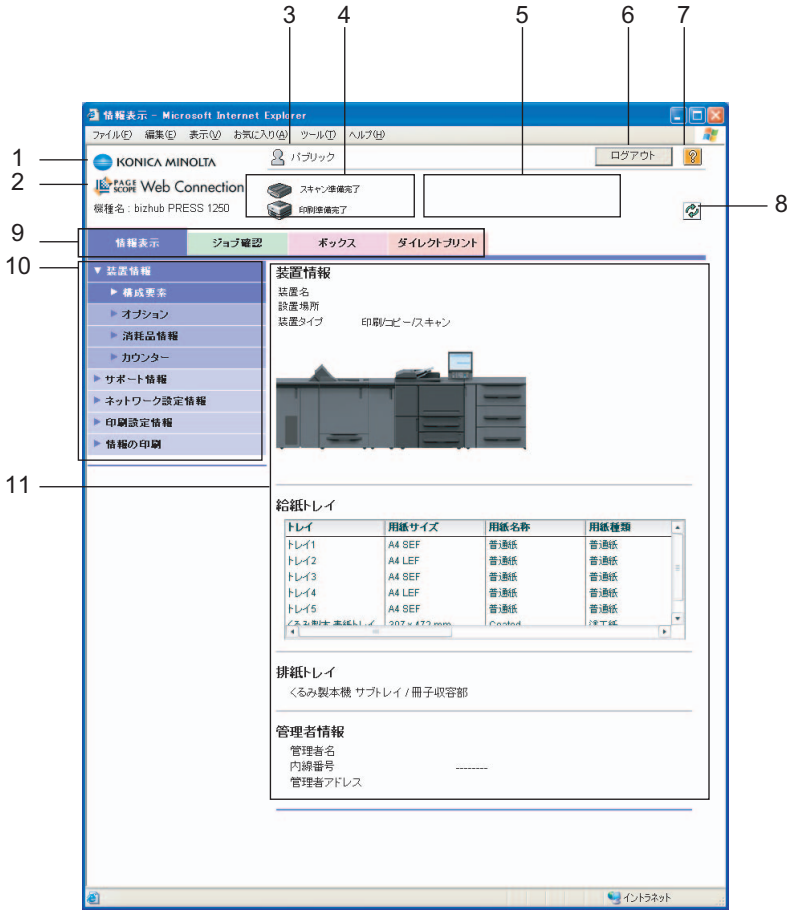
➔ 本機の設定によって、表示されるパスワード入力の画面が異なります。

16.3 画面の構成

PageScope Web Connection にログイン後、表示される画面は、以下のように構成されています。ここでは、情報表示－装置情報画面を例に説明します。

参考

- 本機に装着されているオプションや本機の設定によって、PageScope Web Connection の画面表示が異なります。



No.	項目	説明
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、以下のサイト（KONICA MINOLTA のサイト）へジャンプします。 http://konicaminolta.jp/
2	PageScope Web Connection ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、PageScope Web Connection のバージョンが表示されます。
3	ログインユーザー名	現在ログインしているモードアイコンとユーザー名（パブリック、管理者、登録ユーザー名、部門名）が表示されます。ユーザー名をクリックすると、ログインしているユーザー名が表示されます。
4	ステータス表示	本機プリンター部分と本機スキャナー部分の状態が、アイコンとメッセージで表示されます。エラーが発生している場合にアイコンをクリックすると、その状態に関連した情報（消耗品情報画面、給紙トレイ画面）が表示され、状況を確認できます。
5	メッセージ表示	本機の動作状態が表示されます。
6	［ログアウト］	現在のモードからログアウトし、ログインしなおすときにクリックします。
7	ヘルプ	設定中の機能に関するオンラインヘルプを表示させることができます。設定ページは、16-13 ページの［サポート情報］をごらんください。
8	更新	クリックすると画面の表示を更新します。

No.	項目	説明
9	タブ	表示する項目のカテゴリーを選択します。ユーザーモードでは、以下のアイコンが表示されます。 ・ 情報表示 ・ ジョブ確認 ・ ボックス ・ ダイレクトプリント
10	メニュー	選択されたタブの情報および設定が表示されます。タブの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。
11	情報、設定の表示	メニューで選択されている項目の内容が表示されます。

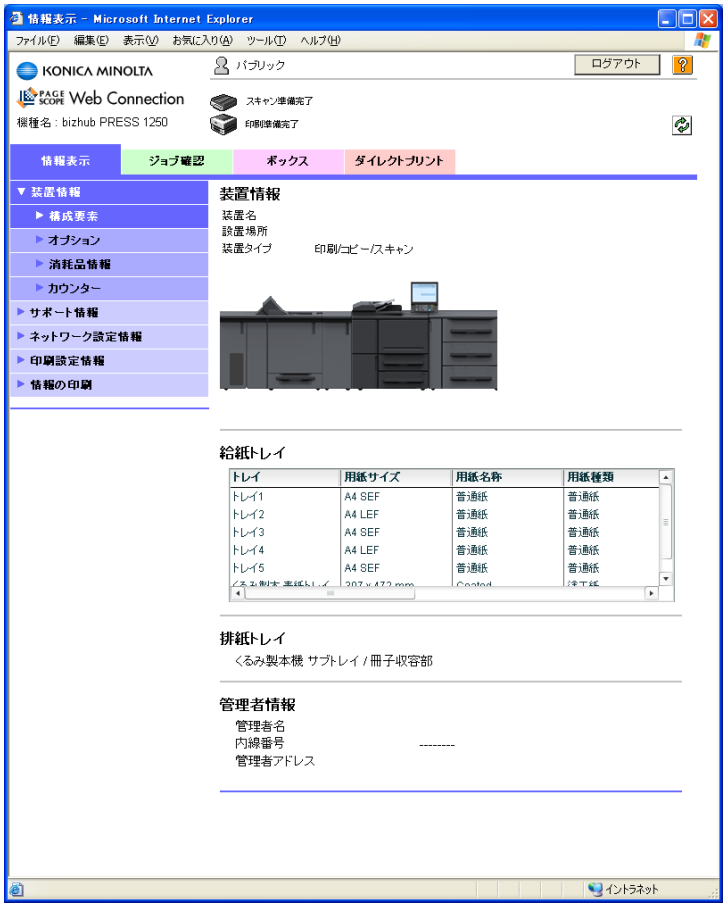
16.4　ユーザーモードの概要

ユーザーモードにログインすると、以下の機能を設定できます。

16.4.1　情報表示

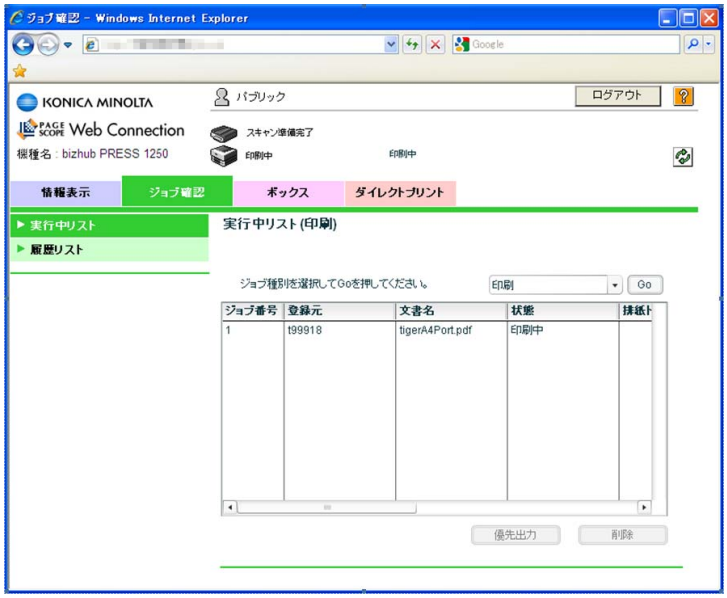
参照

ユーザーモードに関する説明は、PageScope Web Connection のオンラインヘルプで確認できます。
オンラインヘルプについて詳しくは、16-3 ページをごらんください。



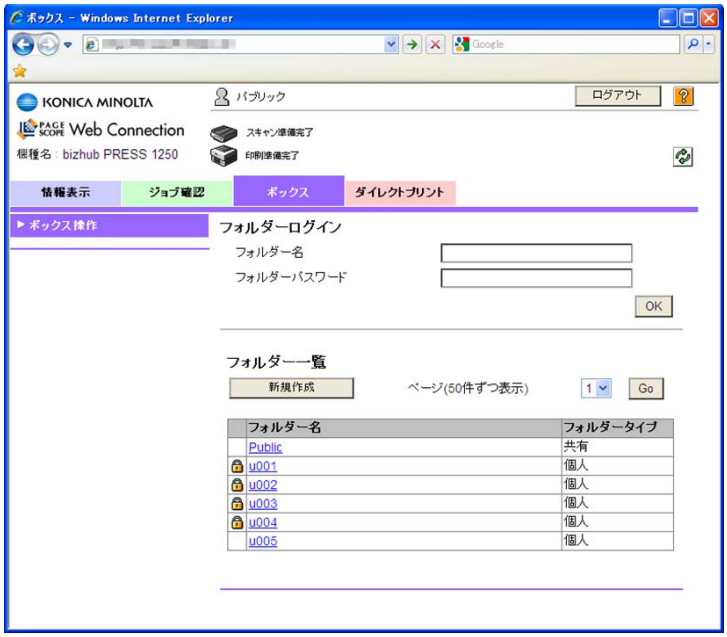
項目	説明
［装置情報］	本機の構成要素、オプション、消耗品情報、カウンターを確認できます。
［サポート情報］	製品に関するサポート情報を確認できます。
［ネットワーク設定情報］	本機のネットワーク設定を確認できます。
［印刷設定情報］	本機のイメージコントローラーに関連した印刷設定情報を確認できます。
［情報の印刷］	フォント情報や設定情報などを印刷できます。

16.4.2　ジョブ確認



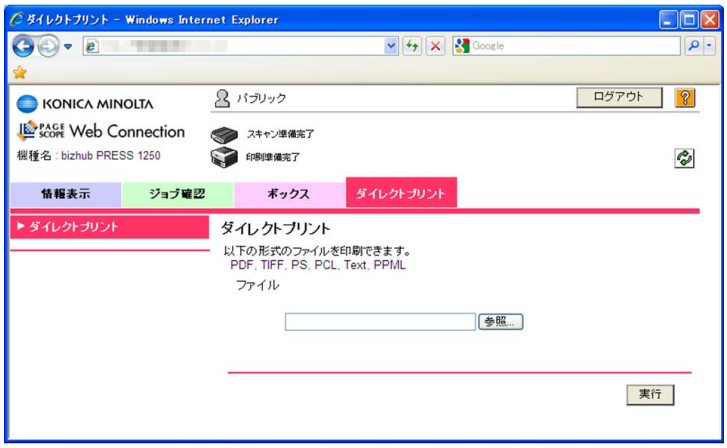
項目	説明
［実行中リスト］	実行中 / 実行待ちのジョブを確認できます。
［履歴リスト］	実行済みのジョブを確認できます。

16.4.3　ボックス



項目	説明
［フォルダー名］	ボックスのフォルダー名を入力します。
［フォルダーパスワード］	フォルダーに設定されているパスワードを入力します。
［新規作成］	新規フォルダーを作成します。
［Go］	選択したページのボックス一覧を表示します。

16.4.4　ダイレクトプリント



項目	説明
［ダイレクトプリント］	コンピューターに保存されているファイルを指定して、本機で印刷できます。

参考

- ［ダイレクトプリント］は、ユーザー認証で［認証しない］以外、または［部門管理］が［管理する］に設定されているときに、本機の［設定メニュー / カウンター］から［管理者設定］- ［ユーザー認証 / 部門管理］- ［認証指定なし印刷］のプリントが［禁止］になっていると警告メッセージが表示され、ダイレクトプリントを禁止します。

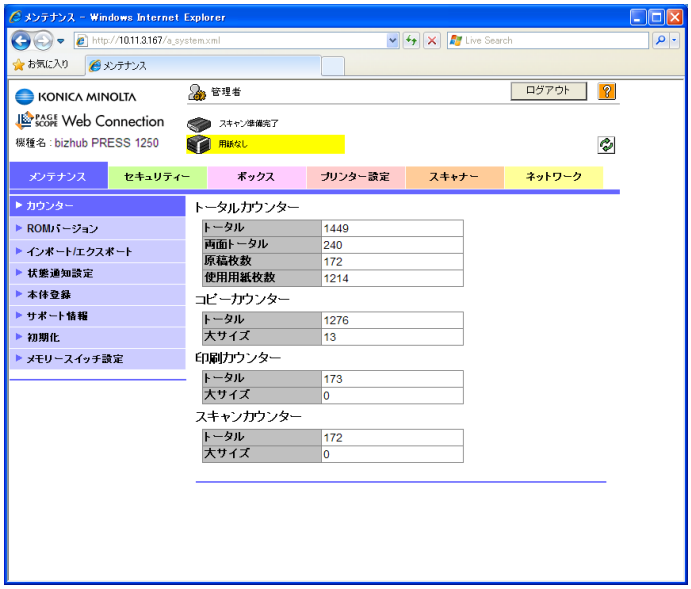
16.5 管理者モードの概要

管理者モードにログインすると、以下の機能を設定できます。

参考

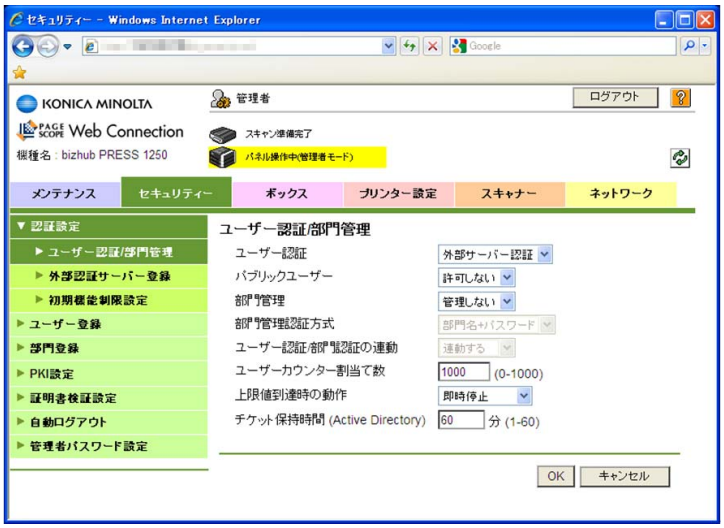
- 管理者モードについて詳しくは、「ユーザーズガイド POD 管理者編」をごらんください。

16.5.1 メンテナンス



項目	説明
[カウンター]	本機で管理されているカウンターを確認できます。
[ROM バージョン]	ROM バージョンを確認できます。
[インポート / エクスポート]	本機の設定情報、ユーザー / 部門登録情報、カウンター情報をファイルとして保存（エクスポート）またはファイルから本機に書込み（インポート）できます。
[状態通知設定]	本機でエラーが発生した場合に登録者に通知する機能の設定を行います。エラーの通知先と通知する項目を設定できます。
[本体登録]	装置の登録情報を変更します。
[サポート情報]	本機のサポート情報（問い合わせ先や製品元ホームページ、オンラインマニュアル URL など）を設定します。この内容はユーザーモードの［情報表示］－［サポート情報］で表示されます。
[初期化]	ネットワーク設定を工場出荷時の初期値に戻します。
[メモリースイッチ]	メモリースイッチを設定します。

16.5.2 セキュリティー



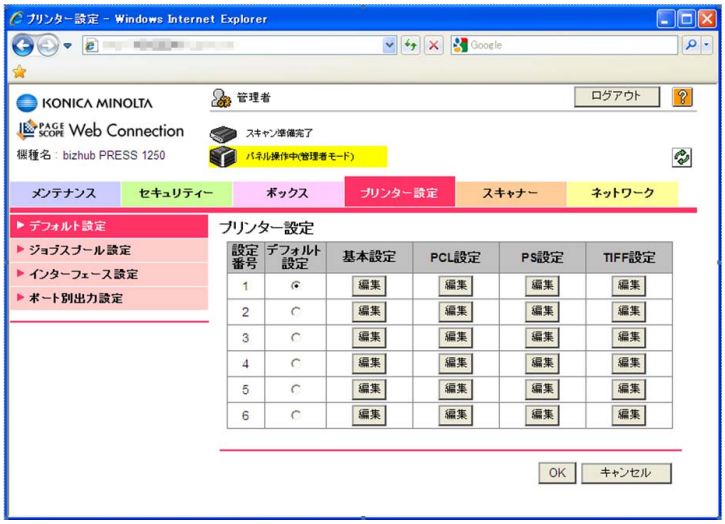
項目	説明
[認証設定]	本機のユーザー認証、部門管理の設定を行います。認証する場合はカウンターの割当て数や上限値到達時の動作を設定できます。 また、[初期機能制限設定] で、本機未登録ユーザーが外部認証サーバーで認証した場合に、ユーザー登録される際の機能制限設定の初期値を設定できます。
[ユーザー登録]	本体装置認証のときにユーザー認証を行う場合、ユーザーの登録や設定を行います。
[部門登録]	部門管理を行っている場合、部門の登録と編集を行います。
[PKI 設定]	証明書に関する項目を設定します。
[証明書検証設定]	証明書の検証で使用する項目を設定します。
[自動ログアウト]	管理者モード、ユーザーモードの自動ログアウト時間を設定します。
[管理者パスワード設定]	管理者モードにログインするためのパスワードを設定します。

16.5.3 ボックス

管理者用ボックス画面については、ユーザーモードでのボックス画面と機能は変わりません。

詳しくは、16-15 ページをごらんください。

16.5.4　プリンター設定



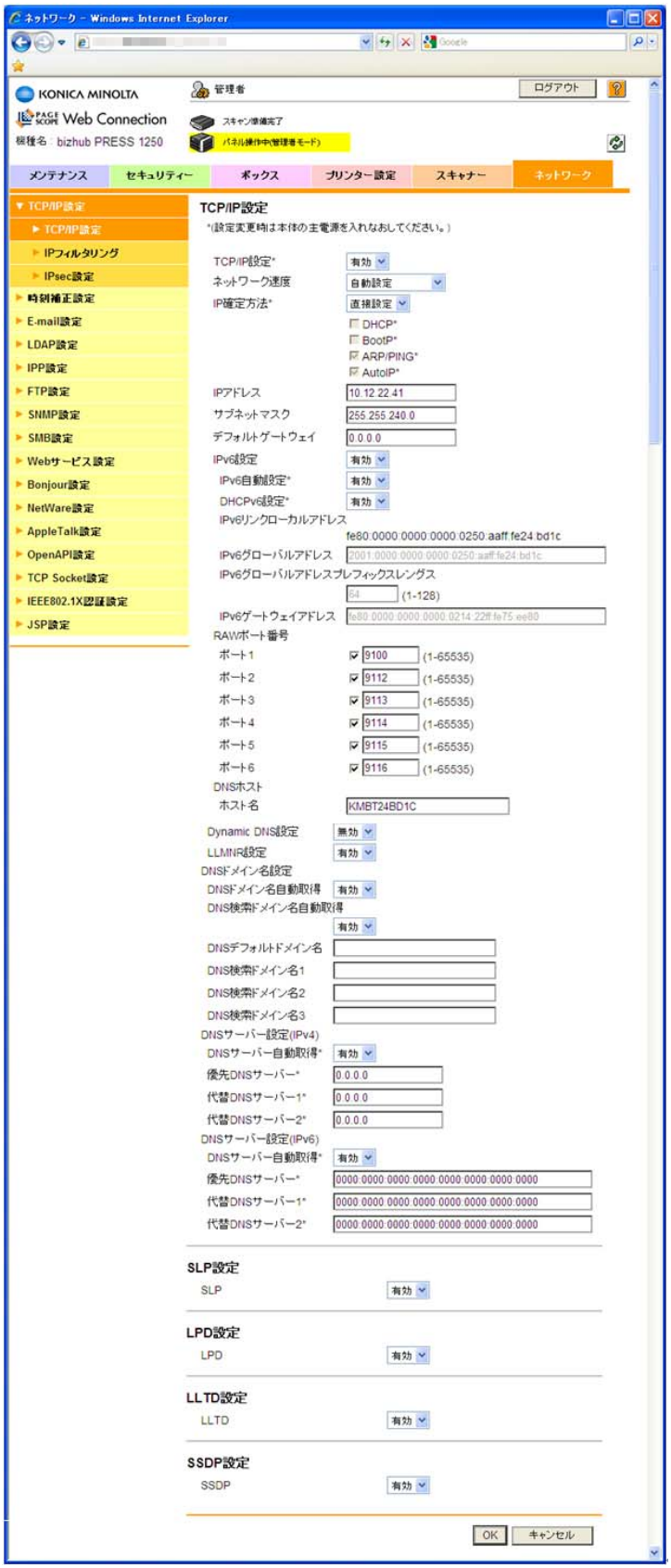
項目	説明
［デフォルト設定］	プリント時のプリンターデフォルト設定を 6 パターン登録できます。［デフォルト設定］ラジオボタンで選択された設定は、ユーザーモードの［情報表示］－［印刷設定情報］で表示されます。
［ジョブスプール設定］	ジョブスプール設定をするかどうかを指定できます。
［インターフェース設定］	インターフェイスのタイムアウト時間を設定できます。
［ポート別出力設定］	ポートごとの出力を設定できます。

16.5.5　スキャナー



項目	説明
[E-mail 件名]	E-mail 送信時に利用する件名を 5 件まで登録できます。
[E-mail 本文]	E-mail 送信時に利用する本文を 5 件まで登録できます。
[スキャン設定]	スキャナー機能に関する設定ができます。

16.5.6　ネットワーク



項目	説明
［TCP/IP 設定］	本機をネットワーク接続する場合の TCP/IP の設定ができます。
［時刻補正設定］	NTP サーバーを使って時刻補正をするかどうかを設定できます。

項目	説明
[E-mail 設定]	メール送受信に関する設定を行い、E-Mail の認証などの拡張機能を設定できます。
[LDAP 設定]	LDAP サーバーを使用するとき、サーバーの登録ができます。
[IPP 設定]	IPP 印刷の設定をします。
[FTP 設定]	本機を FTP クライアントまたはサーバーとして使用するための設定ができます。
[SNMP 設定]	SNMP の設定ができます。
[SMB 設定]	SMB クライアント、WINS、SMB 印刷、Direct Hosting の設定ができます。
[Web サービス設定]	Web サービスによるスキャン、プリントに関する設定ができます。
[Bonjour 設定]	Bonjour の設定ができます。
[NetWare 設定]	NetWare の設定ができます。
[AppleTalk 設定]	AppleTalk の設定ができます。
[OpenAPI 設定]	OpenAPI の設定ができます。
[TCP Socket 設定]	コンピューターのアプリケーションソフトと本機のデータ通信に使用される TCP Socket の設定ができます。
[IEEE802.1X 認証設定]	IEEE802.1X 認証の設定を行います。
[JSP 設定]	JSP に関する設定ができます。

17 ユーティリティーツール

17 ユーティリティーツール

17.1 Font Management Utility について

PostScript フォントをイメージコントローラーに追加および削除できる「Font Management Utility」があります。

参照
詳しくは「PAGESCOPE UTILITIES」CD-ROM の［Font Management Utility］内にあるユーザーズガイドをごらんください。

18 トラブルが生じたら

18 トラブルが生じたら

18.1 印刷できない

本章では、想定するトラブルおよび困った場合の解決方法について説明します。

印刷したにもかかわらず、印刷できない場合に、上から順に確認してください。

状況	考えられる原因	対処方法
コンピューターの画面に「プリンターが接続されていない」または、「印刷エラー」という内容のメッセージが表示される。	印刷時に指定しているプリンタードライバーがイメージコントローラー対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはUSB ケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	メモリーが不足している可能性があります。	テスト印刷で印刷できるか確認してください。
コンピューター上の画面にポストスクリプトエラーが表示される。	コンピューターのメモリーが不足している可能性があります。	テスト印刷で印刷できるか確認してください。
	アプリケーションソフトウェアの設定によるエラーが考えられます。	アプリケーションソフトウェアの取扱説明書などを参考に、設定を再確認してください。
	ファイルの印刷設定が間違っている可能性があります。	設定を変えて再度印刷を試してみてください。

状況	考えられる原因	対処方法
コンピューター側の印刷処理は終了したが印刷が開始されない。	印刷時に指定しているプリンタードライバーがイメージコントローラー対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンター名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたはUSB ケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	未処理のジョブが本機に残っていて、処理待ち状態になっている可能性があります。	本機の操作パネルの［ジョブリスト］タブでジョブの順番を確認してください。
	印刷実行時に［保存］を指定している可能性があります。	本機の操作パネルで［ジョブリスト］タブの［一時保存ジョブ］に目的のジョブが保留されていないか確認してください。
	本機側で［セキュリティー印刷のみ許可］になっている可能性があります。	印刷実行時に［セキュリティー印刷］で印刷してください。
	プリンタードライバーでユーザー認証または部門管理機能が有効になっていない可能性があります。	プリンタードライバーで認証情報取得を行ってください。
	部門管理している場合、登録以外の部門名やパスワードを入力している可能性があります。	部門名やパスワードを正しく入力してください。
	認証設定している場合、登録以外のユーザー名やパスワードを入力している可能性があります。	ユーザー名やパスワードを正しく入力してください。
	コンピューターのメモリーが不足している可能性があります。	テスト印刷で印刷できるか確認してください。
	イメージコントローラーとのネットワークが確立されていません（ネットワーク接続時）。	ネットワーク管理者にご相談ください。
セキュリティー印刷で印刷されない。	本機側でパスワード規約が有効になっている可能性があります。	パスワード規約に適合したパスワードを設定してください。
	プリンタードライバーと本機の暗号化ワードが異なっている可能性があります。	本機とプリンタードライバーの暗号化ワードを同じ設定にしてください。
ユーザー認証または部門管理で印刷できない。	ユーザー名 / 部門名 / パスワードが間違っています。	正しいユーザー名 / 部門名 / パスワードを入力してください。
	プリンタードライバーでユーザー認証または部門管理機能が有効になっていない可能性があります。	プリンタードライバーでユーザー認証または部門管理を有効にしてください。
	プリンタードライバーと本機の暗号化ワードが異なっている可能性があります。	本機とプリンタードライバーの暗号化ワードを同じ設定にしてください。
	お使いのユーザー名 / 部門名で印刷が許可されていない可能性があります。	印刷が許可されているユーザー名 / 部門名であるかどうかを管理者に確認してください。
ユーザー認証で、［パブリックユーザー］を選択したが印刷できない。	本機側でパブリックユーザーのプリントが許可されていない可能性があります。	パブリックユーザーの印刷が許可されているかどうかを管理者に確認してください。

以上のことを確認しても解決しない場合は、［ユーザーズガイド コピー編］をお読みください。

18.2 設定できない / 設定したとおりに印刷できない

プリンタードライバーで設定ができない場合や、設定してもそのとおりに印刷されない場合に確認してください。

参考

- プリンタードライバーの項目を設定する場合、項目によっては同時に選択できないものがあります。

18.2.1 プリンタードライバーの設定が機能しない

状況	考えられる原因	対処方法
プリンタードライバーで項目が選択できない。	機能によっては組合わせできないことがあります。	グレー表示の部分は設定できません。
コンピューター画面に「設定できない」「機能が解除される」内容の「競合」メッセージが表示される。	組合わせできない機能を設定しています。	内容をよく確認し、機能を指定しなおしてください。
設定したとおりに印刷できない。	正しく設定されていない可能性があります。	プリンタードライバーの各設定項目を確認してください。
	プリンタードライバーでは組合わせて設定できますが、本機としては組合わせができないことがあります。	
	アプリケーションで設定した用紙サイズや用紙の向きなどがプリンタードライバーでの設定より優先されて印刷されることがあります。	アプリケーション側の設定を正しく設定してください。
ステープルが指定できない。	ステープルは、オプションの平とじ機が必要です。	必要なオプションを装着し、プリンタードライバーでオプションを使用可能にしてください。
ステープルができない。	印刷するページ数が多い場合は、ステープルできません。	印刷するページ数を変更してください。
	異なった用紙サイズが混在している場合は、ステープルできません。	原稿を確認してください。
ステープルの位置が思いどおりにならない。	方向の設定が合っていません。	プリンタードライバーの設定でステープルの位置を確認してから印刷してください。
パンチが指定できない。	パンチキットまたはマルチパンチ機が必要です。	必要なオプションを装着し、プリンタードライバーでオプションを使用可能にしてください。
	小冊子を指定した場合は、パンチを指定できません。	プリンタードライバーの各設定項目を確認してください。
パンチされない。	給紙口にセットしてある用紙の向きが適切ではない場合は、パンチされずに印刷されることがあります。	用紙の向きを確認してください。
パンチの位置が思いどおりにならない。	方向の設定が合っていません。	プリンタードライバーの設定でパンチの位置を確認してから印刷してください。
ページ割付でページが割付けられず、分かれて印刷される。	方向が異なる原稿を割付けています。	原稿の方向をあわせてください。
オーバーレイがうまく印刷されない。	コンピューターのメモリーが不足している可能性があります。	オーバーレイを簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
画像がうまく印刷されない。	コンピューターのメモリーが不足している可能性があります。	画像を簡単なものにしてデータ量を減らしてください。

状況	考えられる原因	対処方法
指定した給紙口から給紙されない。	指定した給紙口に必要なサイズ / 方向の用紙が入っていない場合は、指定した給紙口から給紙されない可能性があります。	給紙口に適切なサイズ / 方向の用紙を入れてください。
ユーザー認証または部門管理の設定がグレーアウトしていて設定できない。	プリンタードライバーでユーザー認証または部門管理機能が有効になっていない可能性があります。	プリンタードライバーで認証情報取得を行ってください。

18.2.2 その他

状況	考えられる原因	対処方法
プリンタードライバーがインストールできない。	Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 で Web サービスプリント機能に対応したプリンターとしてインストール済みとなっています。	Windows Vista/Server 2008/Server 2008 R2/7 で Web サービスプリントを利用してインストールした場合は、インストールを完了していなくてもインストールされた状態になります。［ネットワーク］ウィンドウで該当するプリンターをアンインストールしてからインストールしなおしてください。

18.2.3 エラーメッセージ

メッセージ	原因と対処方法
ネットワークに接続できませんでした。	ネットワークに接続できませんでした。ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、［管理者設定］の［ネットワーク設定］が正しく行われているか確認してください。

19 製品仕様 / レポート

19 製品仕様 / レポート

19.1 製品仕様

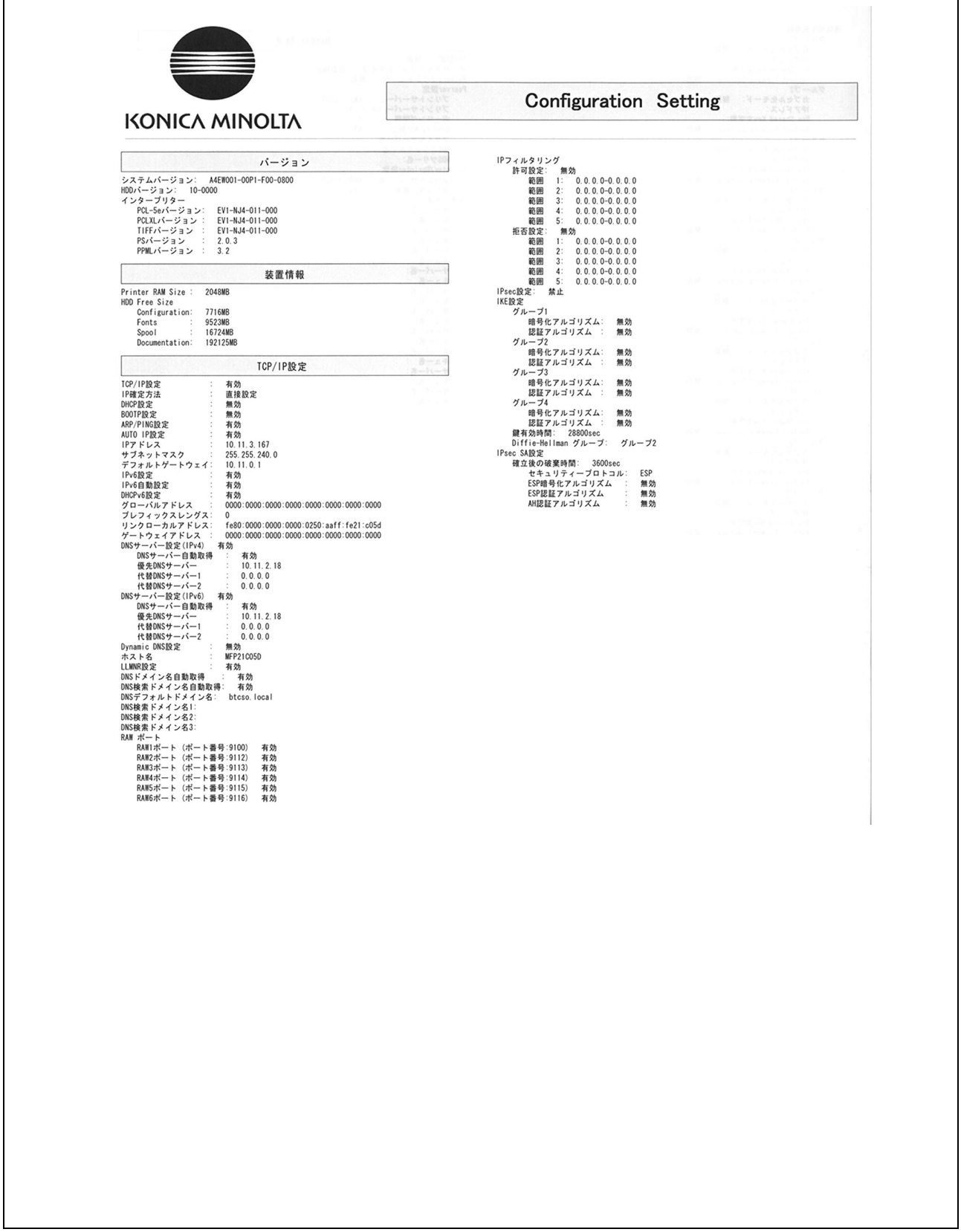
項目	仕様
形式	内蔵型コントローラー
RAM	2GB
HDD	250 GB
SSD	2 GB
I/F	Ethernet（1000Base-T/100Base-TX/10Base-T） USB 2.0
フレームタイプ	Ethernet 802.2 Ethernet 802.3 Ethernet II Ethernet SNAP
対応プロトコル	TCP/IP（IPv4/IPv6）、BOOTP、ARP、ICMP、DHCP、DHCPv6、AutoIP、SLP、SNMP、FTP、LPR/LPD、RAW Socket、SMB over TCP/IP、IPP、HTTP、POP、SMTP、LDAP、NTP、SSL、IPX/SPX、AppleTalk、Bonjour、NetBEUI、WebDAV、DPWS、IPsec、DNS、DynamicDNS、LLMNR、LLTD
ページ記述言語	Adobe PostScript 3（PS3019） PDF ダイレクトプリント (PDF Ver. 1.7) TIFF ダイレクトプリント（TIFF 6.0 準拠） PPML（Ver. 2.2） PCL5e PCL XL(PCL6) 互換
動作環境条件	温度 10 ～ 30 ℃ 湿度 15 ～ 85%RH
解像度	1200 dpi × 1200 dpi 600 dpi × 600 dpi
フォント（内蔵フォント）	<Postscript 3> 欧文 136 書体 モリサワ リューミン L-KL/ 中ゴシック BBB <PCL> Agfa Contract 80 書体 Line Printer 1 書体 HG ゴシック B/HG 明朝 L/HGP ゴシック B/HGP 明朝 L
対応コンピューター	IBM PC およびその互換機、Macintosh（PowerPC、Intel プロセッサー：Intel プロセッサーは、Mac OS X 10.4/10.5/10.6 のみ）

項目	仕様	
プリンタードライバー	PCL ドライバー	Windows XP Home Edition（SP3）* Windows XP Professional（SP3）* Windows XP Professional ×64 Edition（SP2） Windows Server 2003, Standard Edition（SP2）* Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP2）* Windows Vista Business（SP2）* Windows Vista Enterprise（SP2）* Windows Vista Home Basic（SP2）* Windows Vista Home Premium（SP2）* Windows Vista Ultimate（SP2）* Windows Server 2008 Standard（SP2）* Windows Server 2008 Enterprise（SP2）* Windows Server 2008 R2 Standard（SP1） Windows Server 2008 R2 Enterprise（SP1） Windows 7 Home Basic（SP1） Windows 7 Home Premium（SP1）* Windows 7 Professional（SP1）* Windows 7 Enterprise（SP1）* Windows 7 Ultimate（SP1）* * 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。
	PS Plug-in ドライバー	Windows XP Home Edition（SP3）* Windows XP Professional（SP3）* Windows XP Professional ×64 Edition（SP2） Windows Server 2003, Standard Edition（SP2）* Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP2）* Windows Vista Business（SP2）* Windows Vista Enterprise（SP2）* Windows Vista Home Basic（SP2）* Windows Vista Home Premium（SP2）* Windows Vista Ultimate（SP2）* Windows Server 2008 Standard（SP2）* Windows Server 2008 Enterprise（SP2）* Windows Server 2008 R2 Standard（SP1） Windows Server 2008 R2 Enterprise（SP1） Windows 7 Home Basic（SP1） Windows 7 Home Premium（SP1）* Windows 7 Professional（SP1）* Windows 7 Enterprise（SP1）* Windows 7 Ultimate（SP1）* * 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。
		Mac OS X 10.4/10.5/10.6

項目	仕様	
プリンタードライバー	PPD ドライバー	Windows XP Home Edition（SP3）* Windows XP Professional（SP3）* Windows XP Professional ×64 Edition（SP2） Windows Server 2003, Standard Edition（SP2）* Windows Server 2003, Enterprise Edition（SP2）* Windows Vista Business（SP2）* Windows Vista Enterprise（SP2）* Windows Vista Home Basic（SP2）* Windows Vista Home Premium（SP2）* Windows Vista Ultimate（SP2）* Windows Server 2008 Standard（SP2）* Windows Server 2008 Enterprise（SP2）* Windows Server 2008 R2 Standard（SP1） Windows Server 2008 R2 Enterprise（SP1） Windows 7 Home Basic（SP1） Windows 7 Home Premium（SP1）* Windows 7 Professional（SP1）* Windows 7 Enterprise（SP1）* Windows 7 Ultimate（SP1）* * 32 ビット (×86)/64 ビット (×64) 環境に対応。
		Mac OS X 10.3/10.4/10.5/10.6
ユーティリティ	PageScope Web Connection <Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008/7 の場合 > ・ Microsoft Internet Explorer 8 以降 (推奨)（JavaScript 有効、Cookie 有効） ・ Mozilla Firefox 3.6 以降 (推奨)（JavaScript 有効、Cookie 有効） <Macintosh MacOS X の場合 > ・ Mozilla Firefox 3.6 以降 (推奨)（JavaScript 有効、Cookie 有効） <Linux の場合 > ・ Mozilla Firefox 3.6 以降 (推奨)（JavaScript 有効、Cookie 有効） Adobe® Flash® Player ： ・ 表示形式で Flash を選択する場合、Flash Player が必要です。 ・ Flash Player をインストールの際は、Flash Player の必要システム構成を確認の上インストールしてください。	
Citrix 動作環境	このドライバーは以下の環境でのみ動作確認を実施しております。 Citrix Version：XenAPP6.0 Server OS：Windows Server 2003/2008 クライアント OS： Windows XP SP2(32/64bit)/Windows 7 SP1(32/64bit) * 上記以外の構成での動作については販売会社にお問い合せください。	

19.2 レポート出力

19.2.1 設定情報リスト



KONICA MINOLTA

Configuration Setting

バージョン

システムバージョン: A4EW001-00P1-F00-0800
HDDバージョン: 10-0000
インタープリター
PCL-5eバージョン: EV1-NJ4-011-000
PCLXLバージョン : EV1-NJ4-011-000
TIFFバージョン : EV1-NJ4-011-000
PSバージョン : 2.0.3
PPMLバージョン : 3.2

装置情報

Printer RAM Size : 2048MB
HDD Free Size
Configuration: 7716MB
Fonts : 9523MB
Spool : 16724MB
Documentation: 192125MB

TCP/IP設定

TCP/IP設定 : 有効
IP確定方法 : 直接設定
DHCP設定 : 無効
BOOTP設定 : 無効
ARP/PING設定 : 有効
AUTO IP設定 : 有効
IPアドレス : 10.11.3.167
サブネットマスク : 255.255.240.0
デフォルトゲートウェイ: 10.11.0.1
IPv6設定 : 有効
IPv6自動設定 : 有効
DHCPv6設定 : 有効
グローバルアドレス : 0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000
プレフィックスレングス: 0
リンクローカルアドレス: fe80:0000:0000:0000:0250:aaff:fe21:c05d
ゲートウェイアドレス : 0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000:0000
DNSサーバー設定(IPv4) 有効
DNSサーバー自動取得 : 有効
優先DNSサーバー : 10.11.2.18
代替DNSサーバー1 : 0.0.0.0
代替DNSサーバー2 : 0.0.0.0
DNSサーバー設定(IPv6) 有効
DNSサーバー自動取得 : 有効
優先DNSサーバー : 10.11.2.18
代替DNSサーバー1 : 0.0.0.0
代替DNSサーバー2 : 0.0.0.0
Dynamic DNS設定 : 無効
ホスト名 : MFP21C05D
LLMNR設定 : 有効
DNSドメイン名自動取得 : 有効
DNS検索ドメイン名自動取得: 有効
DNSデフォルトドメイン名: btcso.local
DNS検索ドメイン名1:
DNS検索ドメイン名2:
DNS検索ドメイン名3:
RAW ポート
RAW1ポート (ポート番号:9100) 有効
RAW2ポート (ポート番号:9112) 有効
RAW3ポート (ポート番号:9113) 有効
RAW4ポート (ポート番号:9114) 有効
RAW5ポート (ポート番号:9115) 有効
RAW6ポート (ポート番号:9116) 有効

IPフィルタリング
許可設定: 無効
範囲 1: 0.0.0.0-0.0.0.0
範囲 2: 0.0.0.0-0.0.0.0
範囲 3: 0.0.0.0-0.0.0.0
範囲 4: 0.0.0.0-0.0.0.0
範囲 5: 0.0.0.0-0.0.0.0
拒否設定: 無効
範囲 1: 0.0.0.0-0.0.0.0
範囲 2: 0.0.0.0-0.0.0.0
範囲 3: 0.0.0.0-0.0.0.0
範囲 4: 0.0.0.0-0.0.0.0
範囲 5: 0.0.0.0-0.0.0.0
IPsec設定: 禁止
IKE設定
グループ1
暗号化アルゴリズム: 無効
認証アルゴリズム : 無効
グループ2
暗号化アルゴリズム: 無効
認証アルゴリズム : 無効
グループ3
暗号化アルゴリズム: 無効
認証アルゴリズム : 無効
グループ4
暗号化アルゴリズム: 無効
認証アルゴリズム : 無効
鍵有効時間: 28800sec
Diffie-Hellman グループ: グループ2
IPsec SA設定
確立後の破棄時間: 3600sec
セキュリティープロトコル: ESP
ESP暗号化アルゴリズム : 無効
ESP認証アルゴリズム : 無効
AH認証アルゴリズム : 無効

通信相手先登録
グループ1
カプセル化モード: 無効
IPアドレス:
Pre-Shared Key文字列:
Perfect Forward Secrecy: 無効
グループ2
カプセル化モード: 無効
IPアドレス:
Pre-Shared Key文字列:
Perfect Forward Secrecy: 無効
グループ3
カプセル化モード: 無効
IPアドレス:
Pre-Shared Key文字列:
Perfect Forward Secrecy: 無効
グループ4
カプセル化モード: 無効
IPアドレス:
Pre-Shared Key文字列:
Perfect Forward Secrecy: 無効
グループ5
カプセル化モード: 無効
IPアドレス:
Pre-Shared Key文字列:
Perfect Forward Secrecy: 無効
グループ6
カプセル化モード: 無効
IPアドレス:
Pre-Shared Key文字列:
Perfect Forward Secrecy: 無効
グループ7
カプセル化モード: 無効
IPアドレス:
Pre-Shared Key文字列:
Perfect Forward Secrecy: 無効
グループ8
カプセル化モード: 無効
IPアドレス:
Pre-Shared Key文字列:
Perfect Forward Secrecy: 無効
グループ9
カプセル化モード: 無効
IPアドレス:
Pre-Shared Key文字列:
Perfect Forward Secrecy: 無効
グループ10
カプセル化モード: 無効
IPアドレス:
Pre-Shared Key文字列:
Perfect Forward Secrecy: 無効

NetWare設定

IPX設定: 無効
イーサネットフレームタイプ: 自動検出
NetWareプリントモード: 無効
Pserver設定
プリントサーバー名: KMBT21C05D
プリントサーバーパスワード:
ポーリング間隔 : 1
Bindery/NDS設定 : NDS
ファイルサーバー名:
NDSコンテキスト名 :
NDSツリー名:
Nprinter/Rprinter設定
プリントサーバー名: KMBT21C05D
プリンター番号 : 255
ステータス:
サーバー名:
キュー名 :
サーバー名:
キュー名 :
サーバー名:
キュー名 :
サーバー名:
キュー名 :
サーバー名:
キュー名 :
サーバー名:
キュー名 :
サーバー名:
キュー名 :
サーバー名:
キュー名 :
サーバー名:
キュー名 :

HTTPサーバー設定

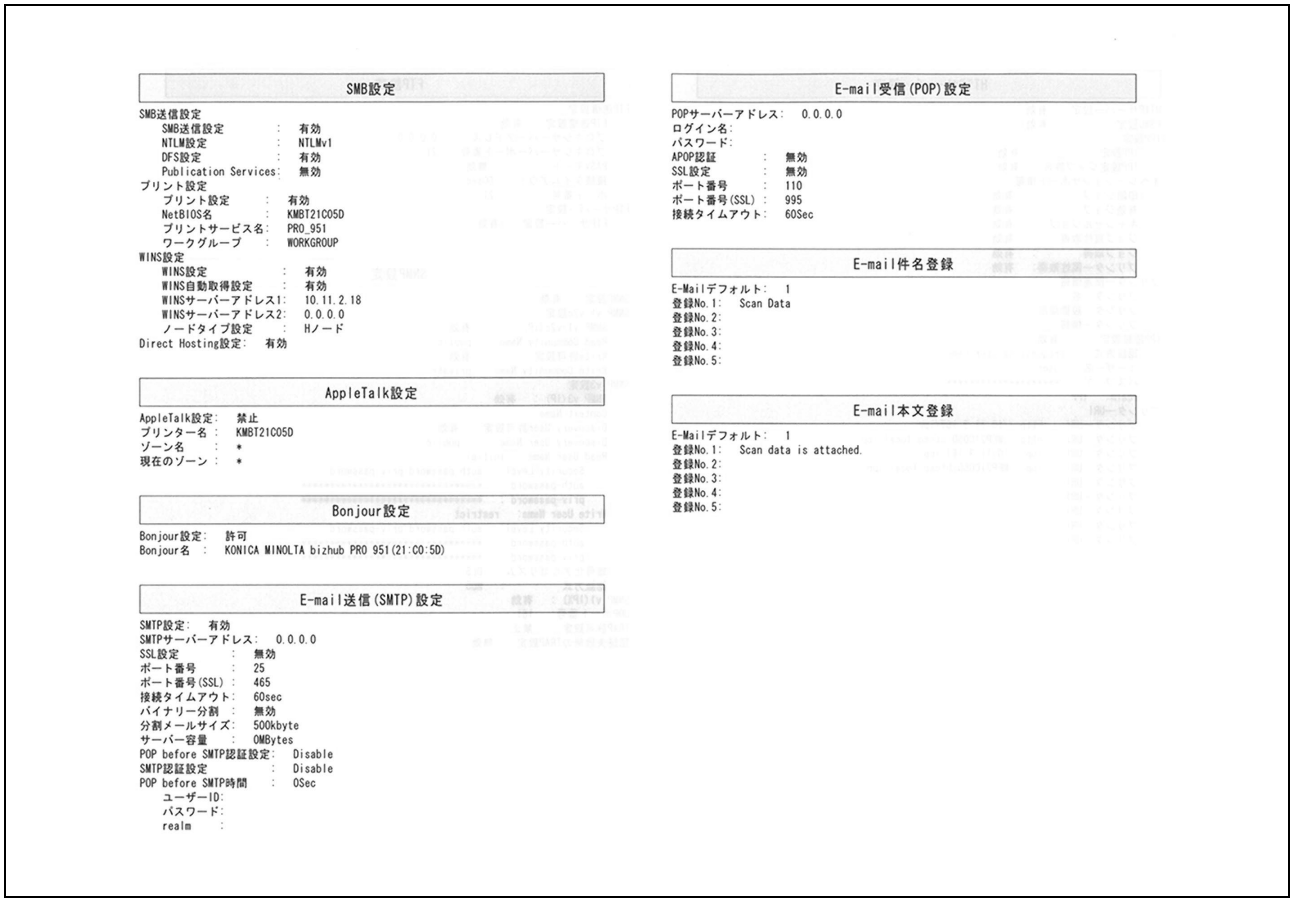
HTTPサーバー設定: 有効
PSWC設定 : 有効
IPP設定
IPP設定 : 有効
IPP設定ジョブ許可: 有効
オペレーションサポート情報
印刷ジョブ : 有効
有効ジョブ : 有効
キャンセルジョブ : 有効
ジョブ属性取得 : 有効
ジョブ取得 : 有効
プリンター属性取得: 有効
プリンター関連情報
プリンター名:
プリンター設置場所:
プリンター情報:
IPP認証設定 : 有効
認証方式 : requesting-user-name
ユーザー名: user
パスワード: **********
realm: IPP
プリンターURI
プリンターURI: http://10.11.3.167/ipp
プリンターURI: http://MFP21C05D.btcso.local/ipp
プリンターURI: ipp://10.11.3.167/ipp
プリンターURI: ipp://MFP21C05D.btcso.local/ipp
プリンターURI:
プリンターURI:
プリンターURI:
プリンターURI:
プリンターURI:

FTP設定

FTP送信設定
FTP送信設定: 有効
プロキシサーバーアドレス : 0.0.0.0
プロキシサーバーポート番号: 21
PASVモード : 無効
接続タイムアウト: 60sec
ポート番号 : 21
FTPサーバー設定
FTPサーバー設定: 有効

SNMP設定

SNMP設定: 有効
SNMP v1/v2c設定
SNMP v1/v2c(IP) : 有効
Read Community Name : public
Write許可設定 : 有効
Write Community Name: private
SNMP v3設定
SNMP v3(IP) : 有効
Context Name:
Discovery User許可設定: 有効
Discovery User Name : public
Read User Name: initial
Security Level: auth-password/priv-password
auth-password : **********
priv-password : **********
Write User Name: restrict
Security Level: auth-password/priv-password
auth-password : **********
priv-password : **********
暗号化アルゴリズム: DES
認証方式 : MD5
SNMP v1(IPX) : 有効
UDPポート番号: 161
TRAP許可設定 : 禁止
認証失敗時のTRAP設定: 無効



SMB設定

SMB送信設定
SMB送信設定 : 有効
NTLM設定 : NTLMv1
DFS設定 : 有効
Publication Services: 無効
プリント設定
プリント設定 : 有効
NetBIOS名 : KMBT21C05D
プリントサービス名: PRO_951
ワークグループ : WORKGROUP
WINS設定
WINS設定 : 有効
WINS自動取得設定 : 有効
WINSサーバーアドレス1: 10.11.2.18
WINSサーバーアドレス2: 0.0.0.0
ノードタイプ設定 : Hノード
Direct Hosting設定: 有効

AppleTalk設定

AppleTalk設定: 禁止
プリンター名 : KMBT21C05D
ゾーン名 : *
現在のゾーン : *

Bonjour設定

Bonjour設定: 許可
Bonjour名 : KONICA MINOLTA bizhub PRO 951(21:C0:5D)

E-mail送信(SMTP)設定

SMTP設定: 有効
SMTPサーバーアドレス: 0.0.0.0
SSL設定 : 無効
ポート番号 : 25
ポート番号(SSL) : 465
接続タイムアウト: 60sec
バイナリー分割 : 無効
分割メールサイズ: 500kbyte
サーバー容量 : 0MBytes
POP before SMTP認証設定: Disable
SMTP認証設定 : Disable
POP before SMTP時間 : 0Sec
ユーザーID:
パスワード:
realm :

E-mail受信(POP)設定

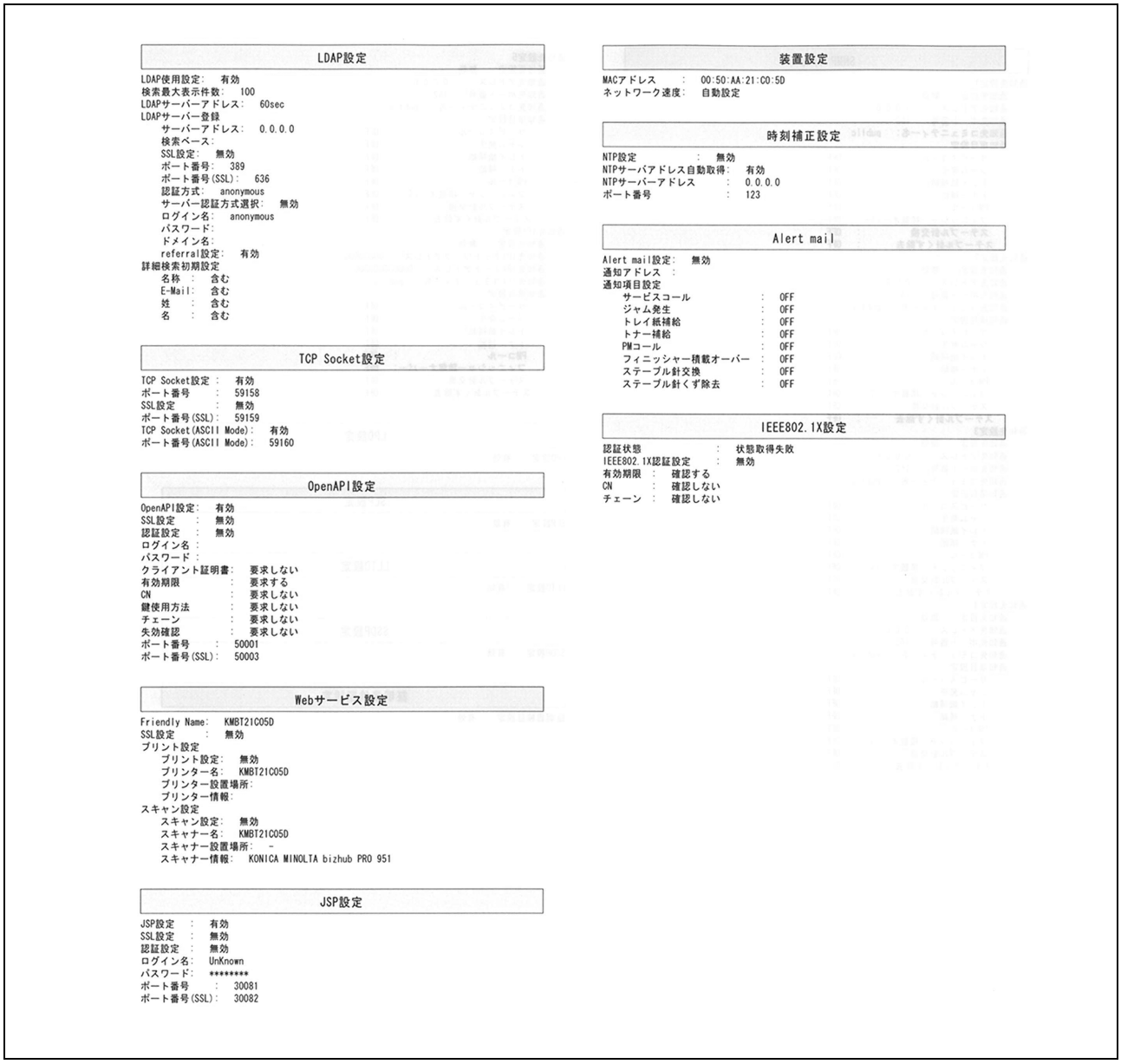
POPサーバーアドレス: 0.0.0.0
ログイン名:
パスワード:
APOP認証 : 無効
SSL設定 : 無効
ポート番号 : 110
ポート番号(SSL) : 995
接続タイムアウト: 60Sec

E-mail件名登録

E-Mailデフォルト: 1
登録No.1: Scan Data
登録No.2:
登録No.3:
登録No.4:
登録No.5:

E-mail本文登録

E-Mailデフォルト: 1
登録No.1: Scan data is attached.
登録No.2:
登録No.3:
登録No.4:
登録No.5:



LDAP設定

LDAP使用設定: 有効
検索最大表示件数: 100
LDAPサーバーアドレス: 60sec
LDAPサーバー登録
サーバーアドレス: 0.0.0.0
検索ベース:
SSL設定: 無効
ポート番号: 389
ポート番号(SSL): 636
認証方式: anonymous
サーバー認証方式選択: 無効
ログイン名: anonymous
パスワード:
ドメイン名:
referral設定: 有効
詳細検索初期設定
名称 : 含む
E-Mail: 含む
姓 : 含む
名 : 含む

TCP Socket設定

TCP Socket設定 : 有効
ポート番号 : 59158
SSL設定 : 無効
ポート番号(SSL): 59159
TCP Socket(ASCII Mode): 有効
ポート番号(ASCII Mode): 59160

OpenAPI設定

OpenAPI設定: 有効
SSL設定 : 無効
認証設定 : 無効
ログイン名 :
パスワード :
クライアント証明書: 要求しない
有効期限 : 要求する
CN : 要求しない
鍵使用方法 : 要求しない
チェーン : 要求しない
失効確認 : 要求しない
ポート番号 : 50001
ポート番号(SSL): 50003

Webサービス設定

Friendly Name: KMBT21C05D
SSL設定 : 無効
プリント設定
プリント設定: 無効
プリンター名: KMBT21C05D
プリンター設置場所:
プリンター情報:
スキャン設定
スキャン設定: 無効
スキャナー名: KMBT21C05D
スキャナー設置場所: -
スキャナー情報: KONICA MINOLTA bizhub PRO 951

JSP設定

JSP設定 : 有効
SSL設定 : 無効
認証設定 : 無効
ログイン名: UnKnown
パスワード: ********
ポート番号 : 30081
ポート番号(SSL): 30082

装置設定

MACアドレス : 00:50:AA:21:C0:5D
ネットワーク速度: 自動設定

時刻補正設定

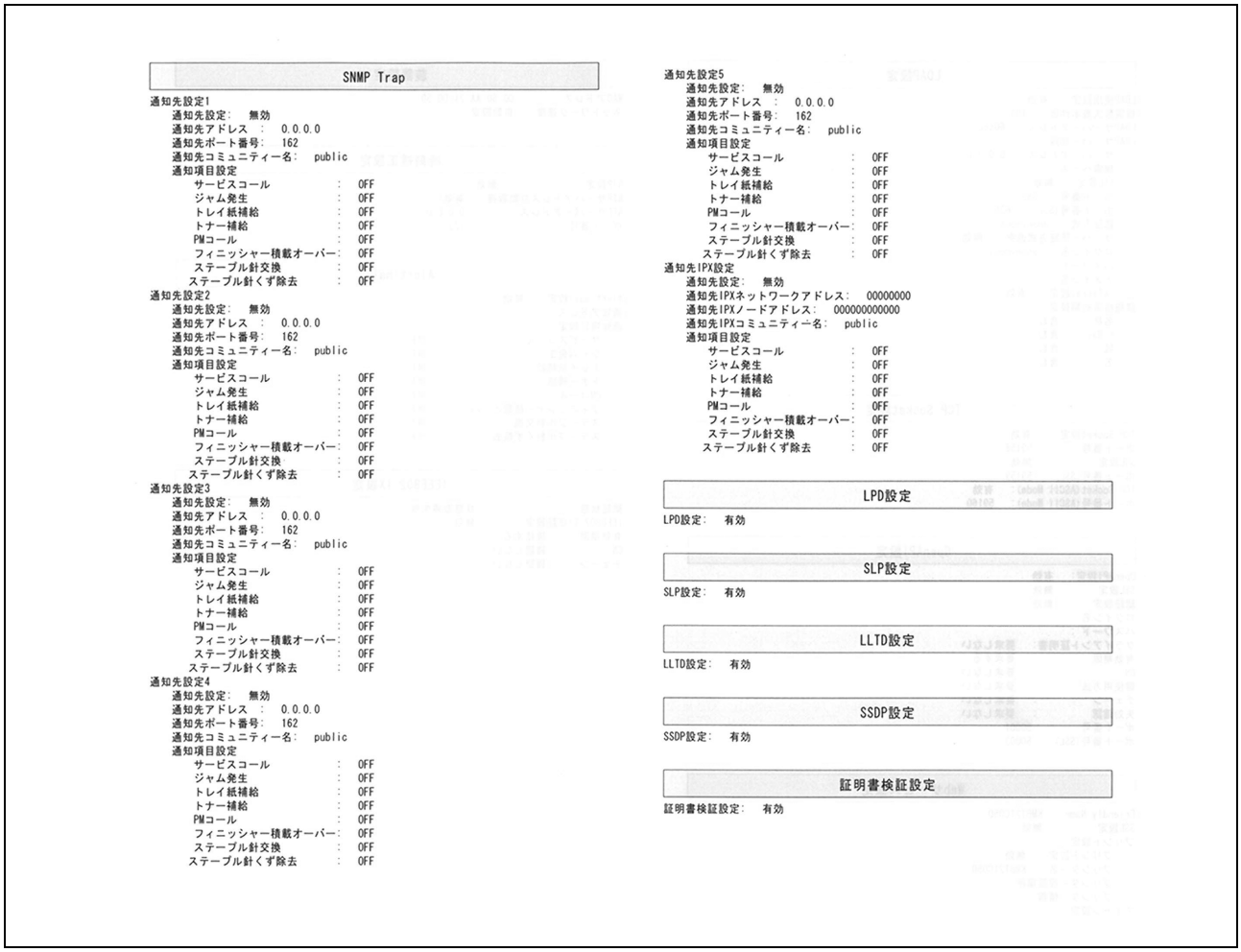
NTP設定 : 無効
NTPサーバアドレス自動取得: 有効
NTPサーバーアドレス : 0.0.0.0
ポート番号 : 123

Alert mail

Alert mail設定: 無効
通知アドレス :
通知項目設定
サービスコール : OFF
ジャム発生 : OFF
トレイ紙補給 : OFF
トナー補給 : OFF
PMコール : OFF
フィニッシャー積載オーバー : OFF
ステープル針交換 : OFF
ステープル針くず除去 : OFF

IEEE802.1X設定

認証状態 : 状態取得失敗
IEEE802.1X認証設定 : 無効
有効期限 : 確認する
CN : 確認しない
チェーン : 確認しない



SNMP Trap

通知先設定1
通知先設定: 無効
通知先アドレス : 0.0.0.0
通知先ポート番号: 162
通知先コミュニティー名: public
通知項目設定
サービスコール : OFF
ジャム発生 : OFF
トレイ紙補給 : OFF
トナー補給 : OFF
PMコール : OFF
フィニッシャー積載オーバー: OFF
ステープル針交換 : OFF
ステープル針くず除去 : OFF

通知先設定2
通知先設定: 無効
通知先アドレス : 0.0.0.0
通知先ポート番号: 162
通知先コミュニティー名: public
通知項目設定
サービスコール : OFF
ジャム発生 : OFF
トレイ紙補給 : OFF
トナー補給 : OFF
PMコール : OFF
フィニッシャー積載オーバー: OFF
ステープル針交換 : OFF
ステープル針くず除去 : OFF

通知先設定3
通知先設定: 無効
通知先アドレス : 0.0.0.0
通知先ポート番号: 162
通知先コミュニティー名: public
通知項目設定
サービスコール : OFF
ジャム発生 : OFF
トレイ紙補給 : OFF
トナー補給 : OFF
PMコール : OFF
フィニッシャー積載オーバー: OFF
ステープル針交換 : OFF
ステープル針くず除去 : OFF

通知先設定4
通知先設定: 無効
通知先アドレス : 0.0.0.0
通知先ポート番号: 162
通知先コミュニティー名: public
通知項目設定
サービスコール : OFF
ジャム発生 : OFF
トレイ紙補給 : OFF
トナー補給 : OFF
PMコール : OFF
フィニッシャー積載オーバー: OFF
ステープル針交換 : OFF
ステープル針くず除去 : OFF

通知先設定5
通知先設定: 無効
通知先アドレス : 0.0.0.0
通知先ポート番号: 162
通知先コミュニティー名: public
通知項目設定
サービスコール : OFF
ジャム発生 : OFF
トレイ紙補給 : OFF
トナー補給 : OFF
PMコール : OFF
フィニッシャー積載オーバー: OFF
ステープル針交換 : OFF
ステープル針くず除去 : OFF

通知先IPX設定
通知先設定: 無効
通知先IPXネットワークアドレス: 00000000
通知先IPXノードアドレス: 000000000000
通知先IPXコミュニティー名: public
通知項目設定
サービスコール : OFF
ジャム発生 : OFF
トレイ紙補給 : OFF
トナー補給 : OFF
PMコール : OFF
フィニッシャー積載オーバー: OFF
ステープル針交換 : OFF
ステープル針くず除去 : OFF

LPD設定

LPD設定: 有効

SLP設定

SLP設定: 有効

LLTD設定

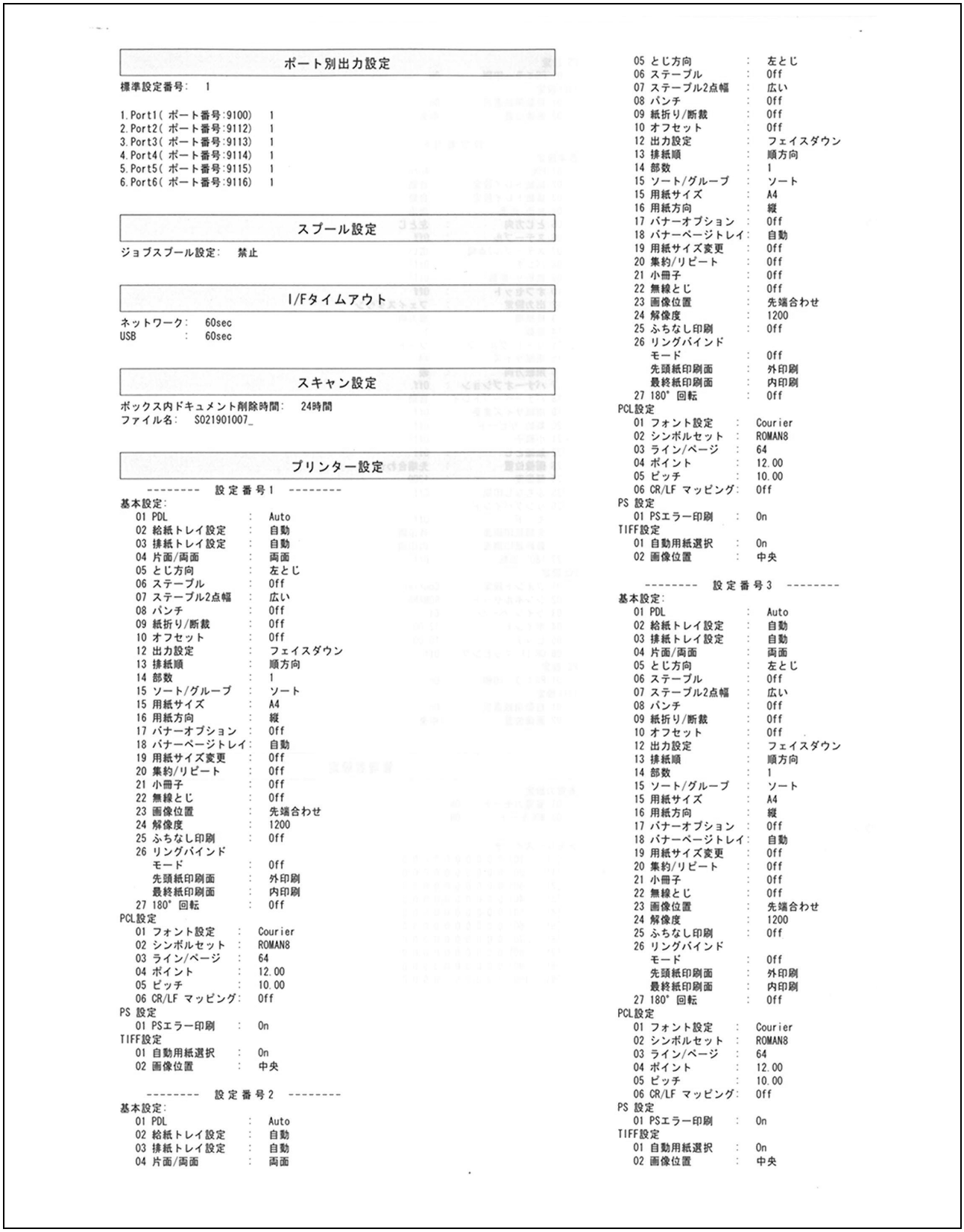
LLTD設定: 有効

SSDP設定

SSDP設定: 有効

証明書検証設定

証明書検証設定: 有効



ポート別出力設定

標準設定番号: 1

1.Port1(ポート番号:9100) 1
2.Port2(ポート番号:9112) 1
3.Port3(ポート番号:9113) 1
4.Port4(ポート番号:9114) 1
5.Port5(ポート番号:9115) 1
6.Port6(ポート番号:9116) 1

スプール設定

ジョブスプール設定: 禁止

I/Fタイムアウト

ネットワーク: 60sec
USB : 60sec

スキャン設定

ボックス内ドキュメント削除時間: 24時間
ファイル名: S021901007_

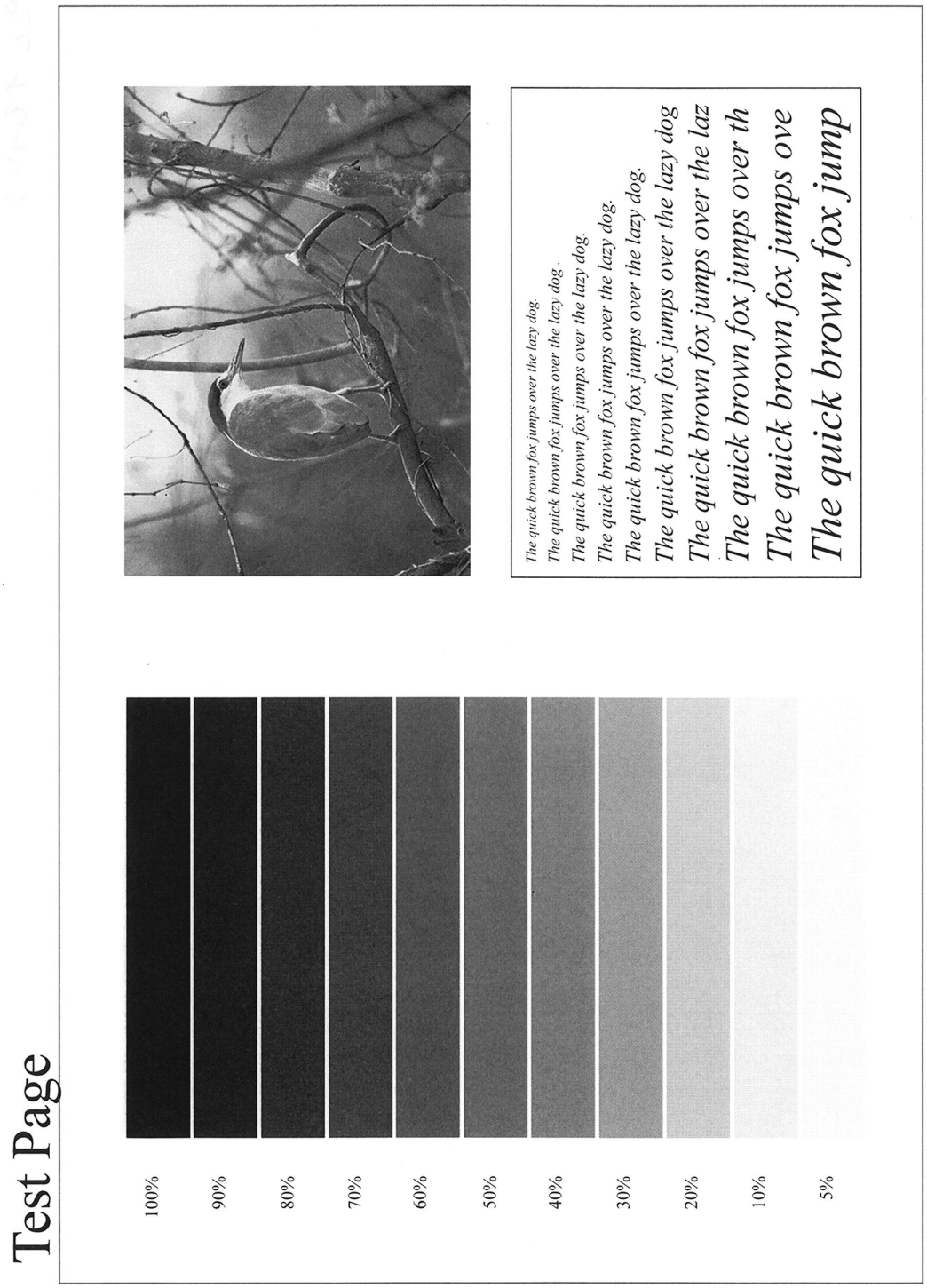
プリンター設定

-------- 設定番号1 --------
基本設定:
01 PDL : Auto
02 給紙トレイ設定 : 自動
03 排紙トレイ設定 : 自動
04 片面/両面 : 両面
05 とじ方向 : 左とじ
06 ステープル : Off
07 ステープル2点幅 : 広い
08 パンチ : Off
09 紙折り/断裁 : Off
10 オフセット : Off
12 出力設定 : フェイスダウン
13 排紙順 : 順方向
14 部数 : 1
15 ソート/グループ : ソート
15 用紙サイズ : A4
16 用紙方向 : 縦
17 バナーオプション : Off
18 バナーページトレイ: 自動
19 用紙サイズ変更 : Off
20 集約/リピート : Off
21 小冊子 : Off
22 無線とじ : Off
23 画像位置 : 先端合わせ
24 解像度 : 1200
25 ふちなし印刷 : Off
26 リングバインド
モード : Off
先頭紙印刷面 : 外印刷
最終紙印刷面 : 内印刷
27 180° 回転 : Off
PCL設定
01 フォント設定 : Courier
02 シンボルセット : ROMAN8
03 ライン/ページ : 64
04 ポイント : 12.00
05 ピッチ : 10.00
06 CR/LF マッピング: Off
PS 設定
01 PSエラー印刷 : On
TIFF設定
01 自動用紙選択 : On
02 画像位置 : 中央

-------- 設定番号2 --------
基本設定:
01 PDL : Auto
02 給紙トレイ設定 : 自動
03 排紙トレイ設定 : 自動
04 片面/両面 : 両面
05 とじ方向 : 左とじ
06 ステープル : Off
07 ステープル2点幅 : 広い
08 パンチ : Off
09 紙折り/断裁 : Off
10 オフセット : Off
12 出力設定 : フェイスダウン
13 排紙順 : 順方向
14 部数 : 1
15 ソート/グループ : ソート
15 用紙サイズ : A4
16 用紙方向 : 縦
17 バナーオプション : Off
18 バナーページトレイ: 自動
19 用紙サイズ変更 : Off
20 集約/リピート : Off
21 小冊子 : Off
22 無線とじ : Off
23 画像位置 : 先端合わせ
24 解像度 : 1200
25 ふちなし印刷 : Off
26 リングバインド
モード : Off
先頭紙印刷面 : 外印刷
最終紙印刷面 : 内印刷
27 180° 回転 : Off
PCL設定
01 フォント設定 : Courier
02 シンボルセット : ROMAN8
03 ライン/ページ : 64
04 ポイント : 12.00
05 ピッチ : 10.00
06 CR/LF マッピング: Off
PS 設定
01 PSエラー印刷 : On
TIFF設定
01 自動用紙選択 : On
02 画像位置 : 中央

-------- 設定番号3 --------
基本設定:
01 PDL : Auto
02 給紙トレイ設定 : 自動
03 排紙トレイ設定 : 自動
04 片面/両面 : 両面
05 とじ方向 : 左とじ
06 ステープル : Off
07 ステープル2点幅 : 広い
08 パンチ : Off
09 紙折り/断裁 : Off
10 オフセット : Off
12 出力設定 : フェイスダウン
13 排紙順 : 順方向
14 部数 : 1
15 ソート/グループ : ソート
15 用紙サイズ : A4
16 用紙方向 : 縦
17 バナーオプション : Off
18 バナーページトレイ: 自動
19 用紙サイズ変更 : Off
20 集約/リピート : Off
21 小冊子 : Off
22 無線とじ : Off
23 画像位置 : 先端合わせ
24 解像度 : 1200
25 ふちなし印刷 : Off
26 リングバインド
モード : Off
先頭紙印刷面 : 外印刷
最終紙印刷面 : 内印刷
27 180° 回転 : Off
PCL設定
01 フォント設定 : Courier
02 シンボルセット : ROMAN8
03 ライン/ページ : 64
04 ポイント : 12.00
05 ピッチ : 10.00
06 CR/LF マッピング: Off
PS 設定
01 PSエラー印刷 : On
TIFF設定
01 自動用紙選択 : On
02 画像位置 : 中央

19.2.2 PCL デモページ



19.2.3 PS デモページ



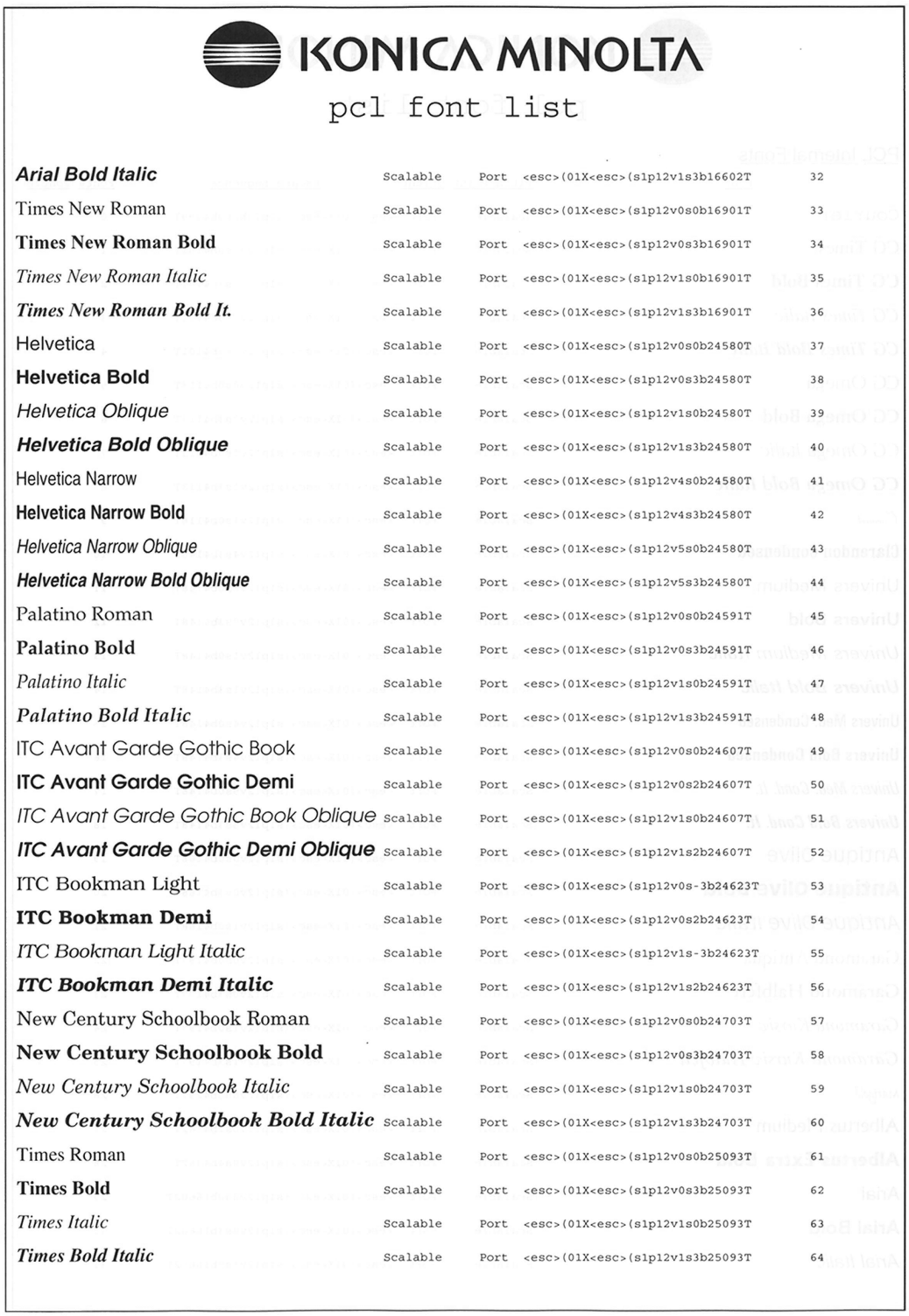
19.2.4 PCL フォントリスト

KONICA MINOLTA

pcl font list

PCL Internal Fonts

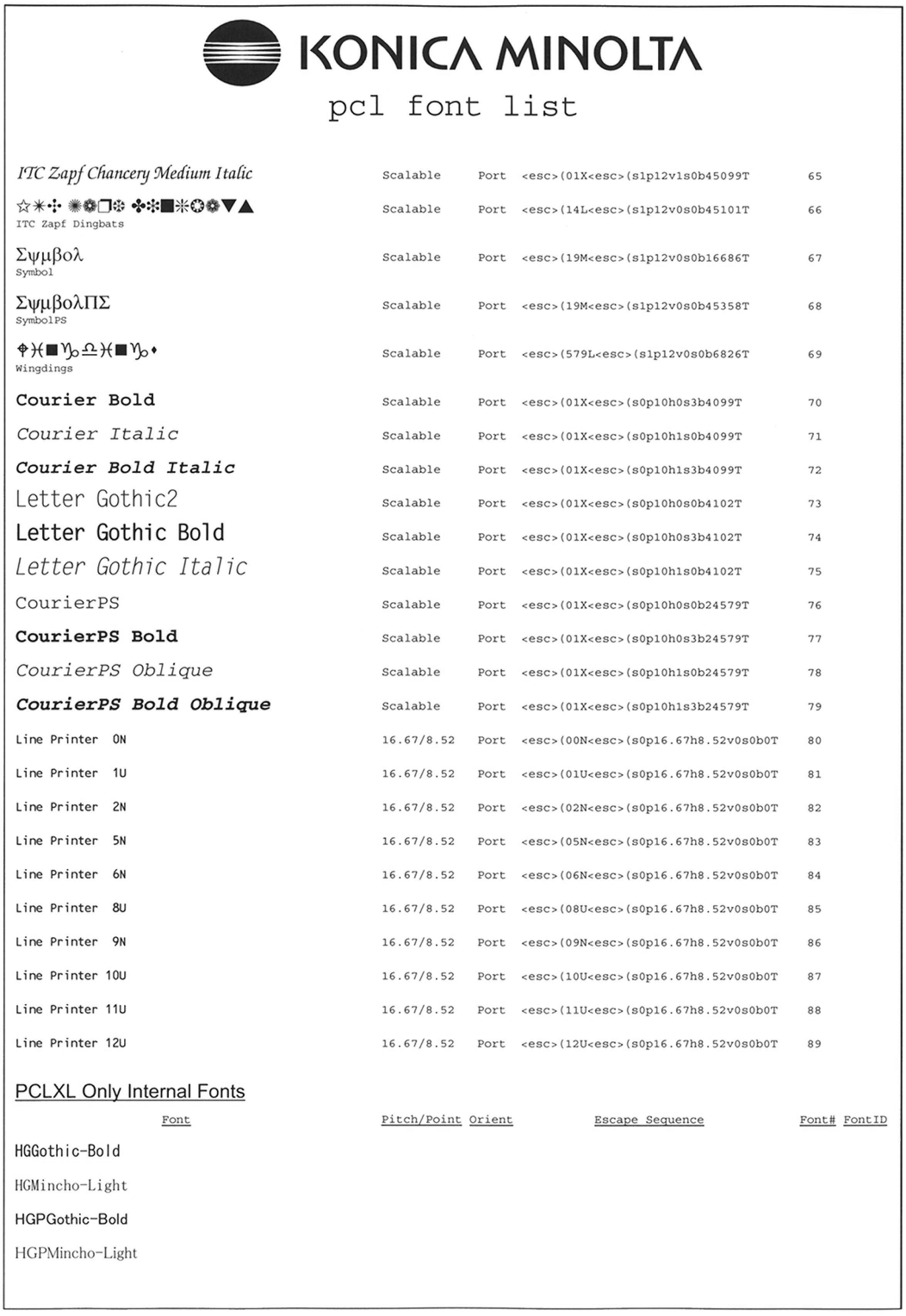
Font	Pitch/Point	Orient	Escape Sequence	Font#	FontID
Courier	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s0b4099T	0	
CG Times	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4101T	1	
CG Times Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4101T	2	
CG Times Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4101T	3	
CG Times Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4101T	4	
CG Omega	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4113T	5	
CG Omega Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4113T	6	
CG Omega Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4113T	7	
CG Omega Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4113T	8	
Coronet	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4116T	9	
Clarendon Condensed	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s3b4140T	10	
Univers Medium	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4148T	11	
Univers Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4148T	12	
Univers Medium Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4148T	13	
Univers Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4148T	14	
Univers Med. Condensed	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s0b4148T	15	
Univers Bold Condensed	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s3b4148T	16	
Univers Med. Cond. It.	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s0b4148T	17	
Univers Bold Cond. It.	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s3b4148T	18	
Antique Olive	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4168T	19	
Antique Olive Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4168T	20	
Antique Olive Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4168T	21	
Garamond Antiqua	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4197T	22	
Garamond Halbfett	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4197T	23	
Garamond Kursiv	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4197T	24	
Garamond Kursiv Halbfett	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4197T	25	
Marigold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4297T	26	
Albertus Medium	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s1b4362T	27	
Albertus Extra Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s4b4362T	28	
Arial	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b16602T	29	
Arial Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b16602T	30	
Arial Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b16602T	31	



KONICA MINOLTA

pcl font list

Arial Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b16602T	32
Times New Roman	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b16901T	33
Times New Roman Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b16901T	34
Times New Roman Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b16901T	35
Times New Roman Bold It.	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b16901T	36
Helvetica	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b24580T	37
Helvetica Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b24580T	38
Helvetica Oblique	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b24580T	39
Helvetica Bold Oblique	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b24580T	40
Helvetica Narrow	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s0b24580T	41
Helvetica Narrow Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s3b24580T	42
Helvetica Narrow Oblique	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s0b24580T	43
Helvetica Narrow Bold Oblique	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s3b24580T	44
Palatino Roman	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b24591T	45
Palatino Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b24591T	46
Palatino Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b24591T	47
Palatino Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b24591T	48
ITC Avant Garde Gothic Book	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b24607T	49
ITC Avant Garde Gothic Demi	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s2b24607T	50
ITC Avant Garde Gothic Book Oblique	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b24607T	51
ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s2b24607T	52
ITC Bookman Light	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s-3b24623T	53
ITC Bookman Demi	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s2b24623T	54
ITC Bookman Light Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s-3b24623T	55
ITC Bookman Demi Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s2b24623T	56
New Century Schoolbook Roman	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b24703T	57
New Century Schoolbook Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b24703T	58
New Century Schoolbook Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b24703T	59
New Century Schoolbook Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b24703T	60
Times Roman	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b25093T	61
Times Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b25093T	62
Times Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b25093T	63
Times Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b25093T	64



KONICA MINOLTA

pcl font list

ITC Zapf Chancery Medium Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b45099T	65
☆✳✣ ✺❁❒❄ ✤❇■✻❁✿▼▲ ITC Zapf Dingbats	Scalable	Port	<esc>(14L<esc>(s1p12v0s0b45101T	66
Σψμβολ Symbol	Scalable	Port	<esc>(19M<esc>(s1p12v0s0b16686T	67
ΣψμβολΠΣ SymbolPS	Scalable	Port	<esc>(19M<esc>(s1p12v0s0b45358T	68
✞✆■♍♎✆■♍♦ Wingdings	Scalable	Port	<esc>(579L<esc>(s1p12v0s0b6826T	69
Courier Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s3b4099T	70
Courier Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s0p10h1s0b4099T	71
Courier Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s0p10h1s3b4099T	72
Letter Gothic2	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s0b4102T	73
Letter Gothic Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s3b4102T	74
Letter Gothic Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s0p10h1s0b4102T	75
CourierPS	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s0b24579T	76
CourierPS Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s3b24579T	77
CourierPS Oblique	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s0p10h1s0b24579T	78
CourierPS Bold Oblique	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s0p10h1s3b24579T	79
Line Printer 0N	16.67/8.52	Port	<esc>(00N<esc>(s0p16.67h8.52v0s0b0T	80
Line Printer 1U	16.67/8.52	Port	<esc>(01U<esc>(s0p16.67h8.52v0s0b0T	81
Line Printer 2N	16.67/8.52	Port	<esc>(02N<esc>(s0p16.67h8.52v0s0b0T	82
Line Printer 5N	16.67/8.52	Port	<esc>(05N<esc>(s0p16.67h8.52v0s0b0T	83
Line Printer 6N	16.67/8.52	Port	<esc>(06N<esc>(s0p16.67h8.52v0s0b0T	84
Line Printer 8U	16.67/8.52	Port	<esc>(08U<esc>(s0p16.67h8.52v0s0b0T	85
Line Printer 9N	16.67/8.52	Port	<esc>(09N<esc>(s0p16.67h8.52v0s0b0T	86
Line Printer 10U	16.67/8.52	Port	<esc>(10U<esc>(s0p16.67h8.52v0s0b0T	87
Line Printer 11U	16.67/8.52	Port	<esc>(11U<esc>(s0p16.67h8.52v0s0b0T	88
Line Printer 12U	16.67/8.52	Port	<esc>(12U<esc>(s0p16.67h8.52v0s0b0T	89

PCLXL Only Internal Fonts

Font	Pitch/Point	Orient	Escape Sequence	Font#	FontID
HGGothic-Bold					
HGMincho-Light					
HGPGothic-Bold					
HGPMincho-Light					

19.2.5 PS フォントリスト



PostScript® Fonts

Resident Fonts

AdobeSansMM	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
AdobeSerifMM	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"
AlbertusMT	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
AlbertusMT-Italic	*ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'*
AlbertusMT-Light	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
AntiqueOlive-Bold	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'**
AntiqueOlive-Compact	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&**
AntiqueOlive-Italic	*ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'*
AntiqueOlive-Roman	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
Apple-Chancery	*ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'*
Arial-BoldItalicMT	***ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'***
Arial-BoldMT	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'**
Arial-ItalicMT	*ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'*
ArialMT	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
AvantGarde-Book	ABCDEFGabcdefg0123456789{}!@#$%^&*?<>~"'
AvantGarde-BookOblique	*ABCDEFGabcdefg0123456789{}!@#$%^&*?<>~"'*
AvantGarde-Demi	**ABCDEFGabcdefg0123456789{}!@#$%^&*?<>~"'**
AvantGarde-DemiOblique	***ABCDEFGabcdefg0123456789{}!@#$%^&*?<>~"'***
Bodoni	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
Bodoni-Bold	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'**
Bodoni-BoldItalic	***ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'***
Bodoni-Italic	*ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'*
Bodoni-Poster	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<**
Bodoni-PosterCompressed	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
Bookman-Demi	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'**
Bookman-DemiItalic	***ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~***
Bookman-Light	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
Bookman-LightItalic	*ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'*
CGBM-PropRoman	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@# $%^&*?<>~"'
Carta	❄♟▟▲☆❀▚◤♟⊕◬★▟♟0123456789Å⌇⎯⎯↖○□△◇◇☆✸✸◩▢〉
Chicago	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>**
ChuGothicBBB-Medium-PropRoman	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
Clarendon	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'**
Clarendon-Bold	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"**
Clarendon-Light	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"
CooperBlack	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<:**
CooperBlack-Italic	***ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~***
Copperplate-ThirtyThreeBC	**ABCDEFGABCDEFG0123456789[]{}!@#$% ^&*?<>~"**
Copperplate-ThirtyTwoBC	ABCDEFGABCDEFG0123456789[]{}!@#$% ^&*?<>~"
Coronet-Regular	*ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^ &*?<>~"*
Courier	ABCDEFGabcdefg0123456789 [ ] { } ! @ # $ % ^ & * ? < > ~ "
Courier-Bold	**ABCDEFGabcdefg0123456789 [ ] { } ! @ # $ % ^ & * ? < > ~ "**
Courier-BoldOblique	***ABCDEFGabcdefg0123456789 [ ] { } ! @ # $ % ^ & * ? < > ~ "***
Courier-Oblique	*ABCDEFGabcdefg0123456789 [ ] { } ! @ # $ % ^ & * ? < > ~ "*
Eurostile	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"
Eurostile-Bold	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<:**
Eurostile-BoldExtendedTwo	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!**



PostScript® Fonts

Eurostile-ExtendedTwo
Geneva
GillSans
GillSans-Bold
GillSans-BoldCondensed
GillSans-BoldItalic
GillSans-Condensed
GillSans-ExtraBold
GillSans-Italic
GillSans-Light
GillSans-LightItalic
Goudy
Goudy-Bold
Goudy-BoldItalic
Goudy-ExtraBold
Goudy-Italic
HeiseiKakuGothic-W5-PropRoman
HeiseiMincho-W3-PropRoman
Helvetica
Helvetica-Bold
Helvetica-BoldOblique
Helvetica-Condensed
Helvetica-Condensed-Bold
Helvetica-Condensed-BoldObl
Helvetica-Condensed-Oblique
Helvetica-Narrow
Helvetica-Narrow-Bold
Helvetica-Narrow-BoldOblique
Helvetica-Narrow-Oblique
Helvetica-Oblique
HoeflerText-Black
HoeflerText-BlackItalic
HoeflerText-Italic
HoeflerText-Ornaments
HoeflerText-Regular
HonMincho-M-PropRoman
JL-PropRoman
JoannaMT
JoannaMT-Bold
JoannaMT-BoldItalic
JoannaMT-Italic
LetterGothic
LetterGothic-Bold
LetterGothic-BoldSlanted
LetterGothic-Slanted
LubalinGraph-Book
LubalinGraph-BookOblique
LubalinGraph-Demi

PostScript® Fonts

LubalinGraph-DemiOblique	***ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"***
MMMA-PropRoman	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"
Marigold	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"
Mincho-PC-Hiragana	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"
Mincho-PC-Katakana	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"
MonaLisa-Recut	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"
Monaco	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"
NewCenturySchlbk-Bold	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"**
NewCenturySchlbk-BoldItalic	***ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"***
NewCenturySchlbk-Italic	*ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"*
NewCenturySchlbk-Roman	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"
NewYork	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~
Optima	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"
Optima-Bold	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"**
Optima-BoldItalic	***ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"***
Optima-Italic	*ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"*
Osaka-MonoRoman	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
Osaka-PropRoman	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~
Oxford	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
Palatino-Bold	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"**
Palatino-BoldItalic	***ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"***
Palatino-Italic	*ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"*
Palatino-Roman	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"
RLKL-PropRoman	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"
Ryumin-Light-KL-PropRoman	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"
StempelGaramond-Bold	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'**
StempelGaramond-BoldItalic	***ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'***
StempelGaramond-Italic	*ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'*
StempelGaramond-Roman	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
Symbol	ΑΒΧΔΕΦΓαβχδεφγ0123456789[]{}!≅#∃%⊥&*?<>~∀϶
Tekton	*ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~'"*
Times-Bold	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'**
Times-BoldItalic	***ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'***
Times-Italic	*ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'*
Times-Roman	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
TimesNewRomanPS-BoldItalicMT	***ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'***
TimesNewRomanPS-BoldMT	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'**
TimesNewRomanPS-ItalicMT	*ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'*
TimesNewRomanPSMT	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
Univers	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
Univers-Bold	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'**
Univers-BoldExt	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&**
Univers-BoldExtObl	***ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&***
Univers-BoldOblique	***ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'***
Univers-Condensed	ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
Univers-CondensedBold	**ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'**
Univers-CondensedBoldOblique	***ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'***
Univers-CondensedOblique	*ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'*

PostScript® Fonts

Univers-Extended ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&
Univers-ExtendedObl *ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*
Univers-Light ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'
Univers-LightOblique *ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'*
Univers-Oblique ***ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'***
Wingdings
Wingdings-Regular
ZapfChancery-MediumItalic *ABCDEFGabcdefg0123456789[]{}!@#$%^&*?<>~"'*
ZapfDingbats

AdobeHeitiStd-Regular

Encodings: Adobe-GB1-0, Adobe-GB1-1, Adobe-GB1-2, Adobe-GB1-3, Adobe-GB1-4, Adobe-GB1-5, GB-EUC-H, GB-EUC-V, GB-H, GB-V, GBK-EUC-H, GBK-EUC-V, GBK2K-H, GBK2K-V, GBKp-EUC-H, GBKp-EUC-V, GBT-EUC-H, GBT-EUC-V, GBT-H, GBT-V, GBTpc-EUC-H, GBTpc-EUC-V, GBpc-EUC-H, GBpc-EUC-V, UniGB-UCS2-H, UniGB-UCS2-V, UniGB-UTF16-H, UniGB-UTF16-V, UniGB-UTF32-H, UniGB-UTF32-V, UniGB-UTF8-H, UniGB-UTF8-V,

AdobeMingStd-Light

Encodings: Adobe-CNS1-0, Adobe-CNS1-1, Adobe-CNS1-2, Adobe-CNS1-3, Adobe-CNS1-4, Adobe-CNS1-5, B5-H, B5-V, B5pc-H, B5pc-V, CNS-EUC-H, CNS-EUC-V, CNS1-H, CNS1-V, CNS2-H, CNS2-V, ETHK-B5-H, ETHK-B5-V, ETen-B5-H, ETen-B5-V, ETenms-B5-H, ETenms-B5-V, HKdla-B5-H, HKdla-B5-V, HKdlb-B5-H, HKdlb-B5-V, HKgccs-B5-H, HKgccs-B5-V, HKm314-B5-H, HKm314-B5-V, HKm471-B5-H, HKm471-B5-V, HKscs-B5-H, HKscs-B5-V, UniCNS-UCS2-H, UniCNS-UCS2-V, UniCNS-UTF16-H, UniCNS-UTF16-V, UniCNS-UTF32-H, UniCNS-UTF32-V, UniCNS-UTF8-H, UniCNS-UTF8-V,

AdobeMyungjoStd-Medium

Encodings: Adobe-Korea1-0, Adobe-Korea1-1, Adobe-Korea1-2, KSC-EUC-H, KSC-EUC-V, KSC-H, KSC-Johab-H, KSC-Johab-V, KSC-V, KSCms-UHC-H, KSCms-UHC-HW-H, KSCms-UHC-HW-V, KSCms-UHC-V, KSCpc-EUC-H, KSCpc-EUC-V, UniKS-UCS2-H, UniKS-UCS2-V, UniKS-UTF16-H, UniKS-UTF16-V, UniKS-UTF32-H, UniKS-UTF32-V, UniKS-UTF8-H, UniKS-UTF8-V,

AdobeSongStd-Light

Encodings: Adobe-GB1-0, Adobe-GB1-1, Adobe-GB1-2, Adobe-GB1-3, Adobe-GB1-4, Adobe-GB1-5, GB-EUC-H, GB-EUC-V, GB-H, GB-V, GBK-EUC-H, GBK-EUC-V, GBK2K-H, GBK2K-V, GBKp-EUC-H, GBKp-EUC-V, GBT-EUC-H, GBT-EUC-V, GBT-H, GBT-V, GBTpc-EUC-H, GBTpc-EUC-V, GBpc-EUC-H, GBpc-EUC-V, UniGB-UCS2-H, UniGB-UCS2-V, UniGB-UTF16-H, UniGB-UTF16-V, UniGB-UTF32-H, UniGB-UTF32-V, UniGB-UTF8-H, UniGB-UTF8-V,

ChuGothicBBB-Medium abcde12345あいうえおアイウエオ亜唖娃阿哀愛挨

Encodings: 90pv-RKSJ-H,

ChuGothicBBB-Medium-Mono abcde12345あいうえおアイウエオ亜唖娃阿哀愛挨

Encodings: 90pv-RKSJ-H,

GothicBBB-Medium abcde12345あいうえおアイウエオ亜唖娃阿哀愛挨

Encodings: 78-EUC-H, 78-EUC-V, 78-H, 78-RKSJ-H, 78-RKSJ-V, 78-V, 78ms-RKSJ-H, 78ms-RKSJ-V, 83pv-RKSJ-H, 90ms-RKSJ-H, 90ms-RKSJ-V, 90msp-RKSJ-H, 90msp-RKSJ-V, 90pv-RKSJ-H, 90pv-RKSJ-V, Add-H, Add-RKSJ-H, Add-RKSJ-V, Add-V, Adobe-Japan1-0, Adobe-Japan1-1, Adobe-Japan1-2, Adobe-Japan1-3, Adobe-Japan1-4, Adobe-Japan1-5, Adobe-Japan1-6, EUC-H, EUC-V, Ext-H, Ext-RKSJ-H, Ext-RKSJ-V, Ext-V, H, Hankaku, Hiragana, Katakana, NWP-H, NWP-V, RKSJ-H, RKSJ-V, Roman, UniJIS-UCS2-H, UniJIS-UCS2-HW-H, UniJIS-UCS2-HW-V, UniJIS-UCS2-V, UniJIS-UTF16-H, UniJIS-UTF16-V, UniJIS-UTF32-H, UniJIS-UTF32-V, UniJIS-UTF8-H, UniJIS-UTF8-V, UniJISPro-UCS2-HW-V, UniJISPro-UCS2-V, UniJISPro-UTF8-V, UniJISX0213-UTF32-H, UniJISX0213-UTF32-V, V, WP-Symbol,

HeiseiKakuGothic-W5 abcde12345あいうえおアイウエオ亜唖娃阿哀愛挨

Encodings: 90pv-RKSJ-H,

HeiseiMincho-W3 abcde12345あいうえおアイウエオ亜唖娃阿哀愛挨

Encodings: 90pv-RKSJ-H,

PostScript® Fonts

HonMincho-M abcde12345あいうえおアイウエオ亜唖娃阿哀愛挨

Encodings: 90pv-RKSJ-H,

KozGoProVI-Medium **abcde12345あいうえおアイウエオ亜唖娃阿哀愛挨**

Encodings: 78-EUC-H, 78-EUC-V, 78-H, 78-RKSJ-H, 78-RKSJ-V, 78-V, 78ms-RKSJ-H, 78ms-RKSJ-V, 83pv-RKSJ-H, 90ms-RKSJ-H, 90ms-RKSJ-V, 90msp-RKSJ-H, 90msp-RKSJ-V, 90pv-RKSJ-H, 90pv-RKSJ-V, Add-H, Add-RKSJ-H, Add-RKSJ-V, Add-V, Adobe-Japan1-0, Adobe-Japan1-1, Adobe-Japan1-2, Adobe-Japan1-3, Adobe-Japan1-4, Adobe-Japan1-5, Adobe-Japan1-6, EUC-H, EUC-V, Ext-H, Ext-RKSJ-H, Ext-RKSJ-V, Ext-V, H, Hankaku, Hiragana, Katakana, NWP-H, NWP-V, RKSJ-H, RKSJ-V, Roman, UniJIS-UCS2-H, UniJIS-UCS2-HW-H, UniJIS-UCS2-HW-V, UniJIS-UCS2-V, UniJIS-UTF16-H, UniJIS-UTF16-V, UniJIS-UTF32-H, UniJIS-UTF32-V, UniJIS-UTF8-H, UniJIS-UTF8-V, UniJISPro-UCS2-HW-V, UniJISPro-UCS2-V, UniJISPro-UTF8-V, UniJISX0213-UTF32-H, UniJISX0213-UTF32-V, V, WP-Symbol,

KozMinProVI-Regular abcde12345あいうえおアイウエオ亜唖娃阿哀愛挨

Encodings: 78-EUC-H, 78-EUC-V, 78-H, 78-RKSJ-H, 78-RKSJ-V, 78-V, 78ms-RKSJ-H, 78ms-RKSJ-V, 83pv-RKSJ-H, 90ms-RKSJ-H, 90ms-RKSJ-V, 90msp-RKSJ-H, 90msp-RKSJ-V, 90pv-RKSJ-H, 90pv-RKSJ-V, Add-H, Add-RKSJ-H, Add-RKSJ-V, Add-V, Adobe-Japan1-0, Adobe-Japan1-1, Adobe-Japan1-2, Adobe-Japan1-3, Adobe-Japan1-4, Adobe-Japan1-5, Adobe-Japan1-6, EUC-H, EUC-V, Ext-H, Ext-RKSJ-H, Ext-RKSJ-V, Ext-V, H, Hankaku, Hiragana, Katakana, NWP-H, NWP-V, RKSJ-H, RKSJ-V, Roman, UniJIS-UCS2-H, UniJIS-UCS2-HW-H, UniJIS-UCS2-HW-V, UniJIS-UCS2-V, UniJIS-UTF16-H, UniJIS-UTF16-V, UniJIS-UTF32-H, UniJIS-UTF32-V, UniJIS-UTF8-H, UniJIS-UTF8-V, UniJISPro-UCS2-HW-V, UniJISPro-UCS2-V, UniJISPro-UTF8-V, UniJISX0213-UTF32-H, UniJISX0213-UTF32-V, V, WP-Symbol,

Osaka **abcde12345あいうえおアイウエオ亜唖娃阿哀愛挨**

Encodings: 90pv-RKSJ-H,

Osaka-Mono abcde12345あいうえおアイウエオ亜唖娃阿哀愛挨

Encodings: 90pv-RKSJ-H,

Ryumin-Light abcde12345あいうえおアイウエオ亜唖娃阿哀愛挨

Encodings: 78-EUC-H, 78-EUC-V, 78-H, 78-RKSJ-H, 78-RKSJ-V, 78-V, 78ms-RKSJ-H, 78ms-RKSJ-V, 83pv-RKSJ-H, 90ms-RKSJ-H, 90ms-RKSJ-V, 90msp-RKSJ-H, 90msp-RKSJ-V, 90pv-RKSJ-H, 90pv-RKSJ-V, Add-H, Add-RKSJ-H, Add-RKSJ-V, Add-V, Adobe-Japan1-0, Adobe-Japan1-1, Adobe-Japan1-2, Adobe-Japan1-3, Adobe-Japan1-4, Adobe-Japan1-5, Adobe-Japan1-6, EUC-H, EUC-V, Ext-H, Ext-RKSJ-H, Ext-RKSJ-V, Ext-V, H, Hankaku, Hiragana, Katakana, NWP-H, NWP-V, RKSJ-H, RKSJ-V, Roman, UniJIS-UCS2-H, UniJIS-UCS2-HW-H, UniJIS-UCS2-HW-V, UniJIS-UCS2-V, UniJIS-UTF16-H, UniJIS-UTF16-V, UniJIS-UTF32-H, UniJIS-UTF32-V, UniJIS-UTF8-H, UniJIS-UTF8-V, UniJISPro-UCS2-HW-V, UniJISPro-UCS2-V, UniJISPro-UTF8-V, UniJISX0213-UTF32-H, UniJISX0213-UTF32-V, V, WP-Symbol,

Ryumin-Light-KL abcde12345あいうえおアイウエオ亜唖娃阿哀愛挨

Encodings: 90pv-RKSJ-H,

Ryumin-Light-KL-Mono abcde12345あいうえおアイウエオ亜唖娃阿哀愛挨

Encodings: 90pv-RKSJ-H,

Adobe, PostScript, the Adobe logo and the PostScript logo are trademarks of Adobe Systems Incorporated which may be registered in certain jurisdictions.

Fonts contained in this product may be copyrighted, trademarked or licensed by:
Adobe Systems Incorporated, AlphaOmega Typography, Apple Computer, Inc., H. Berthold AG, Ludlow Type Foundry
International Typeface Corporation, Kingsley/ATF Type Corporation, Letraset Typeface
Linotype-Hell AG and/or its subsidiaries, Marcel Olive, Microsoft Corporation, The Monotype Corporation, Nebiolo,

20 付録

20 付録

20.1 PPD ドライバー（Linux 用、アプリケーション用）

20.1.1 PPD ドライバーの種類

PPD ドライバーには、Linux 用とアプリケーション用の PPD 情報が含まれています。

- Linux 用：Linux で使用する場合にインストール（Linux 用 PPD と OpenOffice 用 PPD が含まれています）。
- アプリケーション用：PageMaker など PPD を必要とするアプリケーションを使用する場合にインストール。

20.1.2 Linux 用 PPD ドライバーについて

動作条件
以下の組合せの環境で動作します。

- OS:Red Hat Enterprise Linux 4 —CupsVersion:1.1
- OS:SuSE Linux 10.1 —CupsVersion:1.2
- OpenOffice v1.1.5

Linux 用 PPD の登録

1 PPD ファイルを CUPS の model ディレクトリーへコピーします（主な Linux の場合は、/usr/share/cups/model）。

2 CUPS 印刷システムの［Add Printer］で PPD を指定し、本機を追加します。

➔ CUPS については、CUPS Web 管理ページの［Help］をごらんください。

Linux 用 PPD の設定

CUPS 印刷システムの［Configure Printer］で機能を設定します。

OpenOffice 用 PPD の登録

1 CUPS 印刷システムの［Add Printer］で PPD を指定し、本機を追加します。

2 OpenOfficePrinterAdministrator ツールを開きます。

3 ［New Printer］をクリックします。

4 ［Choose a device type］画面で［add a printer］を選択し、［Next］をクリックします。

5 ［Choose a driver］画面で［import］をクリックします。

6 ［KOC****opn.ppd］を選択して［OK］をクリックします。

7 ［Please Select a Suitable driver.］一覧で［KOC****opn.ppd］を選択し、［Next］をクリックします。

8 ［Choose a command line］画面で CUPS に登録したプリンターを選択し、［Next］をクリックします。

9 ［Finish］をクリックします。

OpenOffice での印刷方法

1 OpenOffice の File-Print を開きます。

2 ［Printer name］で［KOC****opn.ppd］を選択します。

3 ［Properties］をクリックします。

4 ［Page size］を指定し、［OK］をクリックします。
Page Size 以外の項目は、CUPS の［Configure Printer］で設定します。

5 OpenOffice の Print ダイアログの［OK］をクリックし、印刷します。

20.1.3 アプリケーション用 PPD ドライバーについて

PPD の登録先（例：PageMaker）

- PageMaker6.0 の場合：
PPD ファイルを PageMaker がインストールされているフォルダー下の RSRC\PPD4 にコピーします。
- PageMaker6.5/7.0 の場合：
PPD ファイルを PageMaker がインストールされているフォルダー下の
RSRC\<Language>\PPD4 にコピーします。

印刷方法

1 ［ファイル］－［プリント］を選択します。

2 プリントダイアログ内の［形式］コンボボックスで、本機を選択します。

3 ［用紙設定］や［プリンタ特性］でプリンターに応じた設定を行います。

4 ［印刷］ボタンをクリックし、印刷します。

20.2 用語集

用語	説明
10Base-T/ 100Base-TX/ 1000Base-T	イーサネットの規格における仕様の一種。銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps、1000Base-T は 1000Mbps である。
Adobe® Flash®	Adobe Systems 社（旧 Macromedia 社）の開発した、ベクターグラフィックのアニメーションや音声を組合わせたコンテンツを作成するソフト、またはそのファイル形式。 キーボードやマウスからの入力により、双方向性を持たせたコンテンツを扱える。ファイル容量を比較的小さく抑えることができ、ウェブブラウザーに専用のプラグインを導入して閲覧できる。
AppleTalk	Apple 社が開発したネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称。
bit	Binary Digit の略。コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の最小単位。0 か 1 かでデータを表す。
BMP	Bitmap の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .bmp）。Windows 上で一般的に使用されている。白黒（2 値）の画像からフルカラー（1677 万 7216 色）までの色数を指定できる。基本的には圧縮せずに画像を保存する。
Bonjour	ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Macintosh のネットワーク技術。以前は Rendezvous と呼ばれていたが、Mac OS X v10.4 から Bonjour と名称変更された。
BOOTP	BOO Tstrap Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読込むプロトコル。ただし現在では BOOTP をベースとして一部改良した DHCP が主流になっている。
Byte	コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の単位。1Byte=8bit で構成される。
Default Gateway	同一 LAN 上に存在しないコンピューターへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピューターやルーターなどの機器のこと。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読込むプロトコル。DHCP サーバーで DHCP クライアント用に IP アドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。
DNS	Domain Name System の略。ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のコンピューターにアクセスできるようになる。
DPI（dpi）	Dots Per Inch の略。プリンターやスキャナーなどで使われる解像度の単位。1 インチを何個の点の集まりとして表現するかを表す。この値が高いほど、より精細な表現が可能となる。
FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。
HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバーとクライアント（Web ブラウザーなど）がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
IPP	Internet Printing Protocol の略。インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行うプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンターにデータを送って印刷することもできる。
IPX	NetWare で利用されるプロトコルのひとつ。OSI 参照モデルのネットワーク層で動作する。
IPX/SPX	Internetwork Packet exchange/Sequenced Packet exchange の略。Novell 社により開発された、NetWare 環境下で一般的に使用されるプロトコルのこと。
IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号（アドレス）。現在広く普及している IPv4（Internet Protocol version 4）は、4 つに区切られた 32 ビットの数値が使われ、192.168.1.10 のように表される。次世代の IPv6（Internet Protocol version 6）では、128 ビットの IP アドレスが使われる。コンピューターを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割り振られる。

用語	説明
LAN	Local Area Network の略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピューター同士を接続したネットワークのこと。
LPD	Line Printer Daemon の略。TCP/IP で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコル。もともと BSD UNIX 用に開発されたが、一般のコンピューターでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっている。
LPR/LPD	Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。WindowsNT 系、UNIX 系におけるネットワーク経由印刷の 1 種。TCP/IP を使って、Windows、UNIX からの印刷データをネットワーク上にあるプリンターに出力させることができる。
MAC Address	Media Access Control address の略。各イーサネットカード固有の ID 番号で、これを元にカード間のデータの送受信が行われる。48 ビットの数字で表現されており、前半の 24 ビットは IEEE が管理・割当てをしている各メーカーごとに固有な番号で、後半の 24 ビットはメーカーが一意にカードに割当てる番号である。
NDPS	Novell Distributed Print Services の略。NDS 環境において高機能なプリントソリューションを提供する。NDPS をプリントサーバーとして利用することにより、任意のプリンターからの出力、新規プリンター導入時のドライバーの自動ダウンロードなど、プリンター利用に関する煩雑な管理環境を簡素化、自動化できるほか、ネットワーク、プリンターに関わる統合的な管理ができる。
NDS	Novell Directory Service の略。ネットワークに存在するサーバーやプリンター、ユーザー情報などの共有資源、またそれらに対する個々のユーザーのアクセス権限などの情報を、階層構造で一元管理できる。
NetBIOS	Network Basic Input Output System の略。IBM 社によって開発された通信インターフェイスのこと。
NetBEUI	NetBIOS Extended User Interface の略。IBM 社が開発したネットワークプロトコル。コンピューター名を設定するだけで、小規模なネットワークを構築できる。
NetWare	ノベル社が開発したネットワーク OS。通信プロトコルに NetWare IPX/SPX を使用している。
Nprinter/ Rprinter	Netware 環境下でプリントサーバーを使用する場合の、リモートプリンターサポートモジュールのこと。Netware 3.x で Rprinter、Netware 4.x で Nprinter を使用する。
OHP/OHT	OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。
OS（オーエス）	Operating System の略。コンピューターのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の 1 つ。
PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ（拡張子は .pdf）。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。
PDL	Page Description Language の略。ページプリンターで印刷するとき、プリンターにページ単位で印刷イメージを指示する言語。
PostScript	米 Adobe 社によって開発された、特に高品質が要求される印刷処理で一般的に利用される代表的なページ記述言語のこと。
PPD	PostScript Printer Description の略。解像度や利用可能紙サイズなど、PostScript プリンターの機種固有の情報を記述したファイルのこと。
Proxy Server	Internet との接続で、各クライアントのかわりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティーを確保するために設置されるサーバーのこと。
PServer	Netware 環境下におけるプリントサーバーモジュールのこと。プリントジョブの監視、変更、休止、再開、および中止を行う。
RIP	Raster Image Processor の略。PostScript などのページ記述言語を用いて記述されたテキストデータを、画像イメージに展開する処理のこと。通常はプリンターに内蔵されている。
RGB	Red（赤）、Green（緑）、Blue（青）の略。モニターなどの色表現で用いられる原色で、RGB 3 色の輝度比率を変化させてすべての色を表現する。
Samba	SMB（Server Message Block）を利用して、UNIX システムの資源を Windows 環境から利用できるようにする、UNIX のサーバーソフトウェア。
SLP	Service Location Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のサービスの検索や、クライアントの自動設定などを可能にするプロトコルのこと。

用語	説明
SMB	Server Message Block の略。主に Windows 間でネットワークを通じてファイル共有やプリンター共有を実現するプロトコルのこと。
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信 / 転送するためのプロトコルのこと。
SNMP	Simple Network Management Protocol の略。TCP/IP を使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。インターネットで使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。個々のネットワーク機器を識別するために、IP アドレスを使用する。
TrueType	アウトラインフォントの一種。Apple 社と Microsoft 社によって開発され、Macintosh や Windows には標準で採用されている。ディスプレイ表示と印刷の両方に使用できる。
USB	Universal Serial Bus の略。コンピューターとマウスやプリンターなどを接続するための汎用インターフェイス規格のこと。
WINS	Windows Internet Name Service の略。Windows 環境で、コンピューター名と IP アドレス変換を行うネームサーバーを呼出すためのサービス。
XPS	XML Paper Specification の略。Microsoft 社が開発した電子形式書類の 1 つ。Windows Vista から採用されている。
アウトラインフォント	文字の形を、直線や曲線による輪郭線で表したフォントのこと。文字サイズが大きくなっても、ギザギザの無い画面表示と印刷ができる。
アンインストール	インストールされているソフトウェアを削除すること。
イーサネット（Ethernet）	LAN の伝送路に関する規格のこと。
印刷ジョブ	PC から印刷機器に送信される印刷要求のこと。
インストール	ハードウェア、OS、アプリケーション、プリンタードライバーなどを、コンピューターのシステムに組み込むこと。
ウェブブラウザー	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。 Internet Explorer や、Netscape Navigator などがある。
解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。
輝度	ディスプレイなどの画面の明るさのこと。
キュー名	LPD/LPR 印刷のときに必要な論理プリンター名のこと。
共有プリンター	ネットワーク上のサーバーに接続され、複数のコンピューターから使用できるように設定されたプリンターのこと。
クライアント	ネットワークを介して、サーバーが提供するサービスを利用する側のコンピューターのこと。
グレースケール	黒から白への階調情報を使用して表現したモノクロ画像の表現形式のこと。
ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークにあわせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
サブネットマスク	TCP/IP ネットワークをいくつかの小さなネットワーク（サブネット）に区切るために用いる値。IP アドレスの上位何ビットがネットワークアドレスであるかを識別するために使用する。
スクリーンフォント	CRT などのモニターで、文字 / 記号を表示するためのフォント。
スプール（Spool）	Simultaneous Peripheral Operation On-Line の略。プリンター出力で、データを直接プリンターに送らず、一時的に別の場所に貯めておき、後でまとめてプリンターに送信すること。
タッチ＆プリント	ユーザー認証時にプリンタードライバーから送信したジョブを本機と接続された認証装置に指または IC カードをかざすだけでプリントできる機能。タッチ＆プリント機能を利用するときは、本機に認証装置を装着し、ユーザーごとに静脈または IC カードの ID を登録する必要がある。
ドライバー	コンピューターと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。
ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。 電源を OFF しても、データが保持される。

用語	説明
ピア・ツー・ピア	専用のサーバーを使うことなく、接続された機器同士が、相互に通信可能なネットワーク形態のこと。
プラグアンドプレイ	周辺機器を PC に接続した時に、適切なドライバーが自動検索されて使用可能になる仕組みのこと。
プリンタードライバー	コンピューターとプリンターの橋渡しをするソフトウェアのこと。
プリンターバッファ	印刷ジョブのデータ処理のために、一時的に利用されるメモリー領域。
プリントキュー	スプーラーで、発生したプリントジョブを記憶しておくソフトウェアシステム。
フレームタイプ	Netware 環境で使用される通信形式の種類のこと。同じフレームタイプ同士でなければ、通信する事ができない。
プレビュー	印刷 / スキャン処理前に、あらかじめ処理後のイメージを表示する機能のこと。
プロトコル	コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。
プロパティ	属性情報のこと。プリンタードライバーを使用するときは、プロパティからさまざまな機能の設定を行う事ができる。また、ファイルのプロパティでは、そのファイルの属性情報を確認する事ができる。
ホスト名	ネットワーク上の機器を表す名前のこと。
メモリー	データを一時保存するための記憶装置のこと。電源を OFF した時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。
ローカルプリンター	コンピューターのパラレル /USB ポートに接続されたプリンターのこと。

21 索引

21 索引

21.1 項目別索引

Numerics
180 度回転 10-15, 11-8

A
AppleTalk 3-7, 6-7, 6-13

B
Bonjour 3-7, 6-5

I
IPP 3-5, 5-7, 5-21, 6-11, 6-15
IPPS 3-5, 5-7, 5-21
IPP 設定 4-3

L
Linux 20-2
LPD 6-9, 6-14
LPR 3-5, 5-2, 5-16, 6-9, 6-14

M
Mac 3-7
Macintosh 2-6, 6-2, 8-6

N
NetWare 3-7, 7-2

O
OS 2-6
OS 10.4 3-7
OS 10.5 3-7
OS 10.6 3-7
OS X 2-6, 13-2

P
PageScope Web Connection 16-2
Port 9100 ..... 3-5, 5-2, 5-16
PPD ドライバー 12-2, 20-2
PS Plug-in ドライバー 11-2
PS フォントリスト 19-16

R
RAW ポート 4-3

S
SMB 3-5, 5-2, 5-19

T
TCP/IP 設定 4-3

U
USB 2-7, 3-5

W
Web サービス 3-5, 5-9
Web ブラウザー 16-3
Windows 2-6, 8-2
Windows Server 2003 ..... 3-6, 5-16
Windows Server 2008 ..... 3-5, 5-2
Windows Vista 3-5, 5-2
Windows XP 3-6, 5-16

X
XPS ドライバー 10-2

あ行
アクセス方法 16-2
イーサネット 2-7
印刷できない 18-2
印刷部数と印刷ページ 13-7
インストーラー 4-2
インストール 4-4, 4-7, 6-2, 6-4
インターフェイス 2-7
ウォーターマーク 10-26, 10-27
裏カバー 10-24
裏外カバー 10-24
エラーメッセージ 18-5
オーバーレイ 10-26, 10-28
オプション 13-2
オプションタブ 11-28
表カバー 10-24
表外カバー 10-24

か行
各種設定 15-2
拡大縮小 13-6
カスタムサイズ 13-5
管理者設定 15-15
管理者モード 16-10, 16-17
画像 / レイアウト 13-10
画像品質タブ 10-30
画面の構成 16-11
原稿サイズ 10-12, 11-5, 11-8
原稿の向き 11-5, 11-8
コントローラー設定画面 15-3

さ行
出力設定 13-8
章分け 10-15, 11-16
初期設定 10-2, 11-2, 12-2, 13-2
仕分け 13-8
情報表示 16-13
ジョブ確認 16-14
ジョブ呼出し 14-10
スタンプ / ページ印字タブ 10-26

ステープル 10-20, 11-9
製品仕様 19-2
セキュリティー 16-18
セキュリティープリント 14-2
設定項目詳細 10-9, 11-5, 12-6, 13-6
設定できない 18-4
設定メニュー画面 15-13
セットアップ 2-8
接続図 2-7
接続方法 3-5
ソート 13-8
その他タブ 10-32

た行

ダイレクトプリント 16-16
丁合い 13-7
登録ユーザー 16-9
トラブルシューティング 17-2
動作環境 4-2, 16-2

な行

ネットワーク 16-21
ネットワークウィンドウ 5-10
ネットワーク接続 2-8

は行

排紙トレイ 10-21, 11-11
パターン 10-30
パブリックユーザー 16-8
パンチ 10-20, 11-9
日付 / 時刻 10-27
部数 13-7
部門管理 16-5
部門管理機能 14-21
プラグアンドプレイ 5-13, 5-23
プリンター設定 16-19
プリンタードライバー 3-3, 4-4, 4-7, 18-4
プリンターの選択 6-5, 6-13
プリンターの追加 5-2, 5-16
プリント 2-6
プロパティ 10-2, 12-2
ページ 13-7
ページ属性 13-6
ページ単位設定 10-24
ページ番号 10-27
ページ割付 10-15, 11-7
方向 13-6

ま行

見出し挿入 11-17
メンテナンス 16-17

や行

ユーザー認証 14-18, 16-5
ユーザーモード 16-13
用語集 20-4
用紙サイズ 13-6

ら行

レポート出力 19-5
ローカル接続 2-9, 5-13, 5-23
ログアウト 16-4, 16-7
ログイン 16-4, 16-8

ん

ナンバリング 10-27
リングバインド 11-9, 12-11, 13-9

21.2 キー索引

あ行

ウォーターマークの編集 10-27

か行

管理者設定 15-15
画質調整 10-30

さ行

設定メニュー / カウンター 15-13

は行

プリンターのインストール 4-4, 4-7, 5-2

や行

ユーザー設定 15-13

ら行

ログアウト 16-7
ログイン 16-8
ログイン画面へ 16-7

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守･操作･修理･サポートのお問い合わせ

この商品の保守･操作方法･修理･サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守･操作･修理･サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。　**http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright
2012 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

A4EU9550-IC-00

2012. 4